



tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

1月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

住居で悩む

2005,1,31



平日用の仮宿の件で心が揺れている。

平日は、会社の近くに寝るだけ用アパートを借りて、週末にパタヤへ帰る・・・これが、理想であると思っていたのだが・・・悩んでいる。

仮宿なんて、田舎に借りるので、家賃も安いし、悩むなんて大げさに思うかもしれないが、やはり独り身の分際で、2箇所の部屋を持つというのは無駄と言えるかもしれないという気がしてならない。TVをはじめ、最低限の電化製品、家具は揃えたいと思うと、結局は家賃以上にさまざまな出費が出ることも予想される。

安い安いと言っても、週に1度の帰宅の為に、部屋を確保しておく必要があるのか？と思うのである。パタヤなんぞ、ホテルが溢れているから、週末にパタヤに遊びに行く際に、ホテルを使ったほうが簡単じゃないか？という気持ち等・・・入り乱れている。

中間策として、パタヤ市街にも近く、職場に少しでも近い場所を探してはいるが50KMの距離が5キロから7キロ縮まったところで、出発時間も帰宅時間も10分しか変わらない。

上記の距離を越える＝パタヤ市街を離れると、市街が嘘のようにまるっきり田舎風景である。事実、スクンビット通りを渡ると、本当に田舎になってしまう。

ましてや、会社の方に近づけば、近づくほど何も無いのである。

会社の前の工業団地入り口は、朝夕のラッシュはすごいけれど、アパートがあるような場所ではない。

週末パタヤ、平日勤務地近く宿泊という案は、泊まる日数（平日の数と週末の数）を考えると、平日に良い場所に泊まりたいとも思うのである。

そうすると、パタヤの部屋不要論が出てきてしまう。

確かに、借りてみれば良いのかもしれない。

なんか、これだって方法がひらめかない感じで、もやもやしている。

何だかんだ言っただって、衣食住の住も、生活の基本ですから・・・



タイのガソリンスタンド

2005,1,27



最近、ガソリンスタンドに良く立ち寄る。
日本人が、ガソリンスタンドに寄ると言えば、「ガソリンを入れる。」というイメージしかないだろう。
しかし、ガソリンを入れる頻度の3倍～5倍の回数でガソリンスタンドに立ち寄っている最近の僕。
タイでは、幹線道路にあるガソリンスタンドに必ずと言って良いほど、コンビニ又は小さなスーパーが併設されているのである。

バンコクに住んでいるときの買い物先と言えば、ロータスやカルフルと言った大型スーパーでの買物が多かった。

しかし、最近では、ガソリンスタンド併設のコンビニでほとんど済ましてしまう状況である。確かに、大型スーパーに行けば、通常小売価格よりも安いかもしれない。

しかし、大型スーパーというだけあって、店内は広いし、欲しい商品を選ぶのも大変である。車を停めて、スーパーに入り、店内を一周して商品を選ぶ・・・そんな当たり前のことが、面倒くさくなってしまったのだろうか？

ガソリンスタンド併設のコンビニ、小スーパーだって、僕が買いたいと思う商品は大体揃うのである。普段の日常の買物に関しては、ここで十分に用が足りるのである。

だから、会社の帰りに、休憩を兼ねて、ガソリンスタンドに寄る。

毎日の習慣になってしまったようだ。

タイのガソリンスタンド・・・給油だけの客じゃないんです。

もう一つ、日本と違うのは、トイレであろう。

日本で運転中にトイレに行きたいと思ったら、僕は、コンビニでトイレを借りる。

もちろん、日本の場合、長時間運転と言え、高速に乗っているだろうし、高速には休憩所があるし、トイレも済ませられる。

タイの場合は、高速が全国にあるわけではなく、長距離運転中のドライバーのほとんどがガソリンスタンドでトイレを済ませていると思う。

日本のトイレ休憩は、コンビニで・・・タイのトイレ休憩は、ガソリンスタンド・・・
当たってますかな？

ちなみに、最近、やっとガソリン代が下がったようだ。

ちょっと、嬉しい。いや、かなり、嬉しい。



金使いの荒さを反省する日

2005,1,26



お金を貯めようと思い始めた。

タイに来た頃は、アルバイトをしながら、日本で貯めた貯金をできるだけ崩さないような生活をしてきた。

働き出してからは、生活水準を特に上げなかったので、収入に見合った生活であったと思う。ま、収入も支出も同時に少なかったということだろう。

転職して、生活が一転してしまったような気がする。

収入が、増えた分、支出も格段に増えた。

金銭感覚自体が、変わってしまったと思う。

気が付いてみれば、収入 = 支出になってしまっているではないか・・・

年齢を考えても、今が貯金のできる時だと思うし、何より、独身であるからこそ、自分の自由に使えるのである。

タイでコンドミニアムが欲しいという気持ちもあるし、ある程度の年齢になったら独立して、小さくても良いから何かやりたいという希望もある。

現地採用の金銭感覚からすれば、高額給料をもらっている今のうちに、貯金したいと思い始めてきた。ダムさんが不在の間、寂しさ紛らわし料金が高つくのは、ダムさんの不在のせいにしていただけだし、そんなくならない理由で、自分の浪費を納得させていたのかもしれない。

しかし、寂しさ紛らわし料金は、すごく、馬鹿げたお金であると、最近思い始めてきたのである。「お金をドブに捨てる。」という言葉があるが、それに近い感情が湧いてきてしまったのである。

何度か日記にも書いてきたかもしれないが、とりたてて、節約生活をしようとは思わない。

せっかくタイにいるのだから、好きなことをしたいし、日本では、高くても尻込みしてしまうようなレジャー（ゴルフやダイビングなど）は、積極的にやっていきたい。

しかし、意味の無いお金は徐々に節約していかなければならないと思う。

手始めは、今、いったい月にいくら使っているのかを計算しようと思う。

毎日、使った金額を細かく付けるのは、とても無理だから、ATMから引き出した金額だけでも手帳に付けておこうと思う。

車をキャッシュで買ったので、貯金が一気に目減りしたことで思うのは、海外で生活していると、やはりある程度のゆとりのお金（いつ、どうにでも使える）は、大切だと思う。

タイに行くに行った時に、誰もが口走った「将来、どうするの？」の質問に対して、「タイという国で、きちんと働いていけば、これだけのことができる。」という証明と自分自身への自信にもつながっていくと思う。

-



ダムさんの帰宅

2005,1,25



今週、ダムさんがパタヤに来ている。

何の休暇かは分からないが、5日間の休暇である。

何故に、わざわざ土日を外して休みなのかは分からないが、今週末は、僕が土日休みなのに、わざわざ土日はずしての5連休は、残念である。

だって、平日の平均的な僕の生活パターンとしては、朝の6時前に起床し、6時半には家を出る。片道50キロの運転をし、夕方、家に到着するのは、6時半頃。

平日は、バタン・キューの生活である。

仕事よりも、往復の運転（合計100キロが堪えていると思う）

疲れと、年齢を感じるのは、平日は、毎日スニーにご出勤するエネルギーもなく、一人寝をするのも嫌だから、電話ですぐに呼べる相手に限って、長く付き合っている。

わざわざスニーに行って、選ぶという気力はもはや無い。

で、そんな平日限定で来ているダムさんだが、朝も、一緒に起きてくれて、出勤までの準備を手伝ってくれたりすると、嬉しいものである。

僕が出勤してから再び、深い眠りにはいるのだろうか、朝、一緒に起きてくれるだけでも嬉しいものである。



日本人の海外生活能力

2005,1,24



日本という国、日本人は、インターナショナルとか国際的という言葉とは程遠い民族なんだな——とつくづく感じる。

もちろん、個人によって違うということはある。

タイのことを住みやすい国であるという日本人は多い。

確かに、タイでは、日本人が居食住に関して、心配することは少ないかもしれない。

ちなみに、我が社の駐在員の住居は、日本人居住者99%のサービスアパートメントである。そのサービスアパートは、1%は、白人が一人いるのみで、後は全員日本人。

東京よりも日本人の割合が多いじゃないだろうか？

食に関しては、日本料理屋が山のようにあり、タイ料理を全く食べれなくとも、生活は十分に可能である。

とある知り合いの駐在員の奥さん(20代)が、タイに遊びに来ている。

ご主人が仕事に出かけている間、なんと、1日中、ホテルから1歩も出ない生活が続いているのである。朝も昼もホテルで食事を取るが、インスタントラーメンで済ましているというのである。

「言葉が分からない」「迷子になったら困る」という気持ちも分からないではないが、自分からすると不思議である。

1ヶ月に及ぶ長期滞在であるが、近所のデパートに出向く意外は、どこにも行かない生活が続いている。日本人、海外旅行によく出かけていると言っても、パッケージツアーで、空港まで迎えに来てもらって、バスですべて送迎してもらい、日本語ガイド付きで……そんな、旅行なのかもしれない。

すべてが準備されてこそ、旅行が可能であるというのは、安全を考えてのことであろう。

タイの日本社会は、不思議である。

インターナショナルというよりも、違う土地で(言葉、気候、文化等)生きていく(生活していく)能力がなくても、ちゃんと生活できるのである。

会社に行けば、トップであるので、言葉、文化、思考回路が全く分からなくても、何とかなるし、運転手が、ドアツードアで連れて行ってくれる。

言葉を交わさなくても、毎朝同じ時間に、同じ場所に、同じ運転手が迎えに来てくれ、黙って乗れば、会社まで連れて行ってくれるのである。

予約無しでは、一人で、ホテルにチェックインすることもできない人間でも、海外で生活ができるというのも非常に不思議である。

日本人の奥様のタイでの生活を見て、いろんなことを感じました。

一人の力ではないにしろ、好きでタイに来て、自分の力でタイで生活している仲間を見渡したとき、生きていくたくましさ、図々しさ、度胸の良さ……といったものを感じずにはいられない。



タイ人社員を解雇する その3

2005,1,22



事は、15分で終了した。

人事・総務担当者は、すべては、法律に基づいていることを強調して説明。

こういう時、タイ人は、「問題ない。」を連発する。

「問題ない。」の連発を聞いて、「問題が無いわけがないじゃん。」と思わずにはいられない。

そういう面は、本音と建前の世界が似ているような気がする。

実は、問題の人物は、以前にも同じ解雇処分を受けたことがあるのである。

採用後に分かって、どうしようもならないし、特に、試用期間後に判明しても、どうしようもない。

さすがに、8社目の彼は、慣れているらしく、「職歴証明書を欲しい。」と主張。

すぐに、いつからいつまで勤務したのかという証明書の発行を主張し、後で送るという人事担当者を振り切り、「待っているから、準備して欲しい。」と主張。

その直後、予想通りに、グループの子分が辞めさせて欲しいと言ってきた。

予想していたことだが、嫌がらせのつもりなのかかもしれない。

しかし、僕から言わせれば、好都合であり、仕事が本格的に始まる前に、膿はすべて出し切ったほうが良いと思った。

もちろん、本人が辞めるというので、会社は認めるしかないと言えば、そうである。

本来ならば、何日前に辞めるという規定はあるものの、あっさりと、「明日から来なくても良い。」と言うしかないのである。

また、その方が、スッキリして良いのである。

特に、会社が動いているわけではないから、引継ぎ等も必要ないから、簡単である。

別に、グループそのものを潰そうと思っているわけではないが、問題の芽は、早く摘まなければならない。

ボスを解雇したことで、波紋は広がっている。

来週にでも、「私も辞めます。」が続くのであろうか？

しかし、良いと思う。今なら、間に合うのだから・・・逆を言えば、今だから、良いのである。

本当に、難儀なことに巻き込まれてしまっている自分が、嫌じゃーーーー。

僕、関係ないんだけどねーーーー。



タイ人社員を解雇する その2

2005,1,21



新しい会社というのは、色々な問題を抱えるものである。

特に、新しい会社の場合、人事、労務に苦労する。

退職者の補充を徐々にするというのではなく、一度に大量に採用してしまうからである。

日本人が、短時間の面接時間で日本人を採用するというのも大変なことであると思うが、(タイ人)外国人を採用するとなるとなおさらである。

ちょっと、日本語を話す、面接時にとっても丁寧な受け答えをする・・・採用しちゃうのである。

自分の会社のスタッフだけでなく、アウトソーシングの車の運転手や掃除婦・・・会社を支える人たちは、たくさんいる。

少人数でやっているうちは良いが、組織化してくれば、おのずと問題が発生する。

「腐ったみかんは・・・」理論ではないが、一人曲者がいると、周りの者、全体に悪影響を及ぼしてしまう。

良いこと・良い習慣が伝わるのは、時間がかかるが、悪い習慣、悪い考え方が伝わるのは、あっという間であることを実感している。

もう1つ感じることは、日本でもよく言われることだが、「3人集まれば、派閥・グループができる。」と言われるが、タイもその傾向が顕著のようである。

グループ化することは、全く問題ないが、そのグループのボスが、まともな考え方で無い場合、そのグループ所属者全体に悪い菌が移ってしまう。

とある本に書いてあったが、タイで働く日本人は、タイ人からみれば、「エイリアン」なのである。一見、文化的、宗教的にも近いような気がするし、日本人に対して（外国人に対して）友好的だと感じる。しかし、腹の中は・・・分らないのである。

正月前後から、タイ人従業員で悩まされてきた。

言葉の問題で、タイ語が全く分からなければ、悩む必要もなかったのかもしれない。

責任者に相談しようと思っても、個人的好き嫌いであると解釈されるのではないかとかいう思いも頭をよぎった。

但し、僕から見て、普通の感覚のタイ人が、言い出してくれて、踏ん切りがついたのである。

グループのリーダーを追放した場合、下の物はどうなるのか？分からない。

ひょっとしたら、自ら辞めていくのかもしれないし、考え方を改めるかもしれない。

いずれにせよ、一番、関与したくなかった部分に、入り込んでしまったことは事実である。



タイ人社員を解雇する その1

2005,1,20



解雇という言葉を知ると、「首」、「リストラ」という言葉が浮かぶ。

今週の土曜日に、会社のタイ人社員の1人に解雇を言い渡すことになった。

その準備で大変である。

今の会社に移動して、格段に仕事の範囲が増えてること実感する。

総務担当者と協力して、僕が、中心に動かなければならない。

内容が内容だけに、言葉は交わさずに、手紙にて、着々と下準備を進めているのであり。

解雇される人間は、日本に行っていた頃からの悩みの人物だった。

いや、僕の中では、もっと前から、「絶対、こいつは怪しい(おかしい)。 」と思っていた人物である。

とにかく、「金・金・金」で、一人ならともかく、周りを巻き込むものだから、事が大げさになる。立ち上げの会社だから、決まりがきちんとしていなかったというのはあるが、まさに、いいたい放題・要求し放題だったのである。

「自分の金は、一円も出さずに、会社の金には、遠慮なし。」

要求が、受け入れられるもんだから、下のものは、その人物を慕っていく。

まさに、新興宗教のような怖さである。

僕の考えと、まともなタイ人スタッフの一部の考え方が一致した為、最高責任者に相談をし、解雇の話は、トントン拍子に進んでいった。

悩んだことは、解雇に当たっての補償金である。

タイの場合、試用期間中の120日間（正確には、120日を越えないとあるので、119日）の間の解雇は、会社側が一方的に解雇を通達することで可能である。補償金も全く必要は無い。

逆を言えば、120日を越えて、正社員になれば、さまざまな権利が発生し、解雇する場合もやっかいである。

法律に則れば、会社に対して、重大な損害を与えた場合や、武器を持ち込んだり、犯罪を犯した場合は、補償金の支払い無しで即刻解雇が可能である。

しかし、漠然とした理由（こいつがいると、周りに悪影響を与えとか、輪を乱す）等の理由・・・の場合は、面倒である。

法律に従うと、30日前に辞めてもらうという通告をするか、30日分の給料を保証する。それに加えて、勤務年数に応じて、補償金を払うとなっている。

但し、現状は、どこの会社も1か月分払うから、さよなら・・・というのが、現実のようである。

社長と二人で、1か月分にするか、2ヶ月分にするか頭を痛める。

結果、後で、もめるよりも2か月分支払って、すっきりさせたほうがよいという判断。

明日、タイ人スタッフを保証人として立ち合わせ、解雇宣告をしなければならない。

嫌な仕事である。

逆恨みも嫌である。

だから、タイ人スタッフが1ヶ月で良いという意見、周りの友人の意見を振り切って、最高責任者に2ヶ月分を用意して欲しいと伝えた。

お金で決着を付けたほうが楽だと思うからだ。
 日本的な逃げの感覚と言われても仕方ないし、お金で解決することを良しと思っているわけではないが、とりあえず、自分の身の危険も大切である。
 土曜日に、サインをする、しないに関わらず、彼は会社から去っていく。
 なんか、嫌な仕事だな-----。



気分は、次の正月休み

2005,1,19



こんなに早くから、ソクラーンの旅行予定を立てている。
 会社のカレンダーが出来上がっているので、休みがはっきりしているというのは、非常にありがたい。
 ダムさんが、軍に帰った今、これくらいしか楽しみが無いのかもしれない。
 悩む事無く、去年と同じタオ島を選択した。
 島へ行くと仮定した場合、プーケットやピーピー島といった津波地区は、選択肢から外れる。サムイは物価が高いので、除外。
 サメットは、土日にも行ける場所なので、除外。
 チャーン島とタオ島が候補として残ったのだが、結局は、タオ島に決定。
 シュノーケリングのみでも十分に綺麗な海。
 そして、ダイブショップの親切かつ丁寧さ、ホテルが料金の割には綺麗な事。
 去年、夜の浜辺で、ビールを飲んだことが思い出される・・・星空を見ながら、なんと贅沢な空間だったことか・・・
 こんなことを考えつつ、旅行会社、ダイブショップとやり取りをするのは、非常に楽しいひと時である。
 正月休みが終わったばかりだということに、次の長期休みのことを考えているなんて、どうしようもないですよ（笑）
 ダムさんと潜るタオ島が楽しみである。
 だって、パタヤの海は・・・なんだもん。



寂しい生活の再開

2005,1,18



ダムさんが、遅い正月休みを終え、軍に帰っていった。
 8日から18日と10日間もあったのに関わらず、自分が通常の仕事だった為、ゆっくりと過ごせたとはい難い。
 それでも、ダイビングの免許を取得したので、出所後の楽しみが増えたということだろう。
 それにしても、日本に行っているときは感じなかったが、やはり、タイ生活でのダムさん抜き生活は、寂しく感じる。
 ダムさんが、自分のタイ生活をどれだけ支えてくれているかを身にしみて感じる。
 パタヤの子では、癒されないものがあることを実感するし、「お金で買えないものがある。」をまさに痛感。
 「パタヤでお金が絡まない子は、皆無に等しい。」の裏には、「お金があれば、ゲットするのは、いとも簡単である。」とも言えるが、いくら食べても、食べても心に満たされないものがあることも日本から帰国しての2ヶ月半で身にしてみた。
 旅行者で、年に何回かタイに来て、遊んで帰る人から見ると、毎日スニーに行けて、毎日違うメニューを食すことのできる僕の今の生活を羨ましいと思う人もいるかも知れない。
 しかし、今の自分は、心にポッカリ穴が開いている生活を強制的に強いられているというのが現状である。

まあ、寂しい、寂しいと言い続けても、どうにもなるものでもないもので、また、スニー通いが始まるのかもしれない。

寂しさ埋め合わせ料金は、意外なほどに高い。

せっかくの高額給料も、こんな生活を続けていては、全く意味がない(所得も高いが、浪費もすごい)ということを感じつつも、やはり、誘惑に負けてしまうのである。

事が終わると、食っても心は満たされないという不満足な気持ちが噴出して、逆にストレスが溜まるという繰り返しである。

車のガソリン代と通勤時間を考えると、マジで職場の近くに仮の宿(平日だけの別宅)アパートを借りると言う選択肢は、時間と金の両面から考えても得策のような気がするが、どうも、一人では、気が進まない。

「海外生活を希望する人は、孤独が好きな人じゃないと・・・」「いくら恋人とはいえ、誰かと一緒にいることを嫌う人が、海外向き」ということも良く聞くが、僕は明らかに、「誰かと一緒にじゃないと生活できない症候群」に入る人間だと思う。

今日から、訳が分からない生活(自分の意思とは逆行する生活)が再び始まるかと思うと、頭が痛い。

-



週末の出来事

2005,1,17



週末は、ゴルフにダイビングと、疲れてしまった。

ゴルフは、もちろん、コースに出たわけではなく、練習場だが、普段使わない筋肉を使うスポーツらしいことが判明。

振りかぶるときに、背中が筋肉が、引きつるような感じ。

で、実は、ほとんどボールに当たらなかった。

初回だから・・・とはいっても、ボールに当たらなければ、話にならない。

確かに、何十回も振れば、まぐれで、真っ直ぐに飛ぶ玉もあるが、もう1回、今のように・・・と言われれば、全く出来ないし、偶然を待つしかない。

面白いかどうかと聞かれれば、まだ、分からない・・・としか答えられない。

才能が、無い方が、良いような気がするんだけど・・・

ダムさんのダイビング講習が終わった。先にお金払っているし、最も最短コースで終了するのかなーなーと思っていたら、意外と5日間ぐらっぱちりやっていたようだ。

3日間は、プールと学科、2日間、計4本は、海でダイブ。

日系だと、1日3000パーツ、タイ系だと1日1200パーツという事を書いたばかりだが、実は、日系のとあるダイビングショップと、ダムさんのタイ系ショップが、同じ船に乗り合わせた。

日系のショップは、バンコクに店を構え、週末にパタヤのツアー(といっても、現地集合、現地解散)を組んでいるのは、知っていたが、タイ系会社と、相部屋ならぬ相船だったとは、少々、驚き。

同じ船、同じポイント、同じ昼食で、値段が倍以上差があるというのも不思議だが、日本人の給料と、日系ショップは、偶然かもしれないが、インストラクターとお客が、1対1で付いていた。1対1と言っても、お客が2人につき、インストラクターが2人だったから、偶然だったのかもしれない。

土曜日から、雨が降っているタイランド・・・海も非常に寒く、とても潜る気がしない。

船にのっているだけで、寒いんだもん。

結局、2本、ダイビングできるどころ、1本でのみ。

ダムさんも、寒がっていたが、講習なので、強制的に2本ダイブ。

僕は、ダムさんの講習についていったので、ただの写真をとる係となっていたのである。

ダムさんと、スニーに行ったんだが、やっぱりまずかったらしい。

「あっちこっちから、人の名前を呼ぶなー。」「ダムさんのことを、ユーロ(売り専)の子か?」なんて、目の前で聞くなー。ダムさんの前で、「今日は、何人食ったか?」なんて聞くなー。ダムさんに、大分、怒られましたです・・・。



タイ系と日本系のショップの値段と質は？

2005,1,14



ダムさんのダイビングの学科講習とプール講習を終え、パタヤに帰ってくるという連絡を受けた。多分、問題ないだろう・・・と思って、聞いてもらったのは、ダムさんが、講習に出る船に僕も乗せてもらって、ダイビングができるかどうか？値段はいくらか？聞いてみた。

ダムさんが、予約してくれたタイ系ダイビングショップのダイビングの値段は、なんと、1200バーツ（1日、2ダイブ、昼食付）だった。

日系で頼むと、全く同じコースで3000バーツである。その差、1800バーツ。

価格だけ見ると、なんと日系の高いこと、ぼったくりかーって思うが、そこは、タイランド・・・価格と質が、結構連動している。

あまり安いと、ボートが、とんでもなく古いとか、時間通りに出港しないと酸素ボンベに酸素が入っていないとか・・・色々と考えてしまう。

まあ、考えても始まらないので、とりあえず、日曜日に行ってみる予定。

もし、日系とあまり変わらない、使えるようなら、倍以上も値段が違うので、迷わずタイ系ショップにしよう。

今週末、土曜は、ゴルフ、日曜は、ダイビング・・・なんと、アクティブなことだろう。ゴルフ初体験となり、握り方から教えてもらう予定だが、多分、才能ないと思うけど。とりあえず、やってみよう。



2時間半の通勤

2005,1,13



旅行者としてパタヤのゴーゴーで遊んでいるときは、タイって、夜型だなーって、実感していた。最近、全く逆の感想である。

タイ人は、朝型であると思う。

というか、タイの朝は早いと思う。日本は、朝ごはんは家で食べる人が多いが、タイでは、外で食べるか、買うかのどちらかの人が多いので、朝の市場の賑わい方は、圧倒される。

要するに暑い国なので、夕方まで寝ている生活を選ぶか、朝早く起きて、太陽が昇る前に、仕事に出かけ、涼しい冷房の場所で一日を過ごし、夕方帰る生活を選ぶかどちらかのようなのである。

ちなみに、現在、パタヤから勤務地まで片道45KMの距離を通勤している。

渋滞になる前に、到着するように心がけているので、6時20分には家を出ている。

それでも、日本の冬とは違い、朝、真っ暗闇ということはない。

45KMの道のりだが、40分後には、会社近くの市場でご飯を食べているのである。

朝の空気は気持ちよし、快適であるが、朝の空気の快適さと眠気は全く別物である。

やはり、5時代に起きると言うのは、つらいものである。

もう1時間、遅く起きられる生活だったら、どんなに快適か・・・と思う。

そう考えると、やはり、平日は、会社の近くに住居を構え、週末はパタヤで過ごすという生活スタイルが現実味を帯びてくる。

週末といっても、金曜日の夜に帰り、土曜日、日曜日もパタヤで泊まり、月曜日の朝のみ早起きすれば良いのである。

所詮、1時間の距離なので、気分だけで、パタヤに帰っても良い・・・そんな生活パターンを考えつつある。

1時間の通勤をぶつぶつ言うとバンコク在住者から怒られそうである。

渋滞のバンコク・・・1時間という時間で、どれだけの距離を進めるか？

ダムさんのダイビングの講習は順調のようである。今週中には、すべてのコースを終了するようである。

「バンコクに泊まって来い。」とあって、ホテル代まで渡したのにも関わらず、バンコクからパタヤまでバスで帰ってきて、本日の朝、僕と一緒に6時20分に家を出た。パタヤ、バンコク間を、毎日往復しているのである。

確かに、6時20分に家を出れば、10時の講習スタートには間に合うが、どうも、時間とお金の価値がタイ人と日本人は違うようである。

片道2時間半、往復5時間・・・2日連続でバンコクに用事があれば、日本人なら、間違いなくバンコクに泊まると思うけど・・・確かに、バス代は安いので、一等車に乗ったとしても、100バーツはしない。タイの不思議が、またひとつ増えてしまった。



ハイソ!

2005,1,11



ハイソという言葉が大好きなダムさん。

今日から、ダイビングのオープン・ウオーターのコースを受講しに行くが、ダイビングは「ハイソ」なスポーツらしく、上機嫌である。

確かに、一般のタイ人が、1万バーツ近くも支払って、スポーツをする為のライセンスを取得するとは思えないし、パタヤの1日ダイブ(2本)の3000バーツは、やはり高い娯楽だと思う。

ラン島周辺で潜るって言ったって、ラン島まで20バーツで行けちゃうわけですから(往復40バーツ)、ダイビングの機材と、昼食が付くだけで、3000バーツと言う金額は、高い娯楽としか言いようが無い。

本日から、バンコクに行くので、昨夜はパタヤに泊まらずに、会社の福利厚生秘密の部屋にダムさんと共に泊まった。

秘密の部屋と言うのは大げさだが、会社が借りてくれている部屋がある。個人的には好きではないので、何だかんだ理由をつけては、パタヤが本拠地になっている。

会社の駐在員が宿泊している同じ場所では、やたらと不都合なことも多いというのが一番の理由である。いくら高級な場所でも、なるべく避けたい場所なのである。

この高級部屋にダムさんと呼んだら、大はしゃぎである。

ガラス張りのシャワールームにおしゃれな間接照明を付けて楽しみ・・・確かに、パタヤの部屋の7倍以上の家賃差がある部屋である。

パタヤの部屋だって、日本人が住むに十分な環境のはずである。金額だけ考えたら、豪華・ハイソは予想し易い。

こんな贅沢な、ハイソな思いをさせたら癖になる・・・と思ってしまうが、タイ人は以外に普通に帰れるようである。

まあ、日本人も同じで、たまの旅行で、豪華な部屋に泊まり、普段はうさぎ小屋で生活しているのだから・・・

ダムさんも十分に理解しているのは、この部屋は、会社が金を払っている部屋で、てつの収入で借りれる部屋ではないということも十分に承知しているし、僕の給料の中からの自己負担で「このクラスの部屋を借りてくれ。」とは言わないから、安心である。

あくまでも、ここに泊まれてラッキー的な発想である。

昨日は、ダムさんとゆっくり夕食をとって、ビール飲みながら色んな話できた。

パタヤの部屋を掃除したときに、スニーで遊んでいるという証拠がたくさん出てきてしまったようであるが、少々機嫌を悪くしたものの、寂しいから・・・という理由は、十分に納得してくれているようである。

まあ、寂しいという理由で、週に何度も連れてこなくても良いとは思いますがね(笑)

身体の浮気はするが、心の浮気はしないですよ。

まあ、スニーの子の場合は、心まで奪われることはあり得ない話ですが・・・



ダムさん出所

2005,1,9



ダムさんが出所してきた。

10日間の正月休み。

色々話し合った結果、ダムさんにダイビングのライセンスを取りに行かせることにした。

パタヤで受講すると料金が倍になってしまうので、バンコクのショップで申し込み。

但し、海洋実習は、パタヤの海で行うから、1日か2日だけ、バンコクで受講するだけで、料金が半額というのも、驚きである。

これで、共通した趣味を持って、余暇を過ごせるのである。

バンコクでは、あまり考えなかったが、地方で生活すると、余暇（休日）の過ごし方も考えなければならない。

街が狭いので、ショッピングと言っても、すぐに終わるし、生活用品は、ビックCやロータスに行けば、あっという間に買えちゃうわけですから・・・

二人で、共通の趣味を持って、休日を過ごす・・・すばらしいと思う。

バンコクと違って、日本人友人も少ないので、やはり、休日の過ごし方は、重要である。

久々にあって、色んな話をした。

軍の敷地内で会うのと、やはり違っており、周囲を気にすることなく過ごせるのがありがたい。

何故だか分からないが、熟睡できたような気がする。

そういえば、スニーっ子を連れて帰ったときは、財布や鍵を隠したり、余計な気を使わなければならない。

やっぱり、彼氏はいいなーーーーって感じている。



その後の津波

2005,1,8



津波から10日以上経っているが、未だに南部は混乱の様子。

新聞の1面トップも、相変わらず、このニュース。

26日の最初の頃は、被害の状況と混乱の状況、2~3日後は、芸能人、政治家等の有名人も犠牲者に含まれていた件・・・その後、支援の様子、寄付関係と来て、真珠や珊瑚といった自然界の被害の模様まで伝えられる状況である。

今日の1面には、旅行者のお化けをみたという運転手の記事にまで発展している。

しかし、未だに、多くの行方不明者がいるということで、最終的な被害者数は、確定されていないようである。

遺体の確認もDNA鑑定になるというから、時間がかかるのだろう。

時間が経てば経つほどに、被害が拡大していく・・・恐るべし災害。

携帯電話に、災害の為に寄付コールなんていうのも、メールで入ってくる。

なんでも、指定の番号にかけると、1回9パーツの寄付となるらしい。

普段、評判が良くない、公的社会保険も、新聞に広告を出し、死亡した場合は、1万7000パーツの葬式代を出すとか、8年間、遺族に60%の給料保障をすとかの宣伝？をしている。面白いのは、事故の際に、就業中であったのかどうかで保障が違うのである。ホテルに勤めていたり、レストランに勤務中に津波に巻き込まれた・・・というのと、観光中で遊びに来ている時に巻き込まれたという状況では、保障内容・金額が違うらしい。

ちなみに、社会保険といえば、給料の5%もの金額を徴収し、会社も5%拠出しているにも関わらず、タイ人ですら、社会保険指定の病院を敬遠する向きがある。

先に、自分で登録の病院を指定しておき、病気や疾病になったときは、その病院へかかれば無料ということになる。

但し、指定の病院へは、政府からの補助金が前もって入るので、病院側としては、病院に来ていただかない方が、ベストこの上ないのである。

日本のような、診療報酬制度も、余計な検査や、薬の過剰投与などの問題も発生しうる可能性もあるが、タイのように一人いくらで、年間で定額が政府から支払われている場合は、患者に来て欲しくない、又は、安い診察（薬）で済ませるといのは、分かりやすいことであり、一般の会社で働いている人間は、社会保険を避け、民間の保険を使いたがるというもうなずける事である。

しかし、日本では当たり前の社会保障制度であるが、ここタイランドで、存在するということが、す

ばらしいことであると思う。

ちなみに、社会保障制度自体が素晴らしいものだと個人的には思わない。

タイに住んで、ちょっと思うのは、人間、皆平等ということは有り得ないことなのだ。

平等にすれば、どこかで矛盾がでるし、それを無理やり社会保障制度で補おうとしたって、日本のように、借金まぎれの国になってしまうのであろうとふと感じた。

社会保障制度が整えば、先進国の象徴のような風潮もあるのだろうが、本当にそうなのか？疑問に思う場合もある。



正月休み

2005,1,5



あっという間の1週間だった。

いつもの場所で、いつもの遊びをしたという感じで、正月休みという特別な感じはなかったようである。但し、通常の土日と比べて、休みの期間が長かったというだけであろう。

スニーに通い始めて、2ヶ月が経つので、特別感動も無く、だらだらと休みを過ごしたというのが正直なところかもしれないが、最終日2日前に、大ヒット大当たり！

友人と分け合って、美味しくいただいたのである。

「美味しいから、食っとけー。」「てなもんである。

恋愛感情なんて、最初からあるわけでもなく、擬似恋愛の期待も全く起きないというのは、スニーに染まって、それなりの遊びを覚えたのかもしれない。

美味しく頂き、ご馳走様でした。それ以上、深入りすると、面倒なことが待っているから。

相手も、餓鬼の割には、上手だから、こちらも、その上を行かないと駄目かもしれない。

但し、モンコーン君だけは、騙されてもいいかなーって思ってしまう。

いつも、スニーの入り口で、スヌーカーやっているから、いつでも会えるし、深入りしない程度に深く付き合っちゃおうって感じです。

気になることは、僕が目を付けてから、3日間の間、洋服がパンツを含めて、一切着替えていない状況。でも、特別悪臭もしないし、なんだか、不思議な子です。

変わったことをしたと言えば、ダイビングを2日間やったということぐらいだろうか？

予想通り、お世辞にも海が綺麗であったとは言えないし、視界が良かったとも言えない。

特別な南国らしい海中風景であったとはお世辞にもいえなかった。

それに加えて、パタヤ料金なのか、非常にダイビングの値段が高いように思った。

タオ島の丁度、2倍の料金である。

まあ、観光地料金と思えば良いが、海の綺麗さ等を考えると、迷ってしまう料金である。

それでも、休日に、ふらっと起きて、バイクでショップまで行って、潜れるというのは、非常に魅力的かもしれない。

月に1回ぐらいは、潜りたいとは思いますが、感動を求めるなら、最低、ラヨン県辺りまで足を伸ばさなければいけないかもしれない。

スニーの年明けはすごかった。

花火と爆竹で、明け暮れた正月だった。

津波の関係で、花火は、中止と聞いていたが、そんな話は無かったかのような派手さ。

スニーの狭いソイでやるもんだから、道中、煙だらけ。

人のバイクの横でやるもんだから、ノンに、「バイクを別の場所に停めて来い。」というくらいの派手さ。需要と供給とはよく言ったもので、31日の夜は、食べ物屋台が少なく、花火売り、爆竹売りだらけ・・・そんなすごい、年明けだった。

ちなみに、花火が突然倒れて、とある店の中を直撃、爆発なんて騒ぎも起こった。

マジで死傷者が出たんじゃないのかなーって思ったけど、意外と大丈夫だったようです。

日本なら、大問題となりそうなもんだが、タイランドでは、OKみたい。

あっきーと二人で、「タイって、まだまだ、危ない国だよな。」って新年から語り合わなければいけない状況。「タイを知れば知るほどに、危ない国であると思う。」



年末の日記に書いたかもしれないが、年末年始の安みの間は、「夜の遊び以外のこともやりたい。」という気持ちもあったのである。

昼間の遊び = 海かなーとも思うが、観光地も回ってみたいという気持ちもあったが、一応、正月休みの期間に、2箇所、見学をした。

昨年だったと思うが、できたばかりの水族館（アンダー・ワールドとかいったっけな？）

水槽の周りの円柱のトンネルを通り抜ける・・・あらゆる角度からお魚さんが見えるのは良いが、あまりの短さに・・・

日本で水族館に行ったというのは、大分昔の話で、記憶に薄いですが、少なくとも、あんなに一瞬で終わるような感じではなく、2時間は、優に観賞できる広さであったように思う。

タイのアンダーワールド・・・40分もあれば、十分な時間。

入場料は、タイ人180バーツ、外国人が360バーツという差別価格。

差別価格がある場所では、数字もタイ数字で書いてあるので、一般の外国人は、差別価格が存在するとは思ってもよまない。

しかし、タイ文字が読める人間にとっては、複雑な気分になってしまうのである。

差別価格に関して、「外国人は、税金を払っていないから」と言う人がいたら、声を大にして「私は、タイに、いっぱい税金を払っている。」と反論したいし、「途上国だから」という意見に関しては、「途上国は、脱しているから、そろそろ、外人から金を取るより、タイ人のお金持ち・悪い金を稼いでいる人から取るようにしなさい。」と反論はしたいし、「それ以外にも、沢山スニーの子にタンブンをしてるんじゃーい」が、タイランド、こんなもんでしょう。

ノーンヌットという公園は、かなり良かった。

300バーツで、公園とショーも鑑賞できるのだが、ショーも、タイダンスショーの後に、象のショーもあり、結構見ごたえ十分だった。

ここは、休日にダムさんを連れて来たい場所である。

海辺に飽きたら、こういう場所で、のんびりした時間を過ごしたいものである。

やはり、バンコクを外れると、自然がいっぱいだし、車を30分も走らせれば、観光地もいっぱいあることも判明した。

マニアックな場所も含めて、昼のパタヤをもっと知りたいと思う。



タイも確実に変わりつつあるなーとを感じる。

正月の飲酒運転による事故・・・毎年、ソンクラ と正月は、飲酒運転を止めましょう的なキャンペーンをする。

「マオ・マイ・カップ」というのが標語になっており、「酔ったら、運転するな」という意味である。日本だと「飲んだら、運転しない」だが、タイの場合は、「酔ったら、運転しない」と、幾分緩やかなのかなーと思う。

で、本当に、正月から飲酒運転の検問をやっていたのである。

これには、びっくり。しかも、ちゃんと機械もあり、息を吹きかけて、測定しているではないか。

年末年始だけだと良いが、スニーで食事をし、軽く飲んで帰るといった習慣が日常化している生活で、ちょっとまずいかなーとも思う。

いくらタイとはいえ、飲酒で捕まるのは、まずいと思う。

スニーで飲んでいる場合、酔っ払ったら、店員が送ってくれるので問題ない。

しかし、ほろ酔いの場合で検問に捕まったときが、問題なのかもしれない。

もう1つ厳しくなったといえば、IDカードを持たないもののホテル連れ込みが難しくなっているらしい。

自分は、アパート住まいなので、問題ないが、ホテルに宿泊の旅行者からの苦情・悩みが相次いだ。

わざわざ昼間に呼んだけど、絶対駄目だったとか、という話も・・・

スニー界隈をうろろしている子達は、IDカード所持率は異常に低いと思うし、仮に持っていたとしても、ホテルがOKとする規定の年齢に達しているとは思えず、結局は、小汚いホテルでやるしかないのである。

確かに、警察の手入れの及ばないホテルも山のように存在するが、そういう場所で、いくらやるだけとはいえ、やりたくないものである。部屋のシーツやバスタオルの清潔度をうたがわざる得ない。年に何度も訪れる方に、「アパートを見せて」と言われたので、見せてあげると「これで、十分じゃん。」と言って、早速、手続きを始めるようである。

まあ、ホテル滞在で、1泊1500パーツ程度払って、不自由な思いをするのなら、アパートのほうが、断然安いし、荷物は置いておけるし、何より、連れ込みの際の心配は不要・・・ですから。

夜の店も1時には、店は閉まるようである。

スニーあたりでは、1時に閉まるというよりも、1時に電気を消すというだけで、電気を消すことと、営業してるかどうかは別問題のようで、それも滑稽な感じはするが、いろんな意味で、規制が厳しくなってきたのかなーという感じもする。

規制が厳しくなればなるほど、面白みのない国になっていく気もするが・・・また、正月のパタヤの状況を見て、やっぱり無法地帯で、危険な場所なのかもしれないとも思った。

軍の正月

2005,1,1 

ダムさんに会いに行ってきた。

彼は、本当に運の悪い奴だと思う。

正月休み、軍の内部は、ガラガラである。

たまたま、土日の帰省と重なっていたのかもしれないが、いつもの活気は一切なし。

事情を聞くと、単なる留守番役らしい。

任命されたというのは、聞こえは良いが、他の人は、全員正月休暇で帰って、ダムさんのみが一人帰れないというのは、運が悪いというか、よほどの悪運としか思えない。

上官一人と、ダムさんだけが残って、事務所の留守番というのが、ダムさんの任務らしい。

1日中、TVを見ていて、サバーイらしいが、居るだけで何もすることがないというのも、苦痛のような気がするが、タイ人にとっては、サバーイこの上ないことである。

差し入れのお菓子は、そのまま上官に差し出して、その後は、僕と食事に行った。

徐々に色々話せて、4月に出てきた後のこととか、就職のこととか、色々話した。

言われてみれば、軍隊とはいえ、職歴は、1年間の公務員の経歴となったわけである。

まあ、会社側からすれば、軍隊あがりというのは、我慢強い、上司の命令に従う、健康体である・・・等の発想があるが、タイでは、どう評価されているのだろうか？

いずれにせよ、早く、出所していただかないと、寂しさ癒し代が高くついて仕方が無い。

あと、4ヶ月ということである。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

2月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

車故障

2005,2,28

車が故障した。

まだ、1万キロも走っていない車である。

あまりの粗末さに驚きを隠せない。

5000キロの定期点検の時に、オイル漏れしているかもしれないという指摘があった。

その時は、「かもしれない」という事で、きれいにしておくから、2～3日後に再チェックに来いという内容であったため、あまり事の重大さを認識していなかった。

仕事の忙しさもあって、2週間たって同じサービスセンターに行って、車の裏面を見たら驚きである・・・なんか分からないが、2箇所から水（油）が漏れているのである。

事の重大さに気づいたが、「今日は、土曜日で車がいっぱいだから・・・」と言う理由で、月曜日に再度行くことになった。

日本に居た頃は・・・と、日本と比べても、道路事情も違うし、あらゆる面が違うので、比較対象にするのは、難しい。

日本は、車検制度もあるし・・・しかし、1万キロに満たない車が、修理に入るというのは、本当に驚きであると同時に、ショックを隠しきれない。

だって、値段を考えれば、日本と同じ（近い）値段を出しているわけで、もちろん、日本のメーカーの車を買っているわけである。

3年保障又は10万キロ保障となっているので、多分、修理費用は負担しなくても良いはずである。

しかし、そんな問題ではなく、自分の命を預ける足に大きな不安があるというのは、動揺していると言っても過言ではない。



忙しい日々が続いている。
 体調、気力、精神共に良くない。
 それでも、田舎の人々の優しさでほっとできる瞬間を実感している。
 近所の洗濯屋のおばさんが、大卒であることを知り、タイ語を勉強している。
 雑貨屋兼なので、コーラを飲みながら勉強しているが、終わってから100バーツ渡して、ありがとうという、「何のお金？」って逆に聞かれる。
 「授業料」というと「要らないよー」っていうから、無理やり置いてきたら、バイクで追っかけてきた。
 次からは、物で渡すようにしているが、物というのは、買ってこななければいけないので、結構面倒くさい。市場で、一番高い果物を買って渡しているが、100バーツを目安に購入しようとする、大変である。(重い)

昨日、鍵を部屋に置いたまま外出してしまった。
 気が付いたときは、ロックした後である。
 近所の工事現場のお兄ちゃんを捕まえて、鍵を壊してもらった。
 チップを渡そうとしたが、物が良いかなーと思って、果物とソーセージを購入して戻ってきて、「さっきは、ご苦労かけました。」と渡すと、びっくりした様子で、ワイをして受け取った。すごく、すがすがしい気分だった。
 タイランドって、いい国じゃんって・・・思った。



先週の日曜日の話になるが、ゴルフコースで初めてゴルフというものを体験した。
 正直、暑い国で、最もやりたくないスポーツの1つである。
 しかし、タイの日本人社会で生きていく以上、お付き合い程度は、必須のスポーツである。
 とりあえず、練習場に2回行った程度で、ドライバーとかアイアンとかいう言葉も知らないままのコースデビュー。
 ルールは、穴に入れるという事と、少ない打数で入れたものが勝つというくらいしか知らないままの体験。
 当然の事ながら、スコアは、点数計算不能の数。
 キャディーの書いてくれたスコアは、180くらいを書いてくれたが、空振りを合わせると、とてもそんな数ではないと思う。
 それでも、4時間半で18ホールを回った。

運転手が、会社の庭の水撒きする時の、麦藁帽子を借りて、長袖のシャツを着て、日焼け止めを塗りたくり、完全防備にて、ゴルフコースに登場。
 キャディーが、指を指さんばかりの感じで笑っている。
 どうも、麦藁帽子がおかしいらしい。
 確かに、後で運転手に値段を確認すると、20バーツだそうだ。
 ゴルフ=金持ちのスポーツという意味合いがあるらしく、周りを見渡せば、ビシッとスポーティーに着こんでプレイしている。
 よく、「道具から・・・」なんて言葉があるが、なるほど、姿、格好は大切らしい。
 タイランドで、1日千バーツ以上もする遊びなんだから、もうちょっとハイソな装いをしなければいけなかったようである。

正直、あんまり面白いとは思わなかったし、何より金がかかるスポーツである。
 自分の好きな事・・・例えば、ダイビングとかで贅沢に金を使うのは良いが、お付き合い程度の気持ちでの出費としては、痛い金額である。
 ちなみに、相場であるが、プレイ料金が1500バーツ前後(休日料金)にキャディーのチップが200バーツ前後、その他は、飲食代である。
 さすがに、日本人だらけのゴルフ場・・・レストランは、日本食屋であった。

その分、お値段は、タイ飯よりも高くなる。
日本の相場は知らないが、日本からの旅行者、日本の金額で給料をもらっている駐在員は、なんでもない金額かも知れないが、現地採用の身分じゃ、ちと、痛い出費である。
うーーん、金持ちのスポーツでござる。

たくましく生活する

2005,2,15



何だかたくましく生活しているような気がする。
さすがに、田舎のアパートである。
しかも、新築ということは、不具合がたくさん発生するのである。
家に帰ったら、水浸しであった。
雨が降ったため、雨漏りしたようである。
ベットまですべてびしょびしょ。幸いにも、電化製品は、雨漏りの箇所とは、位置がズレていたもので、セーフ。
すぐに、洗濯し、ベットの位置を変更・・・大家に訴えると、他の部屋も同様だったらしい。僕の部屋は、鍵がかかっていて入れないので、そのままの状態だったらしい。
大家さんが工事にミスがあって、修理したことを一生懸命伝えて、申し訳ないと言ってくれたが、今回は、仕方ないとして、次に雨が降ったときが、問題である。
果たして、本当に直ったのかどうなのか？
自分にできることは、雨漏り箇所の下に物を置かない配置の工夫をするのみである。

バンコク生活の時は無かったが、突然、水が出ないことが頻繁に起こる。
水圧が弱いというより、いきなり断水になるのである。
水の元栓を誰かが間違っただけののかなーーと思いきや、そうではなく供給元がおかしいらしい。
水浴び中に、何度か突然水が止まる経験をする、自分で工夫せざる得ない。
大きなバケツを購入して、いつも水を貯めておくことにした。
最悪、体中、泡だらけの状態でも、なんとか出てこれるだけの水は確保した。
仮に、トイレで用を足したとして、水が流れない時も、これでOKである。
考えてみれば、田舎の方に行けば、まだまだ井戸水、雨水が主流の場合も多い。
水道栓をひねれば水が出てくるというのは、日本人からすると当たり前のことだが、日本の常識は、タイの常識ではないのである。

生活面に関して、いらいらすることは無くなった。
ちょっと前の自分なら、「なんでだーー。」って大騒ぎして、責任者を怒鳴りつけてたかもしれない。
「びしょびしょになった。どうしてくれるんだーー。」ぐらいは、言っていたと思う。今は、自分から防御を考えられるようになった。
怒ったって、怒鳴ったって、濡れてしまったものは、洗うしかない。
工事したっていうけど、半分も信用していないから、濡れる可能性のある位置には、何も置かない方が、懸命である。
気が長くなったというか、工夫するようになったというか・・・自分の中の何かが変わってきている気がした。

夜、部屋から見渡す景色は、バンコクの景色とは全く違う。
久しぶりに星を見た気もした。
朝の空気も、小学生の時に体験したキャンプを思い出すような空気である。
ロータスもビックC - も無い、コンビにも無い。そんな町で生活している自分が妙に不思議である。パタヤの部屋は、解約していないので、パタヤに帰ろうと思えば、いつでも帰ることが可能なのだが、不思議と毎日、田舎の村に泊まってしまう。
不思議なもんである。



急に忙しい?

2005,2,14



急に忙しくなってきた。
 予想通り、引っ越しておいて良かったと心底思う。
 結局は、引越してから、一度もパタヤに帰らず、田舎でのんびり暮らしている。
 とは言っても、飲み屋、カラオケ屋があるので、飲み歩いてしまうが、こっちの業界とは、さっぱり無縁の状態である。
 こんな田舎じゃ、金を使う場所もねーやーって思っていたけど、カラオケなんか行くと都市部と同じ料金である。
 静かでないやーって思うけど、丁度、建設中の現場の人たちが、酒を飲みながら大声で歌っている声が丸聞こえである。
 建設中の壁も無いビル?で寝泊りしているから、声が丸聞こえなのは、当たり前である。
 新しいアパートにも関わらず、入居者が増える気配は全くない。
 田舎のしかも、中心地からも外れているので、足が無い人間が生活するのは不可能に近いのかもしれない。
 人が住み始めれば、屋台やお店もでるのだろうが、それまでは幽霊屋敷のようなものである。僕の住んでいるフロアーには、僕しか住んでいないようで、廊下も真っ暗である(節電)鍵を開けて、電気を付けるまではちょっと怖い気もするが.....



タウンハウス

2005,2,13



ムーバーンという言葉をよく聞く。
 直訳すれば、集合住宅とでも言うかな?
 タイの場合、田舎(とは限らないが.....)の1画を開拓して、ムーバーンを作る。
 1階建て又は2階建てのタウンハウスと1軒屋がミックスされている場合が多い。
 タウンハウスと言っても、玄関に駐車場があり、リビング、寝室2室、台所、トイレという間取りが一般的である。
 ダムさんが、5日間の休みで、パタヤに来て、そこから田舎のアパートに連れて行った。
 自分自身も、村の周辺に何があるのか知らなかったから、偵察を兼ねて、村の周辺をドライブしたのである。
 そしたら、そこら中に、ムーバーンが点在するのが分かったのである。
 しかも、建設途中が多く、まさに、発展・開発の真只中にあるんだなやーと実感。
 外国人は土地が買えないので、このような土地付タウンハウスを買おうとしたら、タイ人名義になってしまうので、今の所、購入しようとは思わない。
 但し、情報として、アパートと同じぐらいの料金(3000バーツぐらい)で借りることが可能という情報を得たので、寄ったのである。
 驚くことに、料金の相場であるが、タウンハウス形式で60万バーツ前後、1軒屋で120万バーツ前後の値段なのである。
 なやーんと、冗談抜きで、1500CCクラスの新車とタウンハウスの値段がほぼ同じなのである。
 パンフレットには、前金と月々のローン支払い例が書かれていた。
 予約金数千バーツ、5万バーツ.....これが最初のお金である。
 あとは、25年ローンで月々3000バーツ前後の返済である。
 これを見て、ピンときた。
 2000バーツ台のアパート(今のアパート)に人が入らない訳である。
 この地区(村)には、平屋建ての1000バーツ台の家賃のアパートが山ほどあり、エアコン付の3000バーツ以上のアパートは、極端に少ない。
 仮に、月々に3000バーツ払えるくらいの人であれば、タウンハウスを買って、月々ローンを返済した方が良いのである。
 アパート代(賃貸に)3000バーツ以上払えるレベルの人であれば、タウンハウスを購入した方が、はるかに広くてゆとりのある生活ができるんだらうと.....
 アパートと言えば、所詮一部屋である。確かに、色んな意味で管理してもらえるから楽である。しかし、

車1台と同じ値段で、このスペースが得られるならば・・・魅力的であるとはっきり言える。

やっぱり引っ越した

2005,2,7



引越しが終了した。

何事も一人でやるのは、大変である。

アパート探し、契約、部屋の必需品の買出し・・・結局、丸1日かかって終了した。

すごく気に入っている。

何と言っても、起床時間が6時50分というのは、なんともありがたい。

いつもなら、すっとばして運転している時間に起床できるのである。

いよいよ、田舎暮らしだなーと思うのは、セブンイレブンが無いこと、ロータスやビックCといった大型スーパーはもちろん無い。

あるのは、市場、よろずや、食堂、屋台である。

しかし、電化製品店、床屋、洗濯屋、雑貨店など、生活に困ることは無い。

昨日、一番困ったことは洗濯屋である。

洗濯機は、いわゆるコインランドリーがあり20Bでできる。

しかし、アイロンがけまでしてくれる店が無い。

実際にはあるが、1着いくらの計算で、月決めして70枚500パーツ(パタヤの料金)の店がないのである。

仕方なく交渉の末、70着600パーツで折り合いがついた。

洗濯屋ではなく、雑貨屋でお願いしたが、腕前は???

しかし、自分ではアイロンがけまでできないし、これで妥協するしかない。

アパートは、前に見たのよりも、もっと安くて良いのを見つけた。

まさに、新築物件である。

電気のコンセントに、ビニールが被せてあるから、本当の新築。

しかし、4部屋程度しか埋まっていない為、ちょっと怖い。

人が少ないので、幽霊屋敷の雰囲気もある。

水シャワー、エアコン無し、警備員なし。

タイ人になったなーと感じるのは、温水シャワーの件である。

どうせ、12月と1月しか使わない。

寒い時期は過ぎたから、12月になったら考えようって・・・

パタヤと田舎の往復となるが、なんか、サバライな生活。

普通郵便の配達にかかる時間

2005,2,5



タイは、のんびりしているという印象がある。

特に、役所関係は、驚くほどのんびりしていると思う。

まあ、日本の役所も早い、効率的とは言えないと思うが、それでも国民、市民、マスコミが「税金で給料を出している・・・」と叩くのでそれなりのサービスをしてきているのではないだろうか？

昨日、ダムさんからの新年の年賀状が届いた。

郵便局のスタンプは12月27日付になっていたが、まさに、昨日届いたのである。

ちなみに、タイ国内の郵便であることから、1部3パーツの封書である。

同じ県内から出されたものである。

ひょっとしたら、アパートで止まっていたのかもしれないし、何処でどのように滞っていたのかは不明であるが、1ヶ月以上経てから届くというのも、異常に不思議である。

いっそのこと、紛失というか、届かない方が自然のような気がするが、1ヶ月かかって手元に届くというのは、まか不思議である。

2月に届く年賀状・・・最初は、中国正月用の年賀状かと思った。

まさか、1月の年賀状とは思わなかった。

なんか、不思議な国である。



田舎生活を決断？

2005,2,3



見つけたーって感じ。

こんな田舎街に、あったぞー、外国人居住可能のアパートが・・・

3500バーツと言え、こんな田舎街にしちゃあ高いと思います。

しかし、入り口がカードキー、1階にコインランドリー、駐車場（屋根なし）、エアコン、ベット、家具付、水の出良好とあらば、こんなもんでしょ。

エアコン無しの部屋は、2800バーツだが、何故か案内してくれなかった。

ちょっと不満なのは、エアコン無しの部屋だからか、ドアに網戸が無い。

入り口の玄関にも網戸が無い。

ドアを開けて、涼しい自然の風を受けながら寝ることは、不可能なようだ。

網戸が無かったら、こんな田舎街・・・どんな虫が侵入してくるか、分かったもんじゃないと思う。

村と言っても、食堂や、雑貨やも揃っている。

ロータスやカルフルといった大型店はないものの、とりあえず、平日の宿ということを考えたら、十分に住める。

何より、会社から12KM、車で15分というのは、非常にありがたい距離である。

どう考えても、平日の仮宿にするしかない。

バンコク在住経験者から言わせると、バンコクとあまり変わらないか、やや、安いかなーって感じの場所ではある。

まあ、こんなもんでしょ。

階段がないから、最上階の4階にでも住もうかな。

しかし、寂しさ紛らわし料金、ガソリン代、駐在さんとの付き合い代を差し引いたら、そして、通勤にかかる労力と時間を考えたら、電気、水道入れて4000バーツは、安いというしかないと思う。

ひょっとしたら、本当にパタヤの部屋も引き払って、遊びに行くときに、ホテルを使ったほうが、よっぽど効率的かつ合理的なのかもしれないと思ってしまった。

バンコクを離れてから、一気に地方生活というよりも田舎生活に突入するとは、僕も想像していなかった（笑）

パタヤ～勤務地までが48KM、その奥に進むこと12KM・・・パタヤ、田舎の2重住居生活をするって仮定すると、その距離60KM・・・凄いなー。



健康診断メニューを選択

2005,2,2



タイの会社にも年に一度の健康診断を行う規定がある。

労働保護法107条にも規定されており、結果を労働監視官に提出することとなっている。

各病院に健康診断用のパッケージが用意されているが、法律上は、医師の一般検診とレントゲンになっているようで、あとはオプションで各会社が選択するようになっている。

ほとんど日本と同じで、血液検査も肝機能、ウイルス検査、白血球検査、尿検査とある。

驚いたのは、覚醒剤検査が血液検査と同じようにオプション欄にあったことである。

日本の健康診断で、覚醒剤検査などありえるだろうか？

そもそも、日本の健康診断の意味合いは、病気の早期発見と言うことであると思う。

早期発見、早期治療という大きな目的があるはずである。

覚醒剤や麻薬といえば、やっている本人が一番分かっている訳で、早期発見という目的とは、大きく離れる気がしてならない。

ちなみに、気になるエイズ検査は、総務の取り寄せた病院の健康診断には記載されていなかった。

参考までだが、この見積書の内訳は、医師の診察 60バーツ、視力検査は無料、レントゲン90バー

ツ、白血球検査が40パーツ、覚醒剤検査 80パーツ、血液検査関係は、1項目につき、35パーツとなっていた。

自分からすれば、「安い」と思ってしまいが、物価からすると、どうなんだろう？

日本で働いていたときは、会社の言われるままにやっていたが、費用の事は、全く分からなかった。

それにしても、この金額で、本当に大丈夫なのか？とふと疑問に思ってしまった。

そういえば、前の会社(タイ)で、健康診断時に撮影したレントゲン写真をもらった記憶がある。

こんなものもらってどうするんだよーって思った記憶がある。

その記念のレントゲン写真・・・今、どこにあるか分からない。

多分、捨てちゃったんだろうね(笑)

だって、A3サイズよりも明らかに大きなもの・・・タイ人は、大事に保管しているのだろうか？

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

3月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

八エ

2005,3,16

3月も半ばになると雨が降り始める季節である。

昨日、雨が降り出した。

これで、突然、水が出なくなるようなことが無くなるのかな？

断水と雨量は関係ないのかな？なんて思っていたら、もっと重大な出来事が起こることが判明。

虫の大発生である。

昨日、アパートの前の食堂で食事をしようと思ったら、食堂の机に、八エがたかっているのである。

よく見ると、食堂の食材にもものすごい数の八エがたかっている。

ちなみに、八エ以外にも、車に大量の虫が張り付いて死んでいた。

夜露に濡れた車の表面の水を飲みたくて寄ってきて、表面張力で羽が張り付いてしまい、足だけバタバタさせている虫が大量に車に張り付いている。

死んでいるならまだしも、微妙に生きているところが何とも気持ちが悪い。

バンコクでも、このような光景を目にしたことは無い。

実は、この近郊は、パイナップル畑があり、八エの大量発生地帯として有名である。

しかし、乾季の時期は、そう多くは無かった。

今まで、「噂ほどすごく無いじゃん」って思ってきたけど、それは、とんでもない間違いであることが分かった。

たった1時間足らずの雨が降ったことで、この八エの量である。

これから、本格的に雨の降る季節となったら、どうなるだろうか？と考えるだけでもぞっとしてしまう。

田舎生活、なかなか良いじゃんって思って生活しているが、大量の八エを目の当たりにすると、ちょっと引いてしまう。

今の所、アパートの室内にまでは入り込んで来ないようだ。

わざわざ、最上階（といっても3階）の部屋を選んだことを「大正解」と勝手に理解している。

しかし、建設完了したばかりのアパート部屋は、1階と2階から部屋が埋まっていくのは、僕からすると不思議である。

タイ人に聞くと、「階段を登るのが面倒だから」という返答。

3階まで階段で登ることと、虫の侵入を考えたら、僕は明らかに虫の侵入の方が嫌である。

ふと思ったが、幼少の頃、近所の魚屋、そして自宅の食卓の上の蛍光灯から茶色の「ハエ取り紙」がぶら下がっていたことを思い出した。

今の日本で、ハエ取り紙は、販売しているのだろうか？とふと思った。

もし、売っていれば、今度、帰国する時は、ハエ取り紙を買って帰りたいものである。

しかし、世の中は、どんどん近代化の道を歩いているというのに、自分だけは、タイムマシンのように逆行している気がしてならない。

タイ生活、今年9月で、丸4年。

浦島太郎化していく自分を少し感じる。



水は、ひねれば出てくるもの？

2005,3,15



水の大切さを実感している。

田舎のアパートは、断水が頻発する。

理由は、分からないし、何故か聞こうとも思わない。

今朝、朝食を食べ、食器を洗っている時に、急に水が止まった。

災害は、忘れた頃にやってくるというのが、水が出なくなることが頻発していたので、トイレ（兼、シャワールーム）に大きな水瓶を買ってきて、いつも水を満杯にいれていたのだ。

しかし、今日に限って、水を溜めるのを忘れていたのである。

3分の1位しか水が溜まっていなくて、トイレ用、シャワー用、その他、もろもろの朝の用事を足さなければいけない。

さて、困った。一瞬、シャワーは、無理かなーとも思った。

しかし、やはり、シャワーくらい浴びたいもんである。

水瓶とにらめっこしながらの水浴び。

言っちゃあ何だが、かなりのスリルである。

この水が無くなったら、石鹸だらけでも、シャンプーだらけでも終了なのである。

水浴びは軽く済ますことができるが、コンタクトレンズが問題である。

流水で洗い流すことなく、桶の少量の水で洗浄したが、一抹の不安があるため、急いで目薬をさす。

不便ではあったが、何とか朝の支度を一通り終えることができ、ほっとした。

「油断は禁物。」「災害は、忘れた頃にやってくる。」「備えあれば憂いなし」等という言葉が頭をよぎった朝であった。

最近、タイ人の面接をしている。工員クラスの面接をしていて、つくづく思うのは、本当に階級社会だなーって実感する。

同じタイ人でも、給料の差が2倍、3倍と平気であるが、なるほどと実感せざる得ない。

それだけ、生活、価値観、生活環境に差があるということだろう。

偶然かもしれないが、昨夜あっきーと電話でこんなことを話した。

中流階級以上の人間が、下の者と関わろうとしないのは、それだけ、面倒なことに巻き込まれたくないし、関わりたくないからだろうって。

その事が、自然な階級社会として現れているのだろうって。

確かに、修正したり、直したりしていくのは、大変な労力が必要である。

それなら、最初から、使えるものを選択したほうが、楽だし賢いと思う。

平等意識の強い国で育ったからか、理解はするが、納得するのは至難の業かもしれない。

しかし、スニーの子、工員・・・を考えると、タイ人的な考えに傾いてきつつある。

ここで、難題なのは、可愛いかどうかは全く別次元のことなのである。

事実、村の市場に買い物にでかけると、黒くて可愛い子が、山ほどいるのである。

お近づきになりたいものの、あまり接近しすぎると面倒なことに巻き込まれるのが目に見えているのであ

る。
朝、スニーを通ると、スニーっ子が路上で何人も寝ているのを見かける。
美味しいのは十分に分かるが、路上生活に近い生活をしている子とは、親しくなってもなーーーと思う。
あくまで、遊びの粋を超えたらいかんよなーーーって思わざる得ない。



マンゴの季節

2005,3,14



マンゴの季節である。
バンコクと田舎で違うのは、熟れたマンゴが沢山出回っている。
熟れたマンゴは、輸送が大変だから、バンコクには高級品しか出回らない・・・これ、勝手な予想。
硬い酸っぱいマンゴとかは、山積み輸送は可能であるだろうが、熟れたマンゴは、そうはいかないからだろうしね。
1キロ15バーツという値段で、熟れたマンゴが食べられるというのは、日本人からすると、贅沢なものである。
1キロ買うと、丁度、4個ぐらいであるが、一人で食べるには丁度良い量である。

で、熟れたマンゴを購入後に、包丁をパタヤから持って来ていない事に気が付いた。
どうしようかなーーーって思ったが、スプーンで皮が剥けることに気づき、スプーンで皮を剥いている。
ところが、方向があるようで、剥く方向を間違えると、上手に剥けない。
表面を見ると、今の方向は合っているのかどうなのか分かるので、すぐに方向を変えて剥きなおし。
スプーンでフルーツの皮を剥くなんぞ、生まれてはじめてのような気がするが、慣れればどうってことはない。
外皮だけ剥いて、丸ごと頬張る食べ方が、何とも贅沢な感じがしてならない。
まあ、ナイフなんて安いから、買っちゃえば良いんだけど、パタヤの部屋に二つもあるから、なんか無駄な気がして、新しく買おうとは思わない。
物はできるだけ少ない方が良い。外国生活、いつ、何があるのか分からないから、捨てても惜しくないものだけ、本当に必要な物だけを買うのである。
ちなみに、栓抜きもパタヤに置きっ放しである。
部屋で一人、酒を飲むことは無い。
必ず、誰かが一緒である。
タイ人は、ライターでビールやコーラの栓を抜くのが上手である。
人によっては、歯で開けちゃう人間もいるのである。
だからと言っては、理由にならないが、我が家に栓抜きが無くても、困ったことは一度も無い。
本当に困っていないから、買おうとも思わないし、パタヤから持ってこようとも思わない。

マンゴの話に戻るが、冷蔵庫の無い生活なので、冷やし方は・・・と言えば、氷を入れる箱に氷が毎日入っているので、その中にビニールごと入れておく。
2時間ぐらいすると、非常に冷たくて、良い感じである。
ちなみに、今の生活で、冷蔵庫は買っていない。
氷1袋6バーツ(日本では、200円の商品かな?)をクーラーボックス(プラスチック箱)に入れておけば、1晩もつのである。
電化製品の必需品と言えば、TV,冷蔵庫、洗濯機・・・と思いつくと思うが、僕の場合は、TV,DVD,電気ポット(インスタントラーメンとコーヒーを飲む為)が、まず、第一の必需品である。
あっ、冬だけは、温水器が必需品。その他の冷蔵庫、洗濯機は、あまり必要のない生活になってしまった。
冷蔵庫は、氷を入れるクーラーボックスで代用し、洗濯機は、近所のコインランドリーで、20バーツで干してたんでくれるので必要が無くなってしまった。
なんか、ますますタイ化していく生活だなーーーと感じつつも、不便の無い生活である。

そういえば、バンコクに居た時は、冷蔵庫も洗濯機もあったのだ。

地方生活の方が、不便だと思いつつも、意外と地方生活も便利なのかもしれない。
まあ、ダムさんが帰ってきて、自宅でご飯を食べるようになる（惣菜だけど）冷蔵庫や洗濯機（単純に洗濯物が2倍になるから）も必要になるのかもしれない。



運動の週末

2005,3,13



土日、パタヤで過ごした。
ゴルフのレッスン、ジム、サウナ、そして夜の運動・・・運動のオンパレード。
お陰で、背中が筋肉が痛い、年齢を考えると、明日の方が痛みが激しい気がする。

ゴルフは、初めてレッスンプロに教わった。
なるほど、上手になった気がするが、1時間のレッスンが500パーツというのは、高い気もしたが・・・

人によっては、800パーツとか、1000パーツという人もいたが、一番安い人をお願いした。
しかし、さすがに、値段と質は比例するものである。

たった1時間の時間なのに、先生は、タイ人100%

「さっき頼んだ食事が来たから、ちょっとだけ、ご飯食べる。」から始まって、「ちょっと休憩しようか」で、タバコを吸い始める・・・まあ、平均的なタイだと思って、諦めるしかない。

まあ、1時間みっちりやると、本当に疲れるから、これくらいで丁度良い気もするしね。

1回くらいじゃ、さほど上手になったとは言えないが、少なくとも、ちゃんとしたプロに習った方が多分、上達するような気がする。

ゴルフは、才能が無いような気がするが、お付き合いできる程度になれば良いから、しばらくがんばろうかなーと思っっている。

土日が休みで、金曜の夜からパタヤで過ごす、お金が湯水のように出て行く。

平日は、村では使いようが無いので、パーーツと使っているが、本能のままに、1日2回転していたら、そりゃ、出費も大変である。（笑）

1回転で満足すれば良いものの、スニー厩が長いと、お義理も出てきちゃって・・・。

話は変わるが、日曜日にコー・ソー・ノー（ガンスックサー・ノーク・ロングリアン）に申し込みに行ってきた。（政府主催の日曜学校 中学1年の入学申請）

申し込み条件は「タイ国籍者」となっていたが、パスポート、ワークパーミット、文部省の小6卒業証明書、会社の就労証明書、村のアパートの賃貸契約書、日本の大学卒業証明書（英文）をそれぞれ持参して行ったら、難なくOKであった。

写真も準備していったが、「白のシャツを着た写真じゃないと駄目」と言われて、再度取りに行ったくらいである。

外国人であっても、タイ人と同じく学費を含めてすべてが無料で、学生証作成のお金と、図書館の使用カード作成料として合計60パーツ支払ったのみである。

まあ、毎月支払っている税金を考えると、これくらいの特典があっても良いじゃん勝手に解釈しているのだが、あまりにも簡単に入学OKが出たことを不思議に思ったりする。

前期、後期で2科目ずつ取得していけば、2年で終了だそう。

卒業の自信はないが、面白そうだし、それほど負担にならない感じがするので、始めてみようと思う。但し、学費というか、かかる経費が少なすぎるので、途中で簡単に挫折しそうである。こういうものは、高額な授業料を払って、「行かなきゃ損」「卒業証書を貰わないと損」と感じるくらいが継続できるコツのような気がする（笑）

村で、政府主催の学校に入学する・・・面白そうな気がする。

5月1日が初登校日となるが、待ちどろしい限りである。

何が待ちどろしいかといえば、もちろん、どんな可愛い子が同級生なんだろう？ってことであり、何の科

目を勉強するか？なんていうのは、全く関係が無いのである。

暇なソクラーン

2005,3,10



ダムさんが、ソクラーンに出てこれないことが判明した。
 タオ島にダイビングに行くのを楽しみにしていたし、事実、一緒にダイビングをやるってことで、ダムさんにオープンウォーターを取得させたのである。
 しかし、、、正月に続いて、また、またこの状態である。

これで、せっかくの大型連休に、行くあてがなくなってしまった。
 1週間以上もの長い休みをどうしようか考えなければならない。
 パタヤで過ごすと言うのも、日常生活の延長で、何の魅力もないし、何より、スニーの子達も帰るんだろうと思うし。。。。

唯一、こいつは、帰らないだろうなーっていう「ゲン」(激黒の子)は、あまりのぶっ飛び性格に1週間も一緒にいたらこっちの気が狂ってしまう。
 何より、ダムさんに向かって、「今日の子は、ユーロ(ゴーゴアの店の名前)の子か？」って平気で聞くような無神経というか、世間知らずの子である。
 小学生の頃から、スニーに居るらしいから、大人になった今も、「常識」とか「礼儀」って、彼の頭の中には無い。

ちなみに、ゲンとは、1日一緒に居たことは皆無である。
 おこずかいが入ると、ゲームしに行く。。。無くなったら、いつの間にか、横に来て、おねだりをする。
 飯は食わずが、サービスが無ければ何もあげないから、意地でも一緒に帰ろうとする。

パタヤは刺激的な街だと思う。
 確かに、少々の経済的ゆとりがある人間にとっては、天国である。
 しかし、慣れというのは恐ろしいもので、刺激的なことも、今じゃ、何とも感じなくなってしまうている。
 スニーを歩くと、美味しそうな子が山ほどいたが、今じゃ。。。。
 長期休暇の間、パタヤには居たくは無い。
 しかし、一人旅をするというのも。。。僕には向いていないのである。
 イサーンのソクラーンを再び体験したいとは思いうが、一度、ソクラーンの大・大・大渋滞を経験している身としては、ちょっと引いてしまうのである。

反抗期

2005,3,9



会社に反抗している。

というのも、あまりにも雑用が多すぎる。

一応、組織図上では、一つの課を責任を持って運営しなければいけない立場である。

自分の本当の仕事が何なのか？と思うほど忙しいのである。

朝から電話があり、「運転手がこないんだけど・・・」

ひとりで、外出時に、「トイレに行きたいから、ガソリンスタンドに寄れって言ってくれ」

「明日、 に行くから、時間と場所を運転手に説明して欲しい」

こんなことから始まるのである。

少なくとも、運転手は自分の足なのだから、操作できないようでは駄目であろう。

できないのなら、日本語可能な運転手を探すか、専属の通訳をすけるかしか方法はない。

ソクラーンで帰るチケットの予約から始まって、昼食の注文まで・・・実に雑用が多い。給料をUP

する話もあったのだが、給料アップと仕事の雑用は別物である。

お金は欲しいが、お金以上にサバァイを求めてきているのだから・・・

で、責任者にはっきり言ったのである。

再度、契約書を作成するように・・・と。

前の契約書は、役職もポジションも何も無かった。

それはそうである・・・何も決まらずに、3人から仮事務所は始まったのだから・・・

責任者も、はたと気づいたようである・・・甘えすぎであったことを。

それ以外にも、日本から派遣されてきた人間の語学力の無さと、海外生活能力の無さには呆れている。

夕食は、日本食屋に行くか、インスタントラーメンだそうである。

一人で注文できない・・・というのが理由らしいが、4ヶ月にもなるタイ駐在生活、もうすぐ1年を迎えようとしている人もいるが・・・

まあ、他人のことだから、僕は全く関係がない。

しかし、これが、海外に縁が無い日本人の平均か・・・と思うと、驚かざるえない。

自分も下手であると断言できるが、電話ひとつかけられない人間が海外で働くと大変であると他人事でありながら思う。



緑茶ブーム

2005,3,8



タイは、緑茶ブームである。

OISHIという日本食レストランが販売を始めた緑茶も、2年ぐらいの間に、あっという間に世間に浸透した感じである。

味と言えば、砂糖がたっぷり入っているので、緑茶自体の味は分からず、お茶の香りがするかといえ、疑問を感じずにはいられないが・・・

驚くのは、ママー（インスタントラーメン）に緑茶麺が出たのである。

スープは、トムヤム味で、麺に緑茶が混じっているということで、確かに、緑色の麺である。但し、スープの味が強すぎて、麺の緑茶味は、味のかけらも残っていないというのが、僕の感想である。

売れているかどうかは分からないが、僕は、大パッケージ（10袋入り）を購入したので、美味しいか否かは別にして、10食分を食べなければいけない。

インスタントラーメンに関しては、正直、普通のトムヤム味が一番美味しいと思う。

日本で、数えられないほどの新商品が出て、サッポロ一番塩ラーメンが一番美味しいと思うのと同じなのかもしれない。



寒い朝

2005,3,7



今朝は、寒かった。

タイでは、冬と言えば、12月と1月のことであり、4月の一番の猛暑に向けて、この時期は、日に日に暑くなっていくはずであった。

しかし、このところ、扇風機も使用していない生活である。

今朝は、マジで寒くて寝てられないような寒さだった。

タオルケット1枚しかないのに、今日、もう1枚、買ってこなきゃーって、つくづく実感したんだもん。

シャワー（水だが）も、辛かった。

水浴び=サバーイとは縁遠く、修行僧のような我慢の1日のスタートだった。

やはり、地方の方が、寒いのかなーーと思ったが、いやいや、タイ全土が寒いようである。

温水器は、11月ぐらいに買おうかなーとか、そういえば、村の中には売っているのかなーなんて、遠い先のことのように考えていたが、さっさと購入した方が良さそうである。

我がアパートの前に、レストランに続いて、コインランドリーもオープンした。

これで、洗濯物も楽だナーって思っていたら、「使えるようになるまで、もう2~3日待つて欲しい。」の返事。

やはり、のんびりだなーーとは思いますが、バンコクの時間の流れよりもさらに地方の時間の流れは、違うということを実感している。

洗濯に関しては、タイに来たばかりの頃は、全部、手洗濯してきた。

その後、洗濯機を購入し、ダムさんが洗濯、アイロンをやってくれていた。

その後、今の会社に入社してから、日本に行ったり、ホテル暮らしだったため、下着と靴下は、手洗濯でYシャツ等は、洗濯屋という図式で行ってきた。

で、地方に来て、ダムさんも居ないので、会社に着ていく洋服は、洗濯屋、残りはコインランドリーという図式に変更になった。

コインランドリーと言っても、洗濯後、干して、乾いたものをたたんで返してくれて20Bなのである。

手間賃、水道代等を考えた場合、コインランドリーに出した方が、楽だと思う。

便利さ、経費、時間・・・選択できるだけの生活が送れている状況を快適だと感じる。



村一番の高級店

2005,3,6



村一番の高級料理店といえば、ムー・ガタの店である。

ムー・ガタを直訳すると、豚・フライパンとなってしまうが、すき焼きと焼肉を足して2で割ったようなものである。

僕の知る限り、ほとんどがbuffestailで、「焼肉、すき焼き食べ放題」と言った方が正しいかもしれない。

僕は、ムー・ガタが好きではない。

食べ放題=いい材料ではないということ。

事実、豚肉食べ放題っていてもあまり嬉しくは無い。

何より、食べ放題と言うのは、太る原因を作るシステムだと思う。

特に、タイ人で行った場合、「お前、そんなに本当に食べれるの?」っていう量をごっそり持ってきて、結局は「おなかいっぱい」と言うのである。

で、実際に支払うかどうかは別にして「食べ残しは罰金」という思い込みの元に、無理して食べるのは僕である。

もっと言えば、「食わなきゃ損」という指令が、脳みそから出てくるので、「おなかいっぱいだけど、フルーツは最後に入るかなー」「野菜なら太らないだろう」なんて状況になるから、ついつい大量に食べてしまうのである。

しかし、村に住んでいて、屋台、食堂以外で食べるとしたら、これしかないのである。

今までのタイ生活で3回ぐらいしか行った事が無かったムー・ガタに、村に住んでから週に1回ペースで行っているのである。

食べることには困らない。しかし、極端に選択肢が狭まることも事実である。

時々、お金を使いたい病にかかってしまう。

パタヤに週末に帰った時に、インスタントラーメンを30袋も買って来たり、シャンプーを馬鹿ほど買い込んだりしてしまうという状況になったりするのである。

スニーっ子を連れて、これでもかーって言うくらいの贅沢な物を食べ続けてしまうのも、村の食生活事情によるのかもしれない。

ちなみに、僕の言う贅沢というのは、MKのタイスキとか、シーフードレストランでの食事だとか、大好きなヤム・セープという店での食事である。

これで、贅沢を感じられるのであるのだから、偉いナーって思う。

しかし、いくらお金を使いたい病になったとしても、日本人の行くカラオケ屋で、タイ語の歌は歌えませんかって言う店で、ブスな女が席に座っただけで、3000パーツ近くも取られるようなみせでは、使いたくないと思う。

新しい楽しみ

2005,3,5



地方暮らしをはじめ、**「ゴーゴーの無い」「スニーが無い」**生活をしている。

しかし、それなりに性欲も満たされた生活をしている。

というのも、それなりに遊べるのである。

詳細は、ここでは書けないが、一言で言えば、**「簡単に食えるのである。」**

田舎のタイランドは、退屈かつ刺激が無い生活である。

だから、ちょっとの刺激で、十分に遊べるのである。

省エネという言葉があるが、省金で遊べることを知ってしまったのである。

バンコクのスルッオンを最高得点とすると、パタヤのボーイズタウンが2番手となり、バンコクの王宮周辺と、パタヤのスニーは、3番手となるなーって思っていた。

しかし、田舎生活で、4番手を見つけてしまったのである。

正直、スニーのシンナー小僧には、飽き飽きしていたし、パタヤ=金の絡まないHはありえないと思っていたので、感動に近いものを感じているのである。

ノケで、金が1パーツも絡まないで、OKなんだーっていうことを感心している。

恋愛とは言わないが、規定の年齢に達している場合は、何の違法行為でもないし(笑)

田舎生活、ますます、楽しくて仕方が無い。

ところで、年齢を考えても、衰えない性欲には驚いている感じもする。

しかし、さすがに、ディスコ等の深夜系の遊びは弱くなったことは、実感せざるを得ない。

30台も丁度通過点を迎えようとしているが、ますます、楽しいタイライフである。

車の件、解決？

2005,3,4



車の件は、無事に解決した。

サービスセンターに行っても、状況が変わらなかったんで、(修理完了と言われたが、治っていなかった)電話帳で日本人に電話をしてから、事がスムーズに進んだ。

別に怒って言った訳ではないが、「1万キロも走行していないのに、故障するんじゃ、車ごと、新しいのに取り替えて欲しい。」と言ったのが良かったようだ。

せこく、故障した部分だけ修理するのではなく、機械ごと変えてもらった。

明細書を見ると、13万パーツもの金額がのっていたので、驚いたが、「この部分を変えると、この金額かーって思った。

ちなみに、新車を購入しているので、3年保障、または10万キロ保障となっているので、僕の支出はなかった。

ちなみに、密かに思ったのは、タイは、中古車が比較的高く売れるので、3年又は、10万キロに達したら、売り払って、新車を再び購入した方が、得策ではないかと考えている。

今度は、丸ごと取り替えたので、工事に問題がない限りは、OKだと思う。

まあ、何日が経って、自分で再び、チェックしてみようと思うが、タイ生活で身にしみて思うことは、他

人を信用しちゃいかなーって。

修理に出して、「直りました。」と言われても、再度確認することの重要性を実感した。

最終的に部品を交換した時も、古い部品まで見せてもらったし、受け取る時に、「どこを取り替えたのか説明して欲しい」とお願いし、分からないなりに、ちゃんとなっていることは確認をして受け取った。

「疑う」というと、言い方が悪いので、「再確認する」とでも言ったほうがいいのかも知れない。いずれにしても、4年目を迎えたタイ生活・・・車という便利な道具を手に入れたが、高い物だけに、マイペンライで笑って済まされないのである。

- -



平和な日々かな？

2005,3,1



車の故障以外に、特別に事件もなく平和な日々である。

車の件は、電話帳で、駐在員事務所を発見し、日本人に直接クレームの電話をかけた。

誰でも良いから、日本人を出して欲しいと言ったら、人事課につながったので、そこで事情を説明し、アフター・セールス課という部署の日本人に繋がった。

日本人を通すと、すべてがスムーズに運んでいる。

いや、言葉の問題で、スムーズに運んでいるような錯覚になっているだけかもしれない。

まあ、今日中に問題解決することは不可能だろうから、日本人を信用するしかない。

高い物なので、ちゃんと修理が終了することを祈るのみである。

「3年の保障期間が終了したら、すぐに、売っちゃおうーって早くも思い始めている。

話は変わるが、アパートの前に、食堂ができたことで、生活がさらに便利になった。

アパートの敷地内の食堂であるが、アパートの住人が少ないので、お客も少ないのは、当たり前である。

それでも、アパートと共に、周りの環境も少しずつ良くなっていっている気がする。

仕事も、特に大忙しではなく、ほどほどの忙しさであり、本当に丁度良いのである。

こんな生活が続くことを祈ってやまないが、仕事に関して言えば、大きな山が、あと2回はありそうな気がする。

そんな中、3月の声を聞くと、4月のソクラーンの大型連休が気になる。

予定は立てていたものの、ダムさんが本当に出れるかどうか分からないので、とりあえず、正式な予約はしていない。(金を振り込んでいない)

でも、パタヤでブラブラ過ごすだけの大型連休も寂しいしなーなんて思うと、どうしていいか迷っている。

- -

[【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ](#)

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

4月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

電気も

2005,4,28



電気が止まった。
 水道が止まることは、慣れているが、電気が止まるのは初で、何の対策もしていない。
 対策と言っても、懐中電灯を置くぐらいのものだろうか？
 停電は、朝だったので、問題ないやーって思ったら大間違い。
 コーヒーも飲めない。
 ラーメンも作れない。
 TVも付かない。
 で、水道と電気がかかっていることが判明した。
 水道も止まったからである。
 偶然にしてはできすぎなのである。
 水道の水を引くのに、ポンプが使用されていると考えるのが妥当だろう。
 停電 = ポンプが回らない = 水が出ない . . . とつながる。
 何か、寂しい朝だった。
 タンクの水位を確認しつつ、水浴びするのも、何となく侘しい。
 水ぐらい、思いっきり使いたいもんである。
 朝のトイレ後も流せないから（もったいない）、シャンプーの泡を落とすのに、トイレの便器の上方から水を流して、ちょっとでも便器の中に、水が入るように工夫したり
 さて、ダムさんが来て、一緒に住むようになると、今のタンクじゃ足りないかも。
 水道が止まった時、最低でも、2人分は、シャワーを浴びれる水量を確保しないといけないと思う。
 さて、トイレの中に、非常用の（断水用の）タンクを2つも置くのかー、狭くなるなーなどと考えつつ、電気も水道もない中で、朝の支度をいつも通り終えて、いつもの時間に出勤する自分のたくましさによってちょっと気分がいい感じの朝であった。



群れるのが好き

2005,4,26



日本人の群れ方がすごい。
我が社の駐在員、同じサービスアパートに住む。
通勤も一緒・・・それだけでも息苦しいと思うが、それに加えて、休憩時間も、喫煙所で群れている。
最近、そんな駐在員が不思議な存在に思えてきた。
日本の会社の良い点として「報・連・相」と言うのがある。
一見、すばらしいような気がするが、タイスタイルに慣れてくると、ものすごくうっとうしい。
雑談なのか、報告なのか、相談なのか、情報交換なのか分からないが、とにかく群れて、ダラダラとしゃべっている傾向が強すぎる。
そもそも、紙で（書面で）伝えて欲しいと思う。
紙で渡せば、ものの何行かで終わることを、10分もかけてしゃべっている気がしてならない。
人間だから（タイ化しているから）忘れるんだもん。
大事なことならともかく、僕にとって、どうでも良いことは忘れてしまうのである。
それに対して、タイ社会は、書類社会である。
書類がないと、動けない、臨機応変な対応が難しいという弱点はあるものの、確実に進んでいくと言う面では評価できると思う。
書類社会であると同時に、サイン社会でもある。
日本の印鑑がサインに変わっただけということでは済まされないほどの意味を持っているサイン。
書類社会、サイン社会であるから、だらだらとしたおしゃべりタイムは、不必要なはずである。
しかし、日本人を見ると、本当に、だらだらしゃべるのが好きである。
連れションという言葉もあるが、連れタバコ、連れ食事、連れ酒・・・一人では、行動できない人たちだなーって感じる。
日本語に飢えているのかもしれない。
僕の記憶が正しければ、タイ在住のとある友人が、「ホモ・ソーシャル」という言葉を使ったような気がする。
ノンケの世界での社会的ホモ行為とでも名づければよいのだろうか？
そんな言葉を実感する今日この頃である。
ホモ・ソーシャルが嫌で、あえて、車を購入し、あえて駐在員が住む場所とは離れた場所に住んでいるにも関わらず、「たまには、食事でも・・・」とお誘いがかかる。
酒や食事の席を共にせずとも、仕事を十分に行っていけるという気持ちでありたいと思うし、タイで働いている今の生活、何を隠そう、「プライベートな時間が一番貴重なのである。」という理解は、駐在員には、無いらしい。仕事はちゃんと致します。但し、ほっといて欲しいんだなーーーー。「おごってあげるから・・・」って言われるけど、食費の安いタイランド・・・嬉しくないんだよね。
だって、高い物が美味しいものでもないし、「何食べます？」とかって聞いて、結局は自分の食べたいものが食べれなかったら、自分の金で、好きな物を食べた方が、数倍美味しいし、楽しいってことが分からないかなーって思う。



土曜日のやる気

2005,4,23



どうも、土曜日は、仕事のやる気がない。
 土曜出勤の場合、「休みが1日しかない。」ということばかり考えてしまう。
 前の会社の場合、土曜日は、ほとんど何もせずに、ボケーっとネットを見ているだけだったのである。
 それはそれで、時間を拘束されるだけで、価値のない時間であるが、何もしなくて良いというのは、サバ
 ーイなものである。
 「会社に遊びに行く」「会社でネットを見る」「会社でHPを更新する」それが、以前の会社の土曜日の
 出勤風景。
 しかし、今の会社の場合、やることはいっぱいあるような気がする。
 やる気が起きないので、「明日で良いかな。」ってなパターンである。
 そうしている間に、日にちが過ぎていくわけである。
 本当に何もすることがない(わざわざ探せばあるのだろうが)というのと、やることがいっぱいありすぎ
 て、何から手をつけて良いのか分からないから、開き直って何もやらないというのは、全く違う。
 早く、5時にならないかなー、パタヤ直行する為の荷物は車に積んであるんだけどなー、なんて
 思いつつ、無駄な1日を過ごしてしまうようである。

-



教えてたまるかー

2005,4,22



タイで働いていて実感するのは、「仕事を他人(部下や同僚)に教えない。」・・・これは、タイの常
 識でもあり、世界の常識でもあるようである。
 何日か前も書いたと思うが、人によって何倍もの給与格差が出る世界で働いていると、
 知識と経験=所得格差につながるからか、人に(部下や同僚に)教えるということが出来ない(嫌う)よ
 うである。
 現在、直属の部下タイ人2名は、給料格差が丁度3倍。
 確かに、3倍高い人の仕事を3分の1の給料の人がきちんとできたら不思議であるのかもしれない。
 でも、3倍高い人は、3分の1の人間にやらせて、監視をすれば良いと言う考え方にはならないようであ
 る。
 自分なら、僕以外の人ができる仕事は、どんどん任せて、自分は確認(チェック)だけしていた方が楽で
 あると思うのだが・・・タイ人は、意地でも・・・と言う感じで、仕事を渡さない、教えない。
 ならば、休まず、最後まで責任を持って行ってくればよいのだが、そこは、タイですから・・・
 これから、ダムさんも入り、ダムさん以外にもう1名入社してくる予定だが、その辺のことを考えると、
 頭が痛い。
 職務分担というか、役割分担をするのが、最も難しい気がしてならない。
 皆で協力し合って・・・誰がやっても同じサービスになるように・・・というのは、タイでは難しい
 ようである。
 大きな会社なら、役割分担もはっきりしているのだろうが、これから立ち上がる会社というのは、役割分
 担、責任範囲、担当者不在の場合の仕事の進め方・・・が最も難解なのであろう。
 タイに来たばかりの頃、思ったことは、どこに行っても、従業員の数がものすごく多いということ。
 スーパーやコンビニ等で特に実感することであった。
 当時は、「人件費が安いから」「一人でできないから」「実労時間が少ないから」などと思っていたが、
 最近、もっと奥深い理由があったことを実感している。
 人件費が安いから・・・日本で一人でやる仕事を2人雇ってやるという考え方も良いとは思いますが、物価を
 含め、給料もじわりじわりと上昇してきている最近では、いつまで許されることなのだろうか？
 ちなみに、バンコクから遠ざかっている自分であるが、物価は確実に上昇しているようである。

-



10日後

2005,4,21



10日後にダムさんが出所する。
刑務所ではないが、一定の地区内より自由に出られないという意味では、出所という言葉を使うのが、適当なのかもしれない。
ダムさん不在の1年は、長かった。
去年の5月1日から入隊して、自分も転職したことから、2～3ヶ月間は、慌しかったし、その後、日本に3ヶ月行っていたし、寂しいとか思わなかった。
長かったのは、日本から帰国後である。
パタヤ生活、日本人友人も居ないので、毎日のようにスニーに入り浸り、結局、ここで得られる物は何もないことを実感して、田舎に引っ込んだのは良いが、通勤時間が短縮された分だけ、時間が余ってしまうのである。
「帰ってから何もすることがないから」って理由で会社にぐずぐず残って居るのも嫌だから、結局は酒に走ってしまう。
酒びたりの生活がここ2ヶ月ぐらい続いた。
そんな生活も終わりだと思つと、ちょっと嬉しい。
5月より、ダムさんは、僕と同じ会社、同じ部署で働く。
「世間の反対を押し切って、無理やりこんな状況にした。」というのが本当の所である。
しかし、仕事をして思うのは、所詮一人で出来ることは限られている。
いかに、信用できる部下を、コントロールしつつ動かしていくかがカギとなる。
そういう意味で、ダムさんは、信頼できる人間で、給料も高くない人間という意味も含まれるのである。
タイの会社の多くがそうであると思うが、人事面で、悩んでいる。
出来る人間、能力のある人間、辞めたら困る人材に限って、引き抜き等で転職される場合が多いのである。
自分が絶対という自信を持ってコントロールできる人間を下に置くというのは、この上ない強みであると勝手に思う。

ダムさんの出所と関係があるかどうかは言えないが、パタヤの部屋も4月いっぱいに出ることにした。
平日は、田舎・・・週末は、パタヤというパターンは無くなった。
というか、パタヤの場合、ホテルの件数が多いので、わざわざ部屋を確保する必要を感じなくなったのである。
パタヤに遊びに行きたければ、ホテルを取れば良いのである。
荷物だって、1泊や2泊分なら、どうせ車で行き来をするのだから、何の問題もない。
週に1回しか帰らない場合、掃除をしに帰っている気がしてならないというのも部屋を出る大きな理由だし、パタヤの部屋に帰る日数を落ち着いて計算してみたら、ホテルの方が、快適で安いと考えられるのも要因である。
また、学校が始まるので、パタヤに行く時間も限られてくるというのも理由である。
学校(日曜学校の中学部)に関しては、そんなにがんばるつもりはないが、やはり最後までやりとおしたい(卒業したい)と思う。
パタヤに拘らずとも、ラヨーンのビーチ等で、休日をのんびり過ごすのも悪くないと考えると、パタヤに部屋を持つ必要性を感じなくなったのかもしれない。
あと10日で、ダムさん出所、そして、パタヤの部屋ともお別れ。
何か、どんどん都会と遠ざかって行く気がする。
そういえば、長いこと、バンコクに行っていないなーーーー。
それでも、何の不便さも感じないのは、何故だろうか？



給料UP

2005,4,20



給料がUPした。

嬉しいか嬉しくないかと言えば、嬉しいに決まっている。

但し、会社は、あまり頭がいいとは思えない。

経費節減も含めて、現地採用と言うものが存在する訳である。

こんな給料出して良いの？って額である。

海外に出てつくづく感じるのは、個人の学歴、能力、経験がもろに給料に反映するのである。

日本は、（特に公的機関は）学歴と勤続年数で徐々にUPしていくという傾向が強いと思う。

海外の場合は、経験と能力で、給料額が何倍もの単位で違う。

大卒のダムさんの給料と、僕の給料の差額は10倍を超えることになった。

日本では考えられない金額差である。

一般工員（ワーカー）と僕の所得格差はもっとあり、18倍にもなってしまう。

ということは、駐在員とワーカーの所得差は・・・何十倍だろう？

日本では、社長と平社員の間でもこんなに所得格差があるのかは分からないが、何はともあれ戸惑っていることも確かである。

「それだけもっと仕事をしろ。」という意味なのか、「仕事ができるから、これだけの金額を出します。」という意味なのかが分からない。

最近、上司に文句を言い続けてきたのも確かである。

課（セクション）の責任を負わされているにも関わらず、雑用が多すぎること。

便利屋の役目も負っていること。

「トイレに寄りたから、運転手にトイレに寄ってって言ってくれ。」プライベートで帰国するにも関わらず、「航空券、予約してくれない。」等・・・雑務が多すぎる。

要は、海外で生活能力の無い人が来てしまった場合、生活すること自体に手助けを必要とするらしい。

給料が上がった理由は、あえて聞かなかった。

「もっと仕事をして欲しい。」「雑務も行って欲しい。」という意味なのかもしれないが、そういった正式な書類（契約書）が無い限りは、勝手に上げたと解釈するほうが賢い解釈なのかもしれない。

日本の会社（特に中小）の労務管理の下手さを感じている。

実は、海外に進出する場合、労務管理が一番のネックなのかもしれないが、製造業が海外に駐在員を出す場合、総務や経理のプロがくるとは考えられず、技術者が来るわけで、その結果、労務管理のなっていない会社となり、いつの間にか、タイ人のペースにはまり、使わなくても良い無駄金をどんどん使ってしまう。

そんな気がしてならない。



ハエの次は、蚊

2005,4,19



タイに来たばかりの頃、よく蚊に刺されていた。

特に酒を飲むと、異常に蚊に刺されていた記憶がある。

その後、あまり蚊に刺されなくなった気がする。

刺されても薬を塗る間もなく完治していた気がする。

しかし、最近、やたらと蚊に刺されている。

ダムさんの田舎はすごかった。

蚊というか、虫だらけである。

寝る時は、蚊帳の中で寝るので良いが、一日中、蚊帳の中にいるわけにはいかない。

なにせ、窓もない訳である。

虫が入り放題である。

特に雨季だからか、蚊が大量である。

一番嫌なのが、トイレである。

タイ式なので、踏ん張る時に、けつの周りに蚊がまっているのである。

変なところ刺すなよーって祈りながら、踏ん張らなければいけない。

これ、結構スリルあります。

ダム家の影響を引きずっているのか、田舎の村に帰ってきても、虫だらけの生活である。雨が降る = 虫の大量発生はなれたもんだが、3階の部屋の中にもハエが侵入していたし、夜中に足が痒くて目が覚めると、蚊に10箇所ほど刺されていた。薬塗って、寒いにも関わらず、扇風機かけて（蚊をふっ飛ばしてくれると勝手に考えて）再び寝付くが、田舎生活も大変じゃのーって思う。それより、デング熱という言葉も脳裏を過ぎるが、こればかりは、宝くじと同じで、当たる時は当たると覚悟するしかない。そんなくらいの覚悟がなきゃ、暮らせないのかもしれない。



ますます嫌いじゃ

2005,4,18



ファランが嫌いである。僕の周りの友人は、自分がファランが嫌いなことを周知している。ファラン嫌いも、この時期には、ピークを迎える。

ソクラーンというのは、4月13日、14日、15日の3日間を言う。考えてみれば、去年もおととしも、そして今年も、この3日間以外にファランに水をかけられている。3日間の間は、文句も言わない。水をかけられるのが嫌なら、この3日間は、家から1歩も出ずに過ごすか、海外に逃亡するしかない。この3日間は、財布や携帯など、身につけてる物で、濡れると困る物は、ビニールに入れたりして防御するのもタイ街中を歩くには必要なことかもしれない。

問題は、3日間以外で、無防備な状態の時に、バシャーって、ファランから水をかけられると、異常に怒りを感じる。

大体において、水遊び祭りじゃないはず。丁度、チャン島に行ったときに、フェリーの上で見かけたが、金の仏像が置いてあり、周りに水に浮いた花があり、水と花と一緒に仏像にかけている光景を見かけた。自分も水と花を仏像の頭からかけたが、ファランの行っている水遊びとは、全くの別物である。確か、デパート等でも同じような仏像と花と水のセットを見かけた。

ファランに言いたいのは、水掛け祭りの本質を理解しているのか？ということ。知らない道を歩いている他人に水をぶっかける・・・通常ならば、裁判沙汰である。無礼講は、楽しくていいが、節度というか、常識というか、分かって行って欲しいと思う。ましては、ファランもこの国では外国人である。タイの伝統的な行事を、単なる「水ぶっか合い、ストレス発散祭り」にしないで欲しいと思う。そして、3日間以外の日に、水をかけられる者の迷惑を考えて欲しいとつくづく思う。

ちなみに、パタヤは、外国人地区（ファラン地区）という事で、今まだ、水かけまつり（ファランの水遊び）が続いているらしい。



今年のソクラーン

2005,4,15



ソクラン期間、ダムさんと過ごすことができた。
 ったく、軍隊には、計画とかスケジュールなどというものは存在しないらしい。
 13日から17日までダムさんは休みを取ったが、12日の夜に電話で「今日の5時に出れる」という連絡。
 急に休めるって言われても、行くあてもなく、結局はダムさんの実家に・・・
 いつもそうであるが、ダムさんの実家に行く場合、5つ星のホテル並みの金がかかってします。
 おみやげ、ビール代、遊戯費、食費、最後に、おばあちゃんへのお小遣い等・・・

衛生状態とトイレの関係で、長く滞在は不可能なので、ダムさんを誘って、チャーン島へ。
 ダイビングをしたが、あまりの綺麗さに驚きである。
 去年のソクランにタオ島へ行ったが、タオ島に近いきれいさである。
 もっとも、チャーン島から1時間半ほど沖合いにでたラン島（パタヤのラン島とはタイ語スペルも発音も違うのだが、日本語で書くと同じになる。）近郊で潜ったので、余計に透明度があったのかもしれない。
 ダムさんと潜ったのだが、ダムさんのダイビングの上手さに驚き。
 オープンウォーター取り立てで、5本目になると思うが、中性浮力もバッチリで、驚きである。

チャーン島も車で渡ったが、車のある生活がこんなに便利なものかーっていうのを実感したソクランでもあった。
 公共交通機関を使うと、地方に行く際、ダム家に行ったりするのが大変であるが、自家用車があると、非常に便利だなーってつくづく感じた。



献血制度

2005,4,6



「ポリチャーク」というタイ語単語がある。
 「ポリチャーク」とは「寄付する」という意味だと思っていた。
 病院で手術を受けるという話の中で、「ポリチャーク」という言葉が頻繁に出てくる為、手術を受ける際に、医者に心付けをするという意味かなーと思いつつ聞いていた。
 結果、僕の大きな勘違いであった。
 ポリチャークは「献血する」という意味で使っていたのである。
 「献血」とは、確かに、自分の血を寄付するということだろうが、日本語は、血を寄付するとは言わずに、献血という個別の単語が存在するために一瞬理解に苦しんだ。

タイ全土ではないだろう・・・という前提で書くが、手術を受ける 病院の血を使う 血液型は問わないが、使用した血液の量を知人・親族が病院へ返す（献血）
 こんなシステムがタイでは存在するらしい。
 そういえば、日本の街中では、しばしば献血車や献血の呼びかけを聞くが、タイではあまり見た事がない気がする。

手術して使った分を返す・・・このシステムが通常なんだろうか？
 でも、使えない血の場合、どうするのだろうか？
 500CC使ったら、2割り増しの600CCぐらいを返すのであろうか？
 タイの謎がまたひとつ増えてしまった。



法律

2005,4,5



正月やソクラーンに多発する自動車事故。
 帰省ラッシュ、大渋滞、酒酔い運転、事故、事故渋滞・・・となるのである。
 で、この時期、マオ・マイ・カップ（酔ったら運転しない）という言葉を目にしたり耳にしたりする機会が多い。

政府からでてくる恐ろしいパンフレットを見てしまった。
 「酔っ払って運転したら、罰金だけじゃない。捕まる（拘束される）」という文面である。
 そもそも、「飲んだら、乗るな」の日本とは違って「酔っ払った」という状態の判定はどうなっているのか？という疑問はある。
 「警察官の判断による」と思っていたほうが良いだろう。

新しい法律なのか、前からある法律で、改めて襟を正す意味かは分からないが、自分としては、非常に恐ろしい法律である。
 だって、毎日のように飲 運転しているんだもん。

ちなみに、ソクラーン前は、何故か警察の取り締りが厳しい。
 しかも、訳が分からないことで捕まえている。
 去年は、IDカード不携帯で捕まった。
 外人だって言ったって、通用しないお国です。
 今年は、バイクの後部座席に座っている人間が、ヘルメットをかぶっていないという理由で捕まって、罰金200バーツも取られた。
 タイの法律は、運転手だけにヘルメット着用義務があると信じていたので、大ショック。

ソクラーン前は、おとなしく田舎にいるのが一番であることを実感している。



週末の過ごし方

2005,4,4



一人の週末というのは、やっぱりツマラナイ。
 平均的な週末の過ごし方を紹介します。
 定時ピッタリに会社を出る。
 そして、パタヤへ着いて、シャワーを浴び、バイクに乗り換え「スニー」へ・・・
 スニーで食事をしながら、今夜の子を選ぶ。
 パターンとしては、Hを目的の子と、遊ぶ目的の子をはっきり分けている。
 遊ぶ目的の子は、一緒にカラオケ行ったり、飲みに行き、何もしない。
 最近は、2回転する機会が多い。
 1回転目に、性欲を満たす。
 1時間ぐらいで用が終わるので、スニーまで送っていく。
 ついでに、一緒にカラオケに行ってくれる子を選んでしまう。
 カラオケ用の子は、くねくね系を選ぶ。その方が、遊んでいて楽しい。
 知り合いに、目撃されないことだけが心配。
 カラオケに行き、酔っ払って帰宅後、熟睡。

朝起きて、すぐにゴルフ練習場に行く。
 この前、起きたばかりでゴルフをしたら、首筋をひねってしまった。
 1週間ぐらい痛かったが、それ以上に、老化を実感。
 ゴルフの後は、洗車場へ行ったり、買い物に行ったりするか、海辺でごろんと一休み。

午後は、H系のマッサージである。
 こちらも、必ずお仲間を選ぶようにしている。
 ノンケは、ヘタクソだし、サービスが悪い。
 それに比べて、お仲間は、さすがにツボ心得ている。

で、日曜の夕方に田舎に帰ってくる・・・そんな平均的な週末である。

こんな過ごし方をするのも、今月いっぱいなのかな-----。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

5月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

給料が出たのはいいけれど・・・

2005,5,31



月末・・・初めて目にした昇給後の給与明細。

税金の額を見てびっくりである。

何となく、たっぷり引かれるのかなーという予想はしていたものの、現実に目を見ると、あまりの金額にショックである。

倍とまではいかないまでも、50%増は優に超えている。

給料のアップ率が30%で、税金のアップ率が50%というのは、どうも納得いかない気がするが、累進課税方式の場合、文句も言えまい。

ダムさんも、本当に勿体ないという顔をしている。

外国人である私が、「タイに居させていただいている料金ですから・・・」「タイの発展の為に少しでも・・・」と謙虚に、言いたいところだが、この金額では、「冗談じゃねー」「スニーで男26人と遊べるじゃん。・・・」という言葉の方が出てしまう。

すぐに、男に換算するのが、悪い癖だと常々友人に言われているが、一番分かりやすい。

ダムさんの給料額をはるかに超えた僕の税金・・・コメントが出てこない。

それにしても、その国の税制に文句を言うわけではないが、所得最低課税が低すぎる。

大卒であるダムさんは、もちろん所得税は1パーツも支払っていない。

それどころか、大卒ダムさんの丁度2倍の給料の人までが所得税の支払い義務がない。

個人的に言えば、これは、本当に不公平な気がしてならない。

日本で当てはめて見た場合、大卒初任給が20万としたって、月収40万円までが所得税免税ってことは、ないでしょうに・・・

それで、僕から、こんなに取るわけ----- (泣)



バンコクに行って、つくづく感じた。
 「もう、バンコクで生活することは無かろう。」
 「なんて、ストレスの多そうな街なんだろう。」

バンコクって、確かに、大都会で、便利であると思う。
 何でも揃っている、買えるという意味では、田舎は、到底かなわない。
 しかし、考えて見れば、バンコクでしか買えないものは、今の僕の生活ではない。
 そんな品物は、友人に頼んで、日本から持ってきてもらったほうが手っ取り早い。
 バンコクで買わなければいけないもの・・・コンタクトを失くしたときに日系の眼鏡屋（ハードコンタクト売り場）に飛んでいくくらいかな？

バンコクで生活していた時も、特に日系のスーパーやデパートで買い物をしていただけではない。
 ロータスカビックCかカルフルがあれば生きていけると確信してるし、今は、もっと飛んでしまって、セブンイレブンもない土地で生活しているのである。
 もっとも、週に1度は、パタヤの大型スーパーで買い物しているので、ロータスもセブンイレブンも無い場所で生活していると言うのは、大げさであり、嘘かもしれない。
 パタヤまで1時間、一番近くの大型スーパーまで車で45分。
 バンコクの渋滞を考えれば、地下鉄、BTSに乗って出かければ、1時間ぐらひはすぐにかかるだろうし・・・・・・・・
 車で、音楽を聴きながら、ダムさんとしゃべりながらの1時間なんて、「サバーイ」極まりない移動である。
 空気の汚さ、異臭、車の多さ・・・・どれをとっても、魅力はないような気がする。

日本人で現地採用を希望する人間のほとんどは、バンコクでの就職を希望する。
 何故だか、さっぱり分からない。
 まあ、ひとそれぞれ考え方が違うから、仕方が無いし、多数決でいけば、僕が変わり者なのかもしれない。

久しぶりに行くと、確実に発展している様子がはっきりと分かる。
 アソークで、BTSから地下鉄へと乗り換えた。
 東京の地下鉄を乗り継ぐ・・・・とまではいかないものの、それに近い雰囲気を感じた。
 久々乗車した地下鉄は、乗客が少ないようだ。
 料金が、10Bと15B区間しかないという安さに驚いたが、こんなに安いのに、乗客が少ないのにもっと驚いた。
 タイ人、地下を走る乗り物を信用してないのかな？とも感じたし、車のステイタスがある以上、いくらBTS,地下鉄等の時間に正確な公共交通機関ができて、車を買わずに、公共交通機関で・・・・という人は少ないのかもしれないとも思った。
 ラチャダーピセーク通りに宿泊したからだと思うが、屋台の数も少なく感じた。

タイらしさを失わないで欲しいと思うが、経済発展の真っ只中にあるうちは、そんな事は気がつかないんだろうな――って思う。
 大気汚染、公害、ゴミ問題・・・・これから、いろいろな問題を解決していかなくゃいけないんだろうな――って、ふと感じた。
 経済発展に伴う犠牲は、大きいことをタイの人たちは、知らないんだろうな――ってふと思ったバンコクの旅でした。



バンコクへ行って来た。

まあ、片道2時間の道のりだから、大げさな出来事ではない。

仕事終了後、すぐに出発するも、渋滞の為、2時間半以上はかかってしまう。

ものすごく久しぶりにあっきーとも会ったが、ダムさんが友人とディスコに行く約束をしていた為、ゆっくり話す間もなく、ホテル入り。

運転で疲れたため、僕は、ディスコには行かずに、一人、ホテルで就寝。

今回の、大きな目的はダムさんのおじいさんのお見舞いである。

何故か、ダムさんのバンコク入りに合わせて、親戚2人がバンコクに到着。

変な憶測かもしれないが、一緒にバンコクに来れば、何かと(食費、移動費等)が助かるから…….と
思って同じ日に着たのかなーと勝手に思った。

予想通りというか、深夜のバス便は、午前4時にバンコクに到着したらしく、「迎えに来て欲しい。」の
電話で起こされる。僕は、あまりの身勝手さに「行かない。」と言ったので、ダムさんが一人で行った
が、朝の4時に連れて行く場所などあるわけも無く、結局は、ホテルに連れてくる。

朝の5時から、なんて迷惑だろうと思いつつも、仕方なく笑顔で迎える。

タイの国立病院へ初めて入った。

タクシン首相の政策で、病気につき、30万の治療費でOKらしい。

ちなみに、当然の大赤字政策であり、国民が、将来払っていかねばいけない。

まあ、日本は、他国のことは、言えませんが…….

この政策は、現金収入の少ない田舎の方では、すごくありがたい政策であるが、ダム家の場合、「バンコ
クまでお見舞いに行く交通費」「本人をバンコクに連れて行く旅費」「付き沿って行く家族の交通費や食
費」が大問題である。

「余計なお金は持たない主義」の典型的タイ田舎家庭。

「貯蓄」という言葉はあるが、現実のものではなく、小銭が貯まれば、ビール代と消えていくのである。

当たり前だが、私立病院とは、天と地との差だった。

大部屋と言っても、16人程の部屋であり、一人当たりの専有面積は非常に少ない。

日本でもあるかもしれないが、皆、同じ洋服(パジャマ)を着せられ、エアコンも無い部屋で、環境が良
いとは言えない。

僕が入ったことのある病院は、近所のクリニック、バンコク病院、サミティウエート病院ぐらいであり、
国立病院とのあまりの違いに驚かざるを得ない。

朝の7時ごろから病院に居て、午後に友人と軽く食事をし、高級ホテルへ3時ごろに入った。ダムさん
は、疲労のあまり、そのまま熟睡。

僕は、今回の大きな目的であったリラックス。

ホテルのフィットネスを利用し、優雅に運動…….と
思ったが、宿泊客がホテル内のフィットネスを利用する際も有料であることを知り、ちょっと不機嫌になる。

夜は、ホテルの近くのデパートで食事をし、ホテルへ戻る。

せっかくだから…….と、ホテルのラウンジで軽く1杯。

軽く1杯…….のつもりであったが、ダムさん…….こういう場所に慣れていない。

おしゃれな飲み物が何種類も英語で記載されているが、結局はビールを注文。

という僕も、お酒の種類に詳しくないが、とりあえず田舎じゃ飲めないジントニックを注文。

で、雰囲気、ムードを楽しみながら、酒をたしなむ…….という経験の無いダムさんと僕。

近所の屋台でビールを飲んでいるかのような飲みっぷり。

このような場所で、大瓶ビールなどという下品な量の販売はあるわけも泣く、小瓶だと、あっという間に
飲み干してしまう。

僕も、途中からビールを飲み始め、結局、1時間足らずの間にかなりのお代わりをしてしまい、1000
パーツ以上の出費になってしまった。

こんなことなら、ホテルの中のレストランで食事したのと同じだったな…….と思いつつも、酔っ払っ
て安眠。

翌日も、ダムさんは、朝からお見舞いに行くという。

家族第一主義のタイ人…….行くなとは言わないが、僕は行かない。

噂のABF(アメリカンブレイクファースト)も大急ぎ食べる。

優雅な場所で、ゆっくりと朝ごはんを楽しむ…….なんて雰囲気じゃない。

おまけに、「味が薄い」って、いかにまずそう。

結局は、ほとんど残して、外出。・・・食べ物に関しては、許容範囲が極端に狭いなーって実感。確かに、卵焼きも、味が無いし、チャーハンも味が薄いと思う。生野菜は食べないし、おかゆやパンは食べないダムさん。コーヒーや紅茶を飲む習慣は無い。フルーツって食べ飽きてるし、結局は、ダムさんにとっては嬉しくないアメリカンブレイクファースト。

さて、ダムさんには、悪いが、病院行きを断って、一人ホテルのプールでのんびり泳ぐ。日本人客も大勢いたが、ホテルのプールは、白人が2人だけ。朝食時に、アジア勢（中国か韓国かシンガポールか分からないが）が大勢いたが、大型バスが出発の準備をしていた為、朝食後、観光に出かけたらしい。残って、のんびりしているのは、白人と変わり者の日本人だけということだろうか？で、病院に見舞いに行ったダムさん。12時までには帰って来るように伝えたが、遅刻して帰宅。ホテルのチェックアウト後、一人、ロビーでボケーっと待っていた。

なんだか、ゆっくりできたのかどうなのか分からないバンコクだったが、分かったことは、バンコクは、思ったより遠くないということかな？

- -



副資材って？

2005,5,27



言葉の壁を感じている。僕は、薄々分かっていたが、日本から来た人たちがショックを受けているようである。というのは、翻訳会社に出した書類をタイ人が読んでも分からないのである。もしくは、意味を取り違えているのである。僕は、原因が分かっている。日本語のあいまいさである。

今日、問題になったのは、副資材という意味である。そもそも、資材という言葉の辞書で調べると、MATERIALと出てくる。じゃあ、日本語で、資材、原料、材料とどう違うのか？という問題が出てくる。そもそも、原文である日本語の使い分けが不明瞭であると思う。原文を書いた日本人は、「副資材とは、梱包用品のこと」と定義して原文に書いたようだが、僕は素人だから、僕クラスの間人が読むと、副資材とは、「主材料ではない細かい（小さな）材料かな？」って思っちゃう。主原料に対しての副原料と解釈してしまう。タイ語の翻訳では、副資材は、「本当の材料が無い場合に、あくまで臨時で代用することができる材料。」という意味で翻訳されてきた。なるほどーである。

で、「梱包用品」を指した言葉が、「代用できる材料」に変わっているものだから、中味はさっぱり？？？でしょ。細かく確認はしていないが、多分、こういうことが積み重なって、かなり違った文面になっているようである。ちなみに、翻訳会社は、間違っただけの翻訳をしていないと思う。日本語独特の意味の曖昧さが原因なのではないかと思っている。言葉の難しさを実感している。

今日は、5時ピッタリに帰って、バンコクへ行く。楽しみー。

- -



ただ、「ホテルへ泊まる」ということ。

これだけで、我が家は一大イベントのようである。

正確に言えば、「ホテルへ泊まる」と言うだけでなく、「高級ホテルへ泊まる」と言った方が分かりやすいかもしれない。

何を基準に「高級」というかは人によって違うだろうが、僕とダムさんが今まで旅行で泊まったことがあるホテルのクラスを考えれば、1泊1000パーツを超えるホテルは、「高級」と言っても良いのかもしれない。

ダムさんの質問は、まずは、「料金はいくらだ？」次は、「星はいくつだ？」である。

「全ったく-----、地理的条件等は、関係ないのか-----。」って言いたいが、「表向き」「格好の良さ」を一番に考えると上記の質問が真っ先であることは、当たり前のような気がする。

ホテルのパウチャー券をまじまじと見つめているダムさん。

突然、「エアコンと、ベットと家具付きか・・・よしよし。」と言う。

何を寝ぼけた事を言っているのか？と思う。この値段で、エアコンやベットが無いわけがないじゃないか。今までに泊まったホテルだって、いくらなんでもベットも無いホテルには泊まったことはないはずじゃん・・・と思って聞き返すと、「ここに、ABF YESって書いてあるじゃん。」って返答。

A・・・エアコン、B・・・ベッド、F・・・Furniture と解釈したらしい。

一瞬、そうか、そんな当たり前のことが書いてあるかって納得した。

しかし、次の瞬間、これは違うって思った。

ABF・・・アメリカン・ブレイクファーストの略称だと思った。

今現在、どちらが正しいのか分からないが、僕の考え（アメリカンブレイクファースト）の方が合っていると思っている。

それにしても、星が付くホテルのパウチャーに、プール付きとか日本食屋ありとか書いてあるのは納得できるが、エアコン付き、とか家具付きって書いてないよね、多分。



久々にクレジットカードというものを使った。

というのは、週末にバンコクに出るのである。

バンコクに遊びに行くというのは、あまりピンと来ない。

なぜなら住んでいたからである。

ホテルなんぞ不要だったのである。

バンコクに泊まる＝ホテルを探す・・・わーっ、旅行者みたいじゃないですか。

どうせなら、少々高級なホテルに泊まるうってことで、ネットで探したんだけど、決断ができず、結局、旅行会社に勤める友人にお世話になる。

安ホテルなら、当日に現金払い、しかも、デポジットを取られて・・・というのにすっかり慣れていたが、な-----んと、クレジットカードにて先払いなんだって。

だから、割引料金になるそう。

で、困ったのは、クレジットカードなんぞ、どこにしまったか？ってレベル。

しばらく（何年単位で）使っていない。

有効期限を見て、「09年まで使えるってな。」って一安心。

そうだよ、たまには使わなきゃねって感じ。

さてさて、はたと思ったが、僕にとっては、クレジットカードは魔法のカードである。

現金が無くても物が買えるのである。（これは、当たり前）

僕のクレジットカードは、日本からそのまま持ってきているから、日本の銀行引き落としなのである。

ということは、現在の僕の財布からは、何も減らない。

もっと正確に言えば、タイの銀行からパーツが減ることも無いし、財布のキャッシュが減るわけではない。

パーツで収入を得て、パーツで生活している身分の人間には、買い物しても、パーツが減らないってすご

く魅力的である。

そういえば、小額ではあるが、日本の銀行には家賃収入が毎月入っているのである。

ということは、その範囲内で、クレジットカードを使用すれば、僕にとっては、何の痛手も無いわけである。

と言う風に考えていくと、クレジットカードで、毎週、ホテルを泊まり歩くってのも良いかなーって思う。

田舎生活をしてると、週に1度ぐらいは、贅沢をしたって良いんじゃないかって気になってしまうのである。

日曜日に、「ホテルのプールでのんびりと本を読む」・・・贅沢じゃないですかーーーー。

だって、今更、友人でも来ない限り、パタヤ市内の観光に行こうって気にはならない。

とすると、のんびり、プールサイドでビールでも飲みながらくつろぐ。

これ、最高の贅沢な休日です。

勝手に想像のみが膨れ上がる・・・ハハハ・・・

-



老けたなーーーー

2005,5,24



ダムさんが老けたなーーーーと感じる。

やはり、1年の軍生活がたったのか、それなりの年齢に達したのか？

考えてみれば、8月になると、知り合って丸3年になるようである。

ダムさんのこと、老けたなんて言う前に、自分も同等に老けたんだろうにね（笑）

まあ、こればかりは、不公平なく同等に進んで行くのでしょうか・・・

ダムさんが老けたなーーーーと感じる最大の理由は他にあるのである。

それは、スニーなのである。

スニーの子と遊んでいれば、23歳のダムさんはまるっきりおじさんである。（大人である）

パタヤ生活の中で、知らず知らずのうちに感覚が麻痺していること間違いないと思う。

ちまたの噂によると、「タイ人は老けるのが早い」「黒い肌の人、白い肌の人より老けるのが早い」等という話もある。何の証拠があって言っているのかは不明だが、どうも話をまとめると、1) 黒い=紫外線を浴びている=肌の老化が早い。

2) 黒い=東北方面出身者が多い=刺激物（唐辛子）摂取量が多い=老化が早い。

という理由らしい。

でもね、これは強調したいのだが、太陽に当たって黒いと言う場合もあるだろうが、「遺伝」で生まれた時から黒い場合もあるんです。だから、「黒い」から、太陽にいっぱい当たっているというのは、半分は違う気もするのですが・・・

ちなみに、「遺伝」は、タイ語で「ガマパン」と言います。

なんか、言いやすく好きな言葉。

-



保守的

2005,5,23



ダムさんと付き合っていてつくづく思うのは、「現状満足派」だなーって。
「いつもの所」「慣れている場所」「慣れているもの」を好む。
「新しいものに・・・」という意識は非常に少ないと思う。
「保守的」と言っても良いのか？「向上心が無い」と言ってもいいのか？

週末に、パタヤに泊まった。
部屋を引き払ったので、ホテルである。
何度も利用している所に泊まりたがるダムさん。
泊まったことがないホテルに泊まりたい僕・・・意見は分かれる。

一度行って、美味しかったレストランに再び行こうというダムさん。
入ったことが無いレストランに入りたい僕・・・意見は分かれる。

まあ、パタヤと言う街は、狭いながらも、観光の街、ファランの街なのである。
ホテルも飯を食う場所も、選ぶに事欠かない。
だからこそ、同じ場所だけじゃなくて、色んな所に行ってみたいと思う僕。
この前、美味しかったし、ここで良いじゃんっていう彼。
確かに、初めての所は、勝手も分からないこともある。
でも、だからこそ、新しい感動もあるような気もするのだが・・・

人間、わがままなもんで、バンコクに居る時は、日本食が恋しいなどとあまり思わなかった。バンコクには、山ほど日本食があるから、いつでも食べられるという意識があったのかもしれない。
田舎に引っ越してから、やたらと日本食が食べたい。
これは、本当に不思議である。
ロータスやビックCおろか、セブンイレブンも無い場所なのである。
日本食などあるわけが無い。
だから、なおさら日本食が食べたい。
なーーーーーんて、わがままな人間なんじゃーーーーって思う。

で、パタヤで日本食を食べた。
まずくてびっくりである。
えーーーー、って感じ。
この料金で、この味がよーーーーって感じでした。
ちなみに、ダムさん、絵だけ見て、何となく色んな種類が入っていて美味しそうに感じたのか、セットのお弁当を頼んだ。
多分、中味は何が入っているか確認していない。
天ぷら、刺身、野菜の煮物、味噌汁、つけもの、魚の焼き物・・・どう見ても、無理やり我慢して、食べている感じ。
最後に、「何が一番美味しい」って聞いたら、「これ」って、指差したものは、天ぷらの下敷きのキャベツの千切り。
日本食を食べる時は、ダムさんを誘わない・・・正直な感想です。



最近、連続して、乞食の摘発が行われたようである。
 それに関連してかどうか分からないが、デイリーニュースのスクープに乞食のことを取り上げていた。
 思いっきりぶったまげたのは、その見出しである。
 「投資が少なく、簡単で、稼ぎが良い」
 中味は、読んでいないから分からないが、キャッチコピーだけ見ると、独立自営業を薦める広告の文句の
 ようであると思うのは、僕だけだろうか？

ちなみに、最近の地元新聞の1面を飾っているのは、ミスコンテスト参加者達である。
 世界中から集まった各国のミスの方々・・・当然、興味はないが、毎日、観光三昧の様子がTVや新聞
 で報道され、このミスコンテストは、いつ始まって、いつ終わるの？って感じです。
 だって、バンコクのお寺参り、チェンマイで象に乗って、ピーピー島でシュノーケリングを楽しん
 で・・・観光三昧の様子がTVで放映されているが、果たして、当の目的の、美人コンテストは？って
 思ってしまう。
 観光PRをしているとしか思えないのだが・・・
 ちなみに、露出度が高い彼女たちは、ワットアルンを背景に水着で写真撮影をしたとかで、なんかもめて
 いるらしい(詳細は知らない)

週末だと言うのに、仕事をしている。
 早く仕事を切り上げて、パタヤでのんびりとしたいものである。
 ダムさんも一緒だから、美味しいものがあったもたべられないのだが・・・

二日酔い

2005,5,20



お土産に頂いた日本酒を飲みすぎて、仕事にならない1日である。
 娯楽が無い田舎では、つつい酒におぼれてしまう。
 ライムを入れて飲むと、「旨い・・・やっぱり、日本人の心じゃーー」
 酒ライムにするなんぞ、もったいないという意見もあるうが、まさか、タイで熱燭でもないしね。
 やっぱり、ライムを搾って飲むのが一番旨い。
 で、1.8リットル入りの紙ボトル半分も飲んじゃった。
 確かに、ダムさんも飲んではいたけど、少なく見積もっても、僕が3分の2は飲んでいるような気がする。
 だから、今日は仕事にならない1日だった。
 いけませんなー、深酒は・・・反省の1日。

魔法のラケット

2005,5,19



虫の話題がやけに多い気がするが、我が家で大活躍なのが「電気で虫が死んじゃうラケット」バンコクで
 も売っていたし、知っていたが、こんなにも重宝するものだとは思わなかった。昼間に充電しておいて、
 夜に虫が侵入してきたら、潰さずに電機で「ビリッ」と感電死してもらうのである。
 日本の「ハエたたき」は、虫を叩いて殺すでしょ。だから、虫がつぶれてしまう。
 感電死方式なら、つぶれることなくあの世へ・・・
 TVを見ながら、ラケットを適当に振り回して「ビリッ」と音がしたら、「虫さんが死んだ」証拠であ
 る。
 日本では、見たことが無かったが、何故、こんな便利な物がないのかが不思議で仕方が無い。

残業している人は、偉い？

2005,5,18



日本人の仕事振りにウンザリ気味である。
 とにかく、残業すれば偉いというか、遅く残ることに価値を見出しているというふうには思えない。
 または、5時過ぎないとエンジンがかからないという感じがしてならない。
 どうみても、昼間に効率よく仕事をこなしているとは思えない。
 仕事の進め方が効率よいとは思えない。
 言葉の問題があるのは分かるが、上手に部下に分業しているとは思えない。

僕は、確かに能力が無い。
 能力が無いと言うか、この業界に関しては無知である。
 だから、上手く部下を使うことばかり考えている。
 如何に、部下を遊ばせずに8時間働かせるか？って事ばかり考えている。

MEETINGと言いながら、しゃべっている時間が長いのだ。
 とりあえず、そんな無駄な時間を就業時間中に作らないで欲しいのだ。
 労働は、時間ではない。中味だ-----。
 と言いたいのだが、遅くまで残っている=がんばっている という評価らしい。
 しかし、言われたことは、確実にやっているのだから、定時に帰ることを正面切って怒る人は居ない。当たり前じゃないですか-----って感じで、今日も定時ちょっとに帰宅である。



スニー

2005,5,14



本日も、未成年者ネタを書きます。
 スニーの中で身体で生活を支えている人の中で、未成年者はかなりの率である。
 未成年者というのは、18歳以下か20歳以下かについては僕なりの解釈を書いてみます。
 1) 売春行為は、年齢に関係なく、一応違法・・・但し、20歳を超えていれば、うるさくない。(問題なし)
 2) 18歳以上であれば、酒場で就労することは可能。但し、客と一緒に飲んだり、売春行為はご法度。あくまで、ウェイターとか調理人という範囲でOK。18歳、19歳は、酒場で働くことはできるが、お客として入場は20歳を超えないといけない。
 3) 難しいのは、ホテルである。20歳以上でないと入れないというホテルから、IDカードがあれば、OKというホテルまである。(ホテルによって違う) IDカードは、15歳から持てるから、15歳であればホテルに入ると規定しているホテルもある。でも、それって、18歳以下の子をお持ち帰りしましたという証拠を提示してるみたいだと思っるのは、僕だけかな？

話は変わるが、スニーでIDカードを持っていない子は、かなりの数である。
 つまり、どこの誰か、まるっきり分からないのである。
 まあ、「かなりの数」というのは、ストリートの子に限定した場合である。
 店で働いている子は、大体は、IDは持っている。街中の子は・・・
 旅行者の人に「15歳になったら、全員持っているんでしょ。何でないの？」って聞かれた。答えとしては「普通の子じゃないから・・・普通の子(普通の家庭の子)が、この年齢で、この場所で、この時間に、目的は身体を する為に、いるわけ無いじゃん。」って返答した。

14日、土曜日にスニーの中のとあるBAR(ユ-)で警察の手入れがあった。
 確かに、この店は、未成年だらけであった。
 最近、目を付けられている店のようである。
 スニーでダントツお客も入っている店だったし、自分もお気に入りの店であったが、しばらくすると危ないな-----って思う。
 というのも、前に、同じような店がスニー内にあったのである。
 確か、サワディーだったかな？ボーイも可愛く、数も揃ってれば、お客は自然と入るのである。
 しかし、警察の摘発が頻繁にあり、1ヶ月間休業とか頻繁にあり、とうとう店の名前も変わってしまったのである。(サワディーからサンディに)・・・ボーイの数も減り、それに伴ってお客も激減である。
 で、当時、サワディーに働いていた子で、ユ-に移った子を何人も知っている。
 場所(店)が変われど、ボーイさんもやってることも皆同じ・・・まさに、いたちごっここと言う表現が

ピッタリなのかもしれない。

ユー が厳しくなって、閉店に追い込まれることがあっても、別の店ができるんだろうと思う。

いたちごっこを繰り返しながらも、徐々に法律が行き届いた国になっていくような気もする。「タイだから大丈夫」という言葉は、そうは長くないかもしれないとふと思う。

ちなみに、パタヤ市内のヘルメット着用率が急に上がった。

しかし、田舎に帰ると、逆にヘルメットをかぶっている人など一人も居ない。

同じ国の中で、差があるなーを実感する。

パタヤのスニーも、ふと冷静に考えると、とんでもない場所であると感じる。



逮捕されたアメリカ人

2005,5,13



雨が降ると、「虫」が気になっていた。

慣れと言うものは、怖いもので、雨が降った日は、夕食は、買って帰るのが習慣になった。

外で食べると、あまりのハエの多さに、美味しい物も美味しくなくなってしまう。

昨夜から大雨だった。

布団の中で、凄い音だなーと思いながら寝ていた。

今朝、「バタバタバタバタ……」という音で、はっと目が覚めた。

一瞬、すごく巨大な虫が部屋に入ってきたと思った。

怖くてダムさんを起こして、見てもらったら「鳥」だった。

いやいや、窓は確かに一晩中、開けっ放しだが、いろんな訪問者が入ってくるものである。

雨と鳥は関係ないかもしれないが、朝っぱらからの侵入者で飛び起きた朝だった。

ところで、56歳のアメリカ人がバンコクで逮捕された。

未成年少年のワイセツ行為である。

何でも、1回250パーツから500パーツで行っていたらしい。

ノートにびっしりと日記のようにレポートを書き残していたとのこと。

と同時に、写真を撮っていたらしい。

TVで警察署に連行されて、ドアップで映し出されていたアメリカ人男性を見て、複雑な思いを感じてしまった。



タダの学校

2005,5,12



タイの中学校へ通っている。

日曜だけ行けば、卒業できるという不思議な形式の学校。

ガーンスックサー・ノーク・ロングリアンというが、卒業までの必要単位数が、通常の学校に比べて極端に少ない。

しかし、中卒は中卒ということで、昼間に行く普通の学校と変わらない。

但し、求職の際は、同じ高卒でも、普通高校卒業なのか、ガーンスックサー・ノーク・ロングリアンなのかによって、扱いは随分違う場合もあるらしい。

18週が一つの単位となっている。

そのうち、3週までは休んでも良いと規定されている。

ちなみに、2週行った。

1週目は、書類を書くだけで終了。受講申し込みということだったようだ。

アンパー（市）の受講希望者が一同に集まって、校長先生の話や、各担任の紹介が延々と続いた。マイクを通しての場合、ほとんど分からないので、苦痛としか言いようの無い時間だった。

2週目は、市の中でも、地区限定で集まった。

村の集会所（日本で言えば、公民館かな？）に集まったが、窓もない何とも粗末な建物。

タイらしく、ポツリ、ポツリと遅刻者が入ってくるので、その度に中断して、「中学組みか」「高校組み

か?」「名前は?」・・・「リストに無いけど、先週書類を出して言ったか?」等、延々と進まない。結局は、グループ分けをただけで終了である。

ちなみに、3週目は、ワイ・クルーの日である。

「教師を敬う日」と訳せるかな?

1度も授業もしていないのに、「尊敬し、敬えるかーーーー」と心の中では思ってしまう。

まだ、一度も始まっていないから、何とも言えないが、期待度はどんどん下がっていく。

新聞でも切り抜いて、1日1コラムでも読んでいった方がよほど勉強になるのではないかと思ってしまう。

授業料タダというのも良いが、内容がねーーーーってちょっと思う。

- -



背中痛み

2005,5,11



セン・ユットである。

日本語で言えば、寝違えるというか、スジを痛めるとでも言えばいいのだろうか?

そう言えば、先日も朝起きてすぐにゴルフをした為、左の背中・首筋を痛めたのが記憶に新しい。

今回も、またまた同じ箇所である。

しかし、原因不明である。

大分、酔っ払っていたのは記憶にあるが、朝起きてから、首筋が痛い。

しかも、異常な痛みである。

脳天まで響くくらいの痛み。

肩こりのような、スジの痛みのような・・・間違いなく言えることは、内臓系は関係なく、筋肉系の痛みであること。

筋肉系なので、生死に心配ないことは、100も承知であるが、困るのは、身体を動かせない。(動かすと、痛い)

で、左背中(首スジ)が痛いので、どうしても普通ではない姿勢、動作をしてしまい、それに伴って、肩こりを併発しているような気がする。

何か、平衡感覚が違っているなーーーーと思うし、動きも自然ではないので、そこから二次的な痛みが来ている気がして仕方が無い。

最近、35歳を目前にして、老化を実感せざる得ない。

肩が痛い、膝が痛い・・・と訴える人間に対して、「何言ってるの」的に思っていたけど、なるほど、身体の不調と言うのは、生活に響くものであると実感している。

よく耳にするのは、30歳で、ガクッ、35歳でガクッと何かを感じると聞くと、気分は、20代だし、下半身に関しては、20代前半のような気もするが、さすがに最近、老化現象を感じざる得ない。

- -



意外に苦手なもの

2005,5,10



意外なことであるが、新卒入社のタイ人職員は、FAXとCOPY機が使えない。

もちろん、教えればすぐに使える。

難しい機械ではないからである。

ダムさんもファックスが送れなかった。

パソコンは、割と上手に扱うのだが、COPYやFAXが出来ないというのは、ちょっと意外なことであるが、よく考えてみれば、家庭内FAX普及率は、非常に少ない気がする。

また、COPYに関しては、COPY屋で「このページからこのページをコピーしてくれ」と言えば、全部やってくれるのである。

前の会社は特別なものかもしれないが、コピーとファックスの専属の人間が10人程度の規模のオフィスでさえも存在していたのである。

一説によると、節度の知らないタイ人が私用コピーを大量に行うのを防ぐ為という意見もあるし（私用コピーの費用 人件費）、タイ式ワークシェアリング（一人で出来ることも2人やる代わりに賃金は安い）という意見もあるが、果たして真相は？

-



物欲が湧き出てきた理由

2005,5,5



アリのたくましさを感じた。

幼少の頃の「アリとキリギリス」は、今でも頭の片隅にあり、アリと言えば、「働き者」というイメージは、払拭されない。

会社の机を開けると、アリがドバーっといた。

原因は、飴である。

どっから匂いをかぎ付けてきたのかは知らないが、かなりの数だった。

で、机の中の飴を処分してから、一夜明けると、一匹残らず、どこかへ去っていた。

いやいや、分かりやすいなーと思うと同時に、さすがはタイのアリ。

食いつきも早いが、美味しい餌が無くなると、居なくなるのも早いじゃんって実感。

タイの縮図を見ているような気がした。

ところで、すっかり忘れていたが、日本のマンションのローンが正式にゼロになった。

なんだかんだ言っても、予定の支払い以上に、前倒して支払ってきたので、残りはほとんど無かったのだが、微々たる金額でも「借金がある」と「無い（ゼロ）」というのは、精神的負担が違う。

ましてや、パーツで金を稼いでいて、借金は「円」というのも、余計に精神的負担が重い。

そういえば、日本を出発する時に、「保険」のつもりであった、日本の住まいであるが、当分帰る気もない今となっては、存在価値を疑ってしまう。

しかし、不動産という物が物だけに、簡単に処分できるわけもなく、外国に住んでいる分、処分する際に使うエネルギーを敬遠して、「まあいっか、腐るものじゃないし、置いておけば・・・」ぐらいのものである。

とっとと処分して、こっちで、コンドミニウムでも・・・とは、思うが、やはり、労力を考えると、尻込みしてしまう。

たまーに、沸いて出てくる「高い買い物をしたい病」・・・1年半ほど前にも、「バンコクでコンドミニウムが欲しい」と言っていた気もする。

そういえば、そのお金は、まんまと新車購入の代金に化けてしまったのである。

日本の家のローンが終わった・・・パタヤでコンドミニウムを買いたいという欲求が、何故かめらめらと湧き出てきている。

-



観光地

2005,5,4



久々にラン島に行ってきた。
 驚いたのは、日本人だけであること。
 さすが、ゴールデンウィークという感じ。
 そして、もっと驚いたのは、店の人たち（浜辺のレストラン）の従業員が流暢な日本語をしゃべること。
 もちろん、商売に関する言葉に限られるだろうが、単語ではなく、文章になっていたのには驚いた。
 お土産屋の物売りの人たちも、上手にしゃべっていたな――。
 そりゃ、バンコクのプラトゥーナム市場で、100パーツで購入可能な財布が、3個セットで1000
 パーツですから・・・観光地料金、島料金を差し引いても、カモを捕まえる為に、言葉の学習は、必須
 なのかな？
 それにしても、いかに、多くの日本人が訪れる島なのかを実感。
 やはり、チャーン島辺りまで行きたいものである。
 チャーン島にも、日本人ダイビングインストラクターが居たのには驚いたが、率で言えば、グーンと減る
 はずである。
 別に日本人を毛嫌いしているわけではないが、日本人（外国人）の多い所は、物価も高いし、カモを狙う
 変な奴の出没率も高いのである。
 田舎に住んで、感じるのは、つくづく、同じ国でもいろんな人がいるものだな――って、本当に思う。



急に狭くなった。

2005.5.3



家の中の荷物が急に増えた。
 理由は、簡単である・・・3部屋分の荷物が一部屋に集まったのである。
 ダムさんが帰ってきたことから、パタヤの部屋を解約した。
 だから、パタヤの部屋の荷物が田舎に来た。
 ダムさんが軍を出たから、その分の荷物が田舎に来た。
 もっと分かりやすく言えば、歯磨き粉（同じ種類）で途中のものが3つ、我が家の洗面所に並ぶ。
 バスタオル干し（場所を取るんだよね）も2つ。ゴミ箱も2つ・・・すべてがこんな調子である。
 ジェルや顔に塗るクリーム等・・・2部屋で生活していたものが、1部屋に集約すると、すべてが倍に
 になってしまう。
 ましてや、ダムさんの生活用品が増えたので、荷物は、3倍になった。
 いよいよ、タウンハウスを借りたいとは思いますが、ダムさんから言わせれば、「どうせ寝るだけだから、こ
 こで十分だ。」という。
 しかし、急に、部屋が狭くなったような気がしてならない。
 田舎では、これ以上の、アパートは望めない。
 とすると、1軒屋を借りるか、タウンハウスを借りるかの選択肢になってしまう。
 でもね、やっぱり、虫の事を考えると、1階よりも2階、2階よりも3階なのです。
 10階に住みたい・・・などとふざけた事は言わないが、やはり、地上より高い場所に住みたいと思
 う。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピッ
クス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

6月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

ミュージックステーション

2005,6,29



今日も、錫、鉛、銅・・・日常生活とはかけ離れた単語のオンパレードの中、仕事をしている。どうも、暇に見えるのか、直接的な仕事以外の仕事の依頼が多すぎる気がする。

振り払っても振り払って集まってくる田舎の虫のような気もする。

「仕事をしないように・しないように・・・」と心がけてはいるが、そうもいかないらしい。

タイに来てから、駐車場で、車を出す際に、邪魔な車を押している風景を良く見かける。

今まで、マニュアル車を駐車後、ニュートラルのまま、サイドブレーキも引かないで駐車することで、外押し移動が可能なことだと信じていた。

AT車の場合、Pに入れないと、鍵が抜けないので、AT車は、このような技は不可能であると信じていた。

しかし、本日、AT車でも、鍵を抜いた後に、PからNに変更することができると知った。

秘密のボタンを押すことで、PからNに変更できるのである。

些細なことであるが、カルチャーショックである。

本日、TVでミュージックステーションが放映されていた。

こんな田舎で、しかも、NHK以外の民放が見れるとは・・・と感動した。

ちなみに、4年近く日本から遠ざかっているので、出演歌手は、島谷ひとみ一人を除いて、誰も知らなかった。

D-51とか、ジャニーズ風の長髪のグループが、学園ドラマの収録スタジオで歌っていた。

誰も知らない・・・寂しすぎるーーーーとっていた時、20年前の特集を放映した。

松田聖子、光ゲンジ等が放映され、思わず口ずさむと共に、感動。

ちなみに、放送の最後のテロップで愕然とした。

「次週は、の為、お休みで、次回は2月17日にお会いしましょう」だって。

おいおい、半年近くも古いものを放送していたのかーーーー

日本を離れ、外国であることを実感。
タモリさんは、変わっていないようだ。



汚職ネタ

2005,6,28



新空港における爆発物探知システムCTX9000の汚職の事件も最終局面を迎えているようである。
昨夜、遅くまで国会生中継をやっていた。

今朝のラジオニュースでは、16時間にも及んだということらしい。

麻薬撲滅の次に、汚職撲滅を掲げている政権だけに、国民の注目も高いようである。

僕は、タイの国会の事、政治のことが分かっていないので、偉そうなことは言えないが、「タイ愛国党が、議席の大多数を占めているので、うやむやになるんじゃないか。」という予想と、「津波、原油高の影響で、経済成長が、伸び悩んでいるから、ひょっとしたら解散という可能性もあるのかな」などと勝手に思っている。

外国人から見ると、タクシン政権は、国民から評価されているとはいえ、「ちょっと独裁主義的。」「将来を考えないで、国民から歓迎されるばら撒き財政政策ばかりを打ち出して、そのつけは、選挙権もない外国人に來ている。」・・・という感想を持っているため、個人的には、国会解散・総選挙・・・なんてストーリーを期待している。

スニーが、OFFシーズンとはいえ、暇だから、「ファラン少ないね。」ってヌイおばちゃん(スニーの主)に話したら、「政府の政策が厳しくて、ファランがめっきり減ったよ。戻って来るまでに、すごい時間がかかるんだよ。」ってぼそっとつぶやいていたのを思い出した。

ヌイおばさんは、規制が緩くなれば、戻ってくると信じているけど、僕は内心、「他の国に流れるのではないか?」とふと思っている。

先日から、何度か話題に出てきている「奨学金返済」の件であるが、7月5日までに本人が銀行に行き、手続きを行わなければならないのだが、月初めは大混雑が予想されるので、本日、銀行に行かせた。タイ人なので、給料が出てから・・・と言っていたが、ほとんどのタイ人が、同じ行動パターンをとるだろうと思い、早めに(月末の給料日前に)行かせた。

奨学金制度は、良い制度であると思っていたが、金の使い方を知らない人間・もしくは、3流大学で、卒業後、高額な月給を期待できない学校に入る場合・人物の場合は、奨学金で学校を卒業することが果たして有益かどうか?・・・と少し疑問に思う。

事実、ダムさんの友人で、限度額いっぱいまで借りて、これ以上、奨学金が借りられない。

加えて、卒業証書授与式のお金が払えずに、卒業できない友人がいる。

彼女の場合、短大卒扱いの給料、高額な借金だけが残り、学歴以上の能力や、がんばりもなく、ワーカークの給料+1000パーツ程度で、奨学金の返済が重くのしかかるのである。

制度は立派でも運用が・・・ということを目にすることがあるが、まさにその通りであると思う。

今年は、初年度なので、4000パーツ弱(1年間)の支払いで、来年は、8000パーツ・・・と毎年、アップする返済額。

最終的には、年に3万パーツの負担になるのだが、果たして、奨学金を受けた者全員が、年数と共に、収入も支払いと比例して増える人間がどのくらいいるのか?とってしまう。

という日本も、自己破産、カード使いすぎ等の話をしばしば耳にするので、タイ人は、タイは・・・等とは言えないのかもしれない。

しかし、借りて、手にしたら最後、返済の義務を忘れていて、何とかかなんと思っている・・・という楽観度は、やはりタイ人が圧倒的に強いと思う。



久々コンドの話

2005,6,27



コンドミニウムの話は久々にしたいと思う。

諦めた訳ではない。

はっきり言えるのは、「パタヤはバンコクに比べて選択の幅が狭い。」ということ。

街自体が小さい。

ある程度の値段を出す気があれば、話は別だが・・・今の僕の予算では、選択できる数が限られているし、その中で、気に入った物件を探すのは困難なようだ。

具体名を出せば、VIEW TALAY CONDOは、僕にとって魅力的である。

プールがお気に入りののだが、残念なことは、部屋自体が狭い。

プロジェクト1から始まり、現在プロジェクト6かな？

建設計画の時から、お金を毎月払い込み、2年後の完成時に、ドカーンと最後の金を振り込んで、自分のものとなる。

なんか、2年後というのが、胡散臭くて、買う気がしない。

建設済み=完売であるが、個人間の売買は盛んで、常に雑誌に載っている。

部屋が狭いと言うのと、渋滞のど真ん中に建っているのが、非常に嫌。

もう一つ、ケー・ハートという古いコンドミニウムがあり、お手ごろな値段ではある。

32M2で、19階建ての高層階でも60万バーツ程度で購入できる。

狭くても、15階あたりから海を見渡せるのでの値段は価値がある気もする。

しかし、問題は、いかんせん10年以上経っていることであろう。

タイ人は、時間的経過を気にしないのか、オフィスに「建ってから何年ですか？」と質問すると、「さあ？私も働き始めたばかりだから・・・」「随分経つよ。」「十年ぐらいじゃない？」等、曖昧な返事しかない。

ダムさんは、見た目重視で、「まだ、十分に住める」というが、「せめて十年後までは、存在していて欲しいしなーーーー」って思う。

日本で中古のマンションを買う場合は、いつ建設終了したか(いつ建ったか)は、非常に重要な情報であるはずだが、タイだと「まだまだ使える。」「色を塗り変えれば、綺麗だ。」ぐらいの返事しか返ってこない。

この辺の「曖昧さ」「いい加減さ」が、大きな買物だけに嫌なのである。

しかも、工事屋、内装屋さんの職についているタイ人のレベル(階級)を予想した場合、心配に事欠かない。

差別するわけじゃないが、「職人」という言葉は、この国では当てはまらず、「仕事の注文=金が入る」ぐらいの発想でしかないと思う。

「いい仕事をしよう」などという発想があるわけも無い。

いかに楽しんで、早く終わらせて、金をもらい、次の仕事に行くかが勝負である。

まあ、あせる必要はないと思いつつも、運転の最中に、コンドラしき建物があると、つい寄ってしまう。アンバサダ・シティの帰りに、パタヤから20分ぐらい離れた場所で、すごく雰囲気の良いコンドを見つけた。

雰囲気が良いというのは、広々として開放感があるということ。

いくらプールがあっても、ビルっぽい建物は嫌なのである。

で、すべて完売ということだが、大体の値段を聞くと、やはりパタヤの半額の返答が返ってきた。

パタヤ市内に拘らず、広い地域をターゲットで考えても良いかも？って思った。

でも、パタヤ市内から20分も走ると、なーんにも無い田舎になっちゃうんだよね。

「こんな場所にコンドミニウムが何故ある??？」って所は、やっぱり生活するには不便かもしれない。

色々考えてて、結論も出せないし、何より、資金も無いしね。

見る目だけは養っておこっと。



充実した週末を過ごした。

アンバサダ・シティは、まさにシティだった。

建物の数・プールの数等、ホテルというイメージとはちょっと違った。

WING (建物の名前) が違えば、まるっきり建物が違うのに、そんなこと知らず、自分で予約しておいて、何処のWING に予約したのはさっぱり分からず、チェックインに手間取った。いや、チェックインする建物を見つけるのに、手間取ったというほうが正しい。

しかし、広すぎて、OFFシーズンの人気の無さの目立つこと。

BIG POOL と書いてある場所、あまりの人の少なさに、「今日は、使えないんじゃない? 」と話しながら、周囲を散歩すると、ファランが1組だけ泳いでいたので、「どうやら泳いでも良さそう。」ということが分かる。

人気の無い・活気の無いプールもあまり面白くないものである。

夏の東京のプールのような混雑は、いくらなんでも遠慮願いたいが・・・

フードコート看板があり、ロータスのフードコートイメージして、「従業員の為の値段の安いフードコートかも? 」と思ったら、思いっきり1軒も開店していなかった。

夜は夜で、ビアガーデンの垂れ幕を見て、「たまには、波の音でも聞きながら、生ビール! 」を楽しみにしていたが、どこを見渡しても、ビアガーデンなんて無し。

確かに、ビアガーデンの季節ではないが、季節が過ぎたら、垂れ幕も下ろして欲しいものだ。年が明けても「クリスマスセール」をやっているのと同じくらい滑稽である。

まあ、この辺りが、5つ星とは程遠いホテルの現状だろう。

ダムさんは、5つ星であると信じているようである。(僕は何も言っていないが、本人が勝手に思い込んでいた)

本物の5つ星ホテルを知らないから、仕方がない。

それでも、夕方からタイ人家族がプールサイドに姿を見せ、「そうだ、タイ人は、太陽が沈みそうになってから、プールで泳ぐんだ。」を実感。

ちなみに、アンバサダ・シティは、パタヤ中心部より15分ほど離れた場所にある。

パタヤ中心地では考えられない位に、タイ人お客数が多い。

ちなみに、マヒドン大学のバスも泊まっていたし、タイ人家族連れが多かった。

逆に、ファランは目立たなかった。

パタヤ中心地は、どう考えても、タイ人家族連れが過ごすには、問題がある場所である。

どこを歩けど、「身体を資本に生活しています。」という匂いでプンプンである。

週末をリゾートホテルで過ごすクラスの階級の人間が好む場所ではないようである。

まあ、外国人の僕でさえも、パタヤの町を冷静な目で見たときに、「異常な街」と言って、言い過ぎではないと思う。

ちゃっかりしている我々は、お昼の12時丁度に、チェックインした後、3箇所のプールで泳ぎまくり、疲れた身体にムチ打って、フィットネスセンターまで利用し(お客ゼロ)、夕日の沈むクライマックスを迎えた後、即座に熟睡。

朝も、バイキングだからとひと泳ぎして腹を空かせた後に、昼兼用の食事をし、再度プールで泳ぎ、12時ちょっと前にチェックアウトという「フル使用」という感じだった。

ちなみに、今回もバイキングはダムさんに不評であった。

パン・粥・サラダ・フルーツ・・・どれをとってもダムさんが好きなものは皆無。

ちなみに、「ハム」を生まれてはじめて食べたらしい。

「食べたこと無いから」と山盛りで持ってきたが、1枚食べて「ふうん」で終了。

終了と言う意味は、人の皿に入れてしまうということ。

確かに、タイ料理ではお目にかからない食材かも? って納得。

カリカリベーコンを「ムー・デット・ディアオ」みたいと称していたが、油を油で揚げた料理は、僕は嫌いじゃ-----。

(ベーコンを炒め物に、使用する際は、油を使用する必要はなし。つまり、ベーコンそのものから油がたんと出てくることを僕は知っているのだ-----)

何はともあれ、スポーツの疲れは、仕事の疲れと違って、気持ちよい疲れであるとしみじみ感じた週末

だったし、こういう贅沢もたまには良いかなって感じました。
しかし、よく泳いだなーって感じ。

贅沢し過ぎちゃうの？

2005,6,23



最近の週末の贅沢振りは、異常である。
やはり、田舎生活、我慢しているものが、あるのかもしれない。
セブンイレブンも無いんだよーって半分自慢しているかのようだが、やはり退屈極まりないという
か、何の変化も求めようも無い生活である。
何より、食生活に変化が無いのが悲しい。

今週末も、アンバサダ・パタヤ・ビーチ・ホテルに宿泊する予約をしてしまった。
ダムさんが一緒では、スニーでお買い物をするわけにも行かず、見ているだけ・・・と思って一緒に行っ
たら大変・大事件である。

店の子が「てつーーー、今日は、何処に行くんだ？」とか、急に、抱きついてきて、「タバコ代くれ」
とかいう奴まで出くわしてしまう。
店に入ったら、入ったで、ダムさんを指してこともあろうに「今日は、何処の店の子だ」とまで言われ
ちゃ、大問題である。
大体、水商売として「気が利く」ような人間は、スニーの路上には居る訳が無い。
同じ酒場でも、日本とは、大違いである。

で、週末ぐらいは、贅沢したいという思い。
パタヤの部屋を解約したので、週末のホテル代は、必要経費である。
どうせ泊まるなら、気持ちよいホテルに宿泊したい。
プールも無い安いホテルに泊まるくらいなら、プールやフィットネスやサウナ完備のホテルの方が、逆に
安上がりである。
などという無理やり自己説得理由を考え出し、今週も予約してしまった。

来月は、チェンラーイ旅行を予定している。
なんだか分からないが、贅沢しまくっている気がする。

それにしても、クレジットカードは魅力的である。
正直、ずっとクレジットカードは持っていたが、「もしもの時のお守り」程度の考えであり、実際に買い
もの等で、使ったことは、ほとんど無かった。
現在も、日本のカードが自動的に更新されているのであろうが、日本の口座から引かれるというのは、今
の僕にとって見れば、痛くも痒くも無い訳であり、しっかりと引かれているに違いないとはいえ、何故か
「ただで遊んだ気になる」のである。
パーツで稼いでる人間は、パーツで支払わなきゃ駄目ですなー。
まさに、魔法のカードである。

間違いだらけのタイ語

2005,6,22



「どこがどうしてだめなんだろう」

自分にとって、すごく有益な本である。

タイ語学習をしている日本人に多い間違いを101文紹介してあります。

「はじめに」で述べられているが、どうしても大人の固い頭で外国語を操る時に、日本語からタイ語に訳して表現してしまう。

しかし、直訳することで、間違っただけ表現をしている場合が多い。

日常会話の生活において、話す相手が特定された場合（自分の場合は、会社のタイ人とダムさん）、間違っただけ言い回しでも、何とか通じちゃうのが困ったもので、間違っていることを指摘されることも、間違っているということを知ることもなく、過ぎてしまう。

しかも、何度も繰り返すことによって、しっかりと頭に刻まれてしまうものだから、日常言っていたことが、間違っていたと知らされ、驚きと共にショックを感じる。

ちなみに、「日本人に間違いやすい」と宣伝してあるだけあって、半分以上、引っかかっていた。

「何で知っているの？」をタイ語で「タンマイ・ルー？」が間違っている（通じるが）と分かった時に、カルチャー・ショックに似た気持ちとなった。それだけ、日常でよく使っていたからだ。（正しくは、ルー・ダーイ・ヤンガイ）

タイ語を勉強した人には、非常にお勧めの本です。

「サムラップ/プア（～の為）の違いは何だろう？」とかきちんと解説してくれているし、何より易しい説明をしている。

「ラップ/ダーイラップ（受け取る）の違いとは、ラップが、受け取る動作で、ダーイ・ラップは、受け取っている状態を表す」という具合に、簡単かつ明確な説明である。

考えてみれば、タイ語学校では、直接教授法（タイ語をタイ語で勉強してきた）ので、「慣れろ」「理屈抜きで、頭に入れろ」と言う感じで、文法解釈無しで勉強してきた。

だから、タイ語の文法とかあやふやなまま、なんとなく今まで過ごしてきた事を痛感。

硬い頭には、いくつかの例文で、「なんとなくこんなものかなー」って理解するよりも、ずばっと母国語で、説明してもらったら、こんなにスッキリするものかを実感。

それと、基礎の大切さも実感。仕事をはじめから、マニアックな単語の嵐である。

就業規則・税務署・要領書・社会保険等・・・働いてはじめて知るような単語は多い。

現在は特に、職種のためか、鑄・成形機・はんだ・鉛等、極めてマニアックな単語が並ぶ。

（マニアックな単語とは、日常生活では、使用頻度が極めて低い単語である。）

しかし、基本に戻って、日常会話ということを考えると、日常使用する単語・文型を正しくきちっと頭に入れるほうが、日常生活を送るにあたり、大切であろう。

今まで、発音が悪い為、通じない・こいつは頭が悪くなくて（外国人の話すタイ語を聞き取る能力が低い）、田舎から出てきたばかりで、外国人と触れたことが無いから、通じ難い等、自分のタイ語の未熟さを他人のせいにして納得していたことを実感。

実は、発音も問題だが、文法・語順・使う単語が間違っていたことがはっきり分かった。

もう少し、早く出会いたかったなー。って感じるタイ語解説本と出会った。



大学で・・・

2005,6,21



最近の様子は分からないが、日本はいじめの問題が社会問題となっている。
どうも、国が発展すればするほど、人間の心が病んでいく確率は上昇傾向になると思う。
タイも、大学生の新生の歓迎パーティーのことが新聞・ニュースをにぎわしている。
上級生から、セクハラを受けている写真がネットに掲載されてから、一気に、「この大学でも、こんなことが、あの大学でもこんなことが・・・」で、次々と、続々と・・・である。
いじめとは、無関係のようだが、アメリカン・チアリーダーの練習中に、女子学生が頭を打ち、重症で病院に寝ている様子も、大学内で起きた事件ということもあり、大々的に報じられている。
タイの場合、本当にプライバシーが無いなーと思うのは、病室で、意識不明で寝ているところをTVで堂々と放送しているのである。
日本のワイドショーなら、家族が泣いている様子や、友人・知人のインタビューまでで止まりであろう。怪我をした本人が、管だらけで、意識不明の様子を映し出していると言うのは、驚きを隠せない。
昨日のTVで、実際に事件があった大学構内から、ニュース番組が報じられており、その場で一緒に練習していた学生たちが、当日の様子を生々しくマイク片手に説明をしていた。
なんか、複雑な気分になった。

タイの大学・・・制服をきちんと着て、最高教育機関で学べる喜びをかみしめながら、学ぶ・・・というイメージがあり、まだまだ「一部の人が学ぶ」「卒業できる」名誉ある教育機関であると思っていたが、最近では、そうでもないのかもしれない。
とは言っても、日本の大学も、学生の質を自慢して言えるものではないことは、百も承知だが、タイも同じらしい。
奨学金制度が導入され、確かに、一般人にも道は開けたが、その反面、「特別な教育機関」ではなくなったというのが真実なのかもしれない。

ちなみに、ダムさん、卒業後1年を経て、いよいよ奨学金の返済が始まる。
TVのCMでも、7月は、奨学金返済手続きをする月・・・と政府広告が出ている。
但し、ダムさんを含め、友人たちは、そのお金を用意するのに、大騒ぎをしている。
15年返済で、借りた金額によって返済額は違うが返済の第一回目が来たわけである。
卒業後、1年目は、免除期間（初任給は安いから？）で、1年後からはじまる返済。
ダムさんはじめ、友人が、これだけ大騒ぎをしていると言うのは、この1年で返済金を準備していた人はいないようだし、奨学金は返済しなければいけないということは分かっているものの、まさか、本当に返済しなければいけない日が来るとは思っていなかったのでは・・・とってしまう。

人事だから、関係ないとは思いつつ、クレジットカードの発行枚数の多さ、電話を月極契約し、さんざん使用して払えなくなり、サービスを止められ、催促状が来ても無視し、いよいよ裁判に訴えるという葉書がきたら、大慌てで自分の口座から預金を下ろす。奨学金の返済で大騒ぎ・・・等のことが、ごくごく身近に溢れている。

ミー・パンハー（問題がある）という言葉をよくタイ人が発するが、お金が絡まない問題であってほしいと常々思うが、どうも、お金が絡んだ問題にしか出会わないタイランドである。



嫁のあら探しをする姑のような状況である。
というのも、書類の間違いが非常に（異常にという言葉を使いたいくらい）多い。
とにかく、「早く終わらせて上司に渡しちゃえば、自分の責任は終わり。」
「上司がサインさえすれば、私の仕事は終わった。」
こんな風に考えているとしか思えない。（事実、絶対にそうである）

「タイ人の多くは、仕事が最後まで終わると、確認をしない。」
これは、かなり当たっているのではないかと思う。
タイ人は・・・とか、日本人は・・・という区分けは、自分でも抵抗があるので、あえて「タイ人の多くは・・・」という表現にしたが、「タイ人のほとんどは・・・」に置き換えても良さそうな気がする。

書類の1行目が間違えていたら、もう、最後まで目を通す気がしない。
だから、「ここが違ってみたい。」って返却。
もちろん、その部分しか直さない。2行目に進んで、また、間違い。
その繰り返し。
最後までたどり着くのに、時間がかかること、かかること。

あら探しは、したくない。
しかし、ポイントが間違っていると、言わざるを得ない。
でもね、やはり、書類ですから、間違いは間違いと言わなければいけない。
気苦労というより、気が休まる間が無い・・・というのが、実感である。

ちなみに、僕の部下、12000パーツ、8000パーツ、6500パーツという給料。
大卒2名、短大卒1名。
学歴や給料と仕事の出来・不出来は関係ないとは思いますが、最終で僕が目を通す前に、もう一人、お目付け
というか、書類の間違いを見破る人間がいて欲しいと思う。
給料高ければ良いというもんでもないが、「これくらい、ちゃんとしてくれー」って心の中で言わなくても良いレベルの人間と働きたいと思う。

ちなみに、学歴と能力の差は関係ないと思いは、持っている。
しかし、この国に関しては、絶対に関係していると思う。
平均なんて発想や、標準のレベルなんて、この国にはない。
学歴と仕事の能力は、学歴に左右は、直接に関係しているのではなく、間接的に関係しているのではどうだろうか？
つまり、学歴 = 家庭環境のゆとり度 = 経験（勉強だけではない）という単語で結びつくような気がする。
経験と書いたのは、狭い村社会しか知らないこと、いろんな場所に行ったことあたりする子は違う。
事実、ダムさんの友人たちで、住所を渡して、「ここに行ってください。」と言い、行けない子は多い。
（または、友人・知人を巻き込んで、大騒ぎとなる）



タイ人の電話で、ムカつくことが多い。

いきなり電話をかけてきて、「誰の電話だ?」「誰の番号だ?」って言うのである。

「あなたは、誰に電話してるの?」と言っても、「番号が残っていた。」などと言っている。

今日もそんな電話がかかってきた。

「間違え電話じゃないの?」といい、「僕は、タイ人じゃないんだよ。」と言うと、相手から切った。

10秒後、「あなたは何処の国の人だ?」ってかかってきた。

日本人とは答えずに、「タイ人ではない」を強調。

そしたら「今、何処にいるんだ?」「何をしてる?」って話になる。

「仕事場にいる。それに、何で、間違え電話の奴に色々答えなきゃいけないんだ。」と言うと、さすがに相手も「ハッ」と気がついたようで切ってくれた。

一部であるとは思いますが、本当に電話マナーの悪さを感じる。

特に、下の階級の人間に礼儀の知らない奴が多すぎる。

自分の名を名乗らないで話を一方的に始める人間の非常に多いこと。

小さな村社会・家族社会のみで生きている人は、声を聞けば誰かすぐに分かるかもしれないが・・・差別かな?

タイの場合、早い時期から、番号表示が出るスタイルだったのも原因かもしれない。

日本の場合、プライバシーの問題等で、番号表示は、表示されたり、非表示だったりとさまざまである。

(現在は、どうなっているのか分からないが・・・)

それと、今でこそ安くなったが、通話料が物価と比べて高かったと思う。

だから、とりあえず用件を早く相手に伝えなければいけないと思っているのも原因かもしれない。

まあ、そのことと「名を名乗らない。」「日本のような挨拶もない。」・・・というのとは、別次元であると思うが・・・挨拶も無いというのは、文化的な背景もあるのかもしれないが、友人同士では「サバーイ・ディー・マイ?」とか言い合っているけどなー。

ちなみに、最近タイ人の人間関係について思っている事がある。

職場の中でも、「この人だーーーー」って思うと、ものすごい接近の仕方をする。

それで、兄弟・師弟・コンビ?のような関係になるのである。

高校の時の女性友達のような関係である。

恋愛もそうだが、「これだーーーー」って思い込んだ時のタイ人は、すごいと思う。

100%の信頼感というか、「この人がいないと生きていけない」状態(恋愛ではないとしても)になる傾向が非常に強いと思う。

これは、僕の気のせいだろうか?



日本語でふりがな?

2005,6,16



海外というか、外国文化、外国語に対する理解のない人間と付き合うのは、本当にしんどいと思う。

しかし、自分も過去はそうであったのかもしれない。

実際に、海外で生活してみて、自然に身についてしまったのかもしれない。

会社のとある日本人が、「少しでも、タイ語を勉強したいから、ここにカタカナを付けてくれないか。」と言ってきた。

もちろん、タイ語の文章を持ってきて、カタカナを書いて欲しいというのである。

タイ語を勉強したことがある人は、理解していると思うが、

1) 5つの声調がある。(声調が違くと意味は異なる。)

2) 日本語は、あいうえおの5母音に対して、タイ語は、30以上の母音がある。

3) 有気音と無気音がある。(濁点の桁 がぎぐげごがそれに当たると言えば、分かりやすい。)

4) 末子音があり、僕も未だに聞き取れない。多分、一生聞き取れないと思う。これは、タイ人が、「つ」と「す」の聞き取りができないのと一緒だと思う。

で、話が脱線したが、別に、こんなことを理解して欲しいとは、全く思っていない。
但し、外国語を日本語のカタカナやひらがなで表すことが、どれだけ難しいことかくらいは、理解して欲しい。
英語の教科書に ディス・イズ・ア・ペン とカタカナを書くような教育方法は、日本ではないはずである。

気持ちは分からんでもない。しかし、少なくとも、何ヶ月もタイで滞在し、仕事をしている人間から出た言葉だと考えると、頭が痛くなりそうである。

ちなみに、文法は同じだと思っているのだろうか？

あれだけ学生時代、文法中心の英語教育を受けて来た日本人から、文法を全く無視し、ただ「カナを書いてくれ」と言われても、「どないするの?」「何の為に?」と思ってしまう。

100%の確立で、使えないということが分かっているながら、文句をいうのも何だし、実体験に勝るものはないと思って、素直に、日本語のカナを付けている。
僕にとっては時間の無駄と言うしかない。

- - -



日本から遠ざかる

2005,6,15



日本から、どんどん遠ざかっている気がする。
田舎生活を始めた今、日本語TV (NHK) は、週末のパタヤのホテルで見えるくらい。
活字関係も、フリーペーパーが手に入りづらくなったので、めっきり目を通す機会が減ってしまった。
しかし、最近、DACO (フリーペーパーの名前です) だけは、国内は、無料で配送してくれるので、職場まで届けてもらっている。
しかし、2週間に1度の発行にも関わらず、手元に届くのは、何故か1ヶ月か1ヶ月半に1度のような気がする。
DACOが届いた日は、何となく、lucky dayのような気がしてならない。

DACOの広告を見て感じることは、スパが随分と増えたなーと思う。
広告だけが増えたのか、実際に増えたのかは不明であるが、とにかく、スパの広告が多い。
マッサージ、エステ、整形、極め付けは、「腸洗浄」の広告まで出ている。
何でも、45分3000バーツで、肛門に管を突っ込み、水を30リットルから50リットル入れるんだって。
読者の体験記で、「お腹が軽くなった」と載っていたが、そりゃ、30リットルも入れて、出せば、スッキリするだろうに・・・と思う。
色んな、商売が成り立っているが、「腸の洗浄」なる商売がこの世にあることに、驚きを隠せない今日である。

- - -



食のこと

2005,6,14



昨日、村で一番高級なレストラン？ムーガタ（豚焼肉食べ放題）に行ってきた。
一人、69パーツで、肉類、イカ、貝、海老（もちろん、小さいが）つみれ類、野菜、フルーツ、ソムタムまでが食べ放題。
飲み物は、別料金で、生ビールもおいてある。
ちなみに、ソムタムは、材料のみ揃えてあり、自己調理。
ちなみに、村の中には、39パーツ食べ放題というのもある。
同じようなシステムだが、材料の質が落ちるらしい。（あくまでも噂だが）

まあ、たまには良いが、ついつい食べ過ぎてしまい、胃の調子も悪い。
昔は、バイキング（食べ放題）大好きだったんだけど、最近は、めっきり興味がわからない。
そもそも、量はともかく、美味しい物を食べたいと思う。
それに、タイ人は、ほんとうに限界というか、丁度良い量を知らないから、自分が食べたいものをどっさり1皿に大盛りで持ってくる。
見ただけで、「誰が食べるのー？」って感じ。
事実、半分ぐらいで嫌になって、自分が食べたくないものだから、親切なフリをして、人の皿に入れちゃう。
残しちゃ駄目ってイメージがあって、食いたくないものも、口に入れてしまう。

食べ物に関して、最近思っている事。
どうも、日本人の間では、「日本食は、バランスの取れた食事である。」「健康に良い」という評判を良く聞く。
最近、日本食が恋しくなり、自分で食べに行くこともあるが、どうも「バランスの取れた食事である」というのは、違う気がする。
もちろん、外食で日本食を食べるという前提であるが、
1) すし類は、魚と米しかないじゃないですか。ガリは、栄養なさそうだし・・・
2) 定食類は、メインが肉か魚。付け合せって、キャベツの千切りぐらいでしょ。
3) 汁物（味噌汁）は、多くの店で豆腐を具としているが、こんなにも細かく切っちゃうかーっていう程、細かく切っており、量も・・・少ない。
4) 日本食の定番の漬物は、タイで定食を頼むと、何故かキムチと化している。これは、今だに不思議で仕方が無い。
5) 麺類にいたっては、何が栄養のバランスだと思う。日本食で、麺類を食べて、野菜が取れると思います？そもそも、たぬきそばなんて、粉と、天かす（あぶら）じゃないですか。

ちなみに、先日、クーポン食堂のスカイラークで魚のフライを頼んだ。
ご飯に、魚のフライが2つ。気持ちほどのキャベツの炒め物が添えてある。
ちなみに、30パーツか、35パーツだったかな？
美味しいという期待はしていないものの、「魚のフライだから、まずいということは無かろう。」と思って頼んだのである。
一口食べて、啞然。さすがに安いだけあって、まずい。
油の匂いがツーンと鼻をつく。
揚げたてにも関わらず、「まずい」
そういえば、スカイラークで、以前、うなぎの何かを激安の料金で食べて、生まれて初めて「うなぎは、生臭い」と思ったのを今でも鮮明に覚えている。
スカイラークでは、カツどんぐらいにしておいた方が、無難のようだ。
値段が、値段なので、仕方があるまい。

日本食も、ピンからキリまであるし、どのレベルで妥協するかならう。
ただ、そう考えると、無理して日本食を食べなくても、タイ料理で良いじゃんと思う。
まあ、にんにく抜き、油抜き、調味料少なめの料理もたまには食べたいものですがね。



早すぎる死

2005,6,13



昨夜、日本の母親から電話があった。
 驚いたことに、小学校・中学校と仲が良かった友人が亡くなったという連絡だった。
 社会人になった頃から、噂は聞くものの、交流が無かったので、十何年という期間、顔を合わせていなかった。突然、「事故死ではなく、病気で亡くなった」と聞いた時、ショックを隠せなかった。
 大往生と言うか、80歳を過ぎた人の死と、自分と同年代の友人の死は、全く違う。
 自分もそうであるように、30代半ばと言うのは、これからまだまだやりたいことがあったらうに・・・と悔やまれる。
 平均寿命から考えると、驚くほど、「若い死」であろう。

僕は、とても健康だと思う。
 タイに来てからも、大病を患うことなく過ごしてきている。
 ありがたいと思うと同時に、自分の健康を過信してはいけないとつくづく思う。

最近、怖いもの・・・ダムさんの車の運転である。
 遠距離を考えて、ダムさんに免許を取得させた。
 遊びに行く時に、交代で運転すれば、楽かなーという単純な発想である。
 タイの免許制度は、実体験から十分にレベルを認識している。
 全く予備勉強無しでも、合格可能な一般常識レベルの問題。
 実地試験も、とりあえず、一周すればOKの出る程度のもの。
 地方によっては、どんな運転であれ、百パーツ札何枚かで免許がもらえらるか、もらえないとか・・・で、教習所にも通うことなく、たったの1日で取得した免許証。
 「サンダルを脱いで、裸足で運転したらどうして駄目か？裸足の方が運転しやすい。」「停止したまま、ハンドルをぐるぐる回すのは良くないの？（僕が注意した為）」そんな会話が車内で飛び交うのである。
 自分の免許取りたての頃も危なかった気がするが、ダムさんの運転は、恐怖以外のなにものでもない。
 早く、慣れて欲しい・上手になって欲しいと祈るしかないが、ぶつけられたらどうしようという気持ちと、怪我はしたくないなーという気持ちと、上手になったら、僕が運転する必要がなくなるかも・・・という思いと複雑に絡み合っている。
 でも、マジで怖い。



勉強してから・・・

2005,6,12



買わないことに決めた。
 もっと勉強してから結論を出すべきだということが分かったからだ。
 大金持ちならともかく、僕にとっては、安く感じるとはいえ、大きな買い物であることには変わらない。
 勢いで購入を決断するものでもないと思ったからだ。
 土日にかけて、パタヤ中のかなりのコンドミニアムを見てきた。
 20件以上は回っただろうか？
 パタヤの街は狭いから、1日かけて回れば、ほとんどの場所はみることができる。

勉強が必要だと実感した。つまり、たったの1日時間を作って回っただけで、コンドミニアムに対するかなりの知識を得られた。

外国人は、コンドミニアムを自己名義で購入できることは知っていた。
 しかし、外国人は、全部屋の割合に対して、49%以内である。
 つまり、100室あったとして、49室までしか外国人名義は認められない。
 パタヤの海辺もコンドなどは、当然、外国人オーナーが多く、既に、49%に達している場合が多い。
 つまり、中古物件を購入する際は、売主がタイ人であれば、次の買主が外国人というのは無理なのである。（外国人名義では、購入できない）
 売主が外国人ならば、次の買主も外国人であっても問題ないということが判明した。

「あなたは、会社を持っていますか？」と聞かれた。
コンドを見に来ただけなのに、何故そんなことを聞くのかなーとと思った。
答えは、会社名義であれば、外国人であっても、49%の枠に関係ないらしい。
つまり、僕（外国人）名義にて購入するということを前提にすれば、会社を持っていれば、紹介できる物件は幅広い。（売主がタイ人でも外国人でもOK）
しかし、会社を持っていなければ、売主が外国人に限られるので、紹介できる物件数は少なくなるということだ。

もう一つ分かったことは、不動産屋（SALES OFFICE）に聞くと、非常に高い金額（40%増し）くらいになるということが判明。
どうやって探すと安いかなと言えば、コンドの1階にある掲示板（お知らせ）に貼ってある「売ります」の情報から探すことである。
コンドの1階の、事務所の横かエレベーターの横には、大抵掲示板がある。
去年徴収した管理費の決算報告や、各種お知らせに混ざって、「売ります」の個人広告がかなり貼ってある。
そこから見つけ出すのが、一番安く買えるということが分かった。
但し、個人売買の場合、書類をどうするか？本当に信用できるのか？等の問題がある。

名義変更の際に、もめるのだけは、避けたいと思う。
じっくり時間をかけて、探せば良いと思う。
一つだけはっきりしているのは、ピンからキリまであって、高級物件は、良いなーってこと。ただ、タイの場合、相場などというものがあってないようなもので、売主が売りたい金額と買いたい人がOKとする金額に合意点があれば、売買は成立するのである。
内装・家具が揃っているから・・・と言う理由で、相場より高いなーって感じる部屋があった。

そもそも、内装代が安いことは知ってるし（まあ、これもピンキリでしょうが）、そんなに広い部屋を買うわけじゃないから、でっかいタンスが付いていたってねーと思う。
逆に、コンクリート剥きだしで、自分で好きなように内装できたら、こんなに良いことはないんだけどーと思う。

ちなみに、ピンキリの最低ランクは、25万バーツで購入できる物件もあった。
25万バーツと言えば、70万円くらいだろうか？
ダムさん曰く、「プールもあるし、ここでも良いんじゃない？」って・・・
僕は、思った。「10万バーツでも買わない」と・・・
だって、サバァイな居住を望めそうもないことは、確実だからである。

ダムさん、「安すぎても買わない、高すぎても買わない。」ってぶつぶつ言い始める。
あのねー、1日で決めることでもないでしょうに・・・と思うけどねー。

これは、不確かな情報だが、1戸立ても外国人が買えるという情報も得た。
何でも、土地は、100年賃貸という扱いだとか。
定期借地権物件って、日本でもあったなーと思いつつ、タイでは、ややこしいのかなーとも思ったりもする。
まあ、調べてみても良いかもって思う。



やっぱり理解に苦しむ

2005,6,9



「タイ人の金銭感覚」を題材にした研究論文があれば、是非読んでみたいと思う。
誰もが口を揃えていう・どの本にも書いてあるのが、「あればあるだけ使う。」「貯金しない。」「計画性がない。」ということであろう。
それでもって、「問題が起こった」のほとんどが金銭がらみというのが困ったものである。

ダムさんも例外ではない。日本人と付き合いようになって多少は変わったというものの、100パーセントタイ人の血が流れております。

兵役に行く時に、電話を売ったらしい。で、その電話は、プリペード式ではなく月契約。
月契約だから、電話機が安く買え、その分、最低1年半は使用しなければいけないという契約らしい。
で、売った相手が、電話機を落としたとかで（これが、怪しいが）そのまま、お金を払ってなかったらしい。

そのとばっちりが、契約者であるダムさんに来た（これ、当たり前）
電話会社は、手紙が届いた。「裁判で訴えて、裁判所の許可をもらって、口座から勝手に引き落とす。」
というのである。

ダムさん、そんなことをされてはなるものかと、急に銀行に行き、預金を全額引き出す。
そんなことしたって、一時しのぎにしかならないのになーーと思いつつも、売った相手に「金が無い」と言われれば、取り立てられない。

実家のおじいちゃんの病気と金がからむのである。

タクシ政策で、30Bの治療代は大変助かるが、付添い人の食費、おじいちゃんをバンコクに連れていくのにかかる移動費が問題となる。

で、今回、生活の為に重要である土地を「売る」とか「売らない」とかいう話が出ているようである。土地がなくなれば（一部だと思うが）農作物の権利も失うということである。

分かりやすくいえば、地主から小作人になるということ。

農家にとっては、土地＝収入に直結する。

「売る」と言う人間と、「売らない」と言う人間でもめているらしい。

何度も繰り返すが、入院費・治療費は、30パーツである（もちろん、1日ではない。入院期間すべて含めて）どうして、土地を手放さなければいけないのか僕には全く理解できない。

分かっていることは、小銭は、毎日のビール代に消え、預金（ゆとりのお金）は、本当にないのだということである。ダム家の為に、僕は知らない顔をしている。

80歳の年寄りが家に居て、ある日、突然、亡くなるとおもっているのだろうか？

それとも、日本人が、「葬式代を残さなきゃ」的な考えを持っているのが特殊なのだろうか？

ディスコ代を出すからパタヤに遊びに行こう・・・という話がまとまったらしい。

ディスコ代を出すと聞いたダムさんの友人は、話してディスコで4～5人で遊ぶといくらかかるか分かって言ったのかは不明。

ところが、問題発生。

ホテル代である。学生じゃあるまいし、皆、働いているのだから、「割り勘で良いじゃん」って言ったら、ダムさんも「そうだ。」という。

400Bのホテルに二人で宿泊すれば、一人200B。

別に、払えない額ではないはずである。

何より、ディスコ代は、その何倍もするはず。

「友人に確認してみる」の言葉を最後に、パタヤの話はなくなったようだ。

なんで、ディスコ代の千パーツは問題なくて、ホテル代の200パーツが問題なのかが理解できない僕。



愛読書という言葉があるが、愛ページと言っても良いページがある。

「ヒトミのバンコクな毎日」というページである。

ライターだけあって、文章が分かりやすく、週に1度の更新を楽しみにしているのである。

偶然であるが、ひとみさんのページにタウンハウスを購入した時の話が掲載されていた。

購入を決めるまでの苦労。その後、内装業者に突然逃げられた話、訴訟をしようと思ったが、悪徳弁護士に騙されそうになる話・・・ヒトミさんの相方は、タイ人である。ヒトミさん自身も、タイ在住暦も長く、言葉にも苦労していないようだが、未だに引越しができないでいるようだ。

今回のコンド購入と照らし合わせた時に、とても他人事とは、考えられない。

計画通りに事が進むのかどうか？信用しても良いのかどうか？内装は、希望通りに仕上がるのだろうか？やはり、悩んでしまう。

タイと言うお国柄を考えた場合、何のトラブルも無く事が運ぶとは考え難い。

最終的には、何とかなるにしても、それまでの気苦労というか労力を考えると、腰が引ける感じがする。

「何かをやると、必ず何か問題が起こる国」と発言した友人がいたが、大なり小なり当たっているような気がする。

ちなみに、運転免許の更新期限が来たので、免許書の更新に行った。

去年も更新したが、ものの1時間足らずで終了したような気がする。

今年の更新は問題発生。

労働許可書の住所と免許書の住所が合わない。

そりゃ、免許書は、バンコクの住所、労働許可書は、地方となっている。

そもそも、免許書の更新に労働許可書なんて必要だったっけ？と思ったが、窓口で。「見せろ」と言われたから見せたら、「住所が違う」と言われて、住所変更の手続きからしなきゃだって。

それで、すぐに終わるのかなーーと思いきや、バンコクに書類を送るから、1ヶ月かかるって・・・すごい、スピード感覚ですよ。

確か、オンラインで繋がったって聞いたんだけど・・・違ったのかな？

運転免許書の減点制度もスタートしたって聞いたけど、点数の管理ができているとは思えない。

と言うわけで、1ヶ月間も、有効期限切れの免許使用（使用って言っても、本当は使えないけど）日本では、無免許という重大な問題となるが、タイではどうなんでしょうねー。

「だったら、無免許で良いから、捕まったらその時に考えよう。」って考えも出てこよう。

外国で生活するって疲れるーって感じる人。まあ、いっか、何とかなるよって感じる人。人それぞれなんだろうが、神経質な人、何事もきちっとしている人は、タイ生活は、不向きな人ってことかもしれない。

話は、コンド購入にまたまた戻るが、日本での購入よりも、何十倍もの気苦労を背負い込みそうな気がして仕方が無い。

終わってしまえば、笑って話せる話、話のネタになるような出来事かもしれないが・・・

欲しい・・・でも、考えちゃうな。

最後に、本日の愚痴。

3日ほど前に、上司から「車にガラスが当たって、フロントガラスにひびが入ったんだよね。見てみる。」と言われて見に行った。

自分も同じ被害にあった経験があって、「保険に入っているから、保険屋指定の店に行けば、無料で交換できますよ。」とだけ言った記憶がある。

そしたら、本日、「君（僕のこと）、車のガラスの件、手配してくれるんだよね。」だって・・・思わず、不機嫌な顔して、「僕の仕事ですか？」って聞き返してしまった。

本当に驚いたのだ。

何で、会社の車（僕は、一切使わないのに）の修理の手配をしなきゃいけないのか分からない。タイ人でできる仕事は、タイ人がやれば・・・

わざわざ高い給料出して、総務に日本語の話せる人間がいるのだから、その人間に指示して、その下の現地スタッフにやらせれば良いことではないか。

申し訳ないが、「辞めて欲しい為の嫌がらせか？」「よっぽど、部下の使い方を知らない人か？」「単に日本語で指示ができるから僕に言ってきたのか？」は、分からないが、会社の車にガラスが当たったから、修理の手配をしている日本人は、タイにいるかなー？

まあ、勤務時間外に携帯に電話かけてきて「トイレに行きたくなったから、運転手にトイレに寄るように指示してくれ」のレベルの人たちですから・・・

こういう愚痴を言うと、「現地採用は、生活の世話も含めての仕事である」と言う人もいるが、頭では理解できても、どうも納得いかない。

なんか、一気に疲れた。



続き

2005,6,7



コンド購入に関して、さまざまな人の意見を聞いている。

日本以上に、慎重に考えざる得ない。

タイでの購入経験者の話も勉強になるし、年上の人のお話も勉強になる。

やはり、「安い」とはいえ（実際には、安くないかもしれない）、大きな買い物であることには変わりはない。

いつのまにか忘れていたことだが、ここは外国であり、僕は外国人であることも忘れてはいけないことだと思う。

色んな人の話を総合する中で、タイのコンド事情をまとめると、自分なりにまとめると・・・

1) 建物の耐久年数は、日本よりも短い。

2) 10年を原価償却計算の目安とする。（例えば、実際に住んだとして、月の家賃相場×12ヶ月×10年の計算ぐらいでペイできるかどうか？日本は、20年のローンが組める（一戸建ては、35年かな？）ってことを考えても、20年以上で計算するのかな？6000パーツぐらいの家賃かな？って思えば、相場は、6000×12×10で計算して、実際の値段と比べて高いか安いかわかる材料にする。人によっては、月の賃貸の値段×100で計算するという人もいます。

3) 実際に住む又は荷物置き場にする等の使用する目的がなければ、買い控えた方が良くないか？（老後の為と言っても、その頃には、老朽化しているかもしれない。）

4) (3)に関係するが、あまり財産として捉えないほうが良くないか？あくまで、自分で使用することを前提とする。

5) 管理会社がネックとなると言うこと。（売りっぱなしで、管理を怠っていると、老朽化が早いし、公共スペースは、とんでもなく汚くなっている場合がある。）

どれも正しい意見であると思う。

今週末、しっかりと確認してこようと思っている事がいくつもできた。

裏道の事、管理会社の事。

どうも見た限りでは、管理が行き届いていると言う風には考えられないが、値段と比べて、どんなものかということと、建設途中（プロジェクト途中）というのを考えると、どうも先の予想が難しい。

話は変わるが、日本で言う国語辞典を探している。

タイ語の説明をタイ語で書いてある辞書。

この国、本当に国語辞典が少ない。（あるけど・・・）

英語～タイ語のものは、山のように販売されているが、タイ語の国語辞典は本当に少ない。

但し、タイ～英語の場合、非常にシンプルにできている。

日本の場合、have,take,makeなどの動詞は、日本語の意味が何通りにもなったり、文法上の使い方もいく通りもあるので、かなりのスペースを割いて文法説明も含めてある。

タイの場合、そういった辞書は少ない。

教育の違いというものを感じざる得ない。

言葉は、1対1ではイコールにならないことぐらいは、承知しているのだろうかともふと思う。

言葉のスペシャリストが、最終的な語学学習の目標は、国語辞典（タイ語をタイ語で説明してあるもの）が良いというが、この国では、あまり良い国語辞典は、望めそうも無い。



欲しいものは何でしょう？

2005,6,6



パタヤで「コンドミニアムを買おう。」本気で考えている。
偶然、ダムさんを見つけ、見学したコンド。1年くらい前にも見たことがあった物件だった。
その時は、あんまりピンと来なかったのだ。
まずは、場所の問題。

スクンビット通り（バンコクから続いている大きな幹線道路）に面しているのは良いが、渋滞が多いスクンビット通りは、何かと便利なようで不便。
Uターンが大変。何より、家を出て、左折は良いけど、右方向に行きたい場合が厄介である。
あとは、建物自体も、安っぽい作りだなーって思った（外観が特に）

で、1年振りに行った同じコンド。
建物自体は、同じであったが、大変なことが分かった。
このエリア一帯で、12棟もの建設を予定しているということ。
で、「最終的には、出入り口は、スクンビット通りだけでなく、裏側（海方面）からも出入りが可能となる。」という情報を得た。
それなら、話が全然別じゃんって思った。
しかし、実際に確認したら、建設予定地となっているだけで、道路の途中に大きな壁（塀）が立てられており遮断されている。
これが、つながれば・・・と本気で思う。

しかし、タイスタイルだなーと思うのは、12棟建設予定で、徐々に建設を進めていくというやり方。1棟完成して、売って資金を調達し、次の棟へ・・・というシステムのようなのである。

1棟目の完成が1年以上前で、今、5棟目の販売。
最後の棟の建設・販売終了まで5年の予定なんだって。
道の開通も、今の時点では未定らしい。

タイの5年先って、何年先のことだか？と思う反面、今だからこそこの値段なんだろうなーって思う。
丁度、内装費込みで、僕のと同じ値段で売り出されていれば、「安い」と感じずにはいられない。（内装は、ベーシックプランから選択する。）

しかし、日本の住宅価格がめちゃくちゃなので、これがお買い得かどうかの判断は非常に難しい。確実に言えることは、ジョムティアンビーチ沿いのコンドは、高級であり、今の僕には、とても手が出ないって事（笑）

後は、バンコクと比べて、地方にも関わらず、割安感がないが、パタヤという場所柄、こんなもんかなーって思う。

もし、途中で、計画通りに進まない何らかの事情が出来た場合、出入り口がスクンビット通りだけであること。

会社の倒産等の事情で、建設途中の棟や土地が手付かずで放置されたら・・・と、悪い方に考えたら、メリットが少ない場所である。しかも、コンド敷地内は、管理が行き渡らない。そもそも、計画通りに進んではじめて、管理も行き届くと思う。

タイにも管理費の制度があり、警備員代、公共部門の掃除代、プールの管理費等に使われる。
もし、計画通りに事が進めば（建設終了、完売ならば）管理費収入・売却益から、公共部門の整備も行き届くと思う。

しかし、逆の場合・・・考えたくない。

事実、現在は、5棟目の販売。半分も売っていない為、管理が行き届いている状態とは言い難い。
先行き不透明なので、半分は、かけのような気もする。
どうしよう。でも、この値段なら、欲しいなーって思う。

不動産というと、一生に1度か2度の買い物のような気がするが、車と同じ値段ってことを考えると、思い切っても買っても良いかなって思う。

税金を考えないで単純に給料換算すると、7か月分の給料の買い物である。

プール付きのコンドは、日本の住宅事情を考えると、7ヶ月働いて買える物ではないはず。

スニー換算だと、1200回分???
うーん、お買い得?それとも?

ンゴ

2005,6,4



「ンゴ」の季節である。
ンゴは、ランブータンのことである。
雨季になるといっせいに出来る。
出始めは、30パーツぐらいから始まって、現在の市場価格は、1キロ5～8パーツ。
3キロ20パーツとか、2キロ15パーツがこの辺の相場である。
バンコクよりも安い。
ピックアップトラックいっぱい「ンゴ」を積んで、市場の前で売っているのである。
もぎ取った農家そのまま販売していると思われる。
その為、中間業者のマージンはゼロ。
だから、安いんじゃないから? (バンコクと比べて)
困ったことに、この果物・・・ゴミが大量に発生する。
外食が多いので、水のペットボトルと古新聞ぐらいしかゴミが出ない我が家で、「ンゴ」の外殻は、かなりの量を占める。
パカって手で皮を剥いて食べれるから、すごく簡単に食べれるのが良いところ。
で、市場で売ってる果物も、「ンゴ」が大部分を占めており、他の果物の存在感はあまりない。
ちなみに、市場を散歩するのが大好きである。
田舎生活で、唯一刺激的なことである。
可愛い子と出会う率が異常に高い。
バンコクでは、見かけないような可愛いことたくさん会えるのである。
我が家で、「ンゴ」が、食べても食べても減らないのは、市場に毎日のように散歩に行っていて、買うものもないけど、とりあえず果物でも買っとこう・・・ってことが原因らしい。
ロータス散歩するより、市場でっせー

文句の日記

2005,6,3



本日は、ご機嫌よく勤務している。
しかし、昨日の6時過ぎに、こんな原稿を書いていた。
せっかくだから、本日の日記として掲載しよう。
それにしても、最近、愚痴が多い。
日記と称しながら、ここで、ストレス発散しているのかも?
まあ、僕の日記の場合、限られた方が読んでいるようなので、良しとしてください。

なんか嫌になってきた。
強制残業である。
自分は、時間内に仕事が終わるように、がんばっているし、適材適所というほど上手くはないかもしれないが、タイ人に出来る仕事は任せ、サインをする際も、確認して、おかしいものには、サインをしないという仕事の仕方をしている。
別に、残業してやらなければいけない仕事などないのである。
明日、がんばれば良いことで、今日中にどうしても行わなければいけない仕事などない。
ちなみに、本稼動しているわけでもないのに、この段階で、残業しなければいけないような仕事状況ではどうするのか?と本当に思う。

「残るだろう(残業するだろう)と思って、お弁当買って来たよ。」

日本人であれば、そういわれて、「私は、要りません。5時に帰りますから・・・」とは、さすがに言えまい。

「親切で気を利かして買ってきてくれた」と解釈するか、「何が何でも残業させないと」という意味なのかは不明である。

しかし、「日中に効率的に仕事をしていますか?」「部下に仕事を割り振っていますか?」と言いたい。日本人が弁当買いに行く暇があるなら、運転手に買いに行かせれば、時間の節約なのに・・・と思ってしまう。

ちょっと前にも残業のことを書いたような気がするが、仕事は時間で決まるわけではない。

残業すれば、仕事をがんばっているという思想は間違っていると思う。

オフィスの中は、エアコンが効いているものの、暑いタイランド・・・生活するだけでも結構疲れるのである。

8時間、一生懸命、働けばいいじゃないですか。

5時を過ぎて、一生懸命やって、果たして効率的な仕事ができるのだろうか?とつくづく思う。

現在、僕の部下は、皆、素人である。つまり、自分も含め、経験の無い人間ばかりである。

だから、仕事の指示をしないと動かない。

タイ人だもん・・・仕事を与えないと、ネット、おしゃべり、電話等・・・である。

自分の机に、仕事を貯めておき、暇そうだなーと思った時間に仕事の指示を出す。

しかし、いっぺんに3つも4つも頼んまないように要注意。

その人の実力にあった仕事を考えて与える。

暇すぎず、忙しすぎず・・・を考える。(実労が半分ぐらいがサバリーの基準かな)

そんなことを考えつつ、僕しかできない仕事(日本語の仕事であったりする)をこなしているのである。

正直、8時間で疲れ果てる。それ以上、やろうとも思わないし、そうしなくてもやっているのである。何故だろう?残業するのが偉くて、皆、一緒に残りたがるのは?

日本人社会の不思議さを感じると共に、嫌気がさす。

そりゃ、自分の仕事があれば、やります。残業してでもね。

仕事が無いのに、雰囲気に残らされる・・・これが、一番嫌じゃ。

これを言うと、喧嘩になってしまうくらいの失礼な言葉かもしれないが、僕の内心思っていること。

帰ってもすることないから、わざと昼間遊んで、5時からがんばるような体制をとっているとしたら思えない。

やる気がしないから、こうやって愚痴りながら、「日記の原稿にもなって良いなー」って思いつつ、これを書いているのである。

あー、時間の無駄。

帰って、ビール飲みみて-----。



ごたごたに巻き込むなー

2005,6,2



新しい会社って、何で落ち着いて仕事ができないのかなーって思う。

今日は、二つの事件で、会社が慌しい。

一つは、運転手の件である。結婚するから、1ヶ月休むと言う。

結婚と、仕事を休むことは、どう関係しているのかは分からないが、本人は、そういう理由なのである。

社員じゃないし、運転手は、安全運転、時間厳守の2つしか求めてないから、ご気楽なものです。

つまり、「じゃあ、辞めてもらっていい。次の人に来てもらうから」という工場責任者の立場。運転手の変わりは、いくらでもいるから・・・という主張。

自分勝手というしかないが、「1ヵ月後に出てくる」と言い張る運転手。

常識・思考回路が違うとは、こうも話がややこしくなるのか・・・を実感。

次の人(後任)の運転手が、今日からきているのだが、今の運転手が、休むだけなのか、辞めるのかは、後任の運転手にとっては大問題。

で、今になって判明したことだが、運転手は、アウトソーシングで、派遣会社から来ているにも関わらず、直接運転手本人に月給を渡していたことが判明。

何が何だかぐちゃぐちゃである。

この手の話は、僕は立場的には、全くの部外者である。
 総務と工場責任者と当事者（運転手）の問題である。
 しかし、話がややこしくなると、「相談なんだけど・・・」と言って、途中から巻き込まれることとなる。
 正直、すごくくだらないことに巻き込まれている気がして仕方ない。
 外注の運転手なんぞ、「いつから、変わりますので・・・」ってタイ人スタッフの報告だけで良いような出来事だと思うのだが、どうして事が大げさになってしまうのだろう？
 結局は、責任者も面倒くさくなって、運転手の派遣会社自体を変えるという理由にして、総入れ替えという結末。

もう一つの問題が、日本に研修に行った社員が辞めたいと言ってきた。
 職業選択の自由があるので、法的には、何の拘束力もないとは分かっているが、日本研修に送るタイ人社員に関しては、「日本に研修に行ったら、一定期間辞めない。」旨の契約書は取り付けてある。そりゃあそうである。
 日本から帰って、全員が会社を辞める場合だって十分に考えられる。
 義理人情なんて無いんだから、いい思いをして、さて、これから「立ち上げの苦勞です。」と言ったって、辞める人も出てくるはずである。
 で、契約の一定期間に達してないのに、辞めたいと言い出す社員。
 辞めたい人間を、無理やり働かせるのは、本当に不本意ではあると思うが、例外をつくと他の人間も出てきそうなので・・・という意見にまとまった。
 僕は、辞めたい人間を社内に残す方がマイナスになるのではないかと考えたが・・・
 で、辞めたい理由なんだけど、「OTが無いから」と言う理由。
 OTが無い=収入が少ないという理由らしい。
 あまりのお馬鹿な理由に、「僕は、関係ないから、どうでもいいや。」と思うけど、そうもさせてくれないのが、困るんだよね。
 「時は金なり」と言う発想のないタイランド。
 というか、田舎から金稼ぎに来てるんだよね。
 何十年も勤めようなんて考えていない人たちだから、短期集中で稼ぎたいわけですよ。
 それで、田舎に帰ってのんびり自由にしたいんだから・・・仕事している期間は、休みや自由がなくても良いんですよ。
 とにかく「金」
 その気持ちは、分かるけど、契約は、契約だから、文句を言わずに、一定期間働いて欲しいと思った。
 「頼むから、巻き込まないでくれーーーー。」と思う。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

7月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

有利な人間

2005,7,31



ビックCで映画を見た後、自分の駐車する車に近づいていった。ちょっと、横に駐車してあったピックアップ車が出る所であった。「う・・・??？」こすってるではないか・・・慌てて、走って近寄り、こすってる旨を言う。相手は、「何処が？」ってなもん。早めに、注意した？為、こすったという程度の傷。しかし、傷は傷。

ここからが大問題。助手席の女性が、ぶつかっていない(こすっていない)と言う。運転手の男は、終始無言。僕の車の傷を見ても、「古い傷だ」と言い張る。そういえば、相手のピックアップ車は、非常に古くて、傷だらけ。「古い傷だ。と言われれば、そりゃ、あんたの車は、傷もいっぱいある。」僕の車は、傷はないんだけど・・・

保険屋を呼んだ。しかし、加害者が認めてサインをしなければ、話が進まないという。運転手は、相変わらず、何も言わず、女がキャンキャンわめいているだけ。

警察に行った。この時点から、事態は解決に向かわないことは分かっていた。相手の車は、保険も何もない。自腹で、金を出せるほどのレベルの人ではないのは、見ただけで分かる。たいした金ではないが、女の口ぶりから「1パーツも、出すものか」というオーラが出ている。もちろん、こすっただけだから、そんなに大金であるはずもないが・・・

警察に行ったら、駐車場内の出来事は民事ですから、警察は介入できないということである。

で、うやむやのまま、逃げられてしまったというのが、本当のことである。

ダムさんは、さんざん怒鳴りちらしていたけど、僕からすると、「失うものがない人間ほど強いものはないのである。」事実、「そのくらいの傷なら、あんたの保険で直せばいいじゃん」と言っていた。

そりゃ、ポロポロのピックアップからすれば、傷としても認められないレベルのものだろう。保険、保険と言っても、使えば、翌年の値段に響くわけで、そんなことを説明したくても、保険など無縁の人には、関係ない話である。

大体、僕は、何も悪いことをしていないのに、何故、わざわざ自分の保険を使わなきゃいけないんだと思う。もっとも、保険と言う性格上、自分が悪い・相手が悪いと言うべきものではないとは思いますが。

ダムさんは、その後も、さんざん怒っていた。

僕の方がタイ化したのかもしれない。

先日から、「貧乏人とは、関わりあいたくない」趣旨のことを書いた気がするが、差別的だと言われようが、何を言われようが、最近では、この気持ちが強まるばかりである。

無謀極まりない運転をしている車は、バス・大型車（これは、運転手という職業）又は、おんぼろピックアップがほとんどである。

「関わりあいたくない。」・・・だから、無謀運転でも、こちらがブレーキをかけて、ぶつからないようにしている。

昔なら、こんなこと（正義が通じない・法治国家ではない）があると、すごく落ち込んで、しばらくはイライラしていたものだが、最近では、全く気にならなくなった。

この国の、階級社会・自然な区分けができているのも、自然の流れなのかもしれない。

ダムさんの方が、怒っていたというのは、彼は、狭い社会（村社会・家族社会）で生きてきたから、正義が通じないというような経験は、少ないのかもしれない。

これから、ここで生活する以上、平等社会・平均化された社会・日本と違って、まだまだ色々なことがあるようである。

今回は、これくらいで済んだ事を幸運と思えば良いのかな。

—

ハイネケンが飲みたかったのに・・・

2005,7,29 

北部旅行から戻ったばかりだということに、来月も4連休があるのである。

休日に、この田舎で過ごすと言う選択肢はゼロであり、どこかに出かける。

パタヤは飽き飽きしているし、せっかくの連休だし・・・と考えた。

どうも、タイという国は、平均というのが無い。7月も3連休があり、8月も4連休。しかし、その後は、特別休日（祭日）は、正月までない。

9月に友人がくるので、何か言い訳を考えて休むことは密かに計画しているのだが（笑）

ダムさんがダイビングに行きたいと言い出し、色々とお話が進んでいる。

綺麗な海＝交通の不便な場所でもあるわけです。

飛行機で、パッと飛んで行ける様な場所は、魅力ないし、かといって旅行に行ったのか、移動しているのか分からないというのも問題である。

ブーケットは、観光客が戻りつつあるという情報もあるし、格安プランも目白押しではあるが、やはり気が進まない。

普通に観光ならば何とも思わないが、ダイビングとなると・・・

ありえないとは思いますが、腐乱死体と遭遇したら・・・なんて、馬鹿げたことも考えてしまう。たまの贅沢が、たまにではなく、頻繁な贅沢になっているのが、頭痛の種となっている。

ダムさんは、オープンウォーターの上のコースに進みたくて仕方がないようで、「アドバンスクラスに入る」と張り切っている。

せっかくの休暇に来たのだから、「全ダイビングが講習で終わるとつまらないよ。」と言い聞かせているが、アドベンチャー（3ダイブの講習で終了）よりアドバンス（5ダイブの講習）の方が、偉いと思っているようである。

偉いとかいう問題ではないような気がします・・・

そういう自分も、前は、アドベンチャーの3ダイブ講習だったので、今回は、アドバンス（残り2コース受講したい）を考えている。

1日、2日と遊びに行くときは、ファンダイブで・・・3泊ぐらいするのであれば、コース受講とファンダイブを組み合わせて・・・と思っている。

昨日、村のカラオケに出かけた。

洗濯屋のおばちゃんが、急に出かけて、留守だったのである。

朝、家の前に置いた洗濯物が、夕方までそのまま洗濯屋の玄関先におきっぱなし。

1日おきには、洗濯物を持って行くのだから、休むなら休む旨を張り紙を出すとか、口頭で「明日から日間いないよ。」って言ってくれれば良いのに・・・って思う。

で、コインランドリーまで行ったのだが、待ち時間の間、カラオケでもしようという話に。

病み上がりだから、安い酒は控えようと思い、ハイネケンを注文したら、「ない」と言われ、妥協してシンビールを注文したら、「ない」と言われた。

「何があるの？」って聞いたら、「リオ・ビール」と「チャーン」の2種類だった。

田舎生活、たまには、高級なものを・・・と思うが、販売していないのであれば、仕方がない。セブンイレブンも無いのだから・・・そう思って、やけくそになってリオ・ビールを飲んだ。

「ひとつボタンを掛け違ふと、次々と問題が起きてくる。」・・・そんな表現がピッタリと当てはまるような週であると思う。

事の始まりは、あの日本食屋だ・・・と思うと、何故か、腹立たしく思う。



元気です

2005,7,28



すみません。

具合が悪くなったとの日記を書いたため、お見舞いのメールをかなり頂きまして・・・ご心配をおかけいたしました。

お昼に食べた日本食に当たり、就業時間後すぐに病院へ直行。

病院から帰宅後、高熱にうなされましたが、1晩で完治し、翌日は、通常通り出勤。

その晩は、ビア・シンを2本飲むほどに回復です。

高熱が出て、3食きちんと食べる派の人間ですが、夕飯を一食抜いてしまいました。

夕食を一食抜く（正確には、身体が受け付けなかった）というのは、僕にとっては、大変な一大事件です。

翌朝の朝食はお粥。昼もお粥。夜は、通常のタイ料理を食べた後、夜中にお腹がすいたので、日本食屋でラーメンとビールを2本飲むほどのすばやい回復です。

今日なんて、そんな病気（食あたり）したっけ？って記憶にもないくらいの出来事となっております。

ご心配をおかけいたしました。

非常に元気に生活していることを報告します。

田舎のアパートも外人が3人になった。（自分を含む）

率にすると、結構なものである。

日本人の僕とドイツ人、そして、イタリア人が増えた。

インターナショナルなアパートである。

セブンイレブンまで車で20分という場所に、何故、こんなに外人が集まるのか？不思議である。

イタリア人は、6ヶ月間、仕事でこちらに来ているようである。

1階の食堂で聞くと、住人のことをすべて話してくれる。

どうも、この食堂が、アパート全体の噂話の本拠地となっている。

国籍、誰と住んでいるか、どこの会社で働いているのか、何ヶ月間働いているのか？

人の話は、非常に興味深いが、自分のことも話題にあがっていると思うと、頭痛の元である。

外国人の場合、名前なんて知らなくとも、「あの日本人が・・・」と言えば、話題にのぼりやすいし、事実、興味のないフリをしているが、外国人の生活に興味深々なのは、雰囲気分かる。プライバシーの感覚が、日本とはかけ離れているのが、嫌だけど、仕方がない。

嫌なら、外国人なんてちっとも珍しくない場所に移動するとか、外国人率が異常に高い場所に住むかしかない。

二人の白人には、直接話したことは無いが、昨夜、イタリア人と同居のおじさん(タイ人)にすごい無礼な態度を取られた気がする。

すれ違いざまに、「Are you Japanese」と言われた。

これは、良しとしよう。で、次に、「how old are you」だって・・・いきなり年を聞くのか？一応、英語で正直に答えた。そしたら、人の答えなんて聞いていないの。続けて「what town・・・」とか次々に質問してくるわけ。

単なる、自分の英語が通用しているのか確認したい為としか思えない。

質問だけしておいて、回答は全く聞かず・興味なし。

田舎の人は、皆、良い人ばかりだったから、久しぶりにムカついた。



病気

2005,7,27



久々に病気になってしまった。

病気というのは、大げさで「食あたりの重症バージョン」

ひどい下痢症状の後に、高熱。

単なる食あたりといっても、こんな風になってしまうのかを実感。

しかも、笑えることに、日本食を食べて大当たりしてしまったのである。

日本食屋＝少し値段が高め＝安心（清潔）ではないのである。

お昼の定食をメインに営業している店で、メニューが5種類と限られた店がある。

その店は、ちよくちよく行くのだが、お腹を壊したこともない。

メニューが5種類しかないというのは、食材の回転が良いということらしい。

昨日は、メニューの数がやたらと多い店で食べたのが、間違いの元だったようだ。

2時間後に下痢。

4時間後には、頭痛と共に吐き気を伴った。寒気すら感じる。

これは、ただ事ではないと思い、バンコクパタヤ病院へ。

以前、友人がバンコク病院に緊急入院した際に病院の個室の部屋のトイレの足拭きマットにWELCOMと書かれていたことが強く印象に残っているが、バンコクパタヤ病院も、さすが系列病院。

カスタム・サービスなるものもあった。

何より、待ち時間がほとんど無い。

すぐに医師の診察、その後注射・・・・・・・・。

待ち時間がないというのは、病人にとってはありがたい。

よく、日本でも「3時間待ち3分診療」などという言葉聞く。

具合が悪いのに、3時間も病院で待たされると、余計に具合が悪くなるものである。

つい先日、ダムさんのおじいさんのお見舞いの為、チュラー病院へ行ったが、公的病院と私立の高級病院は、こんなにも違うのかを実感。

政府の政策とはいえ、1つの病気につき30パーツ診療と、注射1本、薬を出して千パーツ以上の金額の私立病院とは、すべてが違っていた。

タイ生活に慣れてきた自分にとって、病院に行くというのは、かなり重症な状態である。

風邪かな？程度だと、薬局の薬で済ましてしまう。

だから、病院へ行くというのは、かなり重病であると感じた時である。

そんな時、私立の高級病院は、やはり安心感という意味では、ありがたい。

もちろん、日本人も働いており、付き添ってくれる。

正直、症状も自分で説明できるし、通訳は不必要であるといえれば不必要である。

しかし、病院という場所柄、聞き違いがあったら大変だし、病名等で、知らない言葉がでてこないとも限らない。

そんな時、日本人通訳の存在は心強い。

診察を待っている間に、通訳さんとも話したが、「パタヤに住んでいる方は、ほとんどが英語かタイ語が

ペラペラなんですよ。だから、ほとんど通訳は、必要ないんです。」と言っていた。しかし、病気の時に、日本人がいてくれるという心強さは、計り知れないことも実感した。注射1本とっても、何の薬（注射）なのか、きちんと聞きたいと思うのです。僕は、薬とかあんまり好きじゃないから特にそう思うのかもしれない。

さすがにインターナショナルな病院だけあって、薬の説明書は英語であった。朝食後、何粒とかは分かるが、抗生物質とか下痢止めとかいう英単語は知らない。タイ語で説明してもらい、日本語で書きとめる。海外に住む場合、英語の読み書きも必要ですな。

何はともあれ、一夜明けて、熱も下がり、普通に出勤することができて良かったと思う。食あたりの怖さを実感した1日であった。また、自分は、お腹も丈夫にできてるなー、健康体だなーと思ってきたけど、人並みであると思ったほうが良いのかもしれない。あまりに、過信しすぎてはいけないと感じた。



北部旅行 その4

2005,7,25



チェンライからチェンマイに移動し、NOK AIRにてバンコクへ帰る。格安航空会社が、ここ2年ぐらいで何社もできていたが、正直、ちっとも格安とは感じなかった。タイ航空は、通年を通して料金設定が均一になっているが、格安航空会社は、普通の日は、格安であるが、連休等は、タイ航空とほぼ同等の値段である。もちろん、値段に少々差はあるものの、機内サービス一切無し（機内販売はある）新聞も無し・・・ここまでは、OKである。しかし、エアコンが効きすぎだから、「毛布が欲しい」と言ったら、「ありません。」と言われた。サービスの省略は結構だが、「バスでも毛布ぐらいあるのにーーーー」と思ってしまう。1時間前後の国内線・・・飲み物サービスは無くても良いと思うが、毛布も含めて、一切のサービスは無し・・・というのも・・・極端すぎる気がする。タイ航空の子会社らしいが、機内がタイ航空のデザインであることは許せるが、安全のしおり等の機内情報誌までもがタイ航空のものをそのまま使用してあったのには驚いた。別に、見送ってもらいたくもないが、機内を出る時、スチュワーですのお姉ちゃんが、けつを向けて、自分のカバンの整理をしていた。ワイをして、笑顔で「ありがとうございます。またご利用下さい。」ってサービス（スマイルサービス）までもが省略かーーーーって思ってしまう。

スチュワーデスは、可愛らしい制服を着た若い姉ちゃんだったが、街中のキャンペーンガールのような気がして、「飛行機もここまで大衆化したか」と思った。別に、非難しているわけではないが、ここまで大衆化し、サービスをカットするならば、もう少し値段に反映させて欲しいとも思った。平日に休みを取って数百パーツのチケットで乗るとしたら、十分に満足できるのかもしれないが、これで、2200パーツは、高いと思った。

今回、久々に旅行らしい旅行をした気がする。普段、パタヤと田舎を往復している身分の者にとっては、刺激のある旅だった。

Nさんとも仕事の事などで色々と話すことができてよかった。ついつい、仕事の事を愚痴ってしまうが、海外で働くと、それなりの苦労もある。別に、どちらが良い悪いとは言わないが、考え方や基本思考が違うことだけは事実である。Nさんは、タイ生活も長いだけあって、ピタリと言い当てる。

「タイ人従業員は、常に不満を持っているもの。聞いていたらキリがない。」「比べるのは、良いところばかり。給料の悪い会社もいっぱいあるのに、比べるのは良い会社ばかり。」「あの人がいくらも

らっているのに、私はいくら。あの会社でいくらもらっているのに、私は、いくら・・・。」そんな会話ばかり。「私は、人と違ってこれだけの能力があるから、給料を上げてほしいとは聞いたことが無い。」「嫌なら、辞めて、そこに行けば良い。」

こんな話を、タイ生活の先輩でもあり、タイ社会の先輩でもあるNさんから聞けただけでも、心のモヤモヤが晴れた気がする。

前の会社と違い、経営者側のグループに所属しなければいけない今の立場。

いっそのこと、言葉が通じず、エイリアンのままなら、どんなに楽だろうと思う。

しかし、そうも行っていない今の立場。

実は、4~5年で帰国する人も、結構多いという。

タイを知れば知るほどに嫌になっていく人も多い。

今の僕も、ちょっとそういう状態かもしれない。

でも、嫌いになったりしつつも、良いところも見えてきたり、そんなことの繰り返しなのかもしれない。



北部旅行 その3

2005,7,24



この日のメインイベントは、メーサーイから国境を越え、ミャンマーへ入国し、買物をしてくること。実に、久々の国境である。

陸路国境超えは、やっぱり面白いと思う。

近隣諸国で僕が行ったことがあるのは、カンボジアのアライヤプラテート・マレーシアのペナン島、ラオスのビエンチャン。

隣接する中で、行った事がなかったのは、ミャンマーだけだったのである。

半径5KM以内は、特別に入国ビザを必要とせず、タイ入国管理局へ支払う領収書の無い100パーツとミャンマー入国のUS5ドルが必要なだけで、ビザも必要ないし、パスポートに印鑑が押されることも無かった。

タイ人の場合は、国境の近くのオフィスで30パーツを支払い、臨時パスをもらい、入国の際に10パーツ払うだけである。

国境というのは、タイ側の門とミャンマー側の門があるのだが、タイの経済成長を見せ付けるかのように、両国の門の大きさが違っていた。

また、国境周辺は、警察や軍も大勢いるにも関わらず、シンナーを吸った子供が出迎えてくれた。

多分、ミャンマー人であろうが、国境沿いに、子供とは言え、100%シンナー中毒の子供をうろうろさせるのは、国の玄関としては、いかにもふさわしくないと思ってしまう。

「国境の街」と言っても、国境を越えたミャンマー側の市場では、パーツはもちろん、タイ語が問題なく使用でき、非常に楽であった。

市場もにぎわっていたが、僕からすると、すべてが「すごく安い」というわけではない気がした。

エロVCDのお兄ちゃんがしつこくVCDを買えというので、「男の奴をもってこい」と言ったら、持って来てくれたが、どう見ても、白人パッケージの商品を「日本、日本」と言い張っていた。

しかし、しつこい割には、マナーは良く、お店に入ると、買物を終えて出てくるまでずっと待った。しつこいが、「うるせー」と怒りたくなるほどでもなかった。

外国に来て、「ピー、・・・」とタイ語で話しかけられるというのも、違和感を感じた。

ダムさんは、安いと思ったのかどうかは知らないが、ジーンズやTシャツを購入。

ダムさん、タイのTVドラマのVCDを大量に購入。

本当に見れるかどうか、1枚づくチェックしていたが、僕とNさんは「値段が、値段なんだから、たまには外れもあるに決まっているじゃん。」って・・・逆に、外れがなかったら、正規料金の商品が馬鹿みたいではないか・・・

ダムさん、「金が無くなった」と愚痴っていたが、自分のものを購入したので仕方が無い。その他、お菓子を13袋、100パーツで購入。僕もCDを買ったりと、結構な買物をしてしまった。

国境市場で買物の後は、市内観光。
80パーツでトゥクトゥクを貸しきり、市内観光。
しかし、このトゥクトゥク、よく走るなーってレベル。
タイのよりも一回り小さく、2人乗ったら、いっぱいである。

市内を見渡せるお寺を見学の後、首名が族の村（公園）も見学。
不思議なことに、タイ人も日本人も、ミャンマーでは同じ外国人。
しかし、タイ人は、90パーツで、それ以外？は、140パーツの入場料。
ミャンマー人価格があれば、何と3重価格ということになる。
首名族の村と言っても、公園化され、綺麗な場所。
道を挟んで、わざと中が見えるように小屋が建てられ、創られた場所である感じ。
で、村（公園）の頂上にショー・ステージがある。
これがびっくりである。
音楽の音と共に、生活小屋からショー・ステージに集まってくる。
幼稚園のお遊戯にも満たないショー。
音楽に合わせて、ただ身体を揺らしているという程度。
申し訳ないが、あっけに取られ、訳も無く笑ってしまうしかなかった。
写真撮影だけにしては、高い出費だと思う。

ミャンマー人の感想はですね、ちょっとインドに近くなる分、カレーっぽい顔が多くなる気がする。それでも、可愛い子もいた。
しかし、カンボジアの方が、可愛い子が多い気がする。（あくまでも僕の趣味の基準で）
国境の街の一部しかみていないので詳細は分からないが、食べ物屋台も、麵屋台・ローティー屋台・ソムタム風屋台もあった。
タイと変わらない気もしたが、やはりインフラは、タイには程遠いようである。
舗装してある道路も少ないし、車自体も少なかった。

タイ側に帰国する際に、問題発生。
ダムさん一人が兵に捕まり、荷物検査を受けていた。
持ち物やポケットの中まで調べられ、股間もズボンの上からではあるが、グニョッと触れられていた。
本当は、たまたま列が途切れただけなのだが、「黒いから捕まったんだ。」とからかって遊んでいた。本人は、自分だけ捕まったのが、ショックだったらしい。

、
帰りはゴールドトライアングルを通過してチェンラーイまで戻る。
ゴールドトライアングルといえば、勝手な想像だが、麻薬の葉を闇で生産し、警察も踏み込めない山奥というイメージがあり、3国に接する場所で、最も危険な場所であると想像していたが、何のことはない、非常に開けた場所である。
リゾートホテルまで建設され、ゴールド・トライアングルと書いた場所で記念写真を撮ると感じの観光地であった。

山岳民族の村・首名族の村・ゴールドトライアングルもそうだが、有名になり、旅行者が増えることで、観光地化されるばかりで、イメージ（勝手なものだが）とは、どんどん離れてしまう気がする。

夜は、ナイトバザールで買物と思っていたが、あいにくの雨で、ナイトバザールの出店の数がすごく少なかった。
まあ、ミャンマーで沢山買物をしてきたので、丁度良かったかもしれない。

この日も、チャンラーイにて宿泊。



北部旅行 その2

2005,7,23



翌日は、Nさんの車でチェンラーイへ。
山越えとはこのことで、山道を2時間半。
チェンマイは、何度か来たことがあったが、チェンラーイは発。
ドライブしながら、「日本の田舎の風景と似ているなー」と思った。
北部タイをロングステイの地に選ぶ日本人が多いと聞くと、何処か日本の田園風景と似ている気がした。
途中、温泉に寄ったり、お寺を観光したりして、チェンラーイへ到着。

リム・コック・リゾートという広大な庭園の中のホテルへ宿泊。
星の数が、ホテルの価値のすべてであると信じるダムさん。
ホテルのパンフレットの正規料金を見て、星が5つだと信じ込み、正規料金だけ見て、「自慢のネタが増えたと思い込んでいる」
ホテルの定価はあってないようなもので、正月等のハイシーズンを除いて、定価で宿泊する人は少ないと思うのだが、最後まで（今でも）パンフレットの定価の料金 = 実際の宿泊料金であると信じて疑っていないダムさん。
ホテルのプールで軽く泳ぎ、夕方、温泉へ。

つくづく日本人だと感じる。
日々、水シャワーで生活し、特別に不満はない。
アパート選びの際も、「バスタブが付いていること」という条件は、全く無い。
温水器だけは、冬場に限って必要なものである。
しかし、やはり、温泉に浸かると、日本人の血が戻ってくるのか？

ダムさんも2回目なので、1回目と違い、程よい時間で上がる。
何より、日本と違って、個室で温泉に入り、しかも激安なのが嬉しい。
翌日も含めて、2箇所温泉に行ったが、一人30パーツとか50パーツとかいう金額である。
（個室での料金）

夜は、ナイトバザールに出向く予定だったが、雨の為取りやめ。
翌日の楽しみとなる。



北部旅行 その1

2005,7,22



久々の3連休。
5時ピッタリに会社を出る。
10時15分発の飛行機に何としても乗らなければならない。
こんな時、地方在住者は、不便だなーと思う。
空港まで遠いんだもん。
時間的には、十分に間に合うはずだが、こればかりは、絶対に大丈夫とは言えない。「雨が降ったら・・・」「道路工事してたら・・・」ドキドキである。

バンコク市内を抜けて、空港までたどり着けるか心配だったので（道が分からない）バンコク市内で駐車して、空港まで行く予定だったが、結局は空港まで車で直行。
自分で運転して、空港まで行けたのは、ちょっと自慢できるかもって思う。
無事に22:15分発 タイ航空最終便に間に合い、一路チェンマイへ・・・

ダムさん、飛行機が2度目の為、余裕ができたのか、タイ航空のお土産集めに必死。
タイ航空と書いてあるもの = タイ航空に搭乗した証拠品であるのである。
意外なものをお土産にしていた。
それは、ジュースのプラスチックのコップである。

そういえば、飛行機の中で出されるプラスチックコップは、普通のプラスチックコップよりもしゃれているかもね。

タイ航空のマーク入り、砂糖等も、しっかりカバンに詰め込む。

そういえば、タオルケット等も持っていく人がいると聞くが、使った後のコップなんかは、泥棒とは、言えない範囲であろう。

タイ人にとってのタイ航空は、庶民にとっては、高級な乗り物なのかもしれない。

ダムさんを見ていて思ったのは、新しいもの・はじめてのものは、苦手であり怖がりであると思う。飛行機のチェックインや機内で飲み物を頼む時等、自分からは絶対にやらない。

チェックインをし、荷物は預けないとかのやり取りも外国人である僕が行い、機内サービスも、「水をもらって欲しい」とダムさんから要求があり、僕が注文する感じ。

慣れていないものに、めっぼう弱いんだなーーと思った。

で、チェンマイ空港到着後、Nさんがお出迎え。

さすが、地方空港、到着後、あっという間に出口である。

機内預け荷物がなければ、楽チンな移動である。

チェンマイの夜も楽しみにしていたのだが、カーオ・パンサーの為、閉まっている店も多く、又はアルコールが飲めない店が多く、雰囲気の良いレストランでビールを飲み、ホテルへ・・・短時間にも関わらず、結構な量のビールを飲み、熟睡。



続き

2005,7,21



新聞の1面に毎日のように男性ヌード掲載である。

ムエタイチャンピオンに続き、他有名人も同様にヒットマンの中で脱いでいたことが発覚。

法に触れるかどうかの議論まで発展。

本日のデイリーニュースの社説？（特集と言った方が正しいかも）にも男性ヌードについて書かれている。

法的な問題、有名人であることから道義的問題等書かれている。

「20歳を超えているのだから、別に騒ぎ立てる問題ではあるまい。」とは思いますが、チャンピオンが、エロ本に登場し、子供の夢を壊したと言われたら、「そうかもしれない」とも思う。日本の場合、有名人のヌード本は、よく販売されるが、エロ本というか、写真集とうことで、別物扱いで、エロ雑誌に登場するということはないのかもしれない？

写真集という名の元で、本音はどうであれ、芸術的本として、別物扱いされているのかもしれない。それが、普通のエロ本の中に掲載されていたら、やっぱり問題なのかもしれない。

スニーをテリトリーで遊んでいると、「タイは、何でも有りジャン」って思うことがあるが、現実、そうでもないのかもしれない。

スニーは、特別な街であり、それを基本として考えてはいけなかつくづく思う。

さて、明日から北部3泊旅行である。

本日は、仕事を終えて、5時ピッタリに会社を出る予定。

最終便で、今夜には、チェンマイに到着している。

ダムさんは、旅行に行けるというよりも「飛行機に乗って、旅行に行く。」ということが嬉しいらしい。

そういえば、最初に飛行機に乗ったのも、チェンマイーバンコクであった。

高度の関係で、耳が痛くなるのは、普通で、ガムを噛むか、つばを飲み込めば、すぐに治るという説明をしていなかった為に、前回は、大騒ぎされ「死ぬかと思った」と言われた。

さすがに、2度目なので、大丈夫であると思うが、機体が飛び立ったと同時に「テクノロジー」と叫ぶのは控えてもらいたいと思う。

貧乏生活をさせてるつもりはないが、ホテルに泊まるといえば、旅行用の小さいシャンプーや綿棒をかばんに詰める習慣があるが、ある程度の値段のホテルに泊まる場合、それは不必要である。

今回は、ホテルの値段を言っていないので、500パーツ前後のホテルに宿泊すると思っているのかもしれない。

実は、結構良いホテルらしい。
たまの贅沢・・・最近思うに、「たまに」ではなくなってきた気がする。



ヌード写真の真相

2005,7,20



昨日の一面に男性ヌードの件だが、新聞を読んで記事の大筋が分かりました。
どうも、チャトゥ・チャック（バンコク）の裏側で、ワイセツな本を販売している地域があり、18日に警察が一斉捜査をしたらしい。
そこで、元ムエタイチャンピオンのヌード写真が発覚したとのこと。
で、本人に「この写真は、本人のものに間違いはないですか？」と質問し、本人が「間違えない。2日間、20万バーツで承諾した。」と返答。
しかし、20万バーツで承諾したこととはいえ、全国民にヌード写真が見られることになったとは、運の悪い人である。
この記事のお陰で、ラーモック（卑猥）という単語を覚えた。

今日も、財布を無くしたというスタッフに1000バーツ貸した。
忙しい時に、金の話など聞きたくないから、さっさと貸してしまった。
その後で、日記を通じて文句を言うくらいなら、貸さなければ良いとは思っているが、つい、貸してしまう。
この日記でも書いているが、タイ人の場合、底なし・限度知らずが多いので、1度許すと2度目、3度目は、必ず起こる。（本日も良い例である）
その辺は、十分に理解はしているつもりなのだが・・・正直、聞きたくも無いと思ってしまう。普段、偉そうな事を言ってるが、1000バーツも無いのか？と思ってしまう。
多少は、必要経費だと思うしかないが、100バーツ単位ではなく、1000バーツ単位でくると、この国の物価上昇をはたと感じる。
オフィススタッフよ。
大卒だ・大卒だと言うのなら、「先を見ない、その日暮らし」は、辞めた方が良いと思うよ。
働かなくても2～3年暮らせるお金とまでは言わないが、3ヶ月くらいは大丈夫くらいのお金は持っていたほうが良いと思うけどな-----。



一面に男性ヌード

2005,7,19



朝っぱらから、タイラット（タイの一般紙）を見て驚き。
なんと、男性のヌードが出ていたのである。（カラー）
死体や事故といった記事は見慣れているが、男性ヌードの写真が1面を飾るとドキッとする。
詳細は読んでいないが、ざっと目を通したところによると、ムエタイの元チャンピオンらしく、20万バーツで脱いだらしい。
日本でも、芸能人が脱いだら話題にはなると思う。
しかし、読売新聞の1面に載ることは、あるまい。
タイラットが読売新聞に
それとも、このヌードの影には、何か事件がからんでいるのだろうか？
帰ってから、じっくり読まなきゃ。

最近、パタヤで、店員に声をかけると、すごく驚かれること連続して続いた。
言っておくが、仕事中（店番中）の店員に正面から近づいて行って「ちょっと、聞きたいんだけど、あの

店は、どこにあるかな？」とか聞くと、いかにも背後から故意に驚かしたかのような反応「あっ、びっくりしたー。」って言われる。

そんなに大きな声で話しかけていないのだが・・・

しかも、背後から声をかけたわけではなく、正面から声をかけたのである。

つまり、店番をしている女性は、何にも考えずに、座っているということである。

お客が来ても、対応できる体制を取っているのは、身体だけで、心はここにあらずの状態なのである。

暑いタイランド・・・考え事をせずに、ただ、ポケーっと座って時間を過ごすのが上手であり、ある種の特長技術であると思う。

ふと、思い出した。

以前の会社で、コピーとFAX専門の女性従業員が居た。

土曜日出勤の際は、本当に1日何もせずに、コピーの前に座っていたのである。

暇な会社と言っても、パソコンなどの遊び道具があれば良いが、さすがにコピー機で遊ぶことはなく、何もせずに、ポケーっと座っていた姿を思い出す。

南部が、緊急事態宣言まで出ているが、やはり、安全で平和な国なのである。

サバーイ・タイランド。

高いんじゃないの？

2005,7,18



パスポートがハンコだらけでいっぱいになってしまった。

10年パスポートであるということと、外国に長く滞在すると、そりゃ、ハンコやビザも増え、パスポートのページを増やす手続きを考えている。

しかし、来年の2月に有効期限切れの為、その時で、良いかなーなんて思ったりもしていた。

で、パスポートの更新は、タイ国内でできるはずであるという確認も含めて、大使館のページを覗いた。いやはや、手数料が高いこと。

パスポートの更新は、10年用5,769バーツ。5年用が3,846バーツ。

ページ数を増やすのが、961バーツとのこと。

パスポートって、そんな特殊な紙を使っていたっけな？って思わず、見直してしまった。

タイ人の新規パスポート作成は、1000バーツであることを考えると、5.7倍。

物価差を考えたら、そんなものかなーとも思うが・・・

日本に居た頃、住民票等の各種手続き・証明書発行は、100円とか200円とかそんな単位の金だった気がするが、海外で役所にお世話になると、グーンと料金が跳ね上がる気がする。

もっとも、パスポートの更新は、日本で更新するのと同じ料金設定なのかもしれない。

しかし、物価差も、少しは考慮して欲しいと思う。

まあ、パスポート更新は、海外在住者の必要経費と思うしかない。

タイ語で、「お金を使う」という時に、「チャイ・サタン」と言う言葉と「シア・サタン」という言葉がある。これは、明らかに、「シア・サタン」である。

有名人からのメール？

2005,7,17



タイ国日本人社会は、非常に狭いと思う。

この日記でも何度か触れたことがあるが、僕が欠かさず読んでいるページがある。

「ひとみのバンコクな毎日」というページである。毎週月曜日に更新されるページである。

日本語が非常になめらかというか、読みやすいということと、内容に共感できる部分が多くあり、以前から読んでいた。

女性の日記だから、僕のように、下品なネタ（スニーの子が・・・）は少なく、色恋ネタ、発展ネタの多い、こっち関係のページとは、一味違っているところも魅力なのかもしれない。

実は、彼女からメールが届いたのである。

何でも、僕と彼女の共通の友人がいて、その友人から僕のページを聞いたらしい。

彼女のメールでは、その友人の名は、本名で書かれており、その友人が誰なのかは僕には検討もつかない。

この業界、偽名が多いですから・・・（笑）

久しぶりに驚きと共に、感動した。

有名芸能人から、突然手紙をもらったかのようにであった。

ひとみさんも、普通にバンコクで生活している多くの日本人の中の一人ではあるはずだが、愛読者にとっては、何故か芸能人のように感じてしまうのである。

改めて、タイ国日本人社会の狭さを感じた。

機会があれば、是非にお会いしたい方の一人である。

女性であるから、年齢のことは、ずばり書いてはいないが、僕は勝手に、同年代だと密かに思っている。

毎日のようにガソリン代の値上げがニュースで騒がれているが、ガソリン代の値上げ 物価上昇 最低賃金が上がるようである。

現在は、バンコクの最低賃金は、1日175バーツ。これが、6バーツ上昇し、181バーツになるとか。

地方の場合は、バンコクよりも最低賃金が下がり、僕の会社の辺りでは、1日の最低賃金は、147バーツである。これが、バンコクに合わせて、何バーツか上がるらしい。

ところが、大きな問題が起きている。

日本人の責任者は、最低賃金が上がった為、それに該当する人間だけ（つまり、ワーカーさんの給料のみを）法律に基づいて上げるだけであるという考え方である。

しかし、タイ人は、下が上がれば、上も上がるはずであるという発想である。

分かりやすく言えば、ワーカーと大卒オフィスの給料格差は縮めてはいけない。その差を2000バーツとしよう。下の給料が500バーツ上がれば、その上も当然500バーツ上がるべきである。

下だけ上げて、自分たちの給料が同じであれば、差が2000バーツから1500バーツと縮まってしまう、学歴至上主義のタイ人は、到底納得しない。

しかし、いつになったら分かるのかなー。

確かに、学歴による「できる・できない」の差は、日本とは比較にならないくらい大きい。

しかし、「高学歴者＝社会に出てから優秀な人材」とは、全く別であるということを知って欲しいんだよね。

あとは、「金が先」というのは、やっぱりタイと日本の違いを感じざるを得ない。

「金が先」で、「金をくれるなら、がんばる」と言い張る。

しかし、実際に高額を出すと、「もらって当たり前」で、がんばるって言ったのは、「嘘だったの？」って聞き返したい。面接の会話を録音しておきたいと思うくらいである。

面接時に、納得して、自分で実際にサインもしておいて、いつのまにか「安月給だから・・・」等と言い出す始末。だったら、何で雇用契約書にサインなんかするんだよー。

がんばれば、「金と地位は、後から付いてくる」と言っても、「今を生きる人」には、理解しがたい。

外国人と仕事をするのは、本当に難しいものである。



また、その話が・・・と言われそうだが、コンドの話である。
 一応、慌てていないが、探しているというのが、現実である。
 今すぐではないが、良い物件があれば・・・と思って、探し続けているというのが、現実である。高い・安い計算は、月の家賃 \times 100ヶ月 = 買値の目安としている。
 中古物件の場合は、この計算式に修正を加えなければいけないと思うのだが、中古市場は、非常に高く、修正計算を入れたら、絶対に購入できない。

最近、つくづく実感しているのは、この国は、中古品相場が高いということ。
 車が良い例である。

日本で、車検代だけとか、千円単位で売っている車が、馬鹿みたいな高額で売買されている。
 車に関しては、10万キロが減価償却の一つの大きな目安だと思うのだが・・・タイの常識は違うらしい。(ひょっとして、生涯の財産?)

コンドに関しても同じである。

日本は、当然のように古くなればなるほど下がるものである。
 しかし、タイでは、買った値段よりも下回って売るのが嫌がる。

その結果、コンド中古市場も、高値で推移する。

欲しいなって思う物件があっても、「えっ。」っていう値段を言ってくる。

「この古さで、この値段では買わないよなー」っていうのが、実際には、高値で売り出しており、当然売れ行きも良くない。(と思う)

ある古い物件を見たが、どう考えても値段と合わない。

ベランダに出ると、隣もその隣も、人が住んでいる気配はなく、ガラクタが積んであり、ベランダ内の汚れを見ても、何年も人が住んでいないことは確実。

値段を下げて良いから、現金化したほうが良いとは思いますが・・・

最近、目をつけているのは、ムーバーンの中にコンドが併設されているタイプ。

ムーバーンは、ムーバーンだけかと思ったら、コンドが併設されているタイプも存在するのである。

高い建物で、眺めが良いとか、海が見えるとかいうのも魅力だが、ムーバーンの中の自然を感じられる建物も魅力である。

プール・フィットネス・図書館まで付いていて、住み心地は悪くないような気もする。

しかし、値段を聞くと、「要らない」と言ってしまうのが、最近のコンド見学の実情。

中古市場が高すぎるからである。

もう一つは、何でも込みだから、この値段(高い値段)と言い張るのである。

電化製品・家具等を全部込みだから、この値段という。

そういう部屋に限って、趣味の悪い家具や絵が飾ってある。

「ベッド以外は、要らないから、いくらだ？」と聞いても、困った顔をされる。

買う方(僕)も困るのである。要らないものを渡されてもね。

「ゴミを捨てるのもお金がかかる」という思考回路があるので、要らないものを高額で込みこみで売られても、非常に困るのである。

「部屋が欲しいのであって、あなたの使い古しの電化製品や家具は要らない」というのが、本音である。

「自分の部屋を買ったら、多少の金はつぎ込んでも、自分の好きなデザインにしたい」という思いもある。

石油代高騰のニュースが毎日流れている。

1997年(1998年だけ?)の経済危機とまでいかなくとも、景気が悪くなれば、財産の値崩れは確実である。

それを、ちょっと待ち望んでいる今日この頃である。

日本も、バブル崩壊時、すごい率で不動産が下がったが、タイでも、経済危機の時期、同じような状況だったようだ。

記憶の片隅にあることだが、700万バーツで買ったコンドが、200万バーツになったと・・・ここまで極端な値下がりは無理としても、値下がりしたら・・・と思う。

意地悪ですね。

高価なものは、10%の値下がりでも、大きいですからね。



貯金しない

2005,7,15



最近、タイ人の金銭感覚のことを何度か書いている。
金銭感覚というか、貯金ができない(しない?)ことを書いた。
昨夜、友人と話した時も似たような話になった。

僕を含め、電話の友人も好きになった(付き合っている)子が困った(特に、学費や食べるお金など)を助けることに関しては、あんまり何とも思わない。しかし、「相手の家族・友人の経済状況までは知ったことではない。」というのが、正直な気持ちであろう。

しかも、タイの場合で陥りやすいのは、底なしであるということである。

1000パーツの次は、5000パーツ、10000パーツと、助長していき、それどころか、いつのまにか当たり前、既得権になっていくのである。

友人から、少しびっくりする話があった。

「親が・・・」でお金の問題を抱え、持ち込まれるのは、もうこりこり。(前の彼氏で)

だから、現在の彼氏には、付き合う前に「親が・・・」で、お金の問題を持ち込まれても困るから、「親族・友人のお金の問題を持ち込む子とは、付き合えない。」と最初に強く念を押したそうである。

いやはや、偉いと思った。そこまで、クールに言えたら、どんなに楽だろうかって。

何となく、タイ人に家族のことを言っではいけないという意識があり、「家族は助けない。」と言えない感じがしていた。

家族を何よりも大切にする考え方の人に、最初から、「家族の問題は知らない」というのは、冷たすぎるという印象を与えかねないと思うからだ。

ところが、僕の友人のように、「最初から釘を指す」というやり方でも良いのかもしれない。

しかし、付き合う前から、「お金の揉め事はごめんだ」というのも、何だか変な感じもするが・・・。

で、タイ人は、貯金ができない。あるだけ使うという意見は一致するのだ。

僕は、「年中暑くて、食える国」というのが、ネックだと思ってきた。

蓄えなくても、年中、何かしらの作物が実る国・・・これが、大きな原因を占めると思ってきた。しかし、友人の言葉から、まず発せられたのは、「教育」であった。

それが、大きな理由であると。

タイの場合、差がありすぎなのである。

そりゃ、高等教育を受けている人間も大勢いる。

この問題に限って言えば、高等教育を受けた人間に限って、節約する必要も貯金する必要もなく、逆に、将来を見据えて、ちょっと貯金した方が良さそうな人ほど教育が低いのもかもしれない。

お小遣いに関しても、親が子供に渡す場合、タイは日銭(毎日渡す)が多いようだ。

答えは、1ヶ月分渡すと、1日であっという間に使い切ってしまうから・・・と言う理由からである。日本の普通は、どうかは言えないが、少なくとも僕は、小学校の高学年くらいから、月でもらっていた記憶がある。

教育とは、大げさに言わなくとも、「子育て」という範囲でも習慣・考え方が違うのかもしれない。



現地化促進

2005,7,14



ブリーフに挑戦している。

「挑戦している」というのは、いかにも大げさであるが・・・

いつ頃からだろうか？トランクス型を愛用するようになったのは・・・

もちろん、小学生の頃は、白いグンゼパンツを履いていたと思うが、いつのまにか、トランクスが主流になり、今は、ボクサーパンツなるものを愛用している。

タイでは、ご存知のように、ブリーフタイプが主流である。

トランクスも販売しているが、どうも直に履くのではなく、ブリーフパンツの上に履くようである。

だから、サイズもかなり大きめのものが売られている。

可愛い子がこれを履いてくれれば、横 ンに目が釘付けとなりそうである。

もちろん、ファラン用販売かもしれないが・・・

買おうと思えば、ボクサー型パンツもタイ国内調達が可能であるが、何となく、パンツは、日本製を使っていた。

日本製というか、日本で購入したものを・・・

で、長期滞在になるにつれ、やはり日本購入品は減らそうと思っているのである。

コンタクト用品・虫指され薬・ボールペン・目薬・身体を洗う為のソフトなタオル・パンツ等、結構な品数が日本からの購入品である。

ちなみに、我が家のタンスの中には、日本からの購入品のストックでいっぱいである。

どうしてパンツに目をつけたのかは分からないが、何となく一番現地調達化できそうな気がしたのである。コンタクトは、ハードである以上は、仕方ないと思うし、目薬も現地調達化は無理そう。ボールペンは、タイでも売っているが、日本製である以上、日本で買うより高いから、日本で買っているだけ。

で、何となく、パンツならば、OKかなーって思ったわけです。

男性用ブリーフの値段は、18パーツが、最低ランクの品物。

上はきりが無いが、ロータスあたりでは1枚50パーツから70パーツが平均値。

試しにと思って、標準的なブリーフを購入。

徐々にブリーフを着用したが、別に違和感は無かった。

但し、横から顔を出す陰毛だけは、見苦しく感じてしまう。

試しに、Vラインのレーザー除毛でもやってみようかなーなんて馬鹿な事を考えたりする。

何はともあれ、パンツに関しては、日本調達品から現地調達品に簡単に切り替えることができるようである。



3分日記

2005,7,13



雨が降ると。「今日は、ハエと羽アリが大量発生するな、外では食事は厳禁である」と思う田舎生活。朝から、雨が降った。

いつも必ず交通誘導をしてくれる、いつもの場所には、警察官はいない。

雨の為、休みというのは、いかにものどかである。

警察官の休みのお陰で、スムーズに車が流れている（ちょっと嫌味）

まあ、警察官が誘導することによる渋滞解消もあるが、警察官が誘導することにより渋滞を招いている場合も、かなりあるのである。

今日は、忙しかったので、3分で終わる日記です。



連休の予定

2005,7,12



来週は、3連休である。

金曜日から日曜日まで休み。

3連休というのは、仕事をしている人間にとっては、かなりありがたい時間。

国内旅行（タイ旅行）を満喫すべき時間。

でも、3日というのが、ちょっと少ないわけです。

パタヤで過ごすには、もったいない気がする。

しかし、遠くに行くには、時間が足りない。

バスで移動するのは、時間ももったいない。

で、結局は、往復飛行機で、北部旅行に出かけることに。（リッチー）

飛行機は、こちらでは、けっこう高級な乗り物。

しかも、二人となると、さらに……

タイも、新しい航空会社ができる、格安なチケットを販売しているのは知っているが、そこは、民間企業（営利追求）

平日のお客が少ない時期は、格安だが、連休とか、週末は通常（安くない）料金である。

3連休は、どこも同じような値段で、結局は、タイ航空じゃない怪しげな飛行機会社の安くも無いチケットを購入する羽目に……これは、仕方が無い。

夏休みや正月に、とんでもない高額な航空券で、タイにいらっしゃってる方は、沢山いるはずですので……

北部に決めたのは、友人Nさんの訪問と、北部はチェマイ以外、行った事がなかったので、機会があれば、行きたいと常々思っていたからである。

ダムさんは、イサーンやカンボジア・ラオス行きは、絶対反対のお方。

シンガポールという選択肢もあるが、僕は、どうも興味が無い。

知らないのに（行った事無いのに）嫌い（興味が無い）というのも悔しいから、一度は機会があれば……と思うが、何も、今月に行かなくても……という感じである。

最近、タイも便利になり、E チケットというのが出て、ネット上で予約完了。

支払いも、もちろん魔法のカード（クレジットカードである）

最近、何かにつけて魔法のカードを使うのは、良くないことだと思いつつも、ネットで予約する場合は、カードを使わざるを得ないし……って自分を説得させている。

今週は、パタヤで普通に休息。

その後、4日働いたら、久々の旅行である。

パタヤは、旅行先でも・刺激のある場所でもなくなってしまったので、妙に楽しみである。



何年後かに、翻訳者になれるか？

2005,7,11



最近の日記は、文句が非常に多いと思う。

「貧乏人」とか「売春婦」とか、差別化する表現も目立つ。

在住4年目にして、やっとタイ的思考方になってきたような気がする。

世の中、平等なわけがない。（差別主義者になったわけではなく、平等ではないことが分かってきた。）

同じ8時間働いて、日本人は別としても、会社内で同じタイ人同士で5倍もの月給の差があるのである。

家柄も、生活習慣も、違うわけである。

もっと言えば、住む家も、食べるものも、食べる場所も、着ている洋服も違うのである。

生活状態がこれだけ違えば、考え方・ひょっとしたら、脳みその中まで違うかも。

最近、とある翻訳会社に翻訳アルバイトの申し込みをした。

早速、トライアルが来て、2ページほどの翻訳を行った。

まあ、田舎生活なので、夜、時間があるということ。

ビールばかり飲んでいても仕方が無いと思ったこと。
 それと、将来を考えて、仮に独立して何か商売を始めるとしたら・・・と考えた時に、最も投資が最少で住むのは、翻訳会社かもしれないと思ってもあつてはじめて。
 もし、翻訳で食えなくても、言葉の勉強になるわけだから、暇な夜の時間を有意義に過ごすには、最適であるとも思った。
 正直、簡単だと思った。
 正確さも大事だが、スピードも大事という言葉につられて、メールをもらってから3時間で提出した。
 (しかも、職場で、内緒で翻訳して・・・)
 結果は、「合格」しかし、能力によって翻訳者の手元に入る値段が決められており、驚くほど安い値段であった。
 もちろん、高い金を取るには、もっと努力をしなければいけないとは思っているが、アルバイト感覚・暇つぶしとはいえ、あまりの安さに驚きを隠せない。
 将来、翻訳事務所を・・・とも考えることも時々あるが、現実の値段(労賃)を目の当たりにすると、「やっていられない。」と思う。あと10年は、一生懸命に勉強しなければいけないのかも？と思う。現実には、外国語である以上、一生という方が正しいのであろう。
 勉強して、短時間で訳せれば、辞書など使わないですべて訳せたら、時間効率を考えて良いかもしれないが、今の状態では・・・
 日常会話に支障がなくなってから、さらに勉強を続けると言うのは、本当に強い意志が必要である。ましてや、仕事を始めたら、帰宅後の勉強の意志はなくなってしまう。
 でも、気持ちだけは持ち続けたい。
 コツコツやろうって。

-



スニー慣れ

2005,7,10



8番ラーメンが非常に美味しく感じた。
 ラーメンでは足らずに、チャーハンまで注文してしまった。
 8番ラーメンが美味しく感じるというのは、いよいよ、レストラン富士で日本食を食べ過ぎたのかもしれない。
 まあ、チェーン店の味と言うのは、平均化され、並以上の味であるということを考えれば、納得もいく。
 僕がいつも読んでいる、「とあるページがある」
 あえて名前や詳細を書かないのは、ページ作者は、極端にゲイを嫌っている。
 僕もかなり差別的で口が悪い人間であると思うが、このページの作者は、さらに輪をかけている。特に売春婦とゲイに対する嫌悪はすさまじい。
 ちなみに、キーワードは、留学、チュラ大・・・これでピント来た人は、読んだことがある人ですな。
 「売春婦は、最低階層の人間であり、その人間と付き合うこと自体が恥かしいことである。」
 「売春を業とする人間としか付き合えないという人間も、可愛そうである。」というレベルの思想である。
 確かに、中年親父が、明らかに売春を業とする人間と派手に、旅の恥は・・・状態で、故意に目立っている光景を見ると、見よいものではない。
 外国だから・・・と言っても、旅行者が来るエリアは限られており、その周囲は、日本人が溢れているということを知っているのだろうか？と思うこともある。
 しかし、綺麗ごとを並べたって、観光国家タイランドは、これで成り立っているのであることも、忘れちゃいけないことかもしれない。

で、スニーで働いている子と話せば話すほど、まんざら上記ページの作者が言っていることも間違っていないと思う。
 遊びとして楽しむ以上の関係には、絶対になるべきではないと思う。
 「うちの子に限って」という気持ちも分からなくもないが、階級・立場がはっきりしているタイランドでは、例外は極端に少ないと思う。
 つまり、売春婦は、売春婦なのである。

直接に、売春婦でなくても（ゴージャス勤務ではない）連れ出し料金を払えば、連れ出せる場所で働いていれば、明らかに売春婦であろう。

どこの店にも属さずに、ストリートで個人営業をしている方は、話にもならない。もちろん、未成年であることが理由の場合もあるが、ほとんどの場合、それ以外の問題も同時に抱える。（薬など）家なき子と言うか、家出少年という感じでもある。恋人になるとかいう以前に、遊びであっても危険である。

で、何を言いたかったかと言うと、スニーで会話する子のあまりのお馬鹿さに呆れ果ててしまっている。「ファランをつかまえることが何より良いことである。」と思っている子、「人間には好みがある」ということを理解していない奴には、呆れてしまう。

「何で、僕じゃ駄目なの？タダで良いから」と言われたとしよう。

タダでも要らない物は、世の中にいっぱいあることを理解して欲しい。

ファランを捉まえて、一緒になることだけしか頭に無い。

そりゃそうである。中流以上のタイ人は、売春婦としては、相手にするだろうが、恋人として、一緒に居る相手としては、選ぶわけ無い。

だから、外国人を捉まえる事が、少ない選択肢の中から選べるサバライな生き方である。

しかし、ゲイであっても、趣味・好みに関係なく、ファランにベタベタできることは、特技だと思う。

「ヤンガイ・コ・ダーイ」（どうでも良い）という言葉があるが、ファランあれば良いというのは、見事なものである。

だって、自分を考えた場合、タイ人であれば一夜を共にできるか？と聞かれたら、当然、NOであり、もっと広く、アジア人であればOKか？と言われたら、困ってしまう。

どんな爺ファランでも、ファランでさえあれば良いという思想は、理解に苦しむ。

やはり、高級ホテル（は、言い過ぎで、少し高めのホテル）に泊まり、のんびりプールで泳いで過ごす休日が一番快適だと思う。

と言いつつも、学生が大挙して押し寄せる季節になれば、新鮮な子が集まってくると思うと、少しは心も躍る。

まあ、たまに行く場所なんだろう。

もう少し、常識的な人と友人になりたいとは思いますが、どうもパタヤでは無理のようである。

売春で名を上げた街だから、仕方ないかもしれない。



文句だらけ

2005,7,7



最近、庶民と関わるのが、本当に嫌である。

庶民と言うか、もっとひどい言い方をして、「貧乏人と関わりたくない。」と言いたいくらいである。お金にまつわる話しかないのである。

しかも、この日記でも何度も書いているが、日々の小銭はあるのである。それを貯金したり、蓄えるということをしていないから、何かあったときに、「問題発生 = お金がない。」となるのである。

「貯められるだけの収入がないから仕方が無い。」・・・という意見の人がいたら、反対意見を唱えたい。

本当に、「食べること」「生活するお金で困窮している人」は少ないと思う。

事実、お金の問題を持ち込んでくる人間は、高い携帯も持っているし、ビール、たばこ、賭け事だって日常生活の一部である。

それで、日々の手持ちのお金を全部使って、収入が少ない月、病人が出たら、「問題発生」「お金が無い」という。当たり前だと思うのだが・・・

1) 80歳近い年寄りが、病気になって、「大変だー」って言ったって、人間、急に死ぬるわけではなく、死ぬ前に、金がかかるのである。準備しておくのが、当たり前のことだと思う。

2) 雨季になったから、収入が少なく生活ができない・・・雨季は毎年来る。雨季は、収入が少ないのも、明らかに分かっている。農家は会社員と違って、収入が一定していないのは、当たり前。その代わりに、収入が良い時期もあるわけで・・・その次期に、ビール代で全部使って、収入の少ない時期に、お金が無いって騒いだって・・・

3) 給料出た後、全額下ろして、全額盗まれたから、生活できないって泣いたってね。給料出て、全額一度に下ろすのは、個人の自由だから良しとしても、会社員で定期収入を得て、あんたさー、余分な金は(預貯金は)1パーツもないのか?って問いたたいたくなる。しかも、ワーカークラスではなく、オフィスのスタッフでね。

4) 出家をするのは、タイの風習で理解しているし、出家する事で、親孝行になる(親は天国に行くことができる。)というの分かっているが、借金までして出家するっていうのもどうかと思うわけです。「早く出家しないと、家族の がもう高齢だから・・・。」と言っても、急に年を取るわけじゃあるまいし、出家の為に、いくらかかるのかも予想できるわけだから、何年か前から準備すれば良いじゃんって思うわけです。急に、「出家しなきゃー、でも、出家の金が無いー。」って騒いだってねー。

ダム家の家族は家族で、お金の話ばかり。

ダムさんは、家族で唯一の大卒であり、唯一の定期収入のある身である。

何千パーツの給料の人間に、平気で30000パーツ貸せというのは、どう考えても矛盾していると思わないのか? 田舎生活と違って、家賃、食費だっかかることは分からないのか? と言いたい。しかも、どうやって、借りた金を返すのか、計画書とまではいなくても、話してほしいものである。

どう考えても、現在1パーツも貯金がないのに、万パーツ単位の金は、大金のはずである。

会社に行けば、運転手が金を貸せと言って来ている。運転手が、ガソリン代をごまかした。拳句は、スタッフクラスでも、下ろしたばかりの給料が盗まれて、生活できないって・・・

何か、ほとんど疲れを感じる。

金以外の問題は、庶民には、ないのかな? と思うのです。

タイは、僕にとっては外国なので、理解しようとは思うけど、やはり共感は難しいようである。また、タイの金持ちは、庶民とは違う世界に住んでいるので、庶民とは関わるわけもなく、別世界で生活している。

外国人であることで、しかも日本人であるということで、お金の余裕があると思われても仕方が無い。事実、余裕はある。

しかし、その余裕のお金は、貧乏人に撒き散らすためのものではなく、自分の将来のためにしっかりと守っていかなければいけないものである。

せつかく、良い収入を得られるようになって、少しは先々の為に・・・と思っはいても、タイ社会は、それを認めてくれないようである。

日本人として、外人として、タイを理解しようとは努力しているつもりである。

タイ人も、理解して欲しい。日本人には、タンブン思想は無いということ。

困ったからと言って、「人にお金を貸してください」というのは、あまり格好の良くないものであること。知人・友人とお金の事で、問題を起こしたくないと思っている人間であると言う事。

事実、若い頃、消費者金融にお世話になったこともあるが、知人からは、「今日、たまたま飲み代が無い」という程度のお金以外、借りた事はない。

家のローンだって、知人はもちろん、親に保証人になってもらうというのも嫌だったから、お金を支払って、保証会社に保証人になってもらった事。

日本人(僕)の考え方も、少しは分かって欲しいと思う。



本日、2ヶ月という時間を費やした上で、やっと、バイクの免許を更新した。
有効期限が切れた為、交通省・陸運局に出向いたのは、確か5月の上旬だと思う。
去年は、バンコクでパスポートを見せただけで、何の問題も無く更新できたような気がしたが、今年は、労働許可書も見せろと言われた。

丁度、持ち合わせていたので、提出すると、「住所が合わない」ということで問題になる。
そりゃ、古い免許書は、バンコクの住所であり、労働許可書に記載してある住所は、現在の会社の住所（地方都市）である。

で、まずは、住所変更を行ってから・・・と言われたが、まさか、1ヶ月も待たされるとは思わず、その場で、住所変更の手続き後、免許更新・・・と1日で終わるのかと思いきや、なんと、住所変更は、バンコクと書類のやり取りをするため、1ヶ月の期間を要すると言うのだ。

タイの役所の1ヶ月というのは、1ヶ月半～2ヶ月と見るのが正しい。

ちなみに、口頭でいうのは、証拠書類もないから良い（適当なのは、仕方ない）として、法律や文書の規定では、就労日の 日以内という書き方になる。就労日というのは、土日、祭日を含まないで 日以内という意味になり、結局は、30日以内は、土日のみを考えても、30日 + 4週×土日の2日 = 38日以内を意味する。

で、話は戻って、6月の中ごろに電話で確認してもらおうと、「まだ、バンコクから書類が届かない。」との事。6月下旬に、届いたことが判明したが、月末、月初めは、バタバタしており、何となく今日まで来てしまった。

本日、更新の申し込みをし、（5年更新免許）、手数料255バーツ（50バーツ/年×5年プラス申請料5バーツ）を支払ったまでは順調だったが、バンコクからの書類に不備があったようで、随分と待たされる。

名前ではなく、「日本人の方」という呼ばれ方をし（かなり、ムツとした。）「バンコク3区の書類に、不備があって・・・もう少し待ってね。」と言われ、タイ語の雑誌しかないにも関わらず、「本でも読んで待っててね」というあたりが、「こいつは、何にも考えていない人間だ。」と思ったが、文句を言っても、「あと、何時間待たせるんだ」と言っても、良い方向に向かうはずは無く、おとなしく座って待った。

何よりも、タイに来て、生活してきたので、勘がある。

お金を支払ったので、絶対（そこまで言い切れないかな？）に何とかなる。・・・と。

金を支払うとここまでこぎつければ、95%までは終了したというのが、僕の見方である。

「受け取ったお金を返す」ということは、この国では、あり得ない（これも言い過ぎですが）と勝手に思っている。

何処の役所もそうだが、オフィスの中は、エアコンが効いており、客（この場合、市民）は、古い扇風機が回っているだけの、暑いところで待たされる。長時間、待つのは、本当に苦痛だし、普段、サバライな生活をしているので、暑いと「ランパーク」と怒鳴り散らしたい衝動にかられるが、じっと我慢。たかが、免許の更新で、しかも日本と違い、講習や視力検査という煩わしいものは、一切ないにも関わらず、かなりの時間を費やしてしまった。たかが、免許更新というのは、大間違いで、1日1個、何か解決する・事が進めば、それは、「たかが」ではなく、とても大きな前進であるということをタイ生活で学んだ気がする。

「1日1歩・・・」という歌があったが、タイ生活、まさに、その通りである。



本

2005,7,4



タイでは、物価からすると本はかなり高い。
 もちろん、紙の質も値段を左右する大きなポイントである。
 デパートの本屋に並ぶ本では、外国語で記載した本が一番高く、このクラスの値段の本は立ち読み防止の
 為か、ビニールで包装してあり、中味が見えないようにしている本も多い。次はタイ語で記載している
 が、紙質の良いものが、値段もお高い。
 最も安いのは、紙の色が、茶色っぽく、見た感じからして安っぽい紙質の本である。
 日本で言う、週刊誌とかに使われているような又は、文庫本に使われているような紙質である。
 教科書関係は、ほとんどが、この安いと思われる紙を使用して作られている。
 だから、1000パーツ前後で購入できる金額となっている。
 カラーだったり、写真が入っていたり、ちょっと丈夫そうな？本は、3000パーツ前後となるわけだが、
 タイの物価からすると、安いものではない。
 バンコクの最低賃金が1700パーツであることを考えたら、安いものではない。
 新聞の8パーツは、安いと思うが、紙質と、販売部数が効いているのかもしれない。

高いものだから・・・という理由だけではないとは思いますが、タイ人は、本を非常に大事に扱う。本を跨
 いだりするとダムさんに怒られるのだ。
 特に、教科書関係のものを跨ぐと、マジで怒られてしまう。
 だから、我が家の本は、床に置いていない。
 僕は、ポイと床の上に、読み捨てちゃうんだが、いつのまにかダムさんが、机の上等（床よりも高い場
 所）に置いてくれる。
 僕からすれば、置き場所なんかどうでも良いから、飾っておくだけではなく、読めばいいのに・・・と
 思う。特に、語学学習の本は、何度も繰り返しやれば良いのに・・・と思っているのだが、買っても2～
 3日で、飽きて飾ったままである。
 格好・形も大事だが、教科書は、1冊を信じて、何度も何度も繰り返し読む。
 線を引いたり、マーカー付けたりして、汚くすればするほど勉強した証・・・なんて考えているのは僕だ
 けかな？



一人のパタヤ

2005,7,3



日曜日、1日だけの休日でも、何か色々なことができた充実した1日だったように思う。
 ダムさんが、バンコクへ行っていたので、一人のんびりのパタヤであった。
 たまには、良いだろう（笑）

それにしても、タイでは、お金を払う方が強い。
 「お客様は神様です。」という言葉はあるが、サービスを提供し、お金を受け取る方とサービスを受け、
 お金を支払う立場とでは、圧倒的にサービスを受け、お金を支払う方が強いのは理解できる。
 しかし、借金を返却する場合も、返却する方が強いには驚きである。
 ダムさん、友人へ貸した金の集金の為に、わざわざバンコクへ行ったのだ。
 「返してやるから、取りに来い。」ってな事である。
 結果論ではあるが、3000パーツが返却されるはずが、1000パーツを返却してもらう為に、時間と
 金を使ってバンコクまで行ったのである。
 友人との再会、夜遊び代を入れると、完全に赤字だろうに・・・
 ちなみに、借金を返済する方が強いと言うのは、ちょっと誤解かもしれない。
 返してもらう側は、「今、返してもらわないと、返却されない可能性が非常に高いので、返すという人間の
 気分が変わらないように、言う通りに従う。」という表現が正しい気がする。

一人のパタヤも、気楽で良いもんだ。
 スニー到着後、オープンバーで休憩して、ユーロの再オープン（名前は、サワディーに変更）の中を見学
 に行ったり、スニー内を徘徊。
 ユーロは、さすがに18歳以上の子ばかりになっており、人数も激減していた。
 オーナーが一生懸命、ドアの前に立ち、客引きしてるが、前の活気に戻るには、まだ程遠い感じがする。

日曜日は、ゆっくり起床し、昨夜のビールを抜きにサウナへ・・・ボーイズタウンのジム（ボーイズ・ボーイズ・ボーイズの真向かい）のジムが、お気に入りのジム兼サウナである。何故お気に入りかと言えば、いつも貸しきり状態なのである。

変に数人のデブファラン・爺ファランが居るなら、誰も居なく、貸切が良いに決まっている。

毎週に近い頻度で行くが、他のお客と合わない日は、90%以上の確率である。

もっとも、行く時間帯は、必ず午前中であるが・・・昨日は、一人だった為、10時入場で、何度もサウナを出入りし、1時まで利用した。

場所柄、夕方以降は、混んでいるのかも知れないとは思いますが・・・

身体から、ビールがすっかり抜けた感じで、爽快・爽快。

「何度やっても、懲りない」が、パタヤ日本食事情である。

美味しい店が無い。

まずいのは100も承知で、車を止めやすいと理由で、つつい日本食レストラン「富士」で食事をしちゃう。昨日は、サーモンステーキを注文。

別皿で、

1)非常に甘い照り焼き用と思われるソース

2)驚くほどにんにくをたっぷりと入れ込んだ薬味のねぎ

3)どう考えても太りそうな甘ったるく、脂っこいマヨネーズ

が付いてきたのには、驚いた。

富士レストラン並みの料金で、もう少し、日本食らしい日本食が食べれるところはないものだろうか？週に1度の日本食なだけに、がっかり。

他にも何件が食べたが、美味しい又は、日本食を食べた気にさせてくれる店は、今の所ない。

ちなみに、ダムさんも居ないから・・・と久々、大爆発（何が？）の週末だった。

夜だけでは、物足りず、昼間から、エロマッサージ屋に行ったが、可愛いゲイの子が居なくて、「妥協」して、ノンケの黒肌の子を選んだら、意外と当たりだった。

マッサージはヘタクソだが、その後の、行為が上手だった。

期待薄だっただけに、最後に、宝を引き当てた気分である。

ちなみに、スニーでも、エロマッサージでも、ノンケは、よほど可愛い場合を除いて、選ばない。



群れる日本人

2005,7,2



本日は、土曜出勤である。

さして仕事が無いのに、出勤というのも非常にしんどい。

前の会社の時のように、土曜日は、ネット以外、何もやっていないというのも、それはそれで、退屈なのだが・・・

ソーシャル・ホモに、ほとんど嫌気がさしている。

とにかく、日本人同士集まるのが大好きである。

社内LANがあるので、メールで連絡すれば、あっという間に片付くことを、急に「緊急ミーティング」とかで集合させるのが大好きである。

それで、ぐちゃぐちゃおしゃべりしているうちに、結論がぼやけて、結局は何なのかが分からない。会議録もなきゃ、ただの座談会でしょうに・・・

会議というのは、ちゃんと資料があって、議題があって・・・としたいものである。

どこから、情報が来たからって、メールで知らせるとか、回覧をまわすとかで良いのではないかと思えてならない。

休憩時間に、喫煙所に群がるのは結構だが、トイレとかで遅れると、走って喫煙所に向かう人発見。

一緒にタバコを吸わなきゃ、仲間はずれになるとでも思っているのでしょうか？

で、楽しくしゃべっているとでも思えば、そうでもなく、黙って、沈黙の中、タバコをぷかぷかさせてるから、傍目から見たら、異様な光景のような気もする。

そrた、そうそうでしょうに・・・朝は、1時間、夜も1時間、狭い車内で同じ空気を吸っていて、恋人でもなきゃ、それ以上、話すことも無かるうに・・・それでも、群れる日本人・・・不思議な人たちだなーって思っちゃうのは、個人主義のタイに馴染んだからだろうか？



ガソリン代値上げ

2005,7,1



こうもガソリン代の値上がりをTVや新聞で連呼されると、本当に物価上昇に納得し、事実、物価上昇を実感する。

「毎日、サタン上昇」って聞いているので、現在の本当の価格は、いったいいくら分らない。ガソリン代の上昇＝バス代の値上がりや輸送費上昇による物価の上昇となるわけだが、不思議なことに、ガソリンが値上げしたからという理由で、当然の如く、すべての物価が上昇することに、タイ国民は、何の抵抗感もないようである。

上昇しない方が良くは決まっているが、誰も異論を唱えない。

何の抵抗感もないというか、「仕方が無い」と誰もが納得するところが不思議である。

「企業努力」「内部努力」とかは無いのかなーってちょっと思う。

「便乗値上げ」って消費者は怒ってもいいのではないかととも思う。

そのあたりは、タイらしく、「高いと思ったら、買わなきゃいいだけ」ということなのだろうか？

公共交通機関も、バンコク市内バスも長距離バスも含めて、上昇しているようだが、「荷物の番をするだけの人間。」「乗客に、パンとコーラーを配るだけの実労30分の人間。」と言った、タイならではの余剰人員、本当に必要かどうか議論して人件費を節約するとか誰も言わないのかな？

ありえないとは思いますが、すべてのバスを「ワンマンバス」にするとかいう議論になっても良いとは思いますが・・・

ダムさんがぶつぶつ言っている。

白いご飯（今まで、何処で買っても5バーツだった）が、10バーツに上昇したと・・・

確かに、ガソリン代の値上がりと、物価上昇は少しは認めるとしても、2倍になるのは、便乗値上げと言われても仕方がないと思う。それ以外でも、おかず類もすべて物価上昇傾向らしい。

日本の缶ジュースを考えたら、100円時代が長く続いたが、110円、120円と徐々に値上げである。

この国、ビザ代もそうだが、いきなり2倍とかって、平気なのかナーって思う。

僕がバンコクに来た時は、赤バスも緑バスも3.5バーツだった。

今は、5.5バーツか6バーツぐらいらしい。

米とバスは、政府の意地で、上げないって聞いたことがある気もするが。

今まで、タイの物価のキーワードは、毎日買わなければいけないもの・生活必需品は安い。（食費、交通費、家賃等）しかし、贅沢品、技術を必要とするもの、工場で加工を必要とするものは高い。（シャンプーや石鹸と言った日用品、電化製品、車）は高いと思ってきた。

最近はその神話も崩れて、毎日の生活必需品も高くなっちゃうのかなーと寂しく思う。物価上昇によって、犯罪を含め、治安の悪化へ結びつかなければ良いのだけれど・・・と思う。

[【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ](#)

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

8月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

週末の食生活

2005,8,31



週末のパタヤでの食生活がパターン化してきた。

日本食は、必ず1回は食べる。

無理やり付き合せているダムさんに悪いので、1回が限界。

不味いと言いつつ、「富士」に入ることが多いが、駐車場の事、買物もついでにできることを考えたら、仕方ない。八番ラーメンの入っているパタヤ北のB I C-Cでは、先日、車をこすられた為、行きたくない。そうすると、選択肢は「富士」になってしまう。

ダムさんは、焼肉定食らしきものが、美味しかったようで、毎回それを注文している。

もちろん、味噌汁は、NGですが・・・

この前、すきやき定食を食べたら、思ったより美味しかった。

糸こんにゃくを食べたのも久しぶりだった。

パタヤのロイヤルガーデンで、ZENが入居しているのを発見した。

日本食チェーン店であるが、僕は結構気に入っていた。(バンコク在住時は)

富士と同じくらいの料金だが、格段に美味しいと思っている。

パタヤ支店は、まだ入ったことがないが、今週か来週あたりに入ってみようと思っている。

日本食以外では、カルフルの中に入っているヤム・セーブという店もしばしば訪れる店である。外の市場の倍ほどの値段だが、すごく美味しい。

アルコールを販売していないので、2人で200パーツあれば、十分に食べれる。

ダムさんは、しきりにKFCに入りたいようだが、僕は、かたくなに拒否。

揚げた肉・フライドポテト・マヨネーズに浸っているサラダでお腹を膨らませるなんて、見ただけで十分と言った感じである。

この前、ピザを食べたが、あまりの不味さに、逆に驚きだった。
当分は、イタリアンという選択は、無さそうである。

パタヤといえば、やはりシーフードが食べたくなる。
しかし、パタヤ市内やウォーキングロードは、結構な値段を取る。
そこで、サタヒップの方に南下したところの漁港町のシーフード屋に行くことが多い。
ここに友人を連れて行ったら、ほとんどの友人が喜んでくれる。但し、「車が無いと来れない場所」であることが残念である。だから、タイ人向け料金で、安くて美味しいのかもしれない。

そういえば、9月6日で、タイ在住丸4年が経つような気がする。(5年目に突入)
「外人である」という意識は、薄れてきつつあるが、生活の各方面で実感することが多い。
在住4年が終了し、5年目を迎えるというのは、「外国人になって、丸4年が過ぎた」という表現でも良いのかもしれない。
外国人である以上、多少の苦労は付きまとうであろうが、不思議とこの生活が気に入っている。



落ち組のその後

2005,8,30



昨夜は、飲みすぎてしまった。
日本酒を飲んだのが効いたのか頭が痛い。
やはり、母国語の人間と同等に試験を受けて、合格するというのは、格別の喜びである。
試験問題を読解するという面でもハンディがあるし、それ以前の講義の段階でも大きなハンディがあるからである。
テキストだって、1冊渡されたって、タイ人とは、読むスピードも違えば、理解度も違うのである。
タイ人に並んで、いや、合格ラインをかなり超えた点数で合格したことが非常に嬉しかった。
一方、社長はじめ、日本人駐在員は、「タイ語ができるんだから当たり前」と言った対応で、外国語で母国語の人達と同等に試験を受けることが、どんなに大変なことかは、全く理解していないようだ。まあ、仕方がない。
僕もタイに来て、この生活を選んでいなければ軽く「凄いな」ぐらいで済ましていたかもしれないから.....

日本人の中で、採用の際に、筆記試験を行おうという話が持ち上がっている。
「やっと気がついたか。」とは思いますが、最低限の算数と国語(タイ語)のテストをするのは、面接だけでは見抜けない脳みその中の調査をするためには、必要なのである。
後は、面接を担当する主観部署が仕組みを作れば良い事で、僕は、関わらないようにしている。

ちなみに、会社の中の状況はどうなっているのかというと、落ち組が2つに完全に分かれた。
1) 恥ずかしいと思っている組.....「アイ(恥ずかしい)」を連発していた。多分、この手の人間は、再試験に全力を尽くすのであろう。
2) 文句だらだら組み.....「他の会社では(他のコンサルタントでは)こんなテストはしなかった。」こんな文句からはじまって「試験に通ったら、資格手当が付くのか?」「もし付かなければ、そんな資格要らない。」
もちろん、2)の文句組は、大卒組であり、アイ組は、たたき上げ組とはっきり分かれた。たたき上げ組とは、高卒か短大卒で、経験によって上のポジションにのし上ってきた組である。

コメントのしようがないが、僕は、一部のタイ人大卒組を見下してしまう。
この国のすべてを象徴しているようにも感じた。
これが、階級社会というものの良い面でもあり、悪い面でもあるのかなーと感じた日だった。



先週、タイ語でテストを受けて、非常に疲れたという日記を書いた。
その結果が出た。
なんと、上位での合格である。
もちろん、タイ語で、タイ人と共にハンディー無しの受験。
我ながら、アッパレと言いたい。

しかし、問題は、タイ人スタッフが、半分も落ちたということ。
その中には、大卒で、いわゆるスタッフや高いポジションに付く人間も含まれているのである。

学歴社会タイランド・・・学歴の差が、ポジションの差 = 給料の差と言っても過言ではない。しかし、
同じ条件で、一線に並べると、逆転する場合がある。
つまり、同じ時間、同じ講義を受け、同じ内容のテストをした。
低学歴のものが、合格し、大卒様が、落ちるという逆転現象が、起こってしまったのである。(全部ではないが)
これは、一大事である。
大卒のプライドも何もない。

ワーカーが受かって、スタッフが落ちたのである。
おまけに、外国人である僕が受かり、タイ人が落ちたのである。
1時間で、7ページに渡る話の中で、間違いを見つけ、記述回答をする。
どうみたって、外国人である僕にとっては、分が悪いテストである。

2日間の講習を受けて、最後のテストも受けた僕。
低い点数で落ちたタイ人に対しては、「国語力のない人間」か「集中力のない人間」のレッテルを貼りたいと思う。
他の日本人は、「どういう試験内容だったのか？」をしきりに聞いた。
僕は、ありのままを答えた。
首をかしげる日本人上司。

僕は、ある程度予想できる。
「学歴の差は、頭が優秀であるかの差ではなく、家が裕福かどうかの差でもある。」
つまり、「大卒であるということが、優秀であることでは、必ずしも関係は無い。」
まあ、日本も一緒であろう。

ひょっとしたら、今回の決定的間違いは、スタッフとワーカーを一緒に研修を受けさせ、同じ内容のテストしたことであるのかもしれない。
この研修、外部から、講師を呼んだので、「何人までいくら」と言うパッケージ研修だったのである。だから、無理やり、ワーカーも含め、数あわせで研修に参加させたという実態がある。
その結果が、会社に大きな波をもたらせている。

ちなみに、会社の中の最高点も、大卒ではなく、短大卒だった。
大学院在学中の人間もいるが、トップではなかったし、日本人のすぐ下のアシスタントマネージャーもギリギリ通過という結果だった。

僕の課で言っても、一番給料の低い子が、僕を除いてトップの点数だった。
ちなみに、僕が、トップの点数で、上司としての威厳を何とか保った。
逆に、一番高い給料の人間が最低点であるという、まさに、逆転現象を起こした結果となった。

もちろん、一回の試験だけでは、結論を出すことができないが、これから、新規採用をする際は、「学歴に関係なく、安く、優秀な人材を選ぶことは、十分に可能。」であることを実感したし、やはり、「タイ人・人事担当者の力が非常に大きい。」ことも実感した。
「高くて、良いのは、当たり前。」「安くて・良い」を選ばなきゃ。
簡単そうで、一番難しいのです。これが・・・



休日らしくのんびりした日

2005,8,28



土日、パタヤでののんびり休日を過ごした。

ホテルで寝ている時間が異常に多く、「疲れが溜まっていたことを実感。」

先月も今月もそうだが、長期休暇があると時間をめいっぱい使って旅行に行くので、普通の土日は貴重な休暇となる。

やはり、パタヤののんびり休日が一番くつろげる時間であると実感した。

コンドも3件ほど見て回った。

「安かろう・悪かろう」の言葉にピッタリと当てはまるようなコンドを3件回った。

カー・オン（名義変更手数料）を含めて、50万バーツ以下であれば、買いかもしれないが、やはり、良い物を見た後では、見劣りがする。

あと20万バーツ出して、もうワンランク上、もう40万バーツ出して、もうワンランク上・・・「上を見たらキリがない」と言われればそれまでだし、「身分相応の物」と考えれば、納得もできる。

しかし、家賃5000バーツ以下で、気軽に借りることが可能な物件をわざわざ冒険して買うこともなからうとも思う。

まあ、3件のうち、2件は、「安かろう・悪かろう」の最低限に位置する物件である。

つまり、「我慢して居られる最低限度の物件」「内装を変えれば、何とか住むことが可能な物件」とでも言えば良いだろうか？

いずれにしても、パタヤのコンド（高級物件を除く）のほとんどを見た気がしたが、「まだ知らないコンド」「見ていないコンド」が出てくると楽しいものである。

ベスト3まで出揃った。

一番欲しいのは、プール・フィットネス・図書館まですべて完備の自然いっぱいの場所。

しかし、予算オーバー。

ベスト2は、1に程近い場所にあるが、部屋も狭い。値段がちょっと落ちるだけだけど、住んでいる住民層がガラッと変わる為か、老朽化が激しく感じるのと、メンテナンスの悪さが目立つ。いくらも違わないなら、1の物件が欲しい。

ベスト3は、「眺めが良い」というだけが利点のコンド。

ビルだけという感じで、コンド周囲の配慮が何もない。

やはり、木の手入れがしてあったり、公園のようになっている場所が良いです。

ビルしかないというのは、ちょっと・・・しかし、19階建てというのが、非常に魅力的である。

やはり、パタヤの海が一望できるというのは、古くて狭くても、魅力的に思えて仕方ない。

但し、この物件は、内装にもよるが、2000バーツ台から賃貸が可能である。

わざわざ買う必要は、ないようにも思える。

週末は、コンド巡りが多いので、どうしても週明けは、コンドのネタである。

お許しいただきたい。

買うまでが、夢があって良いのですよ・・・へへ・・・



インフラの悪さ

2005,8,25



すごいインフラの悪さだと思う。

本日は、午前中に2時間の停電があった。

電気が復旧したと思ったら、今度はネットが使えない。

今や、日本だけでなく、タイでもネットが使えないというのは、致命的な打撃である。

メールだけならまだしも、会社の振込み等もネットで行っている。

ちなみに、会社のネットが月末に切断したら、従業員の給料も支払えないという状況に陥ってしまう。

この国、給料が1日でも遅延したら、暴動が起きても不思議ではないくらい労働者の金欲はすごい。そりゃ、金の為に、サバァイではない仕事をやっているわけですから・・・

停電の影響で、水も出ない。

我がアパートも同じであるが、ポンプで水をくみ上げているということであろう。

停電により、電気・水・ネット（ネットは偶然かもしれない）のすべてが止まるというのは、大きな打撃である。

僕の働いている東部地区は、水不足が深刻であるようだ。

雨季真っ盛りのこの時期に、水が足りないということは、「1滴も降らない」と言っても良い乾季は、どうなるのであろうか心配してしまう。

たった3ヶ月先のことではあるが、未来の事への感心は薄く、本日のガソリン代と本日の殺人事件が新聞紙上を賑わしているタイランドである。



疲れた

2005,8,24



頭が疲れたというのは、まさにこういうことを言うのだと思う。

今日は、7時間に渡って、タイ語のシャワーを受け、最後に8ページに及ぶタイ語によるテストを行った。

回答するというより、中味を理解するだけで精一杯であり、あっという間の1時間であった。

サバァイ生活をしている自分であるが、久しぶりに頭を使ったような気がする。

マジで、疲れた。



外国語で受ける講習

2005,8,22



ネットや新聞のお陰で、日本の選挙の情報は、かなり詳しく把握できている。

考えてみれば、タイにおいても、日本においても選挙権を行使していない。

僕の1票なんて・・・と思うが、やはり、選挙権を行使しないというのは、寂しい気もする。

タイに住む日本人の場合、タイ大使館を通じて、手続きをすれば、選挙権を行使することはできる。但し、その手続きが、面倒くさいようなので、そこまでして選挙権を行使しようとは考えていない。

本日、タイ語で研修を受けている。

タイ語で研修を受ける場合、

1) 集中力の問題・・・外国語なので、かなりの集中力が必要である。正直、サバァイな生活を送っているので、1時間が限界である。

2) 講師の問題・・・日本でもそうだが、はっきり話すタイプ。口ごもって話すタイプ等いるが、当然のごとく、はっきり話す人が分かりやすい。職業として講師や講習を行っている人は、さすがに分かりやすい。講習のプロですから・・・

3) 内容そのものの難易度の問題・・・これは、当たり前ですね。知らない話は、外国語だとさっぱり分からん。

等があげられる。やはり、集中力というのが、最も問題となるようであり、何年経っても、僕にとってのタイ語は、外国語であり、外国語で講習を受けるというのは、相当の集中力が必要となることが分かる。1日講習を受けたとしても、朝の2時間ぐらいの内容は入っているが、午後の内容なんて、何にも入っていないようである。

で、タイ特有の「宿題大好き国民である。」

宿題を与えられたが、外国人である僕は、相当のハンディーを背負っていると言えよう。



ゆとりのコーヒープレイク

2005,8,21



日本に本帰国する友人とパタヤで合流し、食事を共にした。
一山乗り越えた人間ほど強いものはないなーって思った。

帰国の選択は、相当に悩む問題であるような気がする。

「あっけらかん」としている友人を見て、帰国することが決まると、こんなにサバサバしているものかと妙に感心した。

気を使って、「タイ料理で、何が食べたい？」なんて聞いても、何年も住んでいたから、今更「これが食べたい。」等と言う食べ物もないようだったが、言われてみればもっともだ。

6月で仕事を辞め、「2ヶ月も遊んだから」という彼は、タイ生活を満喫したかのように見えた。今年に入って、友人3人目の帰国だ。

ビックCで、喫茶店に入った。

喫茶店に入るのは久しぶりのような気がする。

バンコクに住んでいた時は、BLACK CANIONで友人とおしゃべりすることも多かったが、なんせ、セブンイレブンもない田舎に、喫茶店などあるはずもなく・・・

パタヤの休日も、何かとせわしなく喫茶店でゆっくりお茶をするという時間はしばらく過ぎていなかった。

「そうそう、こういうゆとりの時間が必要なのですよ。」って思った。

タイの喫茶店は、数は少ないが、場所によっては、かなりのゆとり空間を作っている。

正直、日本の喫茶店は、ある程度の金額を出せば、ゆとり空間が用意されているが、激安コーヒESHOPPとなるとそうもいかない。

タイでは、コーヒは、まだまだ、「ハイソ」の飲み物なのかもしれないが、日本の狭い激安コーヒチェーン店と同じ料金で、豪華ソファのゆったりした空間が与えられるなら、安いと思うし、精神衛生的にも、こういう時間の過ごし方をすべきであるということを強く感じた。



温水機装着完了

2005,8,18



大家さんに鍵を預けて、仕事に行っている間に温水器を取り付けてもらった。

一目見て、「これは、高いな。」と思えるような温水器であった。

まあ、部屋代が安いから、良しとしましょう。

温水器ぐらい豪華なものでも・・・

ダムさん、一目見て「ハイソー」

こんなもんで、感動していただければ、ありがたいものです。

ちなみに、取り付けた翌朝、早速、集金にいらっしやっった。

大家さん、普段、「月末・月初め」ぐらいしか姿を見せない。

今朝は、部屋まで来て、「どうですか？」という問いかけと共に、請求書を出した。

田舎のアパートには、管理人室・事務所などは無く、月末・月初めの家賃徴収日には、入り口の机に、大家さんが座っており、通った際に支払いをする。

集金の時は、すばやい・・・非常に分かりやすい国である。

さて、タイの工事屋さんは、「取り付ける」ことが仕事である。
何が言いたいかといえば、トイレの中がめちゃくちゃ荒らされ、汚くなっていた。
そりゃ、取り付け工事をすれば、穴を開けたり色々とするわけで、汚れるのは分かる。
断水時用の大きなバケツをどかさなければ、工事ができないのは分かる。
しかし、片付け（元の通りに戻す）することまでは頭に無いらしい。
トイレの中に、タバコの吸殻がポコポコすててあったり、「何をやったのだ。」という感じの荒らされよう。
まあ、仕方ないですね。

確か、コンドの話で、「居住している住民の階層が気になる」と書いたような気がする。
（貧乏人が多数を住めている場合、安くても買うべきではないという意味）
まさに、このことであろう。

タイの貧富の差・階級社会に関しては、疑問もある。
しかし、現実には、学歴・考え方・生活習慣にものすごい差があるので、できれば、関わりあいたくないというのが、本音である。
コンドという集合住宅であればなおさらのことである。
そんな思いを強めた工事屋さんの仕事後の部屋の状況だった。

最近、とあるタイ語勉強会に参加している。
正直、参加者は、非常に高いレベルのタイ語力を持ち合わせている。
在住10年選手はざらで、「まだ勉強を続けているのか」と感心させられる。
年齢も、ほとんどは僕より年上の方で、「学習意欲」そのものにも感心させられる。
「外国語学習にゴールはない」をしみじみ実感している。
この勉強会に参加して強く感じるものが二つある。

- 1) 雑学の大切さ
 - 2) 母国語の大切さ
- である。

「知らないよりも知っている方が良い」のは、当たり前なこと、で、「知識の量が多いほうが少ないよりも良い」に決まっている。
タイ語の文献を読んでいるが、「物知りじゃないと翻訳できない」
翻訳・通訳も専門分野に分かれるが、一般の生活では、知らなくても良いようなことが文献に含まれる場合、内容自体が分からなければ、言葉を置き換えるというレベルまで達しない。

「母国語の大切さ」に関しては、母国語の大切さと共に、外国語を習得する方法を熟知しているかどうか
が問題となる。
ちなみに、英語が上手な人ほど、タイ語の上達も早い気がする。
「英語が上手であれば、タイ語は、日常会話だけで十分だろうに・・・」と思う人ほど、上手だったりする。

大人の頭で語学学習をするには、母国語の文法知識・・・使役・受動詞、他動詞などの知識があったほうが、良いようだ。
上記、勉強会参加者で高度な翻訳技術を持っている人は、まさに、そういった方法で語学学習を行っているようである。

子供と違って、硬くなった脳みそには、理屈で覚えていくしかないようである。



コンドの件であるが、裁判所差し押さえ物件のHPを友人より送っていただき、見た。
あまりの安さに驚きである。

但し、付いている値段は、最低落札価格であることから、実際の購入価格（最終落札価格）は、どのくらいなのか予想できない。

最低落札価格から、どのくらい上乘せした金額が最終価格になるのか検討もつかないが、適当に値段を入れて、本当に当たっても困ってしまう（笑）

親切なのは、地図や写真までのっているもので、実際に見に行くことができる。

コンドの場合、共有部分の管理とそのコンドに住んでいる住民のレベルが非常に重要になってくると思う。

表現が乱暴かもしれないが、貧乏人であればあるほど、「汚く使う」「清潔観念が日本人とは違う」「大勢で住む」という傾向があるのは、事実であると思う。

だから、「安い」という理由だけでは購入はできない。

ちなみに、友人から紹介してもらった上記HPでは、値段・地域（県）で検索が可能となっている。すごく便利であると思う。

但し、友人からも忠告を受けているのは、この手の物件の場合、問題がある場合が多い。

普通に考えても、抵当に入っている物件。ローンが支払えず、銀行が裁判所に訴えて競売物件となっている物件。

所有権がなくなっても住み続けているケースもかなりあるらしい。

その辺のリスクも負わなければならない。

僕の基本スタンスは、あせっていない。本当に欲しいと思い、納得できる物件であれば買うというスタンスである。

しかし、ダムさんは、「欲しいなら買えばいいじゃん。」の発想。

総合的に考えずに、「欲しいから買う」という考え方。

友人からは、「建物の造りが違うので、一生の財産と考えない方が良い」と忠告を受けているが、やはり大きな買物であることには変わりなく、慎重にならざるを得ない。

ダムさんは、そんな僕がもどかしいようであるが、「中古物件の値段の高さ」「建物の耐久年数」「値段の安い競売物件での問題点」など考えれば考えるほど、決断し難い。

自分の性格から考えると、「大きな買物は、迷わずにやれる人である。」

ピンと直感が働けば、驚くほど簡単に決断するタイプである。

今回、その決断が鈍っているということは、ピンとくる物件に当たっていないということであろう。



タイ人にとって、財産とは？

2005,8,16



4日間の疲れが抜けない。

まるで、前の職場に居るかのような過ごし方。

実労1時間。ネット・メール・日記の更新等の個人の用事が6時間。

そして、「こんな時間の無駄使いはない。」と思い立ち、タイ語の勉強を1時間。

そんな日々を2日連続で送っている。

「長期休みの後は、仕事のやる気が起きない。」というのは、タイに来てから、顕著である。

日本に居た頃は、「いっぱい遊んだ。充実した。今日から気持ちを入れ替えて、仕事だー。」って気分の切り替えができていたのですが・・・最近、さっぱり駄目です。

ダラダラとした毎日を過ごすというのが、一番嫌いなのですが、つい誘惑にはまってしまう。

暇すぎる仕事にうんざりして、転職を決めたのは良いが、今の職場も、（今だけであるが）暇である。まあ、忙しくて休みも無いとぼやくよりも良いかーって思うわけです。

暇だったので、試しに株でもやってみようかと思い、タイの証券会社のHPなんぞを覗いてみた。http://www.seamico.com/eng/home.asp

で、タイ人スタッフに、「株をやったことがあるか？」と聞いたら、聞いた人間全員が「やったことない（買ったことが無い）」と答えた。

面白いのは、「もし、金があったら買う？」って聞いた後の答えである。

堅実派の女性職員は、もしお金があったら、「財産となるもの(車か家)を買うか、貯金すると答えた。」共通しているのは、「株は、買い方が分からないから買わない」という答え方をするのだ。

車が、財産に入るのが、タイ的だとは思う。

日本人も、車は、高い買物だが、せいぜい、5年償却ぐらいで考えている「道具の一つ」として考えているのではないだろうか？

「車は、財産ですか？」と聞かれれば、新車を購入して間もない人は、「そうです。財産です。」と答えだろうが、一部の高級車を除いては、実際は、「通勤・買物の足」と考えている人が多いのではないだろうか？

話は、戻るが、「買い方が分からないから買わない。」という理由は、いかにもタイらしい。

だって、外国人である僕でさえも、本当に買いたいと思えば、ネットで調べたりして、勉強して買う。タイ人は、諦めが早いというか、「分からないから、買わない。」というのである。なんか、タイ人気質を象徴するかのようであると感じてしまった。

宝くじが、これだけ広く広まっているのは、買い方が非常に簡単(自分から買いに行かなくても、売り歩いている人が居る)ことと、当たっているかどうか、数字を新聞又は号外で見比べるだけなので、非常に簡単であるということが、全国各地隅々まで広がっている理由かもしれないとふと思った。

売り買いの合意とは

2005,8,15



連休後、仕事をする頭に戻っていない状況だが、コンドの話がまとまらずに難航している。料金を下げないという理由である。

「売った・買った」の問題は、タイの場合、相場や市場平均価格というのは、まったく無いに等しく、「売りたい値段」「買いたい値段」で合意がなされればOKなのだ。

外国人であるので、外貨送金証明書が必要かどうかの確認の為に、通帳の残金・給料証明等を先に提出したのが駄目だったらしい。

「金額の合意が出てから、先に進めるべきであった」と後悔しているが、金額の合意に至らなければ仕方が無い。

正直、景観があまり良い場所では無かった(プール側ではない)ので、是が非でも購入したい部屋ではなかった。

この値段なら、買うという値段が、自分の頭の中にあるので、「この値段以上なら買わない」と強く決めていた。だから、値段を下げないようであることが判明してから、「相手のペースにのって、言い値では買わない。」と考えていたので、平気である。

実際は、物件の場所(このコンドの中の部屋が欲しい)ということが決まっているので、裁判所の差し押さえ物件から探すのが、最も、格安物件を探せるということらしい。

これから、この方法で、やってみるべし。

どなたか裁判所の差し押さえ物件を公開しているHPを知っている人は教えてください。

銀行でも良いのかな？

今日は、眠くて、仕事をやる気が全くなく、朝から旅行の日記の更新ばかりしている。

平和な生活であると思う。

タオ島旅行 その4

2005,8,14



朝10時発の船に乗り、チュンポーンにて午後1時にバスに接続、その後、バンコクに20時半に到着というスケジュール。自宅に到着したのは、深夜12時であった。

さすがに「疲れた」というのが実感である。

「時間を最大限に利用した。」と言いたところだが、実に、「非常に疲れた旅。」であった。やはり、「パタヤで、のーんびり」とするというのが、休日として最適で、「休息」という言葉がピッタリと当てはまるのかもしれない。

しかし、パタヤで長期というのも、毎週末を過ごしている僕にとっては、「つまらない」とも感じる。本当に、「もう、若くない。」を実感する旅であった。

パタヤは、ジジイファランが山のように歩いている。しかし、タオ島に来るファランは、年齢層が非常に若い。まさに、「年代による行き先の違い。」を感じる。

確かに、鉄道～船に乗り継いで移動するというのは、移動するだけで、疲れるものである。我々は国内旅行者で、荷物も小さいが、海外旅行組は、大きなリュックを背負って、見ているだけでも疲れそうである。

普段、ファラン嫌いを公言している僕だが、若いファランはカッコイイと思ったし、若者が、リュック背負って旅をしている姿を見ると、「応援したい。」衝動になる。

本当に、疲れた旅であった。

僕もダイブ本数が一気に6本も増えたこと・念願のアドバンスが取れたことが嬉しかった。

ダムさんも、ダイビングの本数が6本増えたことを非常に喜んでいる。

ちなみに、ダイビングは「キラー・ハイソー（高級スポーツ）」らしい。

今回の旅であるが、宿泊費・交通費・ダイビング費用を入れて、2万バーツぐらいだった。

日本人から考えると二人分、3泊4日の旅。二人12本のダイビングの旅行費用が、5万5千円は安いと思うが、タイでは、高級スポーツの部類に入るようだ。

確かに、経済成長著しいといえども、旅行に出かけるということ事態が、ある程度の経済的ゆとりがないとできないことなのだろう。

タオ島旅行 その3

2005,8,13 

タオ島は、2回目である。

当たり前のことであるが、1回目の方が、感動が大きい。

逆に、2度目の場合、精神的に余裕があるので、前回、気が付かなかったことに気づけたりする。

ダイビングに関しても、同じである。

最近では、やっとダイビングに余裕が出てきた感じがする。

インストラクターの後を追うのが精一杯という状況から、魚を見て楽しむという状況になりつつある。

天候が今ひとつ良くなかった理由もあり、最高のダイビング日和ではなかった。

雨が降ったときの、海の恐怖も目の当たりにできた。

確かに、潜ってしまえば、天候は、それほど関係ない。

しかし、浮上してから、船に上がるのが大変だった。

大波の中、階段のはしごを手でつかむのも大変だ。

頭でもぶつけて、死んでしまうのではないかと思ったくらいである。

まあ良い経験になったということであろう。

タオ島の海は、パタヤ近郊に比べれば、比較にならないほどの綺麗な海であるが、やはり、1回目と比べると「感動」というレベルにまでは達しなかった。

時期的にも、悪かったのかもしれない。

砂地に潜ると、ゴミが目についたし、バイクで島を散歩している時に、ゴミ処理場を見つけたりしたが、観光客が多くなると、明らかに自然が破壊されていくのが、目に見えて分かる。ちなみに、ゴミ処理場と言っても、すべてのゴミ（可燃物・不燃物を問わず）を集めて、山焼きのように燃やしているだけで、当然、ビンや缶の類は、その場で燃えずに残っている。観光が進む島の一面である。

「秘島」に行きたいと思うが、そのような場所は、非常に不便な場所で、3～4日の連休で行ける場所でもないであろう。

「秘島」とは、島の中に飛行場がないのが、最低限の条件で、定期船が1日に2本以下ぐらいの島のことを言うのであろうか？もしくは、タイ人10人に聞いて。「そんな島、知らない」と90%以上の方が答えるぐらいの島なのだろうか？

そんな島なら、海の中も綺麗なのかもしれない。

逆に、飛行場があり、リゾート地として発展している場所は、何をするにも便利な場所であるといえるのかもしれない。

前は、気にならなかったが、今回は、タオ島の物価の高さが目についた。

前は、気にならなかったのだが……

今回は、食事に関しては、庶民派の食生活を心がけたので、特にそう感じたのかもしれない。ぶっ掛けご飯が、二人で150Bというのは、異常だと思うし、通常の食堂（アハーン・ターム・サン）でも、おかず2品とご飯だけで、二人で160Bぐらいであった。

これなら、もう少し支払って、いわゆるレストランで食事をしたほうがよっぽどまじだと思い、レストランで食事したら、運が悪かったのか、めちゃくちゃ美味しくなかった。

仕方なく、コンビニで冷凍弁当を食べてみたが、これまた非常に不味くて驚き。

タイに居ると、冷凍食品を食べる機会が非常に少ないが、こんなに不味いのかって思った。

石油価格の高騰・観光客の減少が響いているようである。

津波にとは、関係ない反対側の海だが、感情的に、島＝津波の印象があるということ。

また、経済自体が減速傾向にあるので、タイ人観光客が非常に少ないと食堂のおばちゃんが話していた。

そんな関係もあったのかもしれない。

ちなみに、目についたというのは、どのぐらいの違いがあったかと言えば、コンビニで、すべての商品がプラス40% 食堂等では、50%から100%ぐらい本島とは違う島の物価であった。



タオ島旅行 その2

2005,8,12



タオ島ダイビングの良い所は、時間を有効に使えるということである。

午前、午後、ナイトと選択可能なのである。

パタヤ、チャン島のダイビングは、1日ツアーがほとんどである。

朝、出発し、午前1本潜り、船上で食事。

午後に1本潜り、夕方戻ってくるというツアーがほとんどである。

タオ島の場合、朝の出発は早い。

集合時間は7時20分である。しかし、午前のツアーを選べば、午前中2本潜って、午後1時前には戻ってくる。

人によっては、食事時間もろくに取らずに、そのまま午後のダイブコースに参加する人もいるが、さすがに僕は、午前2本で十分と言った感じ。

サバーイな生活を送っている人間にとって、ダイビング機材は、非常に重い。

船の中で、着替えたり機材を付けたりするのは、バランスを取るというだけでも結構疲れる。

とてもじゃないが、午前中にダイビングしたら、午後は、昼寝でもしないと身体がもたない。

今回は、ダムさんがファンダイブを6本。

僕が、去年のアドベンチャーからアドバンスへのグレードアップ講習2講習を受け、それ以外にファンダイブを4本楽しんだ。

丁度、1日2本×3日の計算である。

ダムさんがオープンウォーターの免許を取得したことで、一緒に潜れるので、楽しく過ごせる。但し、日系のショップなので、日本人顧客率が100%

ファランや韓国人客もいるが、インストラクターもそれぞれの国の人が担当するので、日本人インストラクターは日本人のみ担当と言った感じ。

やはり、ダムさんは、目立ってしまう。

まあ、潜ってしまえば、お互いの母国語も関係ないが、日本人100%の中に居ると、違和感を感じてしまうかも？

次回からは、タイ系のツアーに参加しようかなーなんて、思ってしまう。



タオ島旅行

2005,8,11



仕事終了後、バンコクへ向う。

22時50分発の電車に乗る為である。

前回のチェンライ旅行もそうだが、仕事終了後に、まずは、バンコクに向わなければいけないというのが、地方在住者の辛い所である。

パタヤにも空港がある。(ウタパオ空港)しかし、地方空港であれば、便数が極端に少ないのは、当たり前のもので、そもそもウタパオ空港の存在を知っている人の方が少ないくらいの空港である。

結局は、バンコクにいったん行くパターンとなることが多い。

ちなみに、夜のフアンポン駅は、何だか不気味な雰囲気であった。

駅構内で寝ている人が多く、直感から「治安が悪そう」って思う感じである。

本当は、寝台列車で行きたかったのだが、この列車には寝台がなく、2等車のみであった。

真冬のような寒さで、1枚渡されたバスタオルに包まるも、寒くて寝付けない。

そういえば、長距離移動の際は、防寒具は必需品であることを忘れていた。

南の海に行く気分で、半袖しか持っていなく、大失敗。

タイ政府が、石油高騰を受け、エネルギー節約を掲げている中、タイ国鉄は、全く関心が無いらしい。昔なら、こんな状況に遭遇すると、イライラしちゃっていたが、今では、「仕方が無い」「長袖を持ってこなかった自分が悪い」と思えてくるのが不思議である。

しかし、冷蔵庫のように冷やすのが、サービスであるというのは、早く改めるべきだと思う気持ちは変わらない。

事実、乗客のほとんどが、寒いようで、皆、バスタオルに包まっていた。

「電車は、遅れる。」と信じていたが、予定時刻より15分遅れただけで、無事に到着。

15分遅れたことによって、7時発の船の乗り継ぎに丁度良い時間だったのが、いかにもタイっぽいなーと思いつつ、乗り継ぎのタイミングがあまりにグッドだったことで気分も上機嫌であった。

予定通り、翌朝10時過ぎには、タオ島に到着。

前回と、同じダイブショップで、ホテルも同じなので、慣れたものである。

午後から、ダイビングを満喫。



仕事終了後・・・

2005,8,10



本日仕事終了後、そのままバンコク バンコク中央駅 チュンポーン タオ島と移動する。
 正直、楽しみな4連休であり、のんびりと過ごしたいと思っている。
 ダムさんは、ダイビングのカードがグレーからゴールドになることだけを楽しみにしているようで、僕は、ダムさんが日系ショップで、日本人インストラクターと講習ができるかどうかを心配している。
 今回利用するショップは、去年のソクラーンのタオ島旅行の際も利用したショップであり、丁寧なサービスとフレンドリーさが気に入っている。
 それにしても、本日は、仕事終了後すぐに移動を開始し、帰宅は、日曜日の20時にバンコク着。その後、車で自宅に到着するのは、22時半から23時と予測され、大変なハードスケジュールのような気がする。



お互いが・・・

2005,8,9



タイ関係の掲示板を覗くと、現地採用に対して、非難的な記事をしばしば見かける。
 逆に駐在員を非難した意見も見られ、何故にそんなにお互いがいがみ合うのか不思議に思う。
 正直、価値観も大きく違うので、比べても仕方が無いと思うのですが・・・
 しかも、「日本を脱出して海外で生活しよう。」と言う人間、よく言えば、「芯がしっかりしている。」
 「悪く言えば、変わり者。」である。
 「現地採用を使えない」とか「日本語のできるタイ人を採用した方が人件費が安い」という意見も良く見かける。
 しかし、それは、会社方針であり、安ければ何でも良ければ、最低賃金の人たちだけで会社経営でもやってみれば良いと思う。
 一番、人件費が安上がりな会社である。

現地採用を雇用する理由の話題になると必ず出てくるのが、言葉や現地事情を分かっている事である。
 「タイ語が話せるから」という理由。
 自分も、就職するまでは、言葉ができるようになること=コミュニケーションを取れるということが、就職への最低条件であり、上手であればあるほど、有利であると単純に思っていた。

最近、思うのは言葉を勉強することは、文化を勉強することである。
 言葉ができるから採用されるわけではなく、言葉を通して、タイを少しは理解しているからであろう。
 日本語にはあいまいな言葉が多い。
 言葉は、直訳すれば良いと言う訳ではない。
 「少し」というのは、どの程度か？
 タイ人の「できる」と日本人の「できる」は、明らかに違う。
 そんな相違点を言葉を勉強しながら自然に覚えているのである。

外国語を話すということは、単に言葉ができるだけではないということを知りたいと思う。

現地採用が駐在員を悪く言う場合、「待遇の差」からくる「妬み」であると取られやすい。
 確かに、円とバーツは違うし、待遇面では、随分と違う。
 給料は、沢山あればあるほど良いと思う。まあ、最低生活できれば良いかって思う人もいるだろうし、人それぞれであろう。

反対に、駐在員が現地採用を悪く言う場合、「金で買えない自由な生活をしている羨ましさ」もあると思う。
 僕の会社の人だけかもしれないが、一人で行ける場所は、1箇所だけだという。
 その他の所は、「バイクタクシーに言ったら、違う場所に連れていかれた。」と言う理由で、徒歩圏内を除いて、「一人で行ける場所は、町一番の大きなショッピングセンターだけだ。」という。
 食べ物に関しても、「注文できる数が限られているから、いつも同じものしか食べられない。」とぼやい

ている。

朝と昼は、社員食堂で、夜は、休みの日に買ってきたパンで済みますか、同じものを注文するというのである。

現地採用組（好きで来た人）は、「タイに興味があるから」かもしれないが、半年もすれば、かなり自由な生活しているはずである。自由にとというのは、行きたい場所に行け、食べたいものを食べ・・・という意味である。

「やろうとしない・興味がない・やる必要がない」色々な原因が考えられるが、現地採用で自由な（普通の）生活をしている人にある意味、嫉妬を感じるのも無理はないだろう。

タイ国日本人社会は、非常に狭いもんである。

しかし、現地採用・駐在員がいがみ合っているという現実を見ると、タイ国日本人社会もストレス社会であるとふと思う。

—



噂話の広がり方

2005,8,7



アパート前のレストランのおじさんとダムさんが何やらコソコソ話をしていた。

部屋に戻った後、ダムさんが、とんでもない情報をもってきた。

アパート内で、自殺者が出たらしい。

2階に住む女性が、毒薬自殺を凶ったそうである。

そういえば、何日か前に、大喧嘩している声の下から聞こえた。

その女性らしい。原因は、男の浮気。

そんな詳細な情報まで行き渡っていた。

で面白いのは、「絶対に、他の人には、話すな」って言われたらしい。「住人に広まったら、皆、出て行くから」が理由で、「レストランのおじさん（ヌンさん）は、僕だけに教えてくれた」ってダムさん自慢げに話す。

大体において、日本でもそうだが、「ここだけの話」「内緒の話」は、皆知っているのだ。

ダムさんに言うくらいだから、来たお客全員に「ここだけの話だけど・・・」「内緒の話だけど・・・」と言いふらしているのは、想像できる。

案の上、翌日、洗濯屋に行ったら、「何号室の人か分かった？」って聞かれたらしい。

1日で、隣の洗濯屋のおばちゃんの耳にまで入ったようである。

噂と言うのは、こうやって伝わるのかーを実感。

ダムさんが聞いてきた「絶対に誰にも話すな。」と言っても、皆にそうやって言っているのだから・・・

日本でも、自殺者は、かなりの数であると思う。

一方、タイでも、しばしば耳にする。

タイの自殺者は、男女間の恋愛のもつれとかが多いようである。

僕は、靈感もないし、この手の話を聞いても、「あっ、そんなことがあったの。」ぐらいで済ませるタイプであるが、タイ人はお化け・霊の存在を信じている。

面白いことに、「クルア（怖い）」と言いながら、すごく興味があるのである。

その証拠に、お化け関係の映画はやたらと多い。

プーケットの津波災害の後、「私は、ファランの霊を見た」という記事が、新聞の一面をしばらく飾っていた時期もあった。

このニュースを聞いてから、寝る前の枕元でするお祈り？の時間が、長くなったダムさん。

やっぱり、お化け（霊）が怖いらしい。



ひとり・・・

2005,8,6



友人の一人が、今月末に帰国する旨の連絡を受けた。
今年になって、友人・知人の帰国は、3人目となる。

よく聞かれる質問のベスト3に入ると思うが、「みんな、どれくらい(期間)いるの?」って質問。今までの僕の回答は、「タイは、こっち(ゲイ)にとって住み易い町だから、大体は、帰国しないでずっといる人が多いと思う。」って答えてきた。

在住暦が長い人から、「大体は、2~3年で帰る人が多い。」って聞いたことがあった。
2~3年と言うのは、1年間前後は、物価が日本に比べて安いので、働かずとも食えるくらいの預貯金がある。それで、働き出すと、「少ない賃金」「時間の無さ」「日本よりきつい仕事」を理由に帰国する人が多いという。
もちろん、それ以外にも、帰国の理由はそれぞれあり、「恋愛」「学業を修了した等の目的を達成した」「遊び飽きた。」「予定の期間が終了した」と言う人もいると思う。
タイに来た理由もそうであるように、帰国する理由も人それぞれだろう。

いつも、友人が帰国する度に書いているが、「来る決定」と同時に「帰る決定」も本人の決断のみである。丁度、話題の衆議院解散について、内閣総理大臣だけが、衆議院の解散権を持っているように、本人のみが、「帰国する」という決定権を持っている。

タイに来るときもそうであったように、帰国するという決断も、非常に大きな決断であると思う。何故なら、国を跨いで生活の基盤を変えるということは、大変な大きな変化であるからである。

それぞれに、仕事を持っているので、「頻繁に会う」ということは、不可能であるとしても、友人の帰国は、寂しいものである。



忘れてしまう母国語

2005,8,5



最近、感じていたことであるが、人間関係が狭まっていると思う。
バンコクを抜け出し、それなりにサバライな生活をしているとは思いますが、それとは別の角度で見ると、人間関係が極端に狭くなった気がする。
日本人友人と会う機会が極端に減ったということ。
タイ人も仕事の関係者以外と会う機会は激減した。
スニーやいわゆる水商売系の人と話す機会は、極端に増えたとは思いますが、それは、中味が何も無いものである。
最近、タイの掲示板に友人募集という記事をタイ語で出したりしているが、まだ会うという段階には至っていない。
「友人だ」って自分から言っているのに、「可愛いかどうか分からないのに、貴重な時間を割くなんて・・・」ってどっかで思っているようである。
つくづく言っていることと、思っている事が違うのではないか・・・と思う。

日本人社会に関しては、タイ語を通しての友人・仲間を増やそうと思っている。
近くで働く日本人が集まっている勉強会にも参加するようになった。
さすがに、バンコクを離れて生活している日本人は、みんなタイ語が上手い。

「上手い人ほど、さらに勉強している。」と言っても良いとおもう。
よく、「ケチだから、金持ちなんだ。」というが、まさにその理屈で、「勉強熱心だから、上手い。」のである。

バンコク以上に、地方生活は、生活していく上でも、語学力が問われるのかもしれない。

実際は、日本人100%のサービスアパートもあるし、病院・不動産屋、日本食屋等、ありとあらゆる場所で、日本人スタッフが存在するのだが、バンコクに比べると少ないし、日本村内で生活しようとする、極端に行動範囲が狭くなってしまふ。

言葉は、生まれ変わって、ネイティブスピーカーにならないと、所詮は、外国語であるから勉強の終着駅はないと考えるべきである。

それと同時に、最近、母国語の大切さを痛感している。

翻訳をするということを前提とした場合、タイ語文を読んで書いてある内容は理解できる。但し、それを日本語に書き直せと言われた場合、綺麗な日本語が出てこない。

よく、海外生活が長い日本人が、「日本語を忘れた。」なんて、自慢げに言っている話も聞くが、まさにその通りで、「非日常的な単語」は、忘れてしまうのである。

忘れると言うか、出てこない。聞けば、「あー、それぞれ。」って言葉の記憶が呼び戻ってくるのである。

タイ語の勉強も大切であるが、海外で生活していると、実は、母国語（日本語）の単語を積極的に摂取する努力をするのも、同じくらい大切かもしれない。



朝から・・・

2005,8,4



今朝、停電になった。

雨が降っているわけでもなく、「何で？」って感じ。

停電と水が止まるのはセットだというのは、分かっているが、特に朝は、停電より断水の方が痛い。

トイレ終了後、「どうしようかなー、流しても良いけど、水が足りるんだろうか？」なんて考えなくてはならない。

一応、頭を洗いつつ、トイレも流れるように・・・って、便器の真上で洗髪後の水を流すが、飛び散ってしまう為、一気に流れる程ではない。

朝から、苦勞するなーって思ってしまう。

コンタクトも流水で洗浄したいが、仕方なくバケツの溜め水を使う。

断水も慣れたもので、慌てることなく行動する自分をちょっと褒めたい気分である。

今週は、先週と今週、何故か2週続けて土曜出勤である。

土日休みの会社が良いなーってつくづく思ってしまうが、来週の4連休を考えると、贅沢はいってられない。

来週は、タオ島行きが決まっており、仕事終了後にすぐにバンコクのファランポーン駅まで向う予定。

南の島でダイビングを楽しんで来る予定である。



7割の決心

2005,8,3



7月16日の日記の続きのような話となるが、コンド購入を7割決心した。先週の日曜日も、目星を付けているコンドに行った。やはり、雰囲気良く、高層ビルではないことが、落ち着き感を感じる。ムーバーンの中にあるので、ファランにもほとんど知られていない物件のようだ。プールも大きくて、利用している人は少ないが、ちゃんと警備員が配置されており、安心感もある。タイ人のある程度ゆとりのある層が主な住人のようである。

後は、値段の問題である。

家具も付けた、ベットも買ったから、本当は、100円のもの、150円で売ります。

これは、典型的なタイスタイルなのかもしれない。

「付加価値を付ける」と言えば、聞こえは良いが、「余分なものを付けて、高く売るといふ半分は押し売り」とも言える。

僕は、あくまで、「家具等は、何も要らない。だから、安くしろとは言わないが、加算しないで欲しい。」という主張。

賃貸に出していた物件で、ほとんど何もない(というか、安物家具しかない)という部屋があるのが分かった。まだ中を見ていないので、何とも言えないが、値段は、予想賃貸収入 X 100でピッタリだ。

本音を言えば、中古の減価償却分を引いて x 80ぐらいで計算したいものだが、そういう計算をすると、物件は見つからない。

前日も書いたが、タイは中古物件がかなり高い。

7割の決心と言うのは、資金面の調達がクリアーになっていないこと。

ローンを組むには、色々書類が必要のようなので、キャッシュで購入したい。

そして、実際に部屋を見ていないということが理由である。

もう一つ、心の中で思っているのは、この石油価格の高騰で、もう少ししたら、経済に何らかの影響が出てくるのではないかという思い。

1998年のバース暴落の際に、不動産価値が7割近く下がった物件を知っているので、不幸を待っているようだが、経済が悪くなれば、財産を叩き売りする人が絶対に出てくるはずだと思っている。

事実、危機の時は、バンコクの渋滞が驚くほど緩和されたという話も聞いた。

まあ、丁度、新車1台分の値段なので、日本で購入した時よりも、気軽な買物である。

それにしても、車1台分のお金で、プール・フィットネス・図書館・警備員等・・・揃った部屋を購入できると言うのは、安いと考えて良いのではないだろうか？

ふと、貯金通帳を見てみた。

今更に思うが、スニーのタンブン代がいかに高かったか・・・

毎晩のスニー通いが無ければ、今すぐにでも買えたのに-----とってしまう。



最低賃金上昇 その2

2005,8,2



昨日の最低賃金の話をちょっとしてみたい。

各県によって、バラツキはあるものの、国としての最低賃金は、139バーツである。

国の最低賃金の139バーツに該当する県は、今話題の南部3件のナラテワート県である。

やはり、独立主義思想の根底には、貧困問題があるのかもしれない。

ちなみに、この最低賃金を見れば、各県の物価指数の予想がある程度つく。

最低賃金の高い県は、それだけ物価も高いと考えても良いのかもしれない。

バンコクとその周辺の県が一番高く181バーツであるが、2番目がプーケット、3番目がパタヤのあるチョンブリー県となっており、外国人物価の場所は人件費も高いようである。

意外なのは、北部の最低賃金が安いことである。

下位から2番目は、ナン県、パヤオ県、ペー県の北部3県と、イサーンの県が1県入っている。イサーンが貧しいというイメージを持ってしまいがちだが、南部と北部の国境に近い箇所の方が、物価が安いようである。

この最低賃金上昇の直接の影響を受けるのは、工場の作業員、土木作業員、と言った人たちであり、一般

の会社員は、関係なし、農家や自営業者も関係ない。

どうも、この手の話がでると、ゴーゴーでのチップの話をしたくなる。

もちろん、人の金だから、どう使おうが、誰にあげようが自由である。

しかし、この最低賃金（しつこいですが、1日ですよ）を頭の片隅に覚えておいていただきたいと思う。

1000パーツ、2000パーツという金額は、結構、大きなお金であることを・・・

もちろん、中流サラリーマンで、3万パーツ程度の収入があれば、さほど大きな金額でもないのかもしれないが、身体を資本に仕事をしている人たちは、まともに働けば、上記金額に該当する方たちである。あくまで、参考までということ・・・



最低賃金上昇

2005,8,1



月末、月初めは、何かと忙しい。

こんな時に限って、週に6日勤務（日曜日だけ休み）が2週続く。

たまには、ゆっくりと休みたいと思うのだが、日曜だけだと何故かゆっくり休んだ気がしない。連休は、旅行に出かける為、のんびりしたのか、余計に慌しいのか分からない状態である。土日休みで、高級ホテルでのんびりが、一番良い休日だと思っている。

最近、わざと、定時で帰る。

タイ人が帰宅するのを待っているかのように、タイ人帰宅後、群がる日本人。

一緒になって、群がって、しゃべっている場合ではない。

さっさと帰った方が、なんとサバライなことか・・・

8月1日より、最低賃金が値上がりした。

バンコクの最低賃金は、181パーツになった。（500円弱でしょうか）

自分の働いている県も6パーツの値上げで、153パーツとなった。

日本に比べれば、1日の最低賃金が500円というのは、異常に低く感じる。

しかし、確実に物価も人件費も上昇しているのは事実である。

豊かになっている・成長しているという思いは、肌で実感するが、それ以上に、「持つ者」と「持たない者」の差がますます広がっている気がする。

物価上昇・物の氾濫・物欲と、人々の財布が比例して伸びているとは思えない。

ちなみに、日本人を狙った強盗が急増しているらしい。

トランプ詐欺とか騙す手口ではなく、まさに強盗であり、突然殴って、意識がない間に、金品を奪って逃走する事件が頻発しているようだ。

最低賃金上昇で分かるように、原油価格の高騰から、明らかに物価も上昇・支出も増えているタイランドである。

しかし、それに乗り遅れている人間も大勢いるということなのだろう。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)



tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

9月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

急に休日となる。

2005,9,30

今月は、思わぬ休日が多い月となるようだ。
 仕事が暇なので、すべての土曜日が休みとなるのだ。
 会社のカレンダーに従うと出勤日であるはずの10月1日の土曜日が、休みとなった。
 従業員の送迎バス代、電気代、水道代を考えたら、仕事が全く無いので、休日にした方が良いということである。
 暇な会社と言っても、普通、月末と月初めぐらいは、忙しくても良さそうであるが、月初めから仕事がなく、臨時休業となるのは、個人的には嬉しい反面、困った会社だと思ってしまう。
 非常に嬉しいはずであるが、休みの数が増える = 出費が増えるという図式なので、少し困っていると言うのが、現実である。
 パーツを使いたくないというくだらない理由で、カードで高いホテルに泊まっちゃおうかなーって思ったりもするが・・・
 そう考えると、やはり、パタヤにコンドを買って、そこでリラックスした休日を過ごすと言うのが、最高であると思ってしまう。
 今月は、パタヤオフシーズンの最終月なので、思いっきりホテルライフを楽しみたいものである。
 WELCOME JOMTIEN BEACH HOTELを予約してしまった。
 たまには・・・が、毎週の贅沢に変わろうとしているのが、怖い。

無責任

2005,9,27

タイというのは、不思議な国である。
無責任と言うか、こんなことをやるのかーって感じである。
月曜日から、会計監査があった。
我が社は、始まったばかりの小さな会社の為、会計課職員は一人である。
その職員は、会社を欠席した。
病気休暇の休みである。

タイは、年間、30日間の病気休暇が認められている。
しかし、会計監査当日に・・・というのは、いかにも・・・である。
会計課職員にとって、1年で一番大事な日である。
ちなみに、これで2度目である。
1度目は、親が手術をするという、会計監査の当日に電話があり、監査を行うコンサルティング会社を急遽、断った経緯がある。そして、今回も、当日に病欠である。
しかも、会社が電話しても通じず、大変な騒ぎになった。
翌日(火曜日)も引き続き休んだ為、火曜日の朝、会計監査を断った。
バンコクから4名もの人員が会計監査に来ており、4日間、ホテルまで準備してあり、会社としては大損失である。

故意に回避しているとしか僕は思えないが、責任者・直属の上司はどう感じてのかは分からない。
やはり、この国で、一人に任せるとするのは、危険であることをつくづく感じているのは、僕だけだろうか？それとも、責任者は、何を感じているのだろうか？

ちなみに、月末も近く、従業員の給料も本日に振り込まなければならない。
3日前にデータを送信しなければならず、今月は、従業員に支払う賃金も遅れる事となる。1日や2日遅れたとしても、問題ない職員もいる。
しかし、1日遅れて、その1日、食えない職員も出てくるはずである。

今回の騒動は、タイ人は無責任だという言葉で片付けて良いのだろうか？
1人で消化できる範囲の仕事でも、あえて2人体制で行うべきか
日系企業で、タイ人に100%任せることのリスク。
上司たるもの、部下が休んでも、どこに何の書類があるかぐらいは、把握しておくべきではないか・・・等の諸々の問題を突きつけられている。

明日、何気ない顔で、会計課職員が出勤してきたとしたら、本当にアメージング・タイランドと言うしかない。
そのまま、会社を退社するのではないかとも思っているが、どうだろう。

個人的に、僕が最も心配しているのは、何か監査されては困ることがあるのではないかということである。もっと言えば、不正なことが行われているのではないだろうかと言う不安。
まあ、僕は、何の責任ないから関係ないといえば、関係ない。



タイ人の基礎学力は、日本人が思っている以上に低い。
日本人駐在員は、うまく部下を動かせない事に関して、最初は、言葉の問題だろうと思う。
そのうち慣れてくると、タイ人の能力を疑い出す。
そして、現在、やっと分かった事は、基礎学力があまりにも違うのである。
だから、日本人のレベルで話しても通じないことが多い訳である。

その証拠として、日本の中学1年レベルの数学をタイ人社員全員に受けてもらった。
足し算、引き算、掛け算、割り算が中心で、50問の計算問題。
学校を卒業して、10年以上経過している僕も試しにやってみたが、100点だった。
別に、特別に頭が良いわけではないし、特別数学が得意なわけではない。
普段、計算機を使っているし、分数とかも日常生活で使っていない。

で、タイ人社員はというと、90点以上の人間は、ゼロ。
ワーカーレベル（高校卒業）で、50点を超えた人間はわずか。
ご自慢の大学を卒業されているお方でも、60点を超える人間がポツポツ程度。
少数、分数は、全滅に近く、分数の割り算は、誰もできない。

僕は、早くからこの事に、気が付いており、面接時に、「簡単な算数のテストを導入」を言い続けてきた。
ワーカーさんは、仕方が無いとしても、タイ人をまとめてもらう、高学歴で、高給を取るレベルの人間が、このレベルか・・・と驚きを隠せない。

分数が出来ること・少数の計算ができること・マイナスの計算ができること・・・仕事とどう関係するのか？と言われれば、それまでである。

しかし、基礎学力の無いものは、何をやらせても駄目・・・これは、僕がタイに来て分かったこと。最低でも、足し算・引き算・掛け算・割り算も満足にできない人間は、会社としては、雇うべきではないと思う。

ましてや、「大学を出ました。」と胸をはるのなら、簡単な計算くらい出来て欲しいと思うわけです。

教育が悪いのか、たまたま出来の悪い人間ばかり採用してしまったのかは分からない。
しかし、タイという国の現実のレベルは、こうである。

弊社のある課で、タイ人マネージャーを採用しようか、日本人現地採用を採用しようかという話が持ち上がっている。

「3倍高くても、日本人を雇う方が良い」と僕は迷わず伝えた。

「基礎学力無き者は、良い仕事ができない」・・・真実かどうかは分からないが、僕はこう信じる。



パタヤフィットネス

2005,9,24



パタヤは、フィットネスブームのような感じである。
あちこちに、フィットネスセンターがオープンしている。

サウナが広いため、ボーイズタウンの中のサウナ兼フィットネス兼エロマッサージ屋が僕がいつも行く場所である。(BOYS BOYS BOYSの向かい)
常連のファランとタイ語で会話したり、思わぬ友人関係が広まっている場所でもある。

先日、スニーで新規オープンSPA・フィットネスのお試し件(1回無料券)をもらったので、行ってきた。

受付で、「何処でこの券を買ったか？」と聞かれ、スニーと答えるのも恥ずかしく、「バー・ビア」と答えると、「何処のバービアだ？」って聞かれた。

「パタヤ・ターイ(南)」とお茶を濁したが、ちょっとドキッとした。

このスパ兼フィットネスは、ジョムティアンに行く途中にあり、普通のタウンハウスを改装したような感じ。

フィットネスの機械は、揃っているが、サウナに水風呂が併設されていないのが残念。
 フィットネスの機材は、ファラン好みに揃っているが、あくまで、僕はリラクゼーション目的。老化防止の為の運動がちょっとという感じなので、2回目はないかもしれない。
 ちなみに、ここは、1回200パーツという金額。

有名なTONYフィットネスの支店？（セントラルとサウスの間の3RDに面する）が、1回100Bath。でも、サウナが小さくて、とてもリラクゼーションの施設とは思えない。フィットネス目的なら、ここでも十分かもしれない。

スニーから真っ直ぐ3RDを突っ切った所にも新しくOPENしたフィットネスである。
 ここは、フィットネスの他、サウナ、プールまで使えて150パーツである。
 これは、お得感を感じるが、実際は、トライアスロンの選手でもあるまいし、全部の施設を使い切るわけではなく、ちょっとウエイトして、サウナに入る程度であれば、もったいない気もする。

ちなみに、これらの施設は、月契約にすると1500パーツほどである。
 もちろん、毎日通ってもOKである。
 パタヤに住んでいるならば、会社帰りに、こういう場所に寄りたいと思う。
 田舎じゃなーと、つつい思ってしまう。

最近、我が田舎にも、足マッサージがあることが判明した。（自分の目では、確認していない）
 どうも、1時間100パーツらしい。
 娯楽というか、仕事終了後にやることを1つ見つけたーって感じです。



危険から身を守る方法

2005,9,20



それにしても、ダムさんの周囲は、お金の貸し借りに関する話が多すぎる。
 お金を回しあってしのいでいると言う感じである。

「お金を貸す」と言う事は、「返却されない危険性がある。」「返却していただくために、異常な労力と金銭をつぎ込まなければいけない。」「人間関係がこじれる危険性をはらむ」等、十分に理解しているはずであるのに、何故に、同じ事を繰り返しているのか不思議である。

今回は、軍の友人らしく、月末に、例の臨時昇給給料が入る事が確実だから・・・と言う理由で貸すダムさん。

しかし、「他にも、同じように借りているかもしれない」「本当に、その臨時収入があるかどうか自体、100%とは言い切れない」「いくらでもない金の為に、前回のように、自分から時間と交通費をかけて取りにいかなければいけないかもしれない」等の事はかんがえないのであろうか？

素朴な疑問である「何で、ダムさんが金を持っていることを知っているのか？」と聞いた。

「皆、知ってる」とだけ答えた。誰が、がんばって出世したとか、自分で這い上がって高給取りになったという話より、「ファランの恋人を見つけた」「金持ちと付き合っている」「親戚の が、土地を売ったから、金持ちになった」なんて、他力本願の話だらけ。

僕は、この手の話には、巻き込まれないようにするだけである。

最近も、賃貸のタウンハウスがあると薦められているが、2部屋や3部屋あると訳の分からない扶養家族が増えるというのは、分かりきっている。

事実、「友人の が、家賃代を節約したいと言っている」

タウンハウスでも、今と同じ家賃なら、移っても良いんじゃないかって簡単に考えているようだが、家賃だけならまだしも、食費、日用品、はたまた、毎週一緒にパタヤに連れていかなければならないじゃないですか。

最近、ダムさんの友人が2度ほど泊まったことが、この手の話のスタートなのだが、広い部屋（家）に移ったら、ダムさんの友人が転がり込んでくるに違いない。

そしたら、衣・食・住すべてに渡って面倒をみななければいけないことは分かりきっている。

寄生虫社会で、寄生されないように、注意しなければならない。
可愛い子だけが寄生してくれたら、大喜びなんだけど、その付属品がびっくりしちゃうんだよね。

ビーチ沿いに宿泊する

2005,9,19



JOMTIEN THANIというホテルに宿泊した。

スニー近くのいつものホテル(450B)もスニーで飲んで、そのまま寝るには、良いが、1000バーツ以上のホテルに泊まるとやはり快適である。

ちなみに、このホテルだが、ネット上で探したら、1040バーツが最安値(僕が探した中では)だったが、直接当日チェックインしたら、1340バーツであった。

ここを選んだ理由は、プール・サウナ・フィットネス完備と書いてあったのだ。

しかし、実際は、プールは普通であったが、フィットネスというのは、名ばかりの機械が4~5台置いてあるだけだったし、サウナも「ご利用の方は、係員に連絡してください」となっていたが、プールサイドには係員はおらず、電話で伝えたが「分かりました」と言ったっきり、サウナの電源を入れてくれるわけでもなかった。

数百バーツ台のホテルは寝るだけ、1000バーツを超えると、心地よく寝られる部屋が得られ、2000バーツ以上で従業員の質もそれなりのレベル。3000バーツ以上がサービスを得られるホテルという感じかもしれない。

実は、ジョムティアンビーチ沿いに宿泊したのは、はじめてであった。

せっかくジョムティアンビーチ沿いに泊まったのに、結局は、スニーで飲んでしまい、何の為に、ジョムティアンに宿泊したのか分からないという状況に.....

やはり、僕には、スニーの側の、ホテルが一番便利なのかもしれない。

けど、ここの安ホテル.....ちゃんとNHKが見れるのです。

JOMTIEN THANIは、見れなかったもん。

これも、日本食と一緒に。

セブンイレブンもない田舎では、「NHKが見たい」等と贅沢は申しません。

でも、パタヤに来た時ぐらいは、日本語の番組がみたいものなのです、

パタヤの魅力

2005,9,18



パタヤを拠点に住み始めてからもう少しで1年になろうとしている。

旅行者時代、パタヤと言えば、夜勤明けで、飛行機に乗り、どきどきしながらタイ国際空港に着き、見知らぬ道を2時間半ほど走って、パタヤらしき景色が見えてくると、何ともいえない興奮を感じた場所であった。

つるつるのお肌の子に会える.....黒肌の子に会える.....なんて、妄想の中.....

パタヤに本当に住んでいたのは、半年間で、その後は、毎週末に来ると言う生活。

田舎から1時間の距離だが、パタヤに近づくも、特に興奮や感動も無くなって来ているというのが現状である。

生活と言う面から考えれば、あちこちに大型スーパーがあり、デパートもあり、映画館もあるので、過ごしやすいといえば過ごしやすい。

美味しい海鮮料理を気軽に海辺のレストランで食べられる喜びは、バンコクでは、味わえないのかもしれない。

足(車)があるので、中心地からちょっと離れた穴場的な場所にも行けるし、格段に行動範囲は広がっている。

田舎では絶対に食べられない日本食を食べられる事も大きな魅力である。
 富士はもちろん、8番ラーメン、そして、最近、ZENがロイヤルガーデンに出来た。
 ZENは、バンコク在住の時に、よく行っていた。
 旅行者時代は、必ず立ち寄っていたロイヤルガーデンだが、最近は、ほとんど行かなかった。
 車を駐車するのが面倒くさいことと、渋滞を避ける為、ビーチロードとセカンドロードは、なるべく通らないように心がけていたからである。
 また、パタヤという特殊地域で気が狂ったファランが多い為か、交通マナー・交通ルールなど無しに等しい。
 ここ1週間、サウスパタヤのセカンドロードとビーチロードから一方通行で合流する交差点の信号が故障の為、車の量のかかり多い交差点が、警察も信号も無く、無法地帯と化していたのである。

どう考えても、特殊な街であるとは思いますが、外国人が住み易い街であると思うし、楽しみ方がいくつもある街であるとも思う。
 たまにしか来ない人たちは、どうしても夜の街へ心が傾くが、ちょっと市街地を外れたら、随分と静かに過ごせる場所も多い。
 何より、ハイシーズン・オフシーズンがはっきりしており、オフシーズンは、ホテルも格安だし、道も空いている。逆に、正月とかソングクランしか経験のない人は、「なんて人の多い街だろう」って思うはずである。

初めてパタヤに来てから、10年を超えてしまった。
 まさか、パタヤに毎週来る様な生活をしているなんて、考えてもいなかった。
 飽きた・飽きた・・・と言いつつも、実は飽きてないパタヤ。
 不思議な街というか、やっぱり気が狂った街だと思う。



ソフトレンズ

2005,9,16



結局、ソフトコンタクトレンズを購入した。
 覚えていないが、ハードコンタクトは、10年以上、愛用しているように思う。
 それでも、今住んでいる田舎では、ハードコンタクトレンズが手に入らないのだから、仕方が無い。
 失くすたびに、バンコクへ飛んでいっている場合ではない。
 バンコクでしか買えないもの・・・それは、ハードコンタクトレンズかな？

何故、今までハードで通してきたかと言えば、乱視の問題がある。
 乱視が強いから、ソフトは駄目言われてきたが、そもそも、乱視とは一体何なのを理解しておらず、眼鏡屋でも確かに乱視が強いというのは、指摘を受けて分かったが、乱視入りを希望するなら、ソフトコンタクトはない。眼鏡をかけなければいけないと。
 眼鏡という選択肢は、僕の中にはないので、迷わず乱視無しのソフトコンタクトにしたが、やはり不安が残る。
 大体において、眼鏡屋の測定は、正しいのかどうかという根本の問題。
 乱視を無視して、良かったのかという点。
 日本のように、医薬品扱いではないから、医者とは全く関係なく、診察無しの購入。

で、僕が選んだのは、1ヶ月使用可能のもので、値段も安く200パーツ(1組)
 左右の度数がちがうので、2組購入したが、400パーツで2ヶ月は使用可能ということになる。思ったよりコストパフォーマンスが良いと感じた。

それにしても、慣れていないというのは大変な事である。
 ソフトの場合、コンタクト挿入も難しいが、外す方がもっと難しい。
 鏡の前にどさっと座り、目の中のレンズを出すのに格闘している。



不思議な事

2005,9,15



最近、こんな田舎暮らしをしているのに、何故にお金が貯まらないのだろうか？と不思議で仕方が無い。収入から考えると、かなりの貯金ができて良さそうに思うが、現実には、・・・である。

原因を考えてみると、色々反省すべき点も見えてくる。

1) ダムさん出所前は、スニー代が、やたらと高かった。

安い・安いは良いけれど、数をこなせば・・・と。

2) 車を所有した事で、大幅に出費が増えた事。ガソリン代が、上昇し続けているのも原因だと思うが、それ以外に、大きな出費がある。まずは、来月継続契約する保険。

さすが、事故率が高ただけあって、保険のお値段もお高い。

車両保険込みであるが、2万4000パーツ（もちろん、年間）は、タイの物価からすると非常に高いと思う。それ以外にも、税金や定期点検代。

ボンネットを開けても、さっぱり???な機械音痴な僕なので、車の点検は、欠かせない。

何の目印も無い田舎道で、故障して動かなくなったらどうするかって考えただけでも恐ろしいことです。

3) 生活レベルの向上・・・これは、定時収入のある仕事をはじめてからとアルバイト的収入の時代（学校に通っていた時代）とは、雲泥の差だと思う。

前は、「たまに思い切って行くレストラン」であったのが、今じゃ「普通に食事をする場所」となってしまう。それに、遊びに行くにしても、前は時間があったから、「バスや鉄道が主流」の旅であった。今は、時間的な問題があり、「飛行機」という選択肢しかない。

4) 酒代の上昇・・・これは、自分でも信じられない。アル中か生活習慣かは分からないが、毎日ビールを浴びるほど飲んでいるのである。元々、酒はすきであるが、こんなにも・・・と言う感じである。いくら田舎生活とはいえ、ビール飲むのなら、タイ語の文章をちょっと読むとか、田舎道を走るとか、時間の使い方を考えたいものである。

言い訳になるが、田舎道を走っていると、犬に吠えられ、本当に噛まれそうになるし、家に帰ったら、ついついタイ語を見たくなくなってしまう。

で、結局、ビール飲んで、眠気が襲ってくるのを待つ・・・毎日飲んでいるから、肝臓が鍛えられたか麻痺しているのかは分からないが、前は、3本くらいで酔えたのに、今じゃ・・・何本飲めば酔えるんじゃ-----ってな感じ。

日曜日に、サウナで汗を流すが、気持ちよいように、アルコールが身体から抜けていく。

まあ、色々な事情（ただの言い訳）を抱えつつ、たまに通帳を眺めては、「こんなに使っているのか？」と自分で驚いてしまう。

一番良いのは、パタヤに行かないことと長期休暇がないことだと思うが、それはそれで不満だろうな-----。



やってもーた-----

2005,9,14



「やってしまったーーーー」
 こういう言葉がピッタリ当てはまるのではないだろうか？
 コントクトを失くしてしまったのである。

バンコク在住の時も、一度失くした経験がある。
 今回は、地方在住なので頭が痛い。

僕が知っているハードコンタクト取扱い店は、バンコクだけなのである。
 困ったものである。
 コントクトを買うのに、1日仕事になってしまう。
 いや、取りにいくことを考えると、丸2日仕事である。

どこでも売っているソフトに変えようかなーーーーとも考えますが、どうしようというのが、本音である。
 だって、10年以上も、ハードコンタクトですからねーーーー。
 使い捨てが一番良いのだろうかーーーー。

しかし、どう考えても失くすたびにバンコクと言うのは、どうもよろしくないと思う。
 別に、ハードに特別な感情を持っているわけではない。
 昔(10年くらい前かな?)眼科医に、乱視が強いので、「ソフトは適さない」と言われて、何となく自分の中で「僕は、ソフトは駄目なんだ」と思い続けて来ただけなのかもしれない。
 やはり、失くしてもショックの少ない使い捨てが一番良いと思う。

新アドレス

2005,9,13



<http://www.thaitetsu.com/>

HPを辞めたのか?の問い合わせ多数により、上記が新アドレスであることをお知らせします。

大丈夫なのか? 我社。

2005,9,12



実は、自分の会社が危ないかもしれないと感じている。
 最近、客先から、「日本からタイへの移管の目途が立たない」としきりに脅されている。
 正直言って、この会社に入社して1年半が過ぎた。
 給料水準から考えると、「ずっと働きたい会社である」
 しかし、言葉は悪いが「田舎の中小企業とは、こういうレベルか・・・」と思わざる得ないところも多い。

実際、去年の10月にスタートする予定が、今もって、目途が立たない。
 もっと率直に言えば、「赤字を垂れ流している状態」の会社である。
 本稼動していない状況で、出てくる話は、「給料引き上げ」「福利厚生のアップ」「資格を取ったから特別手当を出せ」「交通費が上がったから出せ」・・・そんな話ばかりである。
 会社の責任者は、草むしりとエアコンの掃除等の雑用に追われている会社。
 とても、立ち上げの会社とは思えず、トップダウンのトの字も見えない。
 そのうち、仕事への気力も薄れ、月給をもらうことだけが目的と化しているのかもしれない。
 僕が思うに、会社は、本当にピンチである。
 しかし、トップがピンチだと思っていないのなら、別に、どうでも良い訳である。
 まあ、変わった会社だと思う。
 僕が変わっているのか、会社が変わっているのかは分からないが、祈るのは、倒産しないで欲しいということだけである。



レストランの入れ替わり

2005,9,11



田舎のアパートの前のレストラン（食堂？）の経営者が入れ替わった。
 元々、僕のアパートの大家さんの持ち物で、食堂もアパートと同じように貸していたらしい。
 売れ行きが良くなかったのか、店を閉めた。
 代わりに新しい借主が現れ、新装オープンということである。
 わずか半年でつぶれたということになる。
 儲かっていれば、絶対に手放さないはずである。
 開店当初は、タイ人も新しいもの好きだから、アパートの住人のほとんどは、便利さもあって前の食堂で
 食べていた気がする。
 しかし、他店と比べて、味・値段・量が劣る為、次第に移ってしまった。
 売り上げが伸び悩むと、経費削減の為に、ますます量が減っていく。
 最終的には、店締めということである。

新しい店は、最初だからかもしれないが、ボリュームもあり大満足である。
 新装開店オープン大判振舞いかもしれない。
 この住居人としては、この味と値段と量が継続してくれればありがたいのだが・・・



好きになりそう

2005,9,10



ダムさんが、実家へ帰省の為、週末は1人パタヤであった。
 徐々に羽のばしたという感じ。
 パタヤ休日も、パターン化してきたが、サウナで会うファランが、レムチャバン勤務・8年も住んでいる
 ということを知り、ファランとサウナの中でタイ語で会話。
 スニーのあの店は、良いとか、ジョムティアンビーチ沿いに、良いバーがあるとか、ファランとタイ語で
 会話するのも面白い。
 何が面白いかって・・・周りのタイ人の反応である。
 違う国の外人同士が、タイ語で話しているのって、母国人からすると面白いんだろうなって思う。

最近、ノンという子にはまっている。
 スニー内で、タンブンを介さない関係になるというのも珍しい。
 しかも、18歳であることが、何ともおじさんの気持ちを狂わせている。
 タンブンの関係が、気分的に深入りせずに済んで、どんなに良いことかって思う。

そういう意味では、ノンケ君は、相手が恋愛感情を一切持たないので楽である。
 上記のような場合、後々、ややこしい話になるかもしれないので、距離を置いて付き合いなけれ
 ば・・・とは思っているが、コンケン育ちであまりの可愛さに、おじさんは、狂ってしまいそうである。

いかん、いかん、最近、刺激のない村生活なので、こんなことがあると、本当にのめり込みそうだ。



労務管理

2005,9,7



タイにおいての会社経営で、一番の問題となるのは、人事・労務関係であると実感している。日本と大きく違うのは、「金」に対する執着がすごい。

よく、「お手伝いさんが、隣の家の給料が10パーツ高いので、明日から移った。」等という話も聞いてきた。

タイで驚くのは、A社から、同業種のB社に移動する。そして、経験を積んで、A社に再び戻ると言う人である。この場合、A社からB社へ、B社からA社へ戻る際に、大幅にサラリーがアップしているのは、言うまでもない。

会社に属しているのは、お金をもらえるからであることは、当たり前的事だが、タイ人の行動は露骨すぎる。

日本の終身雇用それと引き換えの会社への忠誠心というのは、特別なのもかもしれないが、タイの場合、よく言えば、自分を高く買ってくれるところがあれば、さっさと移動する。

ちょっと悪い言い方をすれば、何もできない人間が、学歴と、履歴書に書く「ちょっとの経験」を頼りに行う転職しか、サラリーアップの道は無い。ということかもしれない。

しかし、日系企業に限ってれば、ある意味では日本人はタイ人になれない。

実務を行うのはタイ人であるし、タイの法律を分かって、役所と交渉したりするのもタイ人である。会社にとってのタイ人キーマンは、かなりの高額給料をもらっているはずである。ただし、この手の人間は、会社の規模にもよるが、ほんの一握りのタイ人である。

この人がいないと会社が運営できないと言う人に対しては、かなりの金額を出している。

但し、タイの場合、自分の経験・能力を高く買ってくれるという言い方は、本当に当てはまるのかなーという感じもする。外資系会社の面接は、(特に日系はカモになっていると思うが)嘘を付こうが、大げさに言おうが、取りあえず、面接で高給をもらう交渉に成功するかどうかのみである。

1年ぐらいで、化けの皮が剥がれれば、また転職すればよい。

転職の際に、前にもらっていた金額を聞けば、「仕事ができるのだろう」という仮定の元に、更なる増額にて働ける可能性を秘める。

話はちょっと横道にそれたが、現在、社内では、いろいろな波が起きようとしている。

日本に研修に行ったグループが帰国後、一定期間は働くと言う契約を交わしているが(現実には、職業選択の自由からなら効力は無い)その契約期間が切れるのである。

新しい会社なので(というだけではなく、別の要因もあるのだが)労務管理ができていない。給料水準も「何で、この人がこんなに安いのか?」とか逆もある。

役職による給与水準もはっきりとしたものがなく、係長が、課長よりも給料が高い等の現象もある。要求したものの勝ちという風潮がある。

事実、要求したものが、勝ち取っており、もっと言えば、日本人がタイの実態を何も知らない初期に入社した社員は、驚くほど高い金額である。

後に入社すればするほど、安い賃金であると言う状況にある。

徐々に、調整していけば良いと言う考えが、経営者サイドの考えだが、まさに、今日のお金、今月の給料を考える人たちに、「そのうちに・・・」という考えでは、不満ばかりが募るわけである。

恐ろしいことは、社内の中で、そういった不満が起きていること。そして、何がいけないのかを経営者サイド(日本人)は、全く知らない。

言葉が分からないと言うのは、これほど幸せなことはないと思ってしまう。

ひょっとして、僕がそういった調整を含めた役回りかもしれないが、組織図上も何も示されていないし、面倒な事に巻き込まれるのは、目に見えているから、首を突っ込まない方が懸命であると思ってしまう。今の給料が保証されるのなら、サバァイで程々が良いに決まっている。

辞めようとしている人たちは、現在は、暇でサバァイな職場であるから、我慢している。

「忙しくなったら辞める」とはっきり言っている。

会社としては、今は、準備期間、しっかり教育して・・・スタートしたら、がんばってもらおうと思っている。

今のうちに、教育ということで、各種セミナーに参加させ、証明書等ももらっているが、タイ人社員にすれば、転職に有利にもらっているだけの話で、花嫁道具じゃないが、会社は、お土産を与えているばかりである。

忙しくなった時、本当に立ち上がったとき・・・タイ人の行動を考えたら、会社がどうなるのか恐ろしい。

現実の問題としては、僕の職場は、そういった動きも無く、できるだけサバァイに働けるような雰囲気を作っているし、多少のタンブンも部下に対して行っているの、そのような動きはないようである。

他の部署が、どうなるうが関係ないといえばそれまでだが、そんな情報を僕に入れなくて欲しいとも思う。

タイの労務管理の難しさを実感している。

- -



村のガソリンスタンド

2005,9,6



田舎に引っ込んでから、それなりに充実している気がする。

平凡な毎日だなーという思いはあるが、時々、暇だなーとも思う。

平日の就業時間後を充実した時間に何かしたいが、誘惑に負け、酒を飲んで過ごすという生活になっている。

最近は、小学生児のような時間帯に寝付く場合も頻繁にある。

年を取ると、夜が早いというが、まさに・・・その通りである。

お陰で、会社で取っている日本語新聞を持ち帰り、読むことが多いので、今回の選挙の情報もかなり詳しい。

社民党から辻元清美氏が出馬していることや、高市早苗氏が出馬していること。

野田聖子が、無所属で出馬している事などの何故か女性候補の情報には強い。

日本人が、今の自由民主党をどう評価するのかを海外から注目している。

4年目のタイ生活だからこそ、政治家の名前もよく分かるが、あと数年すると「誰？」って人が多くなるのかもしれない。

そう考えると、政治の世界は、芸能界よりも変化が少ないので、ありがたい。

今じゃ、日本の芸能人の名前などさっぱりですから（笑）

たったの1時間だから、パタヤから通勤ということも選択肢の1つではあるが、朝の5時代に起床というのは、御免である。

通勤時間が長いというのは、非常に無駄な時間を過ごしているような気がしてならないし、余分な時間・エネルギー・金（ガソリン代）を消費している気がしてならない。

先日、村の中に、ガソリンスタンドがあるのを発見した。

今までに、1軒しかないと考えていたが、ちょっと脇に入った道に、大きなスタンドがあった。大抵は、パタヤに行ったついでにガソリンスタンドに寄って給油していたが、村のスタンドは非常に可愛い子が多く、これからは、村のガソリンスタンドで給油することを決めた。

偶然、ダムさんが一緒だったのだが、用も無いのに、車から降りて、店員と話し始めたので、気が付かれました。

おばさん店員の時など、一言「91を500パーツ」これしか口にしないのに、「今日は、91の値段はいくら？」とか「今日は、雨が降った？」なんて話始めたりする分かりやすい性格。まあ、村の生活、それくらいしか楽しみがないのかもしれない。

- -



市場の物価

2005,9,5



石油価格高騰につき物価上昇が著しかった気がしたが、庶民生活物価は元に戻ってきた気がする。石油価格は、相変わらず高騰を続けているが、物価直撃するほど庶民の収入は上昇していないということであろう。

市場で買物をしたが、石油上昇を受け、急に値段が倍になっていたものが、すっかり元の値段に戻っていた。

おかず一袋 10 パーツ 20 パーツ 10 パーツに戻り、白いご飯が、5 パーツ 10 パーツ 5 パーツに戻っていたのだ。

セブンイレブンも無い田舎街の定期市場の物価が、急に倍になれば、大きな問題であろう。

「お客から文句を言われた。」のか、「売れ行きが急に悪くなった。」のかは分からないが、元の値段に戻っていた。

しっかりもののダムさんが、ご立腹だったので、一般の住人も同じだったのかもしれない。

5 パーツでも 10 パーツでも良いが、上昇率（倍になった）を考えたら、やはりとんでもない事である。しかも、「食料品」は、生活必需品ですから・・・

この国、ビザ代が急に3倍・5倍になったり、日本では考えられない「値段の上げ方」をする。それで、文句が出たら・売れなかつたら「すぐに、元に戻す」というのが、何とも滑稽な気がしないでもない。

最近、定期市場で購入したおかずを食べると、お腹の調子が悪い。

たまには、貯まったものを出す為に、「痢するのも良いのかな。」って笑って済ませる程の「のんきな人間」だが、市場のおかずを食べることにお腹の調子が悪いと言うのも、何だか気味が悪い。

バンコクに居た頃は、衛生的にはもっと悪いものを食べていた気がする。

道路の側で車の排ガスをもろに直撃している食べ物も平気で食べていたからである。

最近、金使いが荒くなり、平日こそ会社の社員食堂だが、週末はレストランと称して良い場所で食事をしているので、身体の中の耐性菌が薄れてきたのかもしれない。

それとも、バンコクから離れたことでご飯を作ったり、食べ物を売る人の「衛生観念」が非常に落ちたのかもしれない。

袋に入っているから、気が付かないものの、調理の現場は、とんでもない不衛生な状態で作っているのかもしれないとふと思った。

まあ、気にしていたら生活ができないですから・・・



コンド転落死の真相

2005,9,4



土曜日の新聞1面記事の続きであるが、きちんと読んだところ、転落死したのは、28歳ではなく、19歳の子だった。

ちなみに、スニーで実際に聞いた情報（新聞には記載されていない）が、ユーロ（現在サワディー）のドアボーイであったという。

こういう話を聞きだす際に、オカマチームと仲良くなっていると、情報が早い。

「覚えているでしょ。ほら、背の高いあの子よー。」って言われたけど、僕は、全く記憶にない。（多分、タイプではなかったのだろう）

28歳の彼は、19歳の子をコンドまで送って行ってロビーで待っていたらしい。

恐ろしいことに、ちゃんと新聞を読むと、コンドの名前そして、日本人の名前（苗字は出ていなかった）年齢も掲載されていた。

「ゴーゴっ子が、勝手に部屋にやってきたので、入室を拒んだ。

そしたら、相手が非常階段からベランダを越えてに入室しようとした。

それで、誤って転落した。ちなみに、酒に酔っていたらしい。」

日本人からすると、被害者である。

事件に巻き込まれたというのが、実情であろうが、名前・年齢・コンド名・部屋番号まで書かれてしまい、大変な迷惑を被っているに違いない。

タイ東部は、水不足が深刻であるという。
 しかし、日曜日である今日に限って朝から雨が降り続いた。
 まさに、「パタヤ・オフシーズン」という状況である。
 仕方なく、軽くフィットネスしてサウナに入って田舎に戻った。
 やはり、日曜日1日しかない、休み足りないという感じがする。
 土日休みの会社で、現在の収入が得られる場所が無いかなーと思うが、世の中、そんなに甘くないだらうなー。



難易度が高すぎる

2005,9,3



Condominiumに関する法律を解説している。
 外国人が Condominiumを購入する際の法律であるが、この中には、土地法、入国管理法、外国人事業法、 Condominium法に始まり、何故か石油法、投資奨励法などの法律が登場する。
 今の僕のタイ語レベルでは正直、難易度が高すぎる。
 何日かかっているのだろうとってしまう。

1回目は、全く内容は分からずに、分からない単語を辞書で調べるだけ。
 2回目は、とりあえず、自分なりに読んでみる。又は、素直に直訳してみる。何について書いてあるかぐらひは解説可能。
 3回目は、文法上を考えつつ解釈をする。どこどこがつながっているのか、この関係代名詞は、どこにかかっているのか考えるが、分からない。

3回読んでも、よく分からないわけですよ。
 基本的なタイ国の法律知識が無い場合、特に分からない。

そもそも、日本もそうであるが、法律文章は、わざと分からないように書いてある。
 もっといえば、解釈の幅が広がるように故意に書いてあるわけですよ。
 日本だって、憲法の解釈について、国会内で盛んに議論されている。
 外国人が読んだって、理解不能であることは確かである。

さて、新聞の1面(タイラット紙)よりこんな記事が掲載されていたので、お知らせ致します。
 荒読なので、間違いがあるかもしれません。

日曜日に全文を正確に読んで、改めて書くかもしれません。(気分次第)

「スニーのバービアで働く28歳の男性(ゲイ)が、パタヤの35階建てコンドで、2507号室(25階)に住んでいる日本人30歳を訪問したが、ドアを開けてもらえなかった。

ベランダから侵入を試みたが、落下し死亡。」要約するとこんな感じ。

何だか、他人事とは思えない記事である。もちろん、死亡したスニーっ子の死体写真が一面に掲載。日本人は、名前こそ出ていないが、場所と35階コンドとあれば、何処のコンドかは特定可能である。しかも、部屋番号がばっちり載っていた。

この二人は、お金の絡んだ関係なのか、本当に恋人に近い形だったのかは記事を荒読しただけでは分からなかったが、スニーで働いているという記事を信じたとしたら、前者の可能性が高いかもしれない。

スニーで働く人間と35階建てコンドの25階に住む人間では、あまりにも差がありすぎる。

どんなことをしても、相手を振り向かせたいと思うのは当たり前である。

目の前に、宝くじがぶら下がっているのだから、皆、手を伸ばして取りに行くのは当たり前である。

自分の部屋に、スニーの子を連れ込む危険性をひしひしと感じる。

お手軽コンビニ感覚のスニーやポー・ズ・タウンは便利であると思うが、そこで働く人間は、タイ国内では、最低階級に属する人間であることは忘れてはいけないと思う。

容姿が良くて、しばしばオフされる子は、金回りも良いし、一見、貧乏そうには見えない。

しかし、育ってきた環境や教育レベルを考えると、対等にお付き合いができる人間ではないはずである。その辺が麻痺してしまうと、痛い目にあうことを実感しなければいけない。

平等主義の日本人の僕であるが、最近、本当に差別的な感覚になってしまっている。最も簡単にお近づきになることが可能だが、実は、一番近づいちゃいけないのかもしれない。



現状に満足かどうか

2005,9,2



人生というのは、「運」や「タイミング」というのに大きく左右されることを実感している。タイではじめて就職する時に、必死で探していた業種の求人がポコポコ出てくるのである。今でも、自分がやりたいと思う職種であるから、興味はある。しかし、今となっては収入が合わないという現実がある。

仕事の内容を選ぶか、お金（収入）を選ぶか？という選択は非常に悩ましい。

しかし、収入の差が倍以上であると、当然、お金を選んでしまう。

収入が倍近くも違うというのは、当然のことながら、1ヶ月働くと、2ヵ月分働いたことを意味するのである。

高い収入が欲しければ、当然、日本で働き続けているわけだし、「高収入を得たくてタイに来たわけではない」という綺麗事を言ったとしても、実際に生活すると、やはり高収入は魅力的だし、仕事をしている以上は、多少の将来の蓄えも考えたい。

収入 = 生活費よりも収入 生活費が良いに決まっている。

仕事である以上、自分の時間を切り売りしているのである。

そりゃ、仕事をしなくても一生暮らせるだけのお金があれば、サバァイである。

しかし、庶民はそうも言っていられず、労働という名の元に、自分の時間を会社に切り売りしているのである。

切り売りするのなら、時間単価が高い方が良いに決まっている。

タイで、やりたいようにやっているつもりであるが、結局は、いろんなことに縛られつつ生活しているのだな―――ってふと感じたりした。

やりたい仕事 = お金がもらえる仕事であれば良いのだろうが、そんなに世間は甘くないのか―――。

「上を見たらキリがない」というが、人間は、欲深いもんだな―――って感じる。



違法行為

2005,9,1



こんな記事を見かけた。

「現在公表上演中のトニー・ジャーことパノム・イーラム主演の映画 ” トム・ヤム・グン ” の違法複製VCDの摘発を強化している当局側は、昨日までに15県内で合計3,588枚の違法複製CDを押収し、18人を逮捕した事を明らかにしています。」

「タイに慣れた」というのは、怖いものです。

実は、僕も持っているのです。

この映画、「見たいな」と思っていたが、映画館で見る = 長袖の準備が必要であり、「ちょっと時間があるから・・・」という理由では僕は映画を見られない。

「今日は、映画を見に行くんだ」って決めて、防寒具を用意してからでないとならぬ映画を見られないのである。

で、偶然、上記映画のコピーVCDをパタヤの市場で見つけ、「丁度良かったわい」とばかりに購入して、自宅で視聴済みだったのだ。

VCDや音楽CDも含めて、違法コピーは犯罪行為であることは理解はしているが、ごく当たり前で売られていると、「違法性」が薄らいでくる。

日本に居る頃は、「著作権」が厳しかった気もするが、タイに何年か住むと、「コピーは当たり前」という錯覚に陥ってします。

VCDだけでなく本を丸ごとコピーっていうのも当たり前のように行われており、感覚のズレを感じてします。

ちなみに、コピーVCDは、売った方が捕まったというのは良く聞かすが、買った人はどうなのだろうか？ まあ、警察の目に留まれば、没収ということにはなるのだろう。

[【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ](#)

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

10月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

去年より少ない気がする

2005,10,30

スニーが、閑散としている気がする。

去年は、学校が雨休みとなるこの時期、びっくりするほどの可愛い子が、続々歩いていた気がするが、今年は、少ない気がする。

ホットスポットも、変更し、今は、ボーイズ・イサーンとかユーロの前の通りがにぎわっている。カオス・メニューの店の前は、本当に閑散としている。

メニューの店は、改装の為、一時休業しているし、カオスの向いのサンデーも休業中である。警察の取締りが厳しくなると、こうなるものかと思ってしまう。

一時だけの出来事であれば良いと思う。

一方で、大型ディスコは、深夜1時の閉店を完全無視で、深夜3時閉店となっている。

金の有るものは、さらに金が入るようになってきているタイの経済。

はっきり言えば、金がなくて、に出すものが出せないものは、法律を遵守するか、それでも嫌がらせの取り締まりに耐えるしかないということだろう。

ディスコやパブを潰すのは簡単で、営業時間中に「麻薬の取り締まり」「IDカードの確認」と毎日のように警察が取り締まれば、お客が激減する。

スニーも同じで、「警察の取締りが行われた日」は、驚くほど閑散としているし、それよりメインである者が、ごっそり警察に連れて行かれれば、何の為に開けているのか分からないということである。

ちなみに、数日前にパタヤが洪水になったようだ。

聞くと、4時間もの間、強い雨が降り、サーイ・サームが腰まで水に浸かったらしい。

年末か来年初めに購入予定？の「コンド周辺の水はけはどうか？」と急に気になった。

最近、パタヤに毎週行っているが、行動範囲が狭まっていると思う。

ショッピングセンター内で、食事をし、スニーで飲み明かし、翌日、サウナでビールを洗い流し、日用品の買物をして、帰宅するという週末の繰り返しとなっている。


思いもよらぬところで、またまた爆弾爆発

2005,10,28



少し前の話だが、会計課職員が、会計監査の日に、急な腹痛で欠席。
 バンコクからコンサルを呼んであり、ホテルを含め、予約していたので、大損害。
 その前も、家族の病気等で、前日のキャンセル。
 アメージングタイランドに存在する僕の会社は、何一つ、罰則なく、その職員を働かしていた。
 そして、3度目は、とうとう逃げられずに、会計監査を受けた。
 開けてびっくり、何一つ、書類ができていないことが判明。
 「報告が無い。」タイ人。
 「ちゃんとできています。」と嘘の報告をするタイ人。
 「上司が無知というのは、こんなに恐ろしい事なのか。」を実感。
 皆が、頭の良い、仕事のできる人物であると思っただけに、相当のショックである。
 早速、後任を内緒で探している状況である。
 去年度の会計決算ができずにいる僕の会社。
 コンサルのタイ人もびっくりである。
 2度もドタキャンで、3度目に来たら、何も書類が無いのだから・・・「こんな、会社、初めてです。」とまで言われる始末。
 まさに、アメージングタイランドの中でも、アメージングな会社。
 密かに、「会社のお金を・・・」と思っただけに、そうではなかったことだけが、救いかもしれない。
 まさに、爆弾が、あちこちで爆発している会社内部。
 自分の責任の範囲は、守っているが、何とか飛び火しないことを願うのみである。

そんな中、今日も、会社の一番の責任者は、男子トイレの蛍光灯が切れたので、仲良しコンビの総務タイ人マネージャーと買物に出かけている。


契約を破った理由

2005,10,27



どういう思考回路をしているのだろう。
 全く分からない。
 弁護士から、ばっくれ社員に手紙が送られた。
 「外国研修に行った場合、帰国後、 年間は会社を辞めない。辞める場合は、海外研修の費用を支払わなければならない。」
 この契約書に基づき、突然、上記期間内にも拘らず入社しなくなった職員に対して会社は、弁護士より手紙を送った。
 「この手紙を受け取ってから 日以内に、 パーツを支払ってください。何故なら、上記の契約を結んだが、あなたが違反したから・・・」という内容である。
 手紙を受け取った本人は、どういう行動を起こしたかといえば、労働局に行った。
 そして、「オーバータイムが無かったから・・・」という理由を、労働局の職員に訴えたという。
 なんとも馬鹿げた言い訳としか思えない。
 そんな理由を堂々と主張し、自己の正当性が認められると思っているのだろうか？
 「どういう思考回路をしているのか分からない」

自分は、エイリアンで、異国で働いているということを強く・強く感じずにはいられない最近である。
 「思考回路・常識・考え方が、全く分からない」としか、言えない。
 非常にストレスを感じる毎日である。



またまた、店が変わる

2005,10,26



アパートの前のレストラン？食堂のオーナーがまたまた変わった。
要するに、賃貸なので、家賃、材料等の経費と、売り上げを比べ、なかなか採算が合わないということだろう。

それにしても、ころころ変わる。

まあ、この辺では、3階建ての立派なアパートであり、住居者数を考えて、儲かるのでは・・・と期待を膨らませるが、現実には甘くないということだろう。

平日の昼間は、100%近く仕事に出かけているし、地方の工場では、3食、社員食堂で安く食事ができるのは当たり前だし、帰ってから食べなくても、会社で安く食事を済ませる人も多いと思う。また、駐車場をみれば歴然であるが、週末はバンコク等に帰省する人がほとんどである。

新しい店は、今までと一風変わっている。

今までは、アハーン・ターム・サン（注文製の食堂）であった。

今度の店は、カーウ・ゲーン（おかずの店）である。

非常に気に入っている。

朝夕の一日2食をここで食べている。

まず、注文製の食堂と違い、飽きない。

注文食堂の場合、パターンが決まってしまう、飽きてしまう。

加えて、肉・油を多く使うのが、大問題である。

おかず屋の場合は、毎日日替わりなので、飽きずに食べられるし、野菜が多い。

しかも、料金が安い。

ビール大瓶3本に、おかず3品にご飯。つまみの冷やしトマトと湯で野菜を加えても、200バーツでお釣りが来る。

この店、つぶれて欲しくないから、一生懸命、売り上げに協力しているつもりである。

しかし、ビール大瓶40バーツ、おかず1品10バーツ、ご飯5バーツ、冷やしトマト5バーツ、湯で野菜10バーツの計算では、2人で食べても、いくらもいかない。

「頼むから、つぶれないで欲しい。」とは思っているが、採算が取れているのかは、経営者ではないから分からない。



日本語の試験の影響を受ける生活

2005,10,25



ダムさんの、日本語検定3級の試験が近づき、何かと協力する日々が始まっている。

まず、週に2回、都市部の学校に通っているが、当然の如く、交通の足が無い為、車で送迎しなければならない。

田舎生活、思わぬ所で、大変である。

コンビニも無いということで、日本語を教える学校など、あるはずも無い。

地方の都市にかろうじてあったので、ダムさんは通っているが、バンコクの学校とは、生徒の質、先生の質も全く違うようである。

先生の遅刻は当たり前で、「2時間分の授業料を払っているのに、1時間半しか授業を受けられない（先生の遅刻のせいで）」「先生の説明が分からない」と文句を言っている。

家でも、文法の説明は無理としても、漢字ぐらいいは教えているが、「つながっているかどうか分からない」とか漢字の撥ねる箇所が「はっきりしない」等と文句を言われながらやっている。

おまけに、「夜は頭が働かない」との理由で、朝の5時半に起きて、勉強しているが、やはり、静かにやっているつもりでも、ごそごそ部屋の中でやられると僕まで起きてしまう。

これも、12月上旬まで、あと、1ヶ月ちょっとの辛抱であると思っはいるが、結構しんどいものである。

最近、勉強が楽しいのか、都市部に引っ越したいとほざいている。

朝、5時代に起きるなんて、考えただけでも嫌である。

このままの生活が続く事を望んではいるのだが・・・まあ、会社のゴタゴタが無くなれば、最高なのだが・・・



値下げ

2005,10,24



最近、ガソリン代の値下げが続いている。

嬉しい方の「えっ」という気持ちである。

ちょっと不思議に思うのは、40サタンづつの値下がり。

市場価格に合わせて下がるのであれば、40サタンに拘らなくても良さそうだが、上昇する時も、40サタンずつで、下がる時も40サタンというのは、何故か気になる。

このまま、20パーツ/リットルを切る値段になって欲しいが、40サタンずつの値下がりだと、まだまだ先は長い。

日増しに、ガソリン代が上昇を続けている時は、少しでも早く買った方が得策であると思うが、逆の場合は、できるだけガソリンの給油は、先に延ばしたほうが良さそうである。

まあ、田舎の場合、そんなことを言っていたら、ガソリンスタンドの数が少ないのと、「今日は、売り切れ」というウルトラCに遭遇する事があるので、常に、カスカスの状態という訳にはいかない。

少なくとも、50キロぐらいは走れるだけの準備はしておきたいものであるが・・・

日本へ行った社員が、解雇の要件を満たす期間、無断欠勤をしたにも関わらず、本日、働いているのを見かけた。

一体、この会社には決まりというものがあるのか？と言いたいが、知らん顔を決めている。

一人認めると、それが法律になり、まずいと思って厳しくした時は、不平不満が出る。

上がこんな簡単な事が分からないのだから、救いようが無い。

知らん顔するしかない。

全く、無法地帯の会社である。



相変わらず・・・・・・・・

2005,10,23



他力本願というか受身系のタイ人は、うんざりである。

当たり前のことと思うが、ロンちゃんの友人とダムさんの友人、はたまた社内のタイ人のレベルの差に驚かされている。

社会人となって2年目となったダムさんの友人達・・・いまだに、金の貸し借りでもめている。「500パーツを返さない、来月だ・・・」ともめる。

300パーツ振り込むように仕向ける為に、月末はあちこちに電話をかけまくる。

気が変わらないように、おだてながらも振り込ませるダムさん。

それでも、金銭がらみの問題が絶えない。

最後の一言は、「てつから貰えば良いじゃん。」「てつから毎月いくら貰っているの？」の言葉。タイ人の思考回路は、「お前、金持ちなんだから、良いじゃん。」

ダムさんからすると「恋人同士でも、財布は別だから。」と言いたいが、普通のタイ人には、通用しない。

だったら、最初に「貸して」なんて言葉を使わなきゃ良いと思うのだが・・・

ダムさんの友人の話に耳を傾けるだけで、むかつくので、出来るだけ近寄らない。

「 が、外国人を見つけた」「 は、恋人から、毎月いくら貰っている。」

そんな話しか耳に入って来ない。

日本もそうかもしれないが、こっちの業界、おしゃれもするし、身だしなみも決めなきゃいけない。多少の見栄も張らなきゃいけない。つまり、出費が多いのは分かる。

しかし、収入に対して、支出が多い人間に限って、自分でがんばってその出費をまかなうだけの努力をしようという人間はいない。

ほとほと疲れるのと、寄生虫の餌食にならぬように、どうやったら上手く逃げられるのかを考えるしかない。

バンコクに行く

2005,10,22 

久しぶりにバンコクへ行った。

ロンちゃん一時帰国の為、久しぶりに再開するのが目的である。

気が付けば、ロンちゃんは、日本在住10年になるという。

タイ人が、海外に住むというのは、帰国後の生活が保障されるということであり、僕とは境遇が全く違う。

もちろん、語学(日本語)も、努力しただろうし、開発途上国の人間であるという蔑視も少なからず受けたはずである。我慢したことも多かったはずで、帰国したとしても非常にサバァイな生活が待ち受けている。

それに加え、大きな家を建設し、実際に見てきたが、まさに「日本で稼いだ御殿」と言っても良く、値段を聞いても「すごい」の一言である。

サバァイの人生を駆け上がる見本のような人。

最近、周りのタイ人に対して、不満や蔑視せざる得ない事件が多いが、友人となる相手のランクも非常に大切であると思うし、日本以上に友人選びは大切であると感じた。

タイ人の良い友人と巡り合いたいものである。

バンコクに行ったついでと言う訳ではないが、コンタクトレンズ(ハード)の購入予約をした。時間がある時(バンコクに寄った時に)受け取るのみである。

やはり、ソフトだと、乱視の関係か、良く見えない。

イライラ感が募る。目がくっきりと見えるというのは、こんなにも清々しいものかと久々感じた。12月上旬に、再びバンコクに寄る用があるので、その時に受け取るのが楽しみである。

車の座る位置

2005,10,19 

現在、会社では、ダムさんは直属の部下と言う立場である。

どちらかといえば、家では逆転している気がするが(笑)とりあえず職場では、僕が上司という立場にある。

昨日、社用車でダムさんと外出する用事があった。

当たり前のことではあるが、ダムさんが、運転手の横の助手席に座る。

僕は、後部座席となる。

ちょっと複雑な気持ちであった。

社内での、ダムさんと僕との差を、まざまざと感じてしまった。

大卒であるダムさんとの収入格差、丁度10倍。

家では、対等(それ以上に、ダムさんが強い)のだが.....

まあ、ダムさんもそうだが、僕も深く考えないようにしている。

先日、風雲たけし城が、TVで放送されていた。

TVチャンピオンは、タイ人に人気があるのか、TVをつけるとしばしばタイバージョンが放送されているし、日本のアニメは、タイだけでなく世界に誇る文化なので、よく見るのも分かる。しかし、何年前、いや、何十年前の番組が、放送されているとは・・・驚きである。ちなみに、たけしさんは、事故に会う前の、普通の顔だったし、そのまんま東の頭は、びっくりするほどふさふさであった。記憶は無いが、僕が学生時代の頃の番組であることは、事実である。タイム・トリップとは、このことだーって思った。



連日、弁護士と会議をする

2005,10,18



言っても分からないなら、文書である。
言っても、日本語が分からないようなので、文書にて3通ほど、提案書を提出している。
しかも、社内の日本人全員に送った。
これによって、少しずつ改善の方向に向かえば良いと思う。
これで、動かないなら、「勝手にしなさい。」
正直、組織の中を変えるというのは、大変な労力である。
しかし、今の収入＝会社を捨てたくないという思い。
変わらなければ、僕は居られない(毎日、イライラしてばかりであるから)という思いから、自分なりにがんばっている。
部下に対しても、理由を説明して、協力して欲しい旨のお願いをし、自分のセクション以外の仕事も快く引き受けてもらっている。

昨日も弁護士事務所に行って来た。
日本で、弁護士と、直接話した事が無く、メディアを通して傍聴していただいただけである。
タイの弁護士は、どのくらいの難易度の試験を通過した人かは分からないが、少なくとも、社内の人間の数十倍も優秀であるということは分かった。
現在、会社は民事裁判に訴えるかどうか検討中の事項があるが、社内タイ人スタッフとは、理論的・法律的に話が進まない。
「この契約書の文面だと裁判ではまずいんじゃない？」の問いかけに「マイペンライ」としか答えられないタイ人スタッフ。
理由は、「　さんに聞いたらOKだと言った」「　さんは、経験がいっぱいある人だ」「こんな偉い地位の人だ。」という返答しかない。
私は、外国人であるから、この言葉の選択は、まずいのでは？という気持ちがあっても、「100%正しいとは、言い切れない。」

「マイペンライ」の理由を聞くたびに、頭痛がする。
そんな頭痛を解消してくれるのが、弁護士である。
タイ人スタッフに聞いても、そういう状態なので、聞かないで、「直接弁護士に聞きに言っている」という状態。
余分な費用が発生したとしても、「アホな職員を雇っている者が悪い」のであり、「この人と話をしても、話が進まないのでは・・・」とはっきり明言して出かけている。

決まりを作る、そして守る事がこの国で、どれだけ大切かを実感している。



生まれてはじめての経験

2005,10,17



結局は、何も変わらない会社である。

うるさく言っても、「逃げる」「先送り」の連続であるから、もう何も言いたくない。

社内で何が起ころうが、関係ないからですもん。

割り切って、給料取りに徹するしかない。

「私は、関係ありません。」の人になるのが、一番平和らしい。

タイ人においしい所を吸い取られるだけ吸い取られれば良いと本気で思う。

本日、弁護士事務所に行ってきた。

日本でも経験がない事である。

さすが、アメージング・タイランド・・・弁護士事務所というか、レンタカー屋と弁護士事務所が併設されている。

レンタカー屋の商売が本業で、中に3人の弁護士が働いている。

ちなみに、会社が従業員に対して、民事裁判を起こすための相談に行ってきた。

正直、会社が本当に裁判に訴えることは、無いだろうと思っている。

外資100%の会社は、できれば避けたい。

しかし、従業員に対しての見せしめとして毅然とした態度で臨むというのは大切な事である。

今日は、非常に勉強になった日だ。

裁判費用は、請求金額の2.5%であるとか、調停という単語も覚えたり、最高裁判所、高等裁判所、民事裁判という単語も覚える事ができた。



スニー、全店休業

2005,10,16



土曜日の仕事終了後、いつものようにパタヤへ直行。

これまた、定番コースとなりつつあるヤム・セープにて夕食。

この店は、アルコールを販売していないので、食事だけとなり（もちろん、ソフトドリンクはある）僕にとっては、最も安上がりで、美味しいと思う店である。

ホテルにチェックインした後に、スニーに行って驚き。

全店閉店である。

理由を聞いたら、ソー・ウオーの選挙だという。がっかりである。

ちなみに、こんな日は、各種デパートや発展場は、大盛況なはずである。

どの店も、一斉に休みなものだから・・・こんな日は、オフ代もドリンク代も払うことなく、街中でナンパし放題であると密かに思っている。

まあ、ダムさんと一緒なので、その手の場所に行くわけにもいかず、仕方なく、ちょっと洒落たレストラン兼バーでダムさんと飲む（かなりやけ酒）

こういうお洒落な場所に来て、ビアガーデン・居酒屋並の飲みっぷりをしてしまう。

しかも、小瓶なので、あっという間に二人で9本を飲み干してしまった。

ちなみに、ボーイズタウンの一部の店は、営業していたが、とてもじゃないが、ボーイズタウンで飲む気にはならなかった。

これも、定番のコースとなったが、翌日は、日本料理を食べ、1週間分のビールをボーイズタウンのサウナで流した。

ダムさんの日本語検定試験3級が近づいており、勉強に付き合う事となり、とある喫茶店へ・・・僕は、コーヒーを注文したが、ダムさんは、クリームがドカーンと乗っかっている飲み物を注文。

お洒落なグラスで出てきたので、「ハイソー」と言って、一気に飲み干してしまった。

確かに、サウナで汗を出した後とはいえ、喫茶店で注文した飲み物を一瞬に全部飲み干してしまったのには、ちょっと驚いた。

しかし、この喫茶店、異常に冷房が効いており（つまり、寒すぎるということ）1時間が限界だった。

やはり、週末は、土日の2日の休みが欲しいと思う。

1日じゃ、なんか休んだ気がしない。



見ざる聞かざるがベスト

2005,10,13



最近になって、ようやく雨が降り続く。
10月も半ばなので、雨季の最後が近づいている。

最近、会社がとんでもない事になっていることを連続して書いている為、心配の電話を友人からもらった。

「日本人の常識は、世界の非常識」「日系企業と言っても、外国で操業する場合、日本人の考え方・常識は通用しない」それくらいは、理解していないといけないと思う。

何より、立ち上げの会社の場合、「新しく創り上げる能力・指導力」がある人間をトップに置かなければ、会社は立ち上がらない。

崩壊寸前の会社を前に、最後の提案をいくつかおこなった。

提案が受け入れられるか否かは、責任者の判断であるが、これが受け入れられない場合、もう完全に知らん振りである。

「定時に帰宅。言われた仕事しかしない。」究極のサラリーマンを演じようと思う。

こんなに「やる気を失わせるの上手な会社」は「お初」ある。

分かっているから、「イライラするのである。」

「耳を塞ぐ」で知らん振りで割り切るしかない。

責任者は、僕が訴えても、他の日本人が訴えても「何も返答しない」人である。

大事な時に、何も言わない人である。

「善処します。」「前向きに検討します」「時期を見て検討」という言葉は良いが、外国では、言葉の問題もあり、発見するまでもかなり遅れることを考えても、早急に決断すべき出来事が多いはずである。

「もう少し様子を見て」が、消火器で消せる火が、消防車を呼んでも消せない状況まで追い込まれていることを知らないのだから、仕方が無い。

来週、ロンちゃんと久しぶりの再会である。

ホテルを予約し、万全の体制。

3年ぶりに会うのだけれど、「痩せたから分からないかも知れない」と言われている。

僕は、体重こそ変わっていないとはいえ、重量に逆らえない身体でいる。



ひどくなる一方

2005,10,12



この先、一体どうなるのだろうか？という会社である。
分かっていたが・・・ここまで行くと、もはやどうしようもない。

「決断の遅さ」「海外（異文化）の理解不足」「先を見越せない」

はっきり一言で言えば、経営者が悪いのである。

性格は、良いですよ。しかし、経営者ではない。

本日、偶然、労働省のHPを別件で見たら、弊社の密告を書いたメッセージ版を発見した。労働省への密告。

内容は、「A社は、タイ人を騙して、日本へ研修に連れて行き、最低賃金以下で働かせている。すぐに、取調べに行ってください。」というものである。ちなみに、ビジネスビザではなく、研修ビザで行けば、ラインに入って、実務の仕事をしていても、全く問題ない。

商用ビザ（ビジネスビザ）の場合は、会議、打ち合わせは、OKだが、ラインに入るのは不可。最低賃金というのは、タイ国の法律で、行く先々の国によって、手当ての金額を決めている。もちろん、タイ国内

であれば、都道府県で異なる最低賃金をクリアしていれば問題ない。外国で、研修を受ける場合は、生活費として、国ごとに決められた金額を出せば問題ない。

上記の事は、クリアしているので、法律的に、問題となることは、何一つない。実際に、調査に入られても、違法行為はない。(但し、勝手に言いがかりを付けられることはある。)

そして、問題なのは、現在、在職中のものが、行っている可能性が大であると言う事である。名前がはっきりと載っている。

但し、ネット上なので、Aという人物がBという者の名前を使っている場合も、考えられる。本日、就業後、疑わしい人間のパソコンを調べることとなっている。

本日も、また退職者2名(というか、退職届けを出した人が2名)

そのうち1名は、タイ人社員で一番の高給な人間。

通訳である。通訳という職上、会社のレベルが分かるのである。

正直、高給を払っているはずである。

でも、居たくないのである。

僕は、他の日本人と違い、通訳と触れ合う機会がほとんど無い。

しかし、傍目で見ても、非常に常識的人間であると思っていた。

まともな人間が居られない環境で、変な人間ばかりが続ける環境になるというのは、本当に悲しいものである。



ゴタゴタな会社

2005,10,11



ここ2~3日、会社の内部がごたごたしている。

僕がぶち切れて、文句を言ってから、責任者は責任者なりに一つずつ物事を解決しようとしているのは分かる。

どうやら、僕は首にはならないらしい。

日本に研修に行き、帰国後、3年間は働くという契約の社員が突然来なくなった。(バックレ)

本日、わざわざ会社の最高責任者が、総務のタイ人トップとその子の家に向った。

会社の内部は大笑いである。

「会社の社長ともあろうお方が、とあるワーカーが無断欠勤をしているから様子を見に行く。」「連れ戻して、また働かせるのか？」等の噂で持ちきりである。

ちなみに、家に行ったが、本人も家族も不在。

「子供の使い」とは、この事である。

何の用事も終わらせないまま、帰社しているのである。

こんな時に限って、「最高責任者に判断してもらわなければいけない出来事が発生。」

仕事が無く、全く持って暇な会社だからこそ、噂の伝達も早い。

会社の内部は、噂話だらけである。

就業規則に則って、「3日以上、無断欠勤をしたから解雇である。」

こんな簡単な事を、何日もかかって議論し、終結しないから不思議である。

答えは、簡単であると思う。

「3日連続の無断欠勤の為、就業規則 項に基づき、下記の職員を本日付で解雇とする。無断欠勤の日から本日までは、許可の無い(承認なし)休みなので、欠勤扱いとする。欠勤の間の、賃金は、就業規則に基づいて、支払わない。」

これが、正解だと思うのですが.....

別件であるが、明日から出てこないというワーカーが続出している。

「今日で、辞めさせていただきます」という事。

一番の責任者に、契約書・就業規則を見せつけ、「これを守らせてもらわないと、他の社員が同じことを

した時に、示しが見つからない。」と本人と社長のサインが入った契約書の原本を強制的に渡す。就業規則上も、契約書上も「辞める時は、 日前に、前もって辞表を提出する。」と書いてあり、契約書に関しては、本人のサインがしてある。

暇だからと言って、「あー、そうですか。明日から来ないの。」じゃ、駄目です。

会社が、こんな状況では、予定していた会議も全く進まない。
おかしな会社というより、完全に職員になめられた会社である。



ブチ切れる

2005,10,10



ついにぶち切れてしまった。
ぶち切れた相手というのは、恐れ多くも、自分の会社の社長である。
社長は、人事課長を兼任しているのである。

労務管理が全くなっていない。
この日記を読んでいる人は、覚えている人もいるかもしれない。
会計監査当日に、会計担当者が会社を欠席、連絡も取れず、会計士の予約・宿泊するホテルまですべてキャンセル。何のお咎めもないまま、働いている（働かしている）アメージング・タイランド。いや、会社がアホですよ。

ある日突然、出てこなくなる（辞める）のは当たり前。
就業規則で、自己退職する場合は、15日前に言わなきゃならない。
意味は、マネージャーが承認してから、15日後に退職可能である。
せっかく、僕が就業規則作っても、全く運用せず。
暇だからって言って、突然来なくなった人間に何の罰則も追求もしてこなかったから、今度は、日本に行った職員で、帰国後「 年間は、働く。辞める場合は、日本行きについての費用を返済する。」と契約してあった職員まで突然、出てこなくなる。
いわゆる、「ばっくれ」

会社が暇なので、土曜日に臨時休業をした。
日給職員に、日当を保証すると言い出す。
タイ人に、タダで金をあげたら、良くないことぐらい何故に分からないのか？
休みで、自宅で寝ていて200パーツ。仕事に来て、汗流して200パーツなら、汗流した賃金は、安いと感じるはずである。
就業規則にも、会社の都合で休業した場合のことは、きちんと記載してある。
しかし、全く運用されていない。

契約がどうであれ、「逃げたもの勝ち」「言ったもの勝ち」の会社。
一番の責任者に向けて、ぶち切れて、文句を言った。
現地採用ごときに、こんなに言われて、他の駐在員は、無言。
会社のレベルを疑う。
首にするならばよいと思う。
田舎の中小企業の工場が、海外進出ブームに押されたのか、お客に要求されたのか分からないが、英語もできず、海外に来た事もない人間が来て、経営をやっても駄目である。

タイ人は、数ヶ月前から言っている。
この会社は、職業訓練会社だ。（日本に行け、経験を積み、研修ばかりである）つまり、一定期間が過ぎたら、巣立っていくのである。卒業という名の、「踏み台」「ステップ」
社長の仕事は、エアコンの掃除。草取り。雑草除去剤の管理。
それじゃ、会社が立ち上がるとは思えない。

一部の普通の日本人は、問題の根源が分かっている。
それを、あえて追求しようとしなない。
そう言えば、日本社会で、「物言わず人」が「自動的に出世する」という状況を目の辺りにしてきた。

何も主張しない害の無い人間は、上司が居なくなれば、自動的に上に上がっていく場合も多い。

正直、初めてである。

こんな組織体の会社が・・・こんなレベルの人たちが・・・海外で事業を展開しようというのか・・・と。

経営者がアホこそ、僕の給料が高級である事は認める。
しかし、高給を頂いても、ここに居たくないと思う場合もある。

これだけ、経営者をコケ下ろして、僕が解雇にならなかつたら、まさにアメージングタイランドとしか言いようが無い。

ちなみに、僕は、自己退職する気は、全くない。

解雇にするならすれば良いと思う。

何故なら、僕は、何一つ間違ったことを言っていないと思っているからだ。

究極を言えば、気に入らないなら、自分でやりなさい。「自分で会社を興しなさい」という事なのだろうか？とふと思った。



またまた、殺人事件

2005,10,9



友人から、パタヤで日本人ゲイが殺人にあったという話を聞いた。
スニーっ子を連れ込んで、デイナイトホテルで殺されたらしい。
早速、スニーの主、メー・ヌイに聞いてみた。
メー・ヌイは、タイラット10月8日付けの新聞を見せて、詳細を語ってくれた。
新聞1面の左下に、殺された被害者の顔写真が掲載されていた。
今回は、新聞の詳細を読んでいなく、メー・ヌイからの情報である。

70歳の被害者は、スニー周辺でしばしば遊んでいた。
問題のホテルは、デイリーとマンスリーがあり、彼はマンスリーで借りていたようだ。
現金を持ち歩くのが常で、メー・ヌイも「危険だから、銀行に預けなさい」と何度も忠告していたそうである。しかし、多額の現金を持ち歩いていた。
メー・ヌイとは、かなり古くからの知り合いで、MKで食事したりしていたそうである。

男を常時連れ込んでいたので、警察もスニーを中心に聞き込み捜査している。
一説によるとレック・バー？レック・ボーイ？（デイナイト1の横の店）の子じゃないかという噂が流れているようだが、メー・ヌイは、「小柄な子が好きだから、違う。だって、あそこは、体格の良い18歳以上しかいなから」との意見。

ちなみに、ここからが究極・秘密のないタイランド・・・被害者の名誉があるので、この場では詳細は書かないが、Hの仕方（掘る方、掘られる方）、ゴムの装着の有無、チップの値段まで、メー・ヌイは知っていた。

恐ろしき、情報網・・・と思いつつ、わが身の安全を祈るしかない。

何でも、2人同時に連れこんだらしいが、1対1がやはりベストであるのと、道を歩いている子に、手を出すのは、非常に危険であることを一言、添えておきたい。

こういう言い方をすると何だが、僕でさえも、道の子を連れ帰る時は、注意を払うし、何より、メー・ヌイのところに寄って、わざと親しげに話し込んだり、あちこちの店子に挨拶してからスニーを出る。（僕は、この辺では、有名だよというアピール）

趣味の問題だが、2人まとめて連れ帰ったことは無い。

同じ子（よく知ってる子）を何度も指名する。（これは、気心が知れているから、お互い楽し、冗談も言えるからである。）

それくらいは、気を使っている。

好きな人は、本当にヨダレが出るほど、若くてかわゆい子と簡単に遊べるスニー。
無法地帯と化しているのは良いが、安全面でも危険地帯といわざるを得ない。

「気をつけよう。スニーは、タイの非常識地帯。」



菜食食べまくり

2005,10,8



10月2日から10月12日までは、菜食習慣の日。

黄色い旗があちこちに立っている。

黄色い旗 = 菜食の目印で、面白いのは、フルーツ屋さんとか、バナナ揚げ屋さんまで旗を掲げている。明らかに、菜食である事は分かっているが、この機会に菜食である事をアピールし、売り上げを伸ばそうということか？

で、田舎に住んでいると菜食習慣なのに、菜食料理を食べる機会が少ない。

菜食習慣実行者は、ほとんどが、中華系に属するタイ人で、菜食を実行すること (= 動物を口にしない = 動物を殺さない) ことで、ブンを信じている。

田舎で、菜食料理を食べる機会がないのは、中華系タイ人が極端に少なく、地元の間人か、イサーン出身の出稼ぎ労働者がほとんどであるからである。

パタヤ休日の2日間は、ほとんど菜食料理を食べまくった。

ナンプラー (魚から出来ている) を使用しない。つまり、しょうゆ味で、椎茸、野菜、豆腐と、日本料理に近い料理が多い。

日本料理の煮物系が多いのが特徴である。

但し、噂によれば、肉を使わない分、油・粉系が多く、決してダイエット料理ではないらしい。2日間、ほぼ連続して菜食料理を食べて気が付いたのは、肉が入っていない分、すぐにお腹が空く。だから、ダイエット料理ではないのかもしれないと思った。

だって、休みで、いつでもご飯が食べられる状況とはいえ、3食どころか、1日4食プラスおやつという感じの食生活だった。



サウナ好き

2005,10,6



タイで、法律的に物事を進めるといのは、非常に難しい事のようなのである。

法律や決まりに従って進めるといより、「誰かがこう言った」とか「役所にこう言われた」とかいう事が中心で物事が進んでいくので、仕方が無い。

タイ人と法律に基づいた話をしようとしても、「今まで居た会社はこうだった」とか「私の経験ではこうだった」とか「役所に聞くと、役人にこうしろと言われた」とかいう話になり、非常識であると考えられるので、「何処に書いてあるのか？」と言っても、「何条の何項に書いてある」という話にならない。ビジネスをする上で、「法に基づいた行為」で進めていこうと思っても、結局話が進まないというのが、本音である。

最近、やたらとサウナに入りたい。

体中からビールの水分を搾り出す感覚がたまらなく快適である。

一説によると、「辛いタイ料理を食べているので、知らぬ間に水分を過剰に摂取している。

だから、サウナに入ると快適だ。」と説明する人もいる。

僕は、「週に1度ぐらいは、アルコールを身体から搾り出している」という気持ちと、「運動をしなくなったが、サウナで汗を流し、擬似運動をしている。」とも言える。

ホテル宿泊の際も、部屋の広さとか清潔さは二の次で、サウナがあるか、フィットネスセンターがあるかが、大きな分かれ目となっている。

週末もサウナで一汗流し、快適休暇を過ごす。



テロについて

2005,10,5



インドネシアのバリ島でテロがあったらしい。

タイに住んでいると、時々、テロが身近に感じてならない。

日本に住んでいれば、「日本は安全な国である。」と平和ボケしているのかもしれないが、外国に住んでいれば、やはり「敏感」にならざるを得ない。

事実、南部国境の事とはいえ、毎日のように、タイ国内でテロ・爆発が起こっているし、シーロムやパタヤ等のファランが多く集まる場所でテロが起こるといふ噂は絶えない。(あくまで、噂であるが・・・)

で、先週末の事であるが、パタヤのロイヤルガーデンの駐車場に駐車しようとした所、入り口の警備員が、すべての車のチェックを厳重におこなっていた。

運転手・中に乗っている人を確認し、後ろのトランクを開け確認し、その後は、鏡を使って、車の下まで確認する入念さ。

タイで、このような厳しいチェックを受けたのは初めての出来事だったので、ちょっと驚いてしまった。

明らかに、テロを意識した厳戒態勢に思えるが、普通に生活している中で、厳しい検問やチェックを受けると、「自分は、危険な場所にいるのではないか？」という錯覚に陥ってしまう。

これが、「国際会議がある」とか、「要人が来る」とか厳戒態勢の理由がはっきりしている時期ならばともかく、普通の日に、厳しい検査があると「ドキッと」してしまう。

テロに関しては、日本で生活しているより、明らかに危険率が高い気がする。

但し、一方では自分で防げるものでもないし、「くじを引くと同じである」と腹をくくるしかないと思っている。

一方的に被害に会うので、テロというわけで、個人の力だけで自ら防ぐ方法は、極めて少ないからこそ「テロ」と言うのだろう。

NHK海外安全情報などを見ても、「人ごみが多い場所に近づかない」「常に周りの状況に注意する」等、無責任というか、「そんなことできるか？」って言いたくなる情報を流してくるだけである。

人ごみに行かないってことは、「森の中で、仙人のような生活をしろ」ということなのか？

周りの状況に注意するって、「男見たり、欲しいもの見たりしながら歩いている」のに、プロのガードマンじゃあるまいし、「不審な行動を取る人間を観察しながら歩け」とでも言っているのか？と思う。

いづれにしても、パタヤという街は、ファランが多い分、テロに会う確率は一般の街より高いという事は、事実であろう。



ビザ事情がさらに厳しく

2005,10,4



タイのビザ事情も、年々厳しくなってきたようだ。

僕が、タイに来た当時は、ツアーリストビザもトリプルで取得できたし、正直、ビザを拒否されたとか、ビザが取れなかったという話は、あまり聞いたことがなかった。

2年前くらいかな？ビザ代が急に3倍～5倍もの値段に跳ね上がり、驚いた記憶がある。

その話と前後して、観光ビザの取得が非常に困難になり、僕の周囲の友人もビザの問題で頭を痛める人が多く現れた。

苦肉の策で、行きたくもない学校に通い、学生ビザを取得している友人もいる。

今まで、絶対に安泰と思われていたのは、「ビザなし30日」である。

日本人は、ビザが無くても、30日間の滞在許可が下りる。

だから、30日ごとに、国境(ポイペトなど)で出国し、そのまま入国というスタンプを押すだけの為の旅行に出かけるのである。

パスポートだけ渡して、自分は出国せずに、ハンコだけ押されてパスポートが帰ってくるという人の話も聞いたことがある。

しかし、最近、法改正があり、上記の事を繰り返す事が可能なのは、2回までという法律が出来たらしい。

しかも、観光ビザもシングルしか出さないということになったらしい。

つまり、ビザなしで長期滞在する場合、30日ごとに国境に出向いて、出国 - 入国を行い、リセットできるのは、2回まで。

3回目は必ず日本に帰らなければいけないという事になったらしい。

日本に帰ったら、リセットされ、再び、2回まで、国境又は、隣国出入国が可能という。

いずれにしても、仕事・学校というきちんとした目的がない外国人に対しての締め付けが非常に厳しい情勢になってきた。

外国人あつての国であるとは思いますが、徐々に外国人に対する締め付けが厳しくなってきた。

何でも有りの国から、きちんとした国家に近づいているのか、それとも政治家の勘違いなのかは分からない。

でも、タイで住みたいと思っている人間にとって、来タイしてすぐに仕事を始められるわけでもなく、助走期間というか、準備期間というか、休息时间というか、個人差があるにせよ、少なからず生活を軌道に乗せる為の時間は必要である。

準備期間が作れないような状況になると、タイに来る日本人は、明らかに減少するだろうと思う。



タイ - タイ辞典は、155パーツなり

2005,10,3



タイ-タイ辞典を購入した。

何故か分からないが、凄く嬉しい。

「語学学習の究極は、その国の国語辞典を使える事」であると思う。

普通に、大学まで卒業したが、英 - 英辞典は、使った事が無かった。

学生時代の英語の勉強は、「受験の為に、勉強させられている」という前提だった為か、分からない英単語を英語で説明している辞書なんて、考えた事も無かったことである。

タイ-タイ辞典が欲しくなった理由は、単語の数が多いと言う事。

買ってみると、思わず便利な事に気が付いた。

王様用語（皇室用語）一覧があったり、省略語の一覧があったりするの、非常に面白いことである。

新聞を読んでいると、役職名の省略語が非常に多く、嫌になる。

特に、警察・軍に関する役職名の省略語は、新聞を読むと頻繁に遭遇する。

警察中尉・少尉等、新聞の記事自体には関係ないとしても、思わず、辞書で調べると、面白かったりする。

本当は、とある有名な先生（名前は忘れたが、確かMR . TOMITA TAKEJIRO）の書いた辞書が、欲しくて欲しくて仕方がない。

しかし、日本円で3万円もする辞書である。

需要と供給の為、発行部数が少ないからかもしれないが、辞書で3万円は高いと思う。

買えない金額ではないことは確かだが、何となく手が出ないでいる。

正直、僕のタイ語力は、非常に低レベルである。

でも、地道な努力は、続けて行こうと思っている。

タイ語学校に通っていた時のような時間は取れないが、ちょっとでも新聞を読むとか、分からない言葉があると調べるとか、読み方をタイ人に確認するとか・・・地味な努力は、続けていこうと思う。

言葉ができるということは、何より娯楽が広まると言う事である。

映画も楽しんで見れるようになったり、TVのドラマなんかを楽しみめるようになる日が来るのが待ちどろしいと思う。

そして、何の違和感なく、タイ - タイ辞典を使いこなせる日々が来ることを望んでいる。



人だらけの週末

2005,10,2



何処に行っても、渋滞と人ばかりの週末だった。

まず、金曜日、パタヤまで帰るのに、通常の1.5倍の時間を費やした。

渋滞の為、街中の様子を見てみると、どこのATM機の前にも、長蛇の列。

30日の金曜日とは、こんなものかを実感。

土曜日(1日)に、ダムさんが銀行口座を開設するためにビックCの中の銀行に・・・

朝一番(10時)にも拘らず、長蛇の列。

口座開設するだけの為に、1時間。

さすがに、工業団地の周辺ほど、ATMの長蛇の列はないものの、月初めにお金を下ろすのは、いかん・・・と思った。

パタヤでさんざん遊んだので、日曜日の夕方にATMで下ろそうと思ったら、1000パーツも500パーツもなし。

100パーツで、何千パーツも下ろすととなると、札束が来てしまうので、仕方なく1500パーツ分だけキャッシング。

もっと凄かったのは、イオンカードの前。長蛇の列というところではない。

軽く1時間は待たないと自分の番は絶対に回ってこないという感じ。

自転車操業とは、よく言ったもので、給料が出ると、あらゆる支払いが待っているようである。

その証拠に、この週末、ダムさんもお金の貸し借りで、大忙し。

2件返済があり、2件の借金の申し込み。

もちろん、別人であるが、困ったものである。

返済に関しては、借りる時は、かしこまって「貸して下さい」と言うくせに、返す時は、偉くなってしまふ。ダムさんが何度も確認の電話(給料が出たか?下ろしたか?振り込んだか?)確認をし、やっと返金。

だから、「そんな面倒くさい事するんなら、貸さなきゃいいじゃん」と思うのが僕の意見であるが、そうもいかないらしい。

僕と一緒にいることで、「金持ちである」と回りは思っているらしい。

酔っ払ってダムさんが言っていた。「月に、僕からいくら貰っているのか?」って、友人・知人が聞くそう。

階級社会・寄生虫社会とは、よく言ったもので、貧乏人社会で、一人のし上がっていくと、皆から筆り取られ、丸裸にされる社会。

そして、義理と人情なんて言葉がないから、裸になった人間をポイと捨てるのも、タイの特徴。

「金回りが良い時は、友人がいっぱい。」「文無しになったら、友人なんて誰もいない」というのが、タイ社会。

月初め、ATM機、そして、ダムさんの借金の申し込み・返却のニュースを聞きながら、そんなことを感じた。

ちなみに、とどめは、パタヤから田舎に帰ってくる途中・・・大渋滞であった。

「事故渋滞」とであると確信していたが、実は「自然渋滞」であった。

自然渋滞というか、「日曜定期市渋滞」であった。

タイ国の皆さんは、美味しいものを食べ、幸せな1日だったに違いない。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

11月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

会社を選ぶ意識

2005,11,17

最近、タイ人社員を数多く面接していると思うのは、「働くものが会社を選ぶ」という意識が非常に強いと言う事である。

もちろん、収入の良い会社というのが、良い会社の代名詞であるが、それ以外でも「会社のシステムの良し悪し」「労働条件（労働時間と土日休み）」が選択の柱となるようである。

優秀であればあるほどこの傾向は強いと思う。

「転職も出来ないほど無能な人」日本では考え付かない発想である。

しかし、タイでは「転職」＝「給料も含めたステップアップである」

面接で社員を選ぶ事がそうであるように、タイ人自身も、転職によって、会社を見る目を磨いていく。

その結果、仕事ができる人で、会社を見る目の優れている人間が、どんどん給料が上昇するという傾向にあるようだ。

それにしても、出来る人と、出来ない人とのレベル格差は、非常に大きい。

何度か書いているが、月収に5倍や6倍の差は当たり前である。

同じ時間働いて、こんなにも差があるというのは、日本では考えられないことである。

一説に寄れば、ワーカークラスの給料水準は、日系の会社が投資するに値するほどの安さだが、スタッフレベルになると、投資する価値があるのか首を傾げざる得ない金額となっているようである。

果たして、矛盾なのか、普通なのか？

健康である喜び

2005,11,16

久しぶりに健康診断を行った。

少なくとも、今の会社に入社してからは行っていなかったもので、少々（非常に）不安だった。

こんなにも酒に溺れた生活をしているので、何か悪い箇所が見つかるかもしれないと思ったからだ。20代の時は、自分が病気をするなんて、考えていなかったが、30代の半ばの今、一抹の不安がよぎる。

もし、病気が発見されたらどうでしょうか？働けなくなった場合は、どうするか。

ありがたいことに、会社のお金で、一流私立病院（バンコクジャネラル・パタヤ病院）にて受診する許可を得た。

前回、腹痛の時に世話になったので、「かかりつけ医」ということにしたいと思い、強く熱望したのである。やはり、海外生活、何があるか分からないから、「何か起こったら、この病院」という病院があるのは心強い。少なくとも、健康な時のデータが残っていれば、もしもの時の対応は早いと思うからである。

さすが、一流私立病院・・・カスタムサービス・国際部（各国の通訳・コーディネーター在住）お洒落なカフェ・・・国立オンボロ病院とは違う。

ホテル並みの雰囲気、消毒臭い」という病院のイメージとはかけ離れている。

「血液検査、尿検査、心電図、身長、体重、視力、レントゲン、エコー、医師の診察」これだけのコースで、7千バーツもの金額である。時間にすれば、2時間ちょっと。

しかも、ブレイクタイム（朝食）をはさんでの時間。2時間後の医師の診察時には、すべての結果が分かり、医師が全部説明してくれる。

日本でこれほどスピーディーな病院が存在するのか聞きたいくらいである。

しかも、各課移動の際は、係の方がすべて誘導してくれ、まさに、ホテル並みのサービス。

但し、患者の数以上に、従業員の数の人が多い気がして、その辺が値段に反映されているようである。

で、気になる結果は、パーフェクトであった。

健康体そのもの。レントゲンに変な影が写っており、レントゲンの中に矢印が示されていたが、医師は、洋服の影かもしれないとの説明だし、場所的に肩の方なので、内臓には全く関係ない場所であり、仮に本当に怪しい影であっても当面の命には関係ない場所だと思う。結果を詳細に記載したレポートの中にも、「洋服の影と思われるが、念の為、6ヶ月後に、再度撮影する事を勧める」という程度の書き方だった。まあ、これだけ酒を毎日飲み続けているにも関わらず、健康というのは、たまげたものであるし、両親に心から感謝したい。

これを気に、酒の量を減らしつつ、ますます快適タイライフを送りたいと熱望すると共に、海外生活、身体は大切であると実感した。



鳥騒ぎ、再び・・・

2005,11,15



鳥インフルエンザの脅威が新聞紙上を賑わせている。

何でも、タイだけの事柄でもなく、世界的な問題でもあるようだ。

やれ、「ワクチンが足りない」だの、「アメリカ政府が騒いでいる。」「人から人への感染の可能性」等読めば読むほど、恐ろしい記事であるが、庶民生活上は、変わらない。

2004年の初頭だったのだろうか？鳥インフルエンザと言う言葉を始めて耳にしたのは・・・そして、街中から、一斉に鳥が姿を消してしまった。

それに比べて、現在の騒ぎは、「新聞紙上だけ」という感じがする。

2年前の騒ぎの時は、「感染している鳥に触れると言う行為」はもちろんのこと、「肉を食べただけでも感染する。」「卵も危ない・・・」そして、「鶏肉は売れ行きが悪いから、注文すると、非常に古い肉が出てくる。」だから、注文しない。売れないから売らない。そんな最悪の悪循環に陥っていたと思う。まさに、「市場から一気に姿を消した」という感じであった。

しかし、今回は、日常生活上では、さほど騒ぎを感じない。

「売れないから、鶏肉を置いていない。」という店もないし、普通に売っているし食している。

「きちんと加熱していれば安心」であるという知識が行き渡ったようである。

しかし、新聞紙上を読む限りでは、「鳥インフルエンザとインフルエンザが合体し、今までにない新種のインフルエンザになる。」と書いてあったりする。

深く読めば読むほどに怖い話だが、逆に話が大きくなりすぎて、庶民レベルでの実感が無い。これが、本

音なのかもしれない。

思い込みなのかもしれないが、豚や牛よりも鳥はカロリーが低いと思っている。

だから、今日も、意図的に鳥を注文してしまう。

鳥インフルエンザより、お腹に付く脂肪の方が怖いからだ（笑）



悪魔のささやき

2005,11,14



責任者が「自分の能力ではできないから辞めたい。」と言い出してからも、着々と時は流れている。しかも、何一つ解決しないまま時間だけが流れて行っており、ますます事が大きくなっている。責任者が逃げ出す事を考えているので、下のものも、誰も付いて行こうとはせず、時期が時期だけに、ボーナスを受け取る事しか考えていない。

僕自身も、これからの進路のことも真剣に考えなければいけないと思う。

この国、人材派遣会社が数多くある。

日本でもあると思うが、タイの方が、圧倒的に多いと思う。

新しい立ち上げの会社でもないし、規模も小規模なのに、同時に何ポジションもの人材を「急いで探している」

そして、ここを去ったタイ人従業員も、人材派遣会社に、色々と話しているのは予想されるが、人材派遣で働く日本人から、「移る気はないか？」との悪魔のささやきを受ける。もっとはっきり会社名を挙げ「A社で、タイ語がビジネスクラスの人材を探しているけど、興味は無いか？」と悪魔のささやきをする。

仮に日本人の最低賃金である6万バーツで決定したとしたら、2か月分（12万バーツ）もの収入があるので、そりゃあ、悪魔のささやきも「駄目で元々」でやってみるのかもしれない。今の所、「現在の給料を考えると、移れない」と断っているが、実は、興味津々という感じである。しかし、現在の給料と同じ金額が出る会社などあるわけもなく、やはり「会社に時間を切り売りするのなら、時間単価が高い方がいい」と思う。

人材派遣会社の人と連絡を取りだすと、車を持っているので、送迎の心配は全く無用である事、バンコクには働く気が無く、地方に住み続けたいこと等が、人材派遣会社の人にばれると、ますます悪魔のささやき攻勢が強まってくる。

タイ人社員を急遽探さなければいけないということから、人材派遣の人と頻繁にコンタクトを取っているが、思わぬ「悪魔のささやき」攻撃を受け、困惑している。



日曜の日本食

2005,11,13



恒例となったかのような日曜の日本食。

先週の出来事から考えて、ダムさんが食べた事のないメニューを注文した場合は、僕は、ダムさんが確実に食べる事ができ、なおかつ自分が食べたいメニューを注文し、ダムさんが、前に注文した事があるメニューを頼んだ時は、僕は、寿司とか、うどんとか、ダムさんが食べられそうも無いメニューを頼む事にした。

ダムさんは、かじきの焼き魚に、ソースがかかっている定食を注文し、美味しいかどうか恐る恐る聞いてみたら、「非常に美味しい」という答え。

僕が味見してみると、「こてこての甘いソースに、にんにくがたっぷり入ったソースがかかっていた。」

うーん、「日本食？」と思ったが、タイ人が美味しく食べているので、文句も言えまい。

しかし、「人間、慣れというのは怖いなーんと思う。」器用に箸を使って、日本食を食べるダムさん。

しかも、あれだけ拒否していた味噌汁も美味しそうに食している。

出会った頃のことを思うと、何故か不思議で仕方ない。

付け合せのサラダ（生野菜）も美味しそうに食しており、「変われば変わるもんだ。」と思った。まあ、サラダと言っても、甘いマヨネーズが、たっぷりかかっており、日本のサラダほどあっさりしたものでは

ない。
 タイは、生野菜を食する習慣があるが、激辛を食べた後の、舌を慣らすような役割である。
 ソムタムと生野菜と一緒に出てくるのは、典型的な例である。
 色々な野菜をミックスしてソース（ドレッシング）をかけるという繊細さはなく、キャベツを切って、そのままかじるという野生的な感じで、やはりかなりの違いを感じる。
 まあ、食は文化であるから、日本の文化に慣れてくれることは良い事であると思う。

隠れ家的ホテル

2005,11,12 

パタヤは、ホテル選びには困らない。安くて、良いホテルを見つけた。
 めちゃ、お勧めの場所である。
 ファランののんびり滞在型の人が多いホテル。
 1ヶ月単位で借りたら、1万2千バーツと聞き、ぐっと心が動く。
 しかし、足が無いと・・・非常に不便な場所である。
 だからそこ、この値段であるとは思う。
 プールを囲むように建物が立っており、1階の部屋に宿泊すると、部屋から10歩以内でプールにドボン。
 値段からして分かるように、プールサイドに常に清潔なバスタオルが用意されているわけではないし、ボーイが常駐しているわけではない。
 しかし、変に気を使わなくてよいということを見ると、最高である。
 スニーから離れて、のんびりした場所で過ごす休日も良いなーと思う。
 正直、飲み代を考えると、こういう場所に泊まった方が、健康的かつ経済的である。
 久しぶりに、プールで泳ぎ、リラックスの週末である。

友人からの投稿

2005,11,11 

友人より、下記の投稿の文をお願いされました。紹介しますね。

『チェンマイ・ゲイ友達募集のお知らせ』
 Tetsu Thai Life 日記をお読みの皆様、サワディー・
 チャオでございます。ここチェンマイは、気候が良いからか、又は情報誌で大きく取り上げられているためなのか、多くの日本人が在住しています。
 しかし日本人のゲイは非常に少なく、なかなか知り合いになる機会がありません。このTetsu Thai Life 日記の愛読者の中で、チェンマイ在住/チェンマイに長期滞在しているG関係の方はいますでしょうか。
 もし、いらっしゃいましたら、連絡を下さい。北部タイの情報を交換したり、色々な場所にも遊びに行ければ良いと思っています。時間に追われて超特急で駆け抜ける旅行者では無く、チェンマイに在住・長期滞在している、又はその予定がある人からの連絡をお待ちしています。

cnx_jiro@yahoo.co.jp



フル回転の疲れ

2005,11,7



最近、毎日のように面接に立ち会っている。

50人にも満たない会社で、しかも現場のワーカーさんを除けば、10人前後のスタッフが働く会社になって、5ポジションもの募集がかかっているというのは、非常に不思議である。平常な状態でないということは人材派遣会社が一番分かっているようだ。

面接に立ち会っているというのは、通訳をしていることを意味する。

最近、面接の重要性を実感している為、非常に神経を使う。

通訳は、あくまでも公平な立場でないといけないとは思いつつ、公平であると言うのは、簡単なようで難しい。

面接に望む人も、自分をアピールするために、わざと英語を交えたり、故意に丁寧語や難しい言葉を使うので、本当に辛い。

タイ語・英語ミックスの場合、知らない単語を発せられると、頭の中で、英語かタイ語かの区別を行う作業が増えるため、余計に疲れる気がする。

通訳を通してコニュにケーションするということに慣れていない場合は、延々と話し続けたり、一番の主役である面接官を一切無視して、通訳とだけコミュニケーションを取ろうとする場合も多い。

また、最近では、40才代の方の面接も行っており、かなり神経を使う。

正直、1日2組が限界であると思うが、現実には、1日5人程度行っているのである。

だんだん、良い人を面接で見抜く力も付いてきた気がするが、いかんせん外国人ですから、ハンディは大きい。

日々、脳みそを、フル回転させることが少ないので、この何日か、疲れを感じている。



ZENでの騒ぎ

2005,11,5



パタヤのZENで日本食を食べた。

サイコロステーキを注文したダムさん。

最近、日本食屋で、牛肉系が気に入っており（唯一、まあまあ食べられる品）注文したのだ。しかし、この日は、サイコロステーキ

中まで火が通っていなかったのだ。（ミディアム）

ダムさん、大騒ぎ。「何で、焼けていないんだ」って

そういえば、タイ料理で、故意に火を通さないというのは、ありえない。

しっかり火が通っているのが常識。

日本料理（特にステーキは）中まで完全に火を通したら、肉が固くなって美味しくないと。

しかし、ダムさんからすれば、肉の中から、赤い肉汁が出てきたものだから、大騒ぎ。

僕の注文した魚の塩焼きと交換しようとしたが、何が不満なのか、一口食べて終了。

タイ人の（ダムさんの）食文化の狭さを改めて実感。

魚なら、どんな種類のものでも食べられそうな気もするが、今までに食べた事のない種類のもは、拒否感が非常に強い。

まあ、慣れてしまえば・・・という感じもする。

味噌汁の事を、パラ・イーブンと言っていた。

パラというのは、イサーン地方のソムタムに入れる、独特のにおいのする調味料で、バンコクの都会っ子は、「臭い」と言っている人もいる。

日本のパラと言って、食べられなかったのに、昨日は、食べるものが無く、仕方なく我慢して飲み干した。（食べられないものが運ばれてきたからといって、代替りの品物を注文するなどという贅沢はさせない）

味噌汁を完食した後で、「これで、日本に行ける。」と言っていたが、どう関係しているのか聞きたいものである。

正直言って、チキン照り焼き、サバの照り焼きあたりが、もっとも無難な（食べられる）料理であると思うが、どこの日本食屋でも、最も安い値段のメニューであり、絶対に選ばない。「これにすれば？」と誘導しても、「安いものしか食べさせない。」と怒るが、「値段の高い」と「美味しい」は、全く別物である

事は、なかなか理解できないらしい。
 当然であるが、タイでは取れないものは、高いし、普通に流通しているものは、安い。
 サバの定食と、サーモンの定食では、かなりの値段の差があるし、豚や鳥の料理（とんかつや照り焼きチキン）は、安い。
 日本食の中で、安くて、好物となるメニューを見つけてくれれば、すごくラッキーなのだが・・・

辞める・辞めさせる

2005,11,3



疲れる・・・その一言である。
 会社内部がゴタゴタしている。
 仕事が忙しいわけではなく、他の用事でゴタゴタしている。
 日本人責任者、駐在員も相当疲れきっている。
 日本人責任者は、「責務が重いので、辞めたい。私の能力では、とても無理である。」と言い出した。
 正直、噂では分かっていたが、「これだけくちゃくちゃにして、ちゃんと整理してから去って欲しい」と思う。
 「責任を取って辞める」というのは、日本式で、格好良くも感じるが、後に残されたものは、たまらない。

本日、2名の職員に解雇を言い渡した。
 あと、半分も整理が残っている。

金を払えば、解雇は非常に簡単であるが、その労力と心労は想像を絶する。
 当の本人は、ケロツとしたもので、保証金という名目で、思わぬ一時金が手に入って、ニコニコである。
 ましてや、辞めるのを覚悟で、さんざん悪さをして、かき回して、自己退職したら1パーツももらえないのに、5ヶ月近いボーナスがもらえるのである。
 顔が綻んでいるではないか。
 人の金（会社の金）ではあるが、まさに「1パーツもやりたくない」というのが、本当である。

一体、「僕の会社はどうなってしまうのだろう。」と強く感じている。

解雇の文

2005,11,2



「解雇」文。
 日本で働いていた時は、「解雇」された話は、身近になかったし、「首になった」「首になる」というのも、冗談の世界であった。
 「リストラ」という言葉はよく耳にしたが、自分の身近な話ではなかった。
 タイに来て、実際の解雇を言い渡す場面にこんなにも頻繁に遭遇するとは思わなかった。
 タイ語での解雇文は、非常に綺麗な文面である。
 「あなたの標準以上の能力があり、業務行動も優れている。しかし、会社で検討した結果、あなたにふさわしいポジションが見当たらない。よって・・・」

もちろん、罰則としての解雇の文面は、全く違うのかもしれない。
 僕の会社の場合、「はっきりとした証拠がない。」しかし、「1日でも長く在籍させると、会社にとってマイナスである。」ことを考慮して、罰則ではない解雇（契約解除）となったわけである。
 言葉は、微妙だなーと思うのは、タイ語でも、似たような意味であるが、微妙なニュアンスの言葉が何通りもあり、使い分けが非常に難しい。
 （自己）退職を「ラー・オーク」と言い、罰則としての解雇を「ライ・オーク」と言い、身分・役職から

脱することを「ポン」と言い、労働契約を解除するという意味の「ルーク・ジャン」という意味もあるし、会社都合で退職してもらおう、「ハイ・オーク」という言葉もある。

すっかり、この使い分けができるようになったのは、良いことなのか、悪い事なのか分からない。

しかし、毎日、精神的にくたくたな日々が続く。



新内閣誕生

2005,11,1



第3次小泉内閣発足のニュースをネットで見た。

小泉総理の横の女性2人の中で、水色のドレスの女性の写真に驚き、また、とんでもないサプライズを起こしたのかと思いきや、上智大の先生が大臣になったようである。

政治の記事を見る限り又は、小泉総理が続く限り（来年の9月まで？）日本は変わっていないような気がするが、やはり、時間は流れているのか？

日本を離れている人間からすると、1年おきに・1年未満で内閣が変わるような状況では、今の日本が全く分からなくなってしまう気がする。僕がタイに来た年に、小泉総理が誕生しているので、随分と長いんだなーと感じる。

日本の総理大臣と聞いて、外国人でも「顔も名前も知っている」というのは、嬉しい気もする。日本の顔であるから、テカテカ親父ではなく、格好良く年齢を重ねている方に、トップに立ってもらいたいと思う。

官房長官の安倍氏、外務大臣の麻生氏、財務大臣の谷垣氏・・・小泉総理の後継者が噂されているが、誰になっても「長期政権」となることを祈っている。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





O-net 楽天 Super Point 10,000 ポイント 結婚力診断

tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17  初めて来ました
- 2009,5,16  スニーの生活パターン
- 2009,5,11  税金UP
- 2009,5,10  ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9  ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8  ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

12月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

 明日は、何の日ですか？

2005,12,22



運転手さんに「明日は、日本の国の日なんですか？」と聞かれた。

一瞬、「この人は、何を言っているのか？」と思った。

「ちがうよーー」って言った後、あっと思い出した。

「明日は、天皇誕生日だ」って。

4年以上、外国で生活していると、子供の頃の記憶の方が強い気がする。

4月29日が天皇誕生日であるという意識が非常に強い。

12月23日が天皇誕生日であるという記憶は、すっかり薄れていた。

それに、国の日と言われても、具体的に何月何日か思い出せないというよりも、国の日という特別な日があったかどうかピンと来ない。

タイの王室と日本の天皇を比べることは出来ないが、タイの場合、国王の誕生日は、「父の日」とされ、非常に重要な日である。

少なくとも、僕にとっての天皇誕生日というのは、特別な日というよりも、祭日となるありがたい日という思いしかない。

日本から遠ざかっていることを実感してしまう。

 寒い

2005,12,19



大げさではないような気がする。

本当に寒い。

タイに住んで、「涼しい」ではなく、何日も続けて「寒い」と実感したのは、初めてのような気がする。

タイの冬 = まさにこの時期のことであるが、

1. さすがに水シャワーはつらい。
2. 朝晩は涼しいが、日中はそれほど変わらない、
3. 生ビールの季節であるが、寒くてビールなど飲んでいられないと感じる日もたまにある。

日中でも風が強いので、寒い。

朝は、とんでもない寒さで、一人1枚の毛布では足りず、長袖を着込み、本当は、ベットのマットに使う薄手のシーツもかぶって寝ている。

朝も、下の食堂で食べるのは、寒すぎるので、皿を部屋に持ち帰って食べている。

まさに、タイの冬・・・いつまで続くのかなー？



もう少しで・・・

2005,12,15



年末も近づいており、残り10日間ちょっとで正月休みとなる。

正直、今年の正月休みは、非常に楽しみである。

去年は、ダムさんが軍から出てこられるのか分からなかったので、予定が立たない休みであった。

今年は、年末はパタヤで過ごして（バンコクから友人が来る予定）年明けと共に、チャーン島へ出発するというスケジュール。

チャーン島は、3度目となり、ダムさんと交代で運転すれば、サバーイな距離である。

多分、4時間ちょっとかな？何より、飛行機や鉄道といった乗継がなく、車ですべて移動できるので、時間に縛られずに行動できるのがありがたい。

フェリーに乗る際も、車ごと乗船するので楽である。

年末のパタヤ3日間で頭が痛い。（毎週末行っている身としては、3日も何をやるのだろうか？）と思ってしまう。

しかし、パタヤ以外に、行く場所も見当たらず、結局パタヤで過ごす予定。

久しぶりの長期休暇に、ちょっとワクワクのこの頃である。

仕事も、忙しいながら、先が見えてきたし・・・先が見えてきたというのは、落ち着く気配が見えてきたと言う事である。

正直、しばらく、休みたいと本気で思う。



寒っ

2005,12,14



このところ、めちゃ寒い。(ここ1週間ぐらいかな?)

乾季=ピアガーデンの季節であるが、とても外でビールなどという気分ではない。

寒いので、扇風機はもちろん、付けずに、毛布に包まって寝ている。

ちなみに、二人1枚の毛布では、寝ている間に、取り合いになっているらしく、結局は、力関係で、どちらかが風邪を引いてしまう。

そこで、お客さんよの毛布を出して、一人1枚の毛布に包まっている。

朝も、寒くて、とても寝巻きのまま食べられる状況ではなく、長袖ジャンパーを着用してアパート前の食堂で食事をする。

大げさと言われても仕方ない気もするが、タイの気候に慣れてしまった人間にとっての本音である。普通の日本人が来れば、「涼しい」という言葉なんでしょうが・・・



バタバタ・・・する。

2005,12,13



慌しい仕事が続いている。

何がそんなに忙しいのか分からないが、バタバタしているというのが本音である。

仕事を分散しているが、投げれば投げるだけ、戻ってくるし、戻ってきたものが全部完璧ならば良いが、欠陥だらけの場合は、仕事が余計に膨らんでしまう。

最近、暇さえあればコンドのことばかり考えている。

今までは、現実を買う事ができない状況だった為、先のことという前提で話をしていたが、実際に買う事が可能になった現在では、現実的な話となっている。

買いたいコンドは決まっている。

部屋は、頻りに売り出している部屋をチェックしていくしかない。

予算も決まっている。(ある値段以下じゃないと買わないことに決めている)

角部屋以外は、同じ大きさなので、値段の違いは、内装にかけたお金、又は、家具の値段次第で、もっと言えば、持ち主が、投資した分、儲けたいか否かの問題のようである。

しかし、内装や家具が高いものであると言われても、自分の欲しいものかどうかは全く別問題であり、一番の希望は、余分な内装や家具が無い部屋である。

一番ほしいのは、何も内装をしていない部屋で、自分で全部気に入るようにしていきたいが、中古の場合、そのような部屋は、なかなかなく、前の住人の趣味を押し付けられてしまうので、なるべく手をかけていない部屋が良いと思っている。

いずれにせよ、ボーナスが支給されたら、本格的に動き出そうと思っている。



新スニー

2005,12,11



久々、スニーに行った。

久々と言っても、1ヶ月振りぐらいだろうか?

改装した店が何件もあり、ちょっと驚いた。

スニー独特の「秘密の遊び場」といった雰囲気なくなり、有名な歓楽街となりつつあるようで寂しい。

スニーで唯一、過激なショーを行っていた店も、すっかり改装し、ど派手な看板を取り付けた店に変貌した。

ボーイズタウンのようになって欲しくないと思っはいるが、なんとなくそうなりつつあるような気がする。

はっきりいって古びたトゥック・テウ(長屋)に不釣り合いな看板である。

他の店からの噂で、鏡張りで、短パン一丁なので、中が丸見えと言う情報を聞き、早速突入。

確かに、テーブルが鏡張りである。

角度によっては、横チ丸見えであるが、いかにもというように鏡張りのテーブルを見るわけにもいかず、見えないと苦情を言ったら、ボーイ君が、わざわざ見えるような角度にしてくれた。

何となく、鏡を通してみるというのも面倒くさくて、結局は下から直接覗き込んで楽しんだ。すっかりス

ケベ親父となってしまうな――と思いつつ、この手の店は、一回見学すれば十分じゃいと思った。

1年前は、横に座るのも拒んでいた子が、1年経つと、「ほれ見ろ」とばかりに横チを見せ付けている姿が印象的だった。

さすが、若者は、成長が早いワイ。

残念ながらタイプは皆無であったが、初めてのタイプの店だったので、ちょっとムラっと来てしまい、結局、ユーロで連れ出してしまった。



収入アップ

2005,12,10



年末といえば、ボーナスや昇給に沸く時期である。

日本と違い、基本的には、ボーナスは1回(年末)というのが、タイの慣習のようである。

もちろん、業績によって支給が決まるものではあるが、業績が悪く、至急ゼロとなれば、タイ人は会社に見切りをつけて、金払いの良い会社に移るのであろう。

同じく、上司の評価に納得いかなければ、転職をするのであろう。

それを表しているかのように、ボーナス後の転職率は非常に高い。

「ボーナスを貰って辞める。」・・・これ、タイの常識。

さて、外国人であっても、現地採用の僕は、例外なくボーナス査定と給与査定を受ける。

基本給が元来高いので、ボーナスも高くなるのは当然である。

本当に、この金額が振り込まれば、コンド購入が、来年の始めには可能となる。

しかし、給料が再び大幅に上がったというのは、驚きである。

丁度、最初にタイで働きだした時の月給分が増えた計算となる。

やっと、日本で働いていた頃の収入を越えた。

タイ在住4年にして、収入が4年前に戻ったというのは、非常に喜ばしい事である。

しかし、はたと思うことは、「これは、飼い殺しを意味するのではないか?」ともふと考える。

実際、この給与額では、次に転職は、まず無理である。

よほどの事がない限り、収入が半分になるという条件で、転職をする決断はしないだろう。

「どこの企業が、この金額で雇ってくれるものか?」と思うと、ありがたく思い、がんばって働こうとは思いますが、タイで仕事に没頭するのもおかしな話だと思う。

最近、タイで高収入を得るポイントが何となく分かってきた。

1. まず、バンコクに拘らない事。バンコクは、需要と供給の問題で、日本人の賃金が安めに抑えられている傾向にある。もちろん、会社によるが、地方の方が、高待遇を得られる会社が多い気がする。但し、高給を得る事と、サバァイを得る事は別問題であることから、あくまでバンコクで職を求める日本人が圧倒的多数である。僕的には、今の生活は、バンコク生活以上にサバァイなのだが・・・個人の価値観ですから。。。

2. タイ人とタイ文化を理解する事。高待遇つまりポジションも高い地位という事になる。タイ人を管理することが出来ない人は、高待遇を得る事が難しい。

3. 自らコミュニケーションが取れる事。これは、英語でもタイ語でも良い。何か一つ外国語を身につけておかなければいけない。現地採用で働く最低限の条件であると共に、駐在員にはない光る能力である。工場の駐在員も技術を持って日本から来ると思うが、それと同様に一芸であることを知ってもらう事。

4. 運をきちんとつかむ事。転職して2年以内で、3.4倍の収入になったが、これは、運も大きく左右したと思う。新規立ち上げの会社ということで入社したが、立ち上げから参加しているので、幅広く色々なことを知る立場となり、会社にとって、必要な人間となったようである。

こんな所だろうか。嬉しい悲鳴であるとは思いますが、給料が上がれば、何となくプレッシャーもかかるものである。

まあ、深く考えずに、素直に収入アップを喜ぼうとおもっている。



バンコクに行く

2005,12,9



12月4日にバンコクへ行ってきた。

週末はパタヤが恒例なので、バンコクは、近くて遠い場所となっている。

高速をぶっ飛ばせば、2時間で行ける場所ではあるが、何となく特に行く場所ではなく、用事があるから仕方なく行く場所である。

この日の用事は、ダムさんの日本語検定3級の試験日。

仕事終了後、バンコクへ向ったので、到着時間は8時過ぎ。

本来ならば、安ホテルで十分であるが、受験前だから、せめてゆっくり寝られるホテルを・・・と思い、それなりのホテルを選択。

試験当日は、朝の5時に起きて、復習開始したが、「迷惑極まりない時間帯から・・・」と思うが、受験生には文句も言えまい。

ホテルのアメリカンブレイクファーストも軽く済ませる程度で、「もったいない、たらふく食べるよー」と心の中で思いつつ、「受験中に、お腹が痛くなったら困る」という言葉に文句も言えず。

受験結果は、来年の3月頃分かるらしい。

そういえば、この忙しい中、受験前1ヶ月半もの期間、3級合格集中コースへ通う為、都市部まで送っていた。

田舎生活、セブンイレブンもなきや、語学学校、ましてや日本語を教える学校なんてあるわけない。

都市部まで出て行くには、足が必要である。

結局、老体に鞭打って、仕事終了後、ダムさんを語学学校へ送る日々が続いたのである。

週に2回とはいえ、堪えたな――。

受験の終了と共に、この週に2回の送迎の必要がなくなったことが一番の喜びだったりする。



大手術

2005,12,8



何が忙しかったかと言えば、組織大改革（ちょっと大げさかな？）を行ったからである。

行ったというか、自然とそういう流れになったのかは分からない。

手術をすれば多少の出血は伴うのは当然の事。

噂には聞いていたが、「タイ人は引継ぎをしない」というのは、本当だった。

「PCの暗証番号も伝えていかない」「突然来なくなる」などということを知ったことがあるが、まさにその通りであった。

責任感のなさというか、「辞めるのだから後の事は、知ったことではない。」ということであろうし、

「もう、お金をくれる人ではないから、忠誠を尽くす必要のない人」という分かりやすい思考回路である。

大きな犠牲（日本人が飛び回った）結果、やっと良い職場へ向かっている気がする。

しかし、逆恨みとは怖いもので、どうしても通訳として日本人の意思を伝える役目となってしまうのだが、お馬鹿なタイ人からすれば、僕が言っているとしか思えないようだ。

夜中に悪戯電話が鳴り響き、「タイ人の逆襲はこんなものか」と思わざるを得ない。

外国人としてタイで生活しているが、この国の人を好きでいたいという思いは強く持ってはいるものの、仕事を通してタイ人と付き合う限り、悪い面が強調されてします。

よく、「旅行でくると仕事をするのとは雲泥の差だ」とは言うが、まさにその通りであろう。

ご心配を各方面の方におかけしていますが、いたって元気である。

まあ、ダムさんが付いていてくれるからだと思う。

私生活でも、仕事上でも無くてはならないパートナーとなっている。



忙しかっただけです。

2005,12,7



すごく久々の日記の更新である。
急にパタリ止まると、心配をかけるようで、何人かから電話やメールを頂いた。
お騒がせして、申し訳ありません。

急に忙しくなっていることが一番の原因である。
とりあえず、何事も無く、生きていますというご連絡・・・の日記。

- -

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストップ
クス](#)

